

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、現在、実施されている「第2次日置市男女共同参画基本計画（女性活躍推進計画含む）」の事業評価の参考にするため、また、これらを改定するにあたり、市民の男女共同参画に対する意識や現状を把握し、今後の本市男女共同参画施策を検討するための基礎資料とするべく実施しました。

(2) 調査対象

日置市に居住する18歳以上の男女2,000人（無作為抽出）

(3) 調査方法

郵送による調査票配布・郵送回収またはオンライン回答の併用

(4) 調査期間

令和4年9月22日（木）～10月14日（金）

(5) 調査票の回収状況

配布件数	有効回答数	有効回収率
2,000件	780件（郵送:612件、インターネット:168件）	39.0%

(6) 分析方法

委託による分析（単純集計・クロス集計）

(7) 調査結果利用上の注意

- ① 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。また、本文中、数表、図表の数字の計と文章中の数字と小数点以下（0.1）が合わない場合がある。
- ② 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率は100%を超える（無回答が多い場合は下回る）場合がある。
- ③ 数表、図表、文中に示す「N」は、各設問の比率算出上の基数（標本数）である。
- ④ 集計表中の「性別」及び「年代等」の区分けを行っているが、各区分に無回答のデータが含まれているため、各区分の合計と総計の数値が異なる場合がある。（*）
- ⑤ 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- ⑥ 調査結果の分析にあたり、下記の文献と比較している。
 - 平成28年度男女共同参画に関する市民意識調査（日置市）
（20歳以上の男女2,000人、有効回収数738人）※本文中では、「前回調査」と表記している。
 - 令和3年度男女共同参画に関する県民意識調査（鹿児島県）
（20歳以上の男女5,000人、有効回収数2,094人）
※本文中では、「県調査」または「令和3年度鹿児島県調査」と表記している。
 - 令和元年度男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府）
（18歳以上の男女5,000人、有効回収数2,645人）
※本文中では、「内閣府調査」または「令和元年度内閣府調査」と表記している。

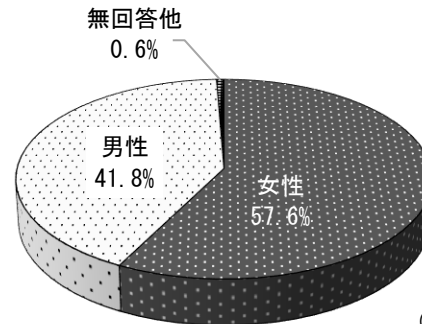
*：女性と男性の小計は、性別よっての無回答者数を除いているので総計とは一致しない。

2 調査結果

回答者の属性

(1) 性別

	人数	構成比
女性	449	57.6%
男性	326	41.8%
その他	1	0.1%
無回答	4	0.5%
合計	780	100.0%

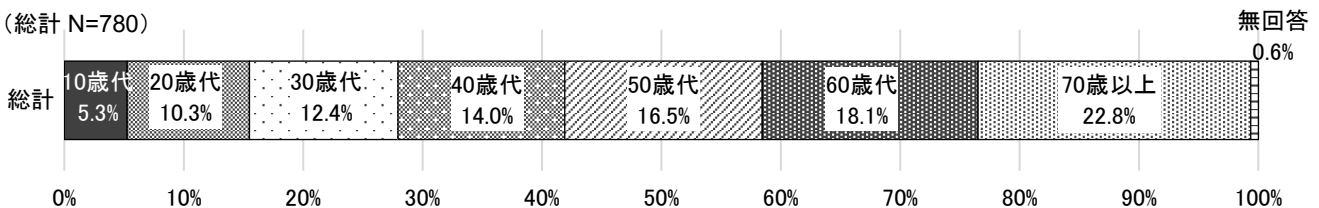


(総計 N=780)

(2) 年齢

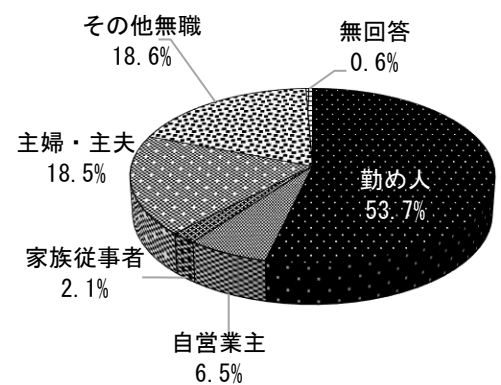
	合計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総計	780	100%	41	5.3%	80	10.3%	97	12.4%	109	14.0%	129	16.5%	141	18.1%	178	22.8%	5	0.6%
女性	449	100%	23	5.1%	49	10.9%	55	12.2%	68	15.1%	80	17.8%	78	17.4%	95	21.2%	1	0.2%
男性	326	100%	17	5.2%	31	9.5%	42	12.9%	41	12.6%	49	15.0%	63	19.3%	83	25.5%	0	0%

(総計 N=780)



(3) 職業等

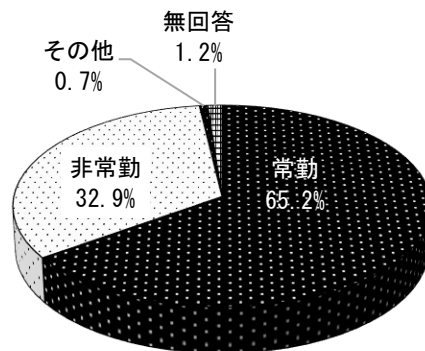
	合計		勤め人		自営業主		家族従事者	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総計	780	100%	419	53.7%	51	6.5%	16	2.1%
女性	449	100%	226	50.3%	19	4.2%	15	3.3%
男性	326	100%	193	59.2%	32	9.8%	1	0.3%
	主婦・主夫		その他の無職		無回答			
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
総計	144	18.5%	145	18.6%	5	0.6%		
女性	132	29.4%	56	12.5%	1	0.2%		
男性	12	3.7%	88	27.0%	0	0%		



(総計 N=780)

(4) 勤め人の就業形態

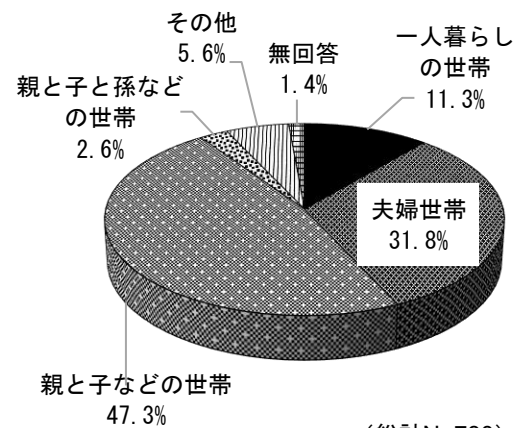
	合計		常勤		非常勤	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総計	419	100%	273	65.2%	138	32.9%
女性	226	100%	123	54.4%	96	42.5%
男性	193	100%	150	77.7%	42	21.8%
	その他		無回答			
	人数	構成比	人数	構成比		
総計	3	0.7%	5	1.2%		
女性	3	1.3%	4	1.8%		
男性	0	0%	1	0.5%		



(総計 N=419)

(5) 世帯状況

	合計		一人暮らし		夫婦世帯		二世帯世帯	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総計	780	100%	88	11.3%	248	31.8%	369	47.3%
女性	449	100%	57	12.7%	130	29.0%	213	47.4%
男性	326	100%	31	9.5%	118	36.2%	155	47.5%
	三世帯世帯		その他		無回答			
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
総計	20	2.6%	44	5.6%	11	1.4%		
女性	14	3.1%	32	7.1%	3	0.7%		
男性	6	1.8%	12	3.7%	4	1.2%		

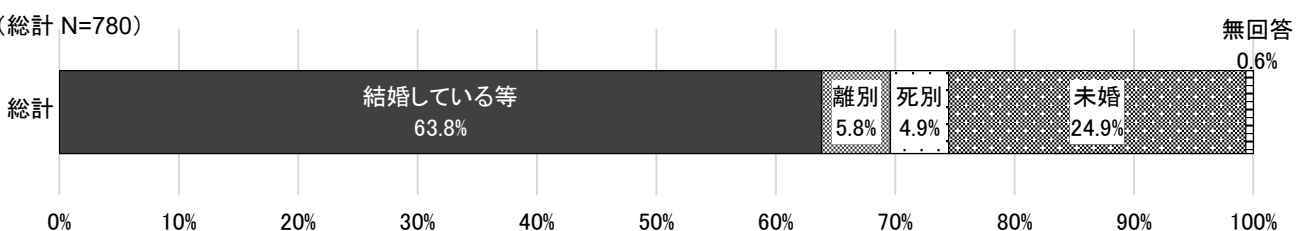


(総計N=780)

(6) 婚姻の状況

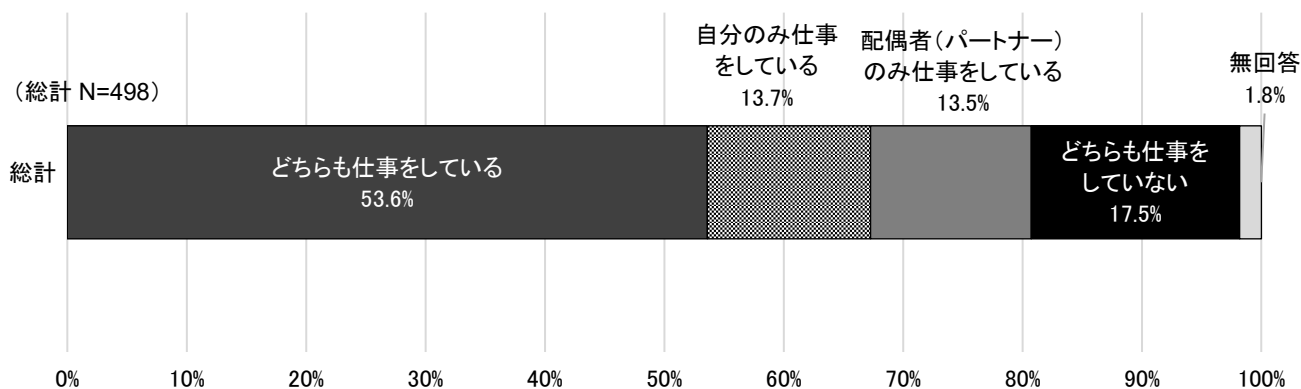
	合計		結婚している等		結婚していたが 離別した		結婚していたが 死別した		未婚		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総計	780	100%	498	63.8%	45	5.8%	38	4.9%	194	24.9%	5	0.6%
女性	449	100%	279	62.1%	31	6.9%	32	7.1%	106	23.6%	1	0.2%
男性	326	100%	219	67.2%	14	4.3%	6	1.8%	87	26.7%	0	0%

(総計 N=780)



(7) 就業状況（結婚している方等）

	合計		どちらも仕事をしている		自分のみ仕事をしている		配偶者（パートナー）のみ仕事をしている		どちらも仕事をしていない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総計	498	100.0%	267	53.6%	68	13.7%	67	13.5%	87	17.5%	9	1.8%
女性	279	100.0%	151	54.1%	11	3.9%	56	20.1%	56	20.1%	5	1.8%
男性	219	100.0%	116	53.0%	57	26.0%	11	5.0%	31	14.2%	4	1.8%



I 男女平等に関する意識について

【問1】 次の言葉について、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものに、すべて○をつけてください。

【全体】

男女平等参画の関連用語について見たり、聞いたりしたことのある用語等について尋ねたところ、「ドメスティックバイオレンス (DV)」(85.9%)、「男女雇用機会均等法」(81.3%)、「ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」(76.7%)の順となった。「日置市子ども支援センター」(50.9%)までの8項目で半数以上の方が見たり、聞いたことがあると回答した。また、認知度が3割に満たないものが「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」(26.8%)、「日置市市民のための相談室(男女共同参画専門員)」(18.3%)、「日置市男女共同参画推進条例」(14.4%)の3項目となった。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性では「ドメスティックバイオレンス (DV)」(86.9%)、男性では、「男女雇用機会均等法」(85.9%)が最も高い割合となった。女性では、2番目に「ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」(80.4%)の認知度が高い。

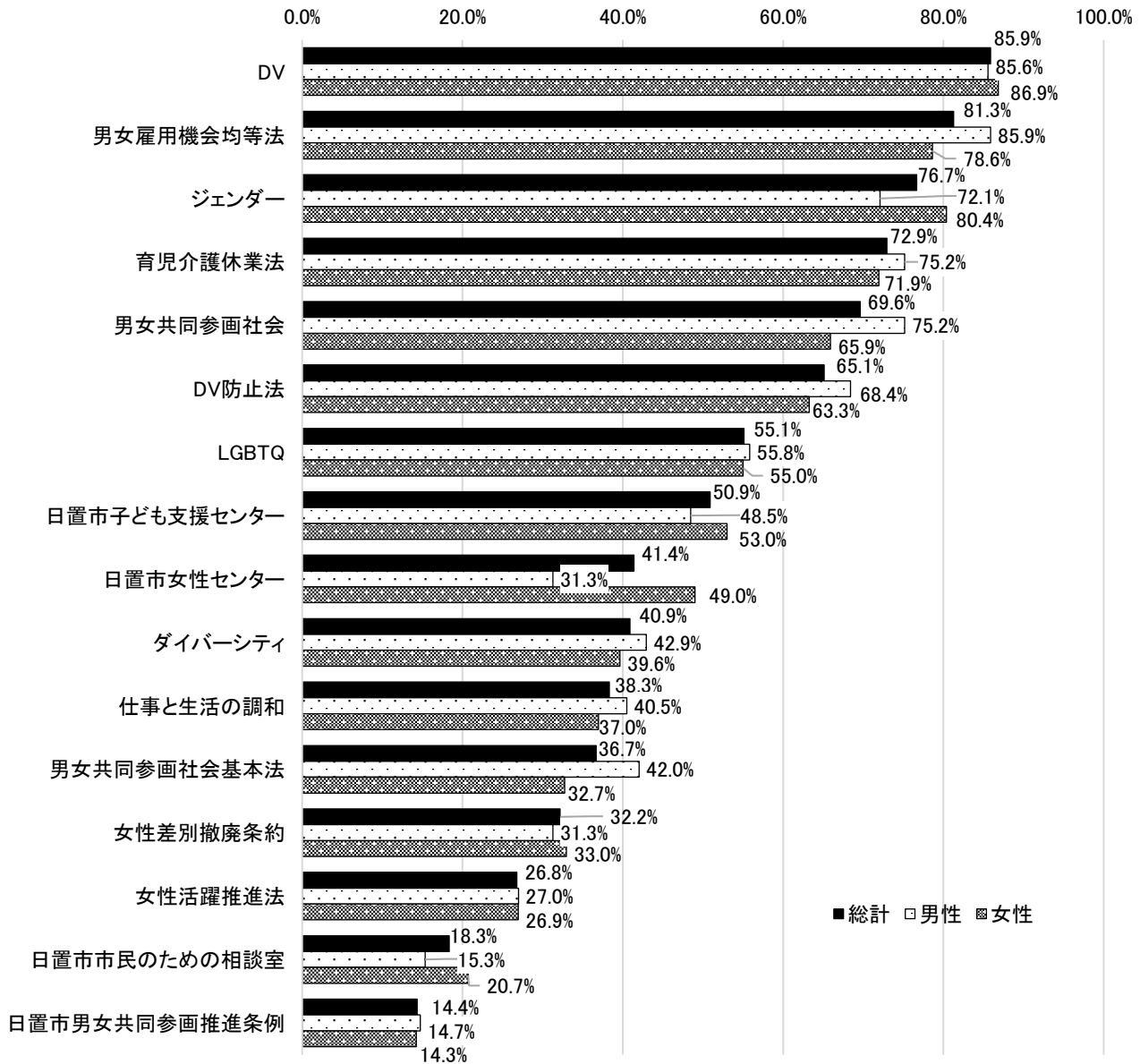
性・年代別で見ると「ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」の認知度の割合が、60歳代以下の女性と50歳代以下の男性で7割を超えている。一方「日置市男女共同参画推進条例」は、女性のすべての年代、男性も60歳代以下で2割を下回った。

【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】

本市が平成28年度に実施した調査(以下、前回調査)と鹿児島県が令和3年度に実施した調査と比較すると、前回調査に比べ、見たり、聞いたりしたことがあると答えた割合は、「女性活躍推進法」「DV防止法」「日置市市民のための相談室」「日置市子ども支援センター」を除く用語で増加している。また、県調査に比べ「女性活躍推進法」が28.6ポイント低い割合となっている。

※両調査と選択肢等異なっており、正確な比較はできないが、比較可能なデータをもとに傾向をとらえた。

図表問1-1 男女共同参画の関連用語等の認知度【総計・性別】



図表問1-2 男女共同参画の関連用語等の認知度【日置市(今回調査・前回調査)、令和3年度鹿児島県調査】

	回答総数	問1 次の言葉について、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものに、すべて○をつけてください。															
		男女共同参画社会	男女共同参画社会基本法	女性差別撤廃条約	男女雇用機会均等法	女性活躍推進法	育児介護休業法	仕事と生活の調和	ダイバーシティ	DV防止法	DV	ジェンダー	LGBTQ	推進条例男女共同参画	日置市市民のための相談室	日置市女性センター	日置市子ども支援センター
総計 (N=780)	6,291	543	286	251	634	209	569	299	319	508	670	598	430	112	143	323	397
割合	-	69.6%	36.7%	32.2%	81.3%	26.8%	72.9%	38.3%	40.9%	65.1%	85.9%	76.7%	55.1%	14.4%	18.3%	41.4%	50.9%
日置市平成28年度調査(N=738)	3,671	457	-	180	567	230	488	220	135	539	-	-	-	-	174	232	410
サンプル数に対する割合	-	61.9%	-	24.4%	76.8%	31.2%	66.1%	29.8%	18.3%	73.0%	-	-	-	-	23.6%	31.4%	55.6%
回答数=100での割合(報告書ベース)	100.0%	12.4%	-	4.9%	15.4%	6.3%	13.3%	6.0%	3.7%	14.7%	-	-	-	4.7%	6.3%	11.2%	
鹿児島県令和3年度調査(N=2,094)	2,094	1,548	1,006	1,131	1,795	1,160	-	1,105	806	1,807	-	1,483	-	-	-	-	-
割合(A+B)	-	74.0%	48.1%	54.0%	85.7%	55.4%	-	52.8%	38.5%	86.2%	-	70.8%	-	-	-	-	-
A「よく知っている」	-	19.9%	7.7%	8.6%	35.1%	9.2%	-	12.7%	7.9%	25.5%	-	24.7%	-	-	-	-	-
B「聞いたことがある」	-	54.1%	40.4%	45.4%	50.6%	46.2%	-	40.1%	30.6%	60.7%	-	46.1%	-	-	-	-	-

図表問1-3 男女共同参画の関連用語等の認知度【性・年代別】

		問1 次の言葉について、あなたが見た、聞いたことがあるものに、すべて○をつけてください。																
		回答総数	男女共同参画社会	本法 男女共同参画社会基	女性差別撤廃条約	男女雇用機会均等法	女性活躍推進法	育児介護休業法	仕事と生活の調和	ダイバーシティ	DV防止法	DV	ジェンダー	LGBTQ	推進条例 日置市男女共同参画	相談室 日置市市民のための	日置市女性センター	日置市子ども支援センター
総計 (N=780)		6,291	543	286	251	634	209	569	299	319	508	670	598	430	112	143	323	397
割合		-	69.6%	36.7%	32.2%	81.3%	26.8%	72.9%	38.3%	40.9%	65.1%	85.9%	76.7%	55.1%	14.4%	18.3%	41.4%	50.9%
性・年代別	女性 (N=449)	3,629	296	147	148	353	121	323	166	178	284	390	361	247	64	93	220	238
	割合	-	65.9%	32.7%	33.0%	78.6%	26.9%	71.9%	37.0%	39.6%	63.3%	86.9%	80.4%	55.0%	14.3%	20.7%	49.0%	53.0%
	10歳代・20歳代 (N=72)	626	57	45	36	59	19	42	47	32	36	62	67	59	8	7	22	28
	割合	-	79.2%	62.5%	50.0%	81.9%	26.4%	58.3%	65.3%	44.4%	50.0%	86.1%	93.1%	81.9%	11.1%	9.7%	30.6%	38.9%
	30歳代 (N=55)	503	39	26	22	46	23	40	23	29	32	50	50	41	5	5	34	38
	割合	-	70.9%	47.3%	40.0%	83.6%	41.8%	72.7%	41.8%	52.7%	58.2%	90.9%	90.9%	74.5%	9.1%	9.1%	61.8%	69.1%
	40歳代 (N=68)	588	49	18	15	57	18	56	30	34	45	64	64	46	10	8	33	41
	割合	-	72.1%	26.5%	22.1%	83.8%	26.5%	82.4%	44.1%	50.0%	66.2%	94.1%	94.1%	67.6%	14.7%	11.8%	48.5%	60.3%
	50歳代 (N=80)	660	45	20	25	67	21	62	23	33	58	75	67	42	12	17	43	50
	割合	-	56.3%	25.0%	31.3%	83.8%	26.3%	77.5%	28.8%	41.3%	72.5%	93.8%	83.8%	52.5%	15.0%	21.3%	53.8%	62.5%
	60歳代 (N=78)	585	47	18	19	61	19	59	14	25	53	66	58	32	14	20	41	39
	割合	-	60.3%	23.1%	24.4%	78.2%	24.4%	75.6%	17.9%	32.1%	67.9%	84.6%	74.4%	41.0%	17.9%	25.6%	52.6%	50.0%
	70歳代 (N=95)	665	59	20	31	63	21	64	29	25	60	72	54	27	15	36	47	42
	割合	-	62.1%	21.1%	32.6%	66.3%	22.1%	67.4%	30.5%	26.3%	63.2%	75.8%	56.8%	28.4%	15.8%	37.9%	49.5%	44.2%
男性 (N=326)	2,646	245	137	102	280	88	245	132	140	223	279	235	182	48	50	102	158	
割合	-	75.2%	42.0%	31.3%	85.9%	27.0%	75.2%	40.5%	42.9%	68.4%	85.6%	72.1%	55.8%	14.7%	15.3%	31.3%	48.5%	
10歳代・20歳代 (N=48)	422	39	31	22	43	11	33	26	22	31	44	40	34	4	4	12	26	
割合	-	81.3%	64.6%	45.8%	89.6%	22.9%	68.8%	54.2%	45.8%	64.6%	91.7%	83.3%	70.8%	8.3%	8.3%	25.0%	54.2%	
30歳代 (N=42)	370	29	22	13	36	14	29	19	22	27	40	34	28	8	7	17	25	
割合	-	69.0%	52.4%	31.0%	85.7%	33.3%	69.0%	45.2%	52.4%	64.3%	95.2%	81.0%	66.7%	19.0%	16.7%	40.5%	59.5%	
40歳代 (N=41)	343	26	14	15	34	15	30	24	23	29	35	34	26	4	4	10	20	
割合	-	63.4%	34.1%	36.6%	82.9%	36.6%	73.2%	58.5%	56.1%	70.7%	85.4%	82.9%	63.4%	9.8%	9.8%	24.4%	48.8%	
50歳代 (N=49)	362	39	13	10	42	13	35	14	20	32	40	37	25	6	3	13	20	
割合	-	79.6%	26.5%	20.4%	85.7%	26.5%	71.4%	28.6%	40.8%	65.3%	81.6%	75.5%	51.0%	12.2%	6.1%	26.5%	40.8%	
60歳代 (N=63)	483	46	25	15	55	12	51	19	26	45	58	42	31	7	11	17	23	
割合	-	73.0%	39.7%	23.8%	87.3%	19.0%	81.0%	30.2%	41.3%	71.4%	92.1%	66.7%	49.2%	11.1%	17.5%	27.0%	36.5%	
70歳代 (N=83)	666	66	32	27	70	23	67	30	27	59	62	48	38	19	21	33	44	
割合	-	79.5%	38.6%	32.5%	84.3%	27.7%	80.7%	36.1%	32.5%	71.1%	74.7%	57.8%	45.8%	22.9%	25.3%	39.8%	53.0%	

【問2】あなたは、次にあげる①～⑦の分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近い番号を1つだけお選びください。

【全体】

各分野の男女の地位の平等感についてみると、「平等である」と回答した割合は、「学校の中で」(55.8%)が最も高く、次いで「家庭の中で」(39.2%)、「法律や制度で」(29.9%)、「職場の中で」(29.2%)、「地域社会の中で」(26.7%)、「社会通念や慣習・しきたりなどで」(10.4%)、「政治の中で」(8.1%)の順となっている。また、すべての分野で『男性優遇』(「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)が『女性優遇』(「どちらかといえば女性の方が優遇されている」+「女性の方が非常に優遇されている」)を上回っており、とりわけ、「政治の中で」「社会通念や慣習・しきたりなどで」は、70ポイント以上高くなっている。

【性別、性・年代別】

性別でみると、すべての分野で「平等である」と回答した割合は、男性が女性を上回っており、『男性優遇』では、女性が男性を上回っている。特に「法律や制度で」では、「平等である」とした回答は、男性が女性を24.6ポイント上回り、『男性優遇』とした割合は女性が男性を21.2ポイント上回っている。また、『男性優遇』と回答した女性の割合は、「政治の中で」(84.0%)、「社会通念や慣習・しきたりなどで」(79.5%)で高い割合となった。

性・年代別でみると、女性は「平等である」と回答した割合が、「学校教育の中で」以外低い傾向となった。男性では、「政治の中で」「社会通念や慣習・しきたりなどで」以外、「平等である」が高い割合となったが、「職場の中で」「地域社会の中で」では、60歳以上(「職場の中で」では30歳代も)で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっている。

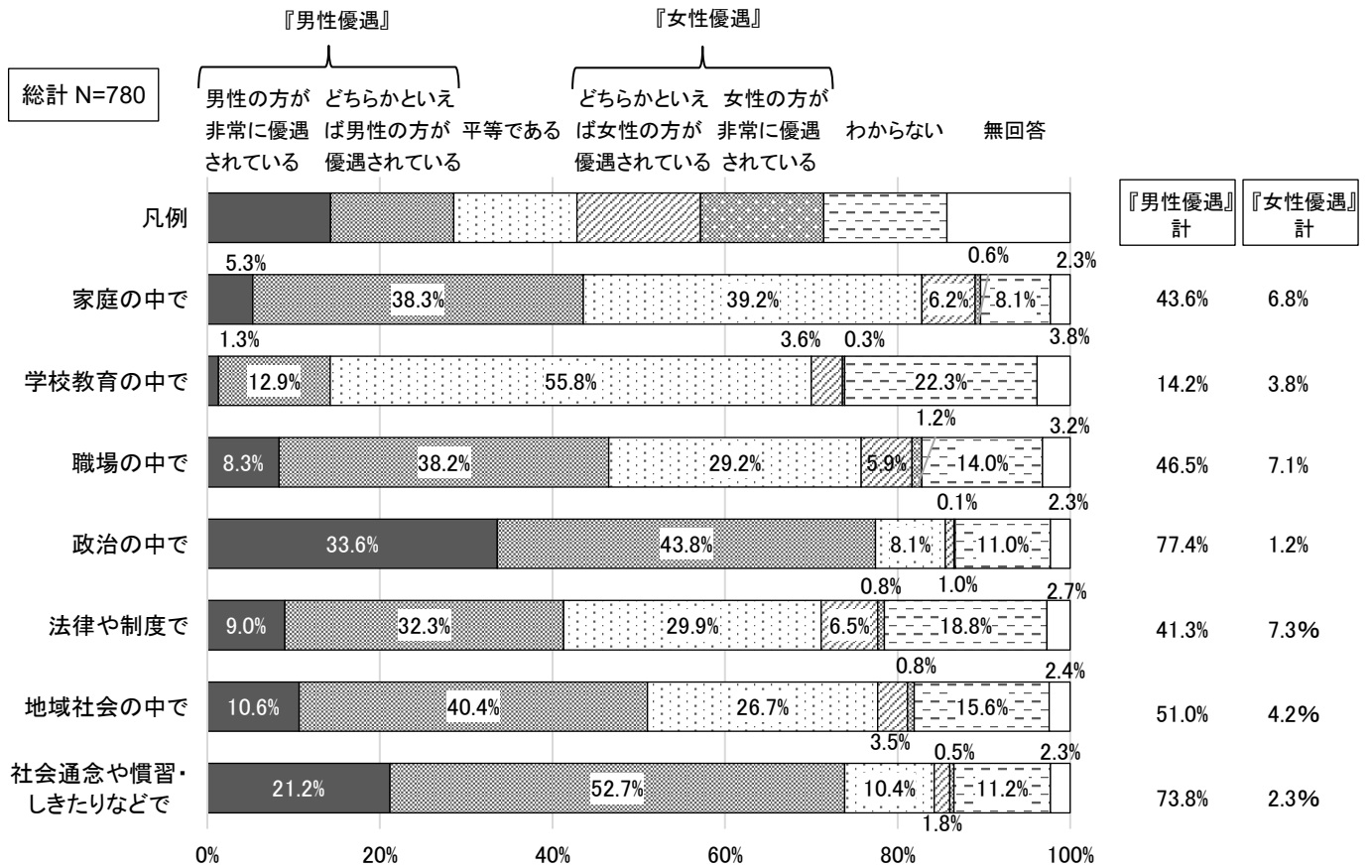
【夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである】という考え方別】

[夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである]という考え方で分野ごとにみると、すべての分野で、「反対」「どちらかといえば反対」の人は、『男性優遇』と回答した割合が高い傾向がみられた。

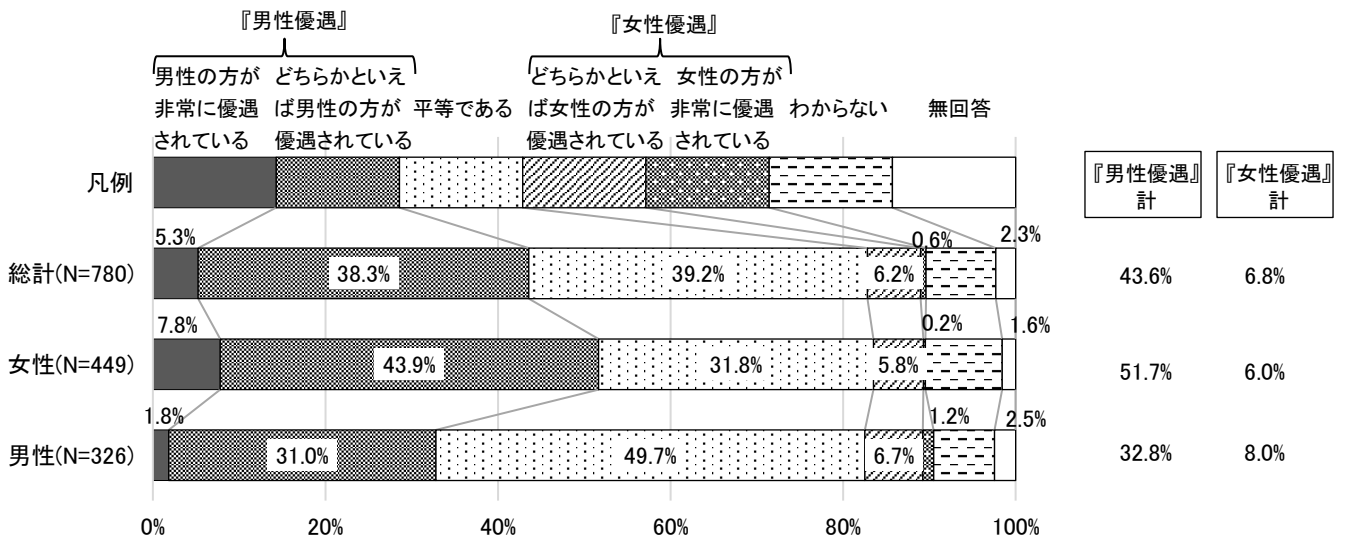
【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】

前回調査と比較すると、「平等である」と回答した割合は、「家庭の中で」「職場の中で」で前回調査を上回ったが、他の分野では、低下している。「平等である」割合が半数を超えたのは、前回調査同様「学校教育の中で」(55.8%)だけにとどまった。中でも「政治の中で」「法律や制度の中で」「社会通念や慣習、しきたりなどで」では、「平等である」と回答した割合は減少し、『男性優遇』が増加している。県調査と比較すると、「平等である」とした回答の割合は、「職場の中で」以外の分野で低い割合となっている。

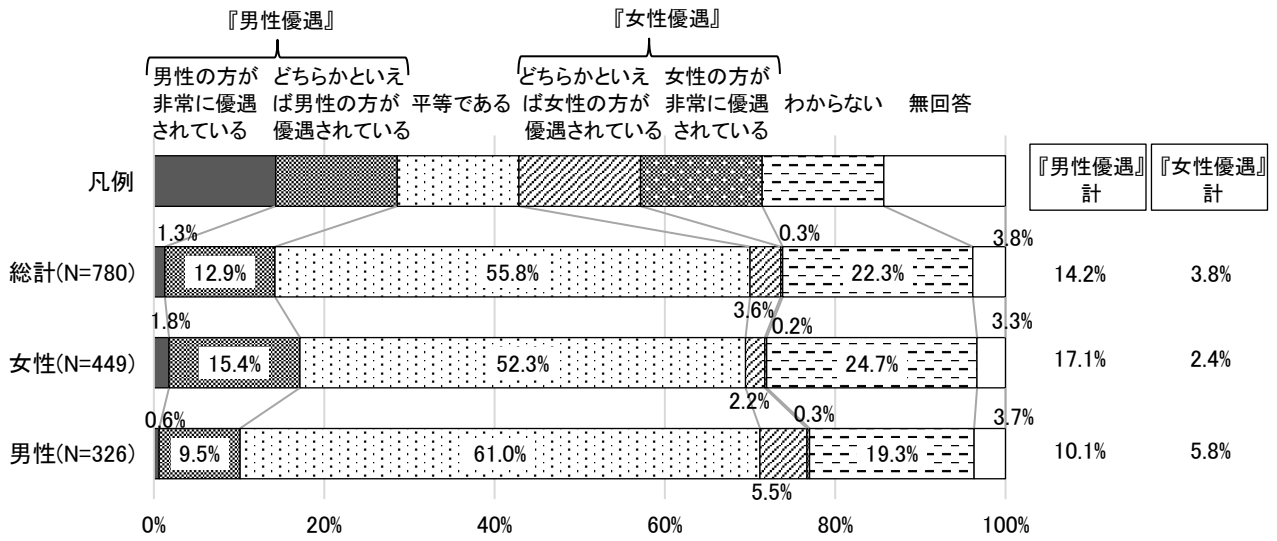
図表問2-1 各分野の男女の地位の平等感【総計】



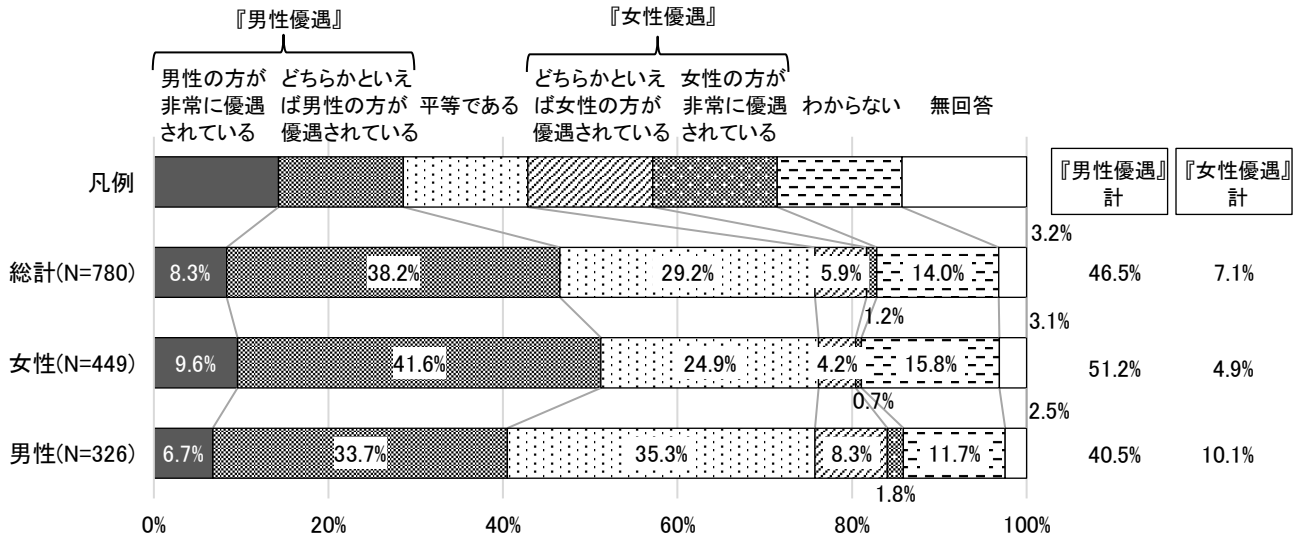
図表問2-2 各分野の男女の地位の平等感 家庭の中で【性別】



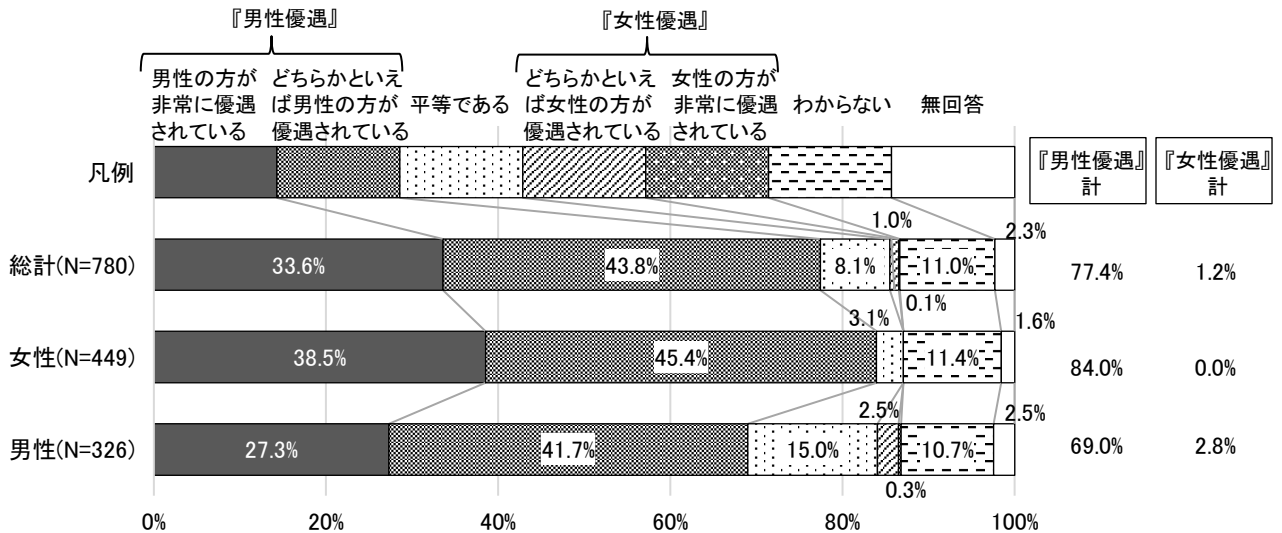
図表問2-3 各分野の男女の地位の平等感 **学校教育の中で** 【性別】



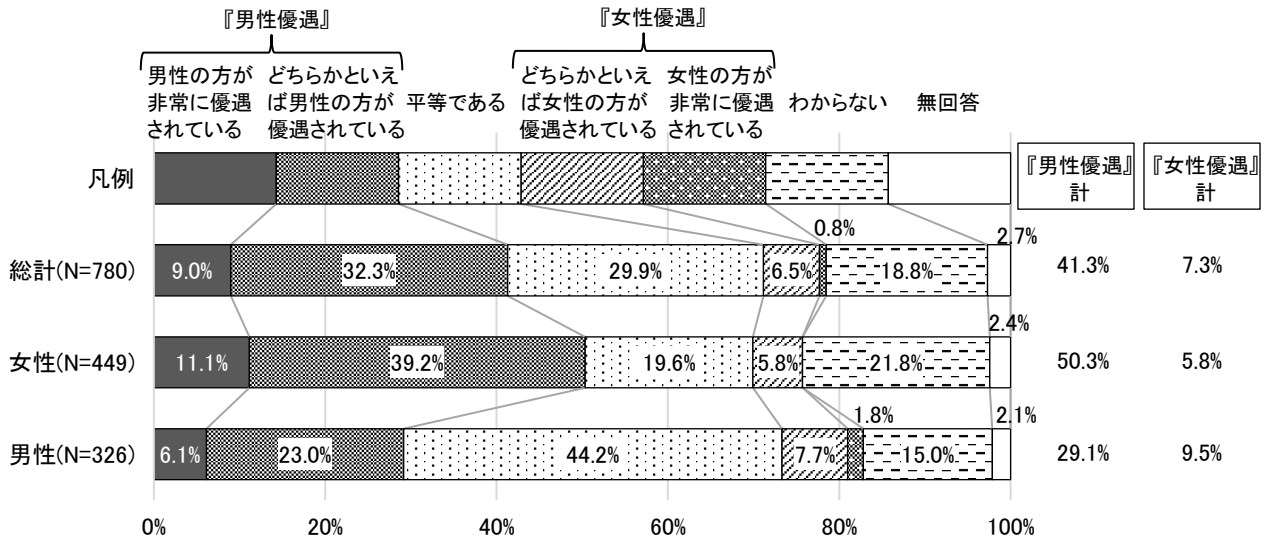
図表問2-4 各分野の男女の地位の平等感 **職場の中で** 【性別】



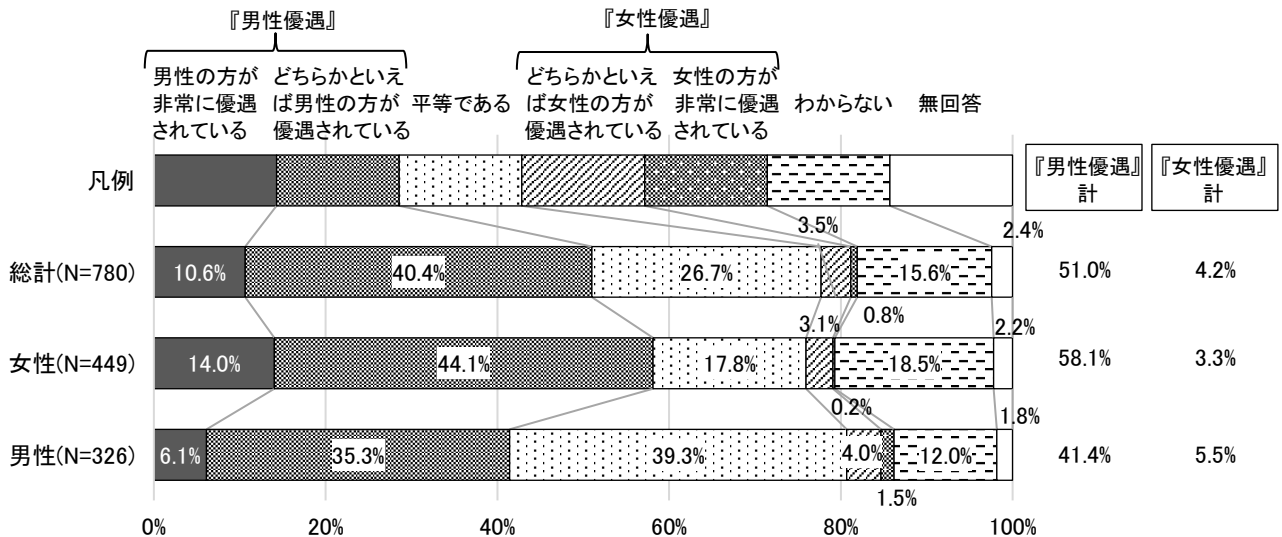
図表問2-5 各分野の男女の地位の平等感 **政治の中で** 【性別】



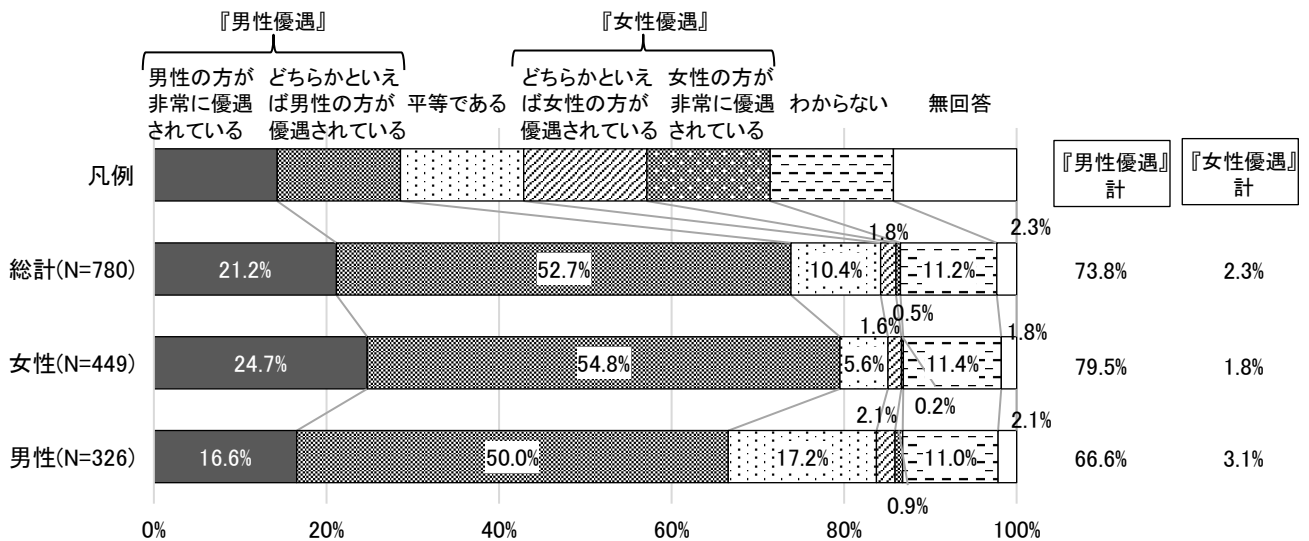
図表問2-6 各分野の男女の地位の平等感 **法律や制度の中で** 【性別】



図表問2-7 各分野の男女の地位の平等感 **地域社会の中で** 【性別】



図表問2-8 各分野の男女の地位の平等感 **社会通念や慣習・しきたりなどで** 【性別】



図表問2-9 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】(1/4)

	サンプル数	問2 あなたは、次にあげる①～⑦の分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近い番号を二つだけお選びください															
		① 家庭の中で							② 学校教育の中で								
		優遇性の方が非常に	男性のり方が優遇さ	平等である	女性のり方が優遇さ	どちり方が優遇さ	優遇性の方が非常に	わからぬ	無回答	優遇性の方が非常に	男性のり方が優遇さ	平等である	女性のり方が優遇さ	どちり方が優遇さ	優遇性の方が非常に	わからぬ	無回答
総計 (N=780)	780	41 (5.3%)	299 (38.3%)	306 (39.2%)	48 (6.2%)	5 (0.6%)	63 (8.1%)	18 (2.3%)	10 (1.3%)	101 (12.9%)	435 (55.8%)	28 (3.6%)	2 (0.3%)	174 (22.3%)	30 (3.8%)		
性・年代別	女性 (N=449)	割合	41 (9.1%)	197 (43.9%)	143 (31.8%)	26 (5.8%)	1 (0.2%)	40 (8.9%)	7 (1.6%)	8 (1.8%)	69 (15.4%)	235 (52.3%)	10 (2.2%)	1 (0.2%)	111 (24.7%)	15 (3.3%)	
		10歳代・20歳代 (N=72)	割合	3 (4.2%)	19 (26.4%)	33 (45.8%)	9 (12.5%)	1 (1.4%)	6 (8.3%)	1 (1.4%)	3 (4.2%)	9 (12.5%)	42 (58.3%)	6 (8.3%)	0 (0.0%)	11 (15.3%)	1 (1.4%)
	30歳代 (N=55)	割合	1 (1.8%)	21 (38.2%)	20 (36.4%)	4 (7.3%)	0 (0.0%)	9 (16.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (10.9%)	32 (58.2%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)	14 (25.5%)	1 (1.8%)	
	40歳代 (N=68)	割合	6 (8.8%)	32 (47.1%)	24 (35.3%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	5 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (13.2%)	41 (60.3%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	17 (25.0%)	0 (0.0%)	
	50歳代 (N=80)	割合	12 (15.0%)	39 (48.8%)	18 (22.5%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)	9 (11.3%)	0 (0.0%)	3 (3.8%)	17 (21.3%)	40 (50.0%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	19 (23.8%)	0 (0.0%)	
	60歳代 (N=78)	割合	4 (5.1%)	42 (53.8%)	21 (26.9%)	5 (6.4%)	0 (0.0%)	4 (5.1%)	2 (2.6%)	0 (0.0%)	13 (16.7%)	44 (56.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (24.4%)	2 (2.6%)	
	70歳代 (N=95)	割合	9 (9.5%)	44 (46.3%)	27 (28.4%)	5 (5.3%)	0 (0.0%)	7 (7.4%)	3 (3.2%)	2 (2.1%)	15 (15.8%)	36 (37.9%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	31 (32.6%)	10 (10.5%)	
	男性 (N=326)	割合	6 (1.8%)	101 (31.0%)	162 (49.7%)	22 (6.7%)	4 (1.2%)	23 (7.1%)	8 (2.5%)	2 (0.6%)	31 (9.5%)	199 (61.0%)	18 (5.5%)	1 (0.3%)	63 (19.3%)	12 (3.7%)	
		10歳代・20歳代 (N=48)	割合	0 (0.0%)	13 (27.1%)	24 (50.0%)	5 (10.4%)	0 (0.0%)	5 (10.4%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	3 (6.3%)	29 (60.4%)	8 (16.7%)	1 (2.1%)	6 (12.5%)	1 (2.1%)
		30歳代 (N=42)	割合	2 (4.8%)	10 (23.8%)	23 (54.8%)	5 (11.9%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	6 (14.3%)	29 (69.0%)	2 (4.8%)	0 (0.0%)	4 (9.5%)	0 (0.0%)
		40歳代 (N=41)	割合	1 (2.4%)	13 (31.7%)	21 (51.2%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	3 (7.3%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	5 (12.2%)	23 (56.1%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	10 (24.4%)	1 (2.4%)
		50歳代 (N=49)	割合	1 (2.0%)	16 (32.7%)	19 (38.8%)	4 (8.2%)	1 (2.0%)	6 (12.2%)	2 (4.1%)	0 (0.0%)	6 (12.2%)	31 (63.3%)	3 (6.1%)	0 (0.0%)	8 (16.3%)	1 (2.0%)
		60歳代 (N=63)	割合	1 (1.6%)	20 (31.7%)	34 (54.0%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	5 (7.9%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	5 (7.9%)	39 (61.9%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	14 (22.2%)	3 (4.8%)
		70歳代 (N=83)	割合	1 (1.2%)	29 (34.9%)	41 (49.4%)	5 (6.0%)	1 (1.2%)	3 (3.6%)	3 (3.6%)	0 (0.0%)	6 (7.2%)	48 (57.8%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	21 (25.3%)	6 (7.2%)

図表問2-10 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】(2/4)

	サンプル数	問2 あなたは、次にあげる①～⑦の分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近い番号を二つだけお選びください															
		③ 職場の中で							④ 政治の中で								
		優遇性の方が非常に	男性のり方が優遇さ	平等である	女性のり方が優遇さ	どちり方が優遇さ	優遇性の方が非常に	わからぬ	無回答	優遇性の方が非常に	男性のり方が優遇さ	平等である	女性のり方が優遇さ	どちり方が優遇さ	優遇性の方が非常に	わからぬ	無回答
総計 (N=780)	780	65 (8.3%)	298 (38.2%)	228 (29.2%)	46 (5.9%)	9 (1.2%)	109 (14.0%)	25 (3.2%)	262 (33.6%)	342 (43.8%)	63 (8.1%)	8 (1.0%)	1 (0.1%)	86 (11.0%)	18 (2.3%)		
性・年代別	女性 (N=449)	割合	43 (9.6%)	187 (41.6%)	112 (24.9%)	19 (4.2%)	3 (0.7%)	71 (15.8%)	14 (3.1%)	173 (38.5%)	204 (45.4%)	14 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	51 (11.4%)	7 (1.6%)	
		10歳代・20歳代 (N=72)	割合	6 (8.3%)	24 (33.3%)	12 (16.7%)	6 (8.3%)	1 (1.4%)	20 (27.8%)	3 (4.2%)	31 (43.1%)	28 (38.9%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (12.5%)	1 (1.4%)
	30歳代 (N=55)	割合	8 (14.5%)	22 (40.0%)	19 (34.5%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	4 (7.3%)	1 (1.8%)	21 (38.2%)	27 (49.1%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (10.9%)	0 (0.0%)	
	40歳代 (N=68)	割合	5 (7.4%)	28 (41.2%)	22 (32.4%)	6 (8.8%)	1 (1.5%)	6 (8.8%)	0 (0.0%)	26 (38.2%)	34 (50.0%)	3 (4.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (7.4%)	0 (0.0%)	
	50歳代 (N=80)	割合	8 (10.0%)	40 (50.0%)	21 (26.3%)	2 (2.5%)	1 (1.3%)	8 (10.0%)	0 (0.0%)	38 (47.5%)	35 (43.8%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (7.5%)	0 (0.0%)	
	60歳代 (N=78)	割合	7 (9.0%)	36 (46.2%)	23 (29.5%)	2 (2.6%)	0 (0.0%)	8 (10.3%)	2 (2.6%)	27 (34.6%)	42 (53.8%)	2 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (9.0%)	0 (0.0%)	
	70歳代 (N=95)	割合	9 (9.5%)	37 (38.9%)	15 (15.8%)	2 (2.1%)	0 (0.0%)	25 (26.3%)	7 (7.4%)	30 (31.6%)	38 (40.0%)	4 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (18.9%)	5 (5.3%)	
	男性 (N=326)	割合	22 (6.7%)	110 (33.7%)	115 (35.3%)	27 (8.3%)	6 (1.8%)	38 (11.7%)	8 (2.5%)	89 (27.3%)	136 (41.7%)	49 (15.0%)	8 (2.5%)	1 (0.3%)	35 (10.7%)	8 (2.5%)	
		10歳代・20歳代 (N=48)	割合	4 (8.3%)	10 (20.8%)	13 (27.1%)	5 (10.4%)	2 (4.2%)	13 (27.1%)	1 (2.1%)	19 (39.6%)	10 (20.8%)	10 (20.8%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	7 (14.6%)	1 (2.1%)
		30歳代 (N=42)	割合	5 (11.9%)	17 (40.5%)	10 (23.8%)	5 (11.9%)	4 (9.5%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	17 (40.5%)	16 (38.1%)	3 (7.1%)	2 (4.8%)	0 (0.0%)	4 (9.5%)	0 (0.0%)
		40歳代 (N=41)	割合	4 (9.8%)	6 (14.6%)	20 (48.8%)	7 (17.1%)	0 (0.0%)	3 (7.3%)	1 (2.4%)	12 (29.3%)	18 (43.9%)	3 (7.3%)	2 (4.9%)	1 (2.4%)	3 (7.3%)	2 (4.9%)
		50歳代 (N=49)	割合	2 (4.1%)	15 (30.6%)	23 (46.9%)	6 (12.2%)	0 (0.0%)	2 (4.1%)	1 (2.0%)	9 (18.4%)	25 (51.0%)	9 (18.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (10.2%)	1 (2.0%)
		60歳代 (N=63)	割合	2 (3.2%)	30 (47.6%)	24 (38.1%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	4 (6.3%)	1 (1.6%)	19 (30.2%)	27 (42.9%)	11 (17.5%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	4 (6.3%)	1 (1.6%)
		70歳代 (N=83)	割合	5 (6.0%)	32 (38.6%)	25 (30.1%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	15 (18.1%)	4 (4.8%)	13 (15.7%)	40 (48.2%)	13 (15.7%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	12 (14.5%)	3 (3.6%)

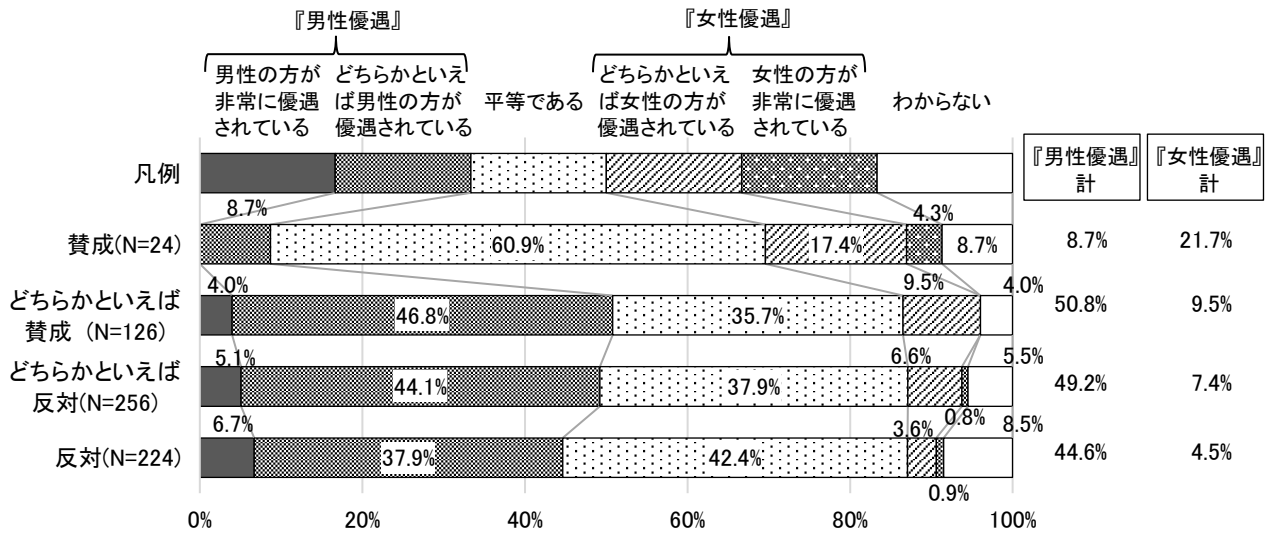
図表問2-11 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】(3/4)

		サンプル数	問2 あなたは、次にあげる①～⑦の分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近い番号を <u>一つ</u> だけお選びください															
			⑤ 法律や制度で							⑥ 地域社会の中で								
			優男性の立場が非常に優れている	男性の立場が優れている	平等である	女性の立場が優れている	女性の立場が非常に優れている	わからない	無回答	優男性の立場が非常に優れている	男性の立場が優れている	平等である	女性の立場が優れている	女性の立場が非常に優れている	わからない	無回答		
総計 (N=780)		780	70	252	233	51	6	147	21	83	315	208	27	6	122	19		
		割合	100.0%	9.0%	32.3%	29.9%	6.5%	0.8%	18.8%	2.7%	10.6%	40.4%	26.7%	3.5%	0.8%	15.6%	2.4%	
性・年代別	女性 (N=449)	449	50	176	88	26	0	98	11	63	198	80	14	1	83	10		
			割合	100.0%	11.1%	39.2%	19.6%	5.8%	0.0%	21.8%	2.4%	14.0%	44.1%	17.8%	3.1%	0.2%	18.5%	2.2%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72	8	16	18	9	0	20	1	9	21	20	1	0	19	2		
			割合	100.0%	11.1%	22.2%	25.0%	12.5%	0.0%	27.8%	1.4%	12.5%	29.2%	27.8%	1.4%	0.0%	26.4%	2.8%
	30歳代 (N=55)	55	7	24	8	4	0	11	1	7	17	9	3	1	17	1		
			割合	100.0%	12.7%	43.6%	14.5%	7.3%	0.0%	20.0%	1.8%	12.7%	30.9%	16.4%	5.5%	1.8%	30.9%	1.8%
	40歳代 (N=68)	68	8	29	15	6	0	10	0	9	38	11	2	0	8	0		
			割合	100.0%	11.8%	42.6%	22.1%	8.8%	0.0%	14.7%	0.0%	13.2%	55.9%	16.2%	2.9%	0.0%	11.8%	0.0%
	50歳代 (N=80)	80	12	35	13	3	0	15	2	15	41	7	2	0	14	1		
			割合	100.0%	15.0%	43.8%	16.3%	3.8%	0.0%	18.8%	2.5%	18.8%	51.3%	8.8%	2.5%	0.0%	17.5%	1.3%
	60歳代 (N=78)	78	8	36	18	1	0	14	1	12	39	14	4	0	9	0		
			割合	100.0%	10.3%	46.2%	23.1%	1.3%	0.0%	17.9%	1.3%	15.4%	50.0%	17.9%	5.1%	0.0%	11.5%	0.0%
	70歳代 (N=95)	95	7	36	16	3	0	28	5	11	42	19	2	0	16	5		
			割合	100.0%	7.4%	37.9%	16.8%	3.2%	0.0%	29.5%	5.3%	11.6%	44.2%	20.0%	2.1%	0.0%	16.8%	5.3%
男性 (N=326)	326	20	75	144	25	6	49	7	20	115	128	13	5	39	6			
		割合	100.0%	6.1%	23.0%	44.2%	7.7%	1.8%	15.0%	2.1%	6.1%	35.3%	39.3%	4.0%	1.5%	12.0%	1.8%	
10歳代・20歳代 (N=48)	48	2	7	19	7	1	11	1	1	13	19	3	2	10	0			
		割合	100.0%	4.2%	14.6%	39.6%	14.6%	2.1%	22.9%	2.1%	2.1%	27.1%	39.6%	6.3%	4.2%	20.8%	0.0%	
30歳代 (N=42)	42	2	9	15	9	1	6	0	3	14	18	1	1	5	0			
		割合	100.0%	4.8%	21.4%	35.7%	21.4%	2.4%	14.3%	0.0%	7.1%	33.3%	42.9%	2.4%	2.4%	11.9%	0.0%	
40歳代 (N=41)	41	5	5	20	1	3	6	1	4	11	16	2	2	6	0			
		割合	100.0%	12.2%	12.2%	48.8%	2.4%	7.3%	14.6%	2.4%	9.8%	26.8%	39.0%	4.9%	4.9%	14.6%	0.0%	
50歳代 (N=49)	49	4	14	22	2	1	5	1	4	13	22	3	0	6	1			
		割合	100.0%	8.2%	28.6%	44.9%	4.1%	2.0%	10.2%	2.0%	8.2%	26.5%	44.9%	6.1%	0.0%	12.2%	2.0%	
60歳代 (N=63)	63	5	16	30	3	0	8	1	4	30	22	1	0	5	1			
		割合	100.0%	7.9%	25.4%	47.6%	4.8%	0.0%	12.7%	1.6%	6.3%	47.6%	34.9%	1.6%	0.0%	7.9%	1.6%	
70歳代 (N=83)	83	2	24	38	3	0	13	3	4	34	31	3	0	7	4			
		割合	100.0%	2.4%	28.9%	45.8%	3.6%	0.0%	15.7%	3.6%	4.8%	41.0%	37.3%	3.6%	0.0%	8.4%	4.8%	

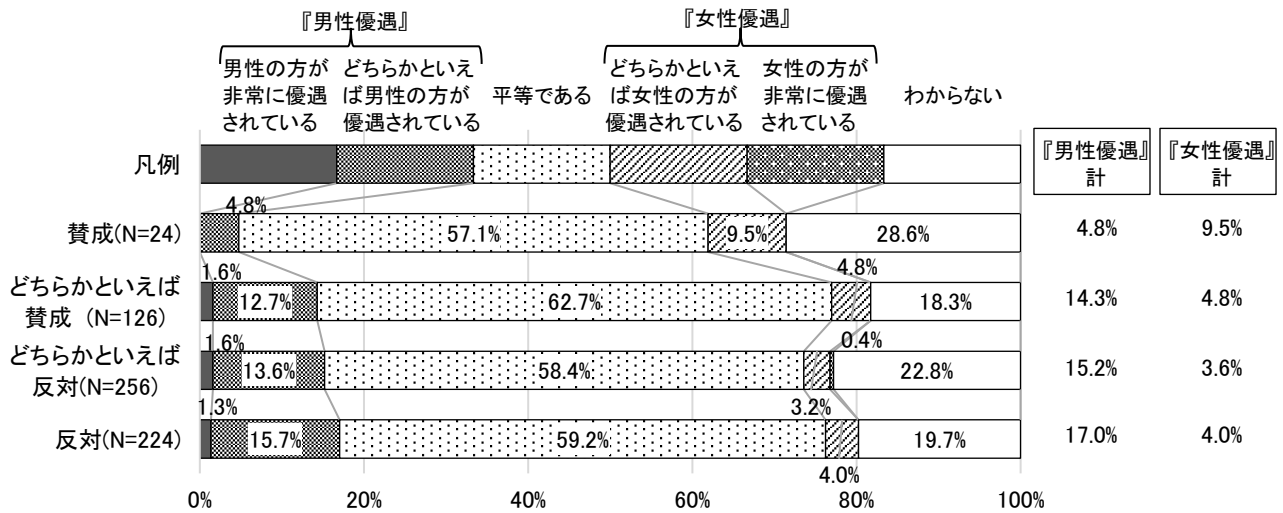
図表問2-12 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】(4/4)

		サンプル数	問2 あなたは、次にあげる①～⑦の分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近い番号を <u>一つ</u> だけお選びください								
			⑦ 社会通念や慣習・しきたりなどで								
			優男性の立場が非常に優れている	男性の立場が優れている	平等である	女性の立場が優れている	女性の立場が非常に優れている	わからない	無回答		
総計 (N=780)		780	165	411	81	14	4	87	18		
		割合	100.0%	21.2%	52.7%	10.4%	1.8%	0.5%	11.2%	2.3%	
性・年代別	女性 (N=449)	449	111	246	25	7	1	51	8		
			割合	100.0%	24.7%	54.8%	5.6%	1.6%	0.2%	11.4%	1.8%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72	15	33	6	3	0	14	1		
			割合	100.0%	20.8%	45.8%	8.3%	4.2%	0.0%	19.4%	1.4%
	30歳代 (N=55)	55	13	31	3	2	0	5	1		
			割合	100.0%	23.6%	56.4%	5.5%	3.6%	0.0%	9.1%	1.8%
	40歳代 (N=68)	68	21	39	3	1	0	4	0		
			割合	100.0%	30.9%	57.4%	4.4%	1.5%	0.0%	5.9%	0.0%
	50歳代 (N=80)	80	28	47	0	0	0	4	1		
			割合	100.0%	35.0%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	1.3%
	60歳代 (N=78)	78	18	49	4	0	0	7	0		
			割合	100.0%	23.1%	62.8%	5.1%	0.0%	0.0%	9.0%	0.0%
	70歳代 (N=95)	95	16	47	9	1	1	17	4		
			割合	100.0%	16.8%	49.5%	9.5%	1.1%	1.1%	17.9%	4.2%
男性 (N=326)	326	54	163	56	7	3	36	7			
		割合	100.0%	16.6%	50.0%	17.2%	2.1%	0.9%	11.0%	2.1%	
10歳代・20歳代 (N=48)	48	7	21	9	2	0	8	1			
		割合	100.0%	14.6%	43.8%	18.8%	4.2%	0.0%	16.7%	2.1%	
30歳代 (N=42)	42	10	18	8	2	1	3	0			
		割合	100.0%	23.8%	42.9%	19.0%	4.8%	2.4%	7.1%	0.0%	
40歳代 (N=41)	41	9	18	5	1	2	5	1			
		割合	100.0%	22.0%	43.9%	12.2%	2.4%	4.9%	12.2%	2.4%	
50歳代 (N=49)	49	7	26	9	2	0	4	1			
		割合	100.0%	14.3%	53.1%	18.4%	4.1%	0.0%	8.2%	2.0%	
60歳代 (N=63)	63	9	34	12	0	0	7	1			
		割合	100.0%	14.3%	54.0%	19.0%	0.0%	0.0%	11.1%	1.6%	
70歳代 (N=83)	83	12	46	13	0	0	9	3			
		割合	100.0%	14.5%	55.4%	15.7%	0.0%	0.0%	10.8%	3.6%	

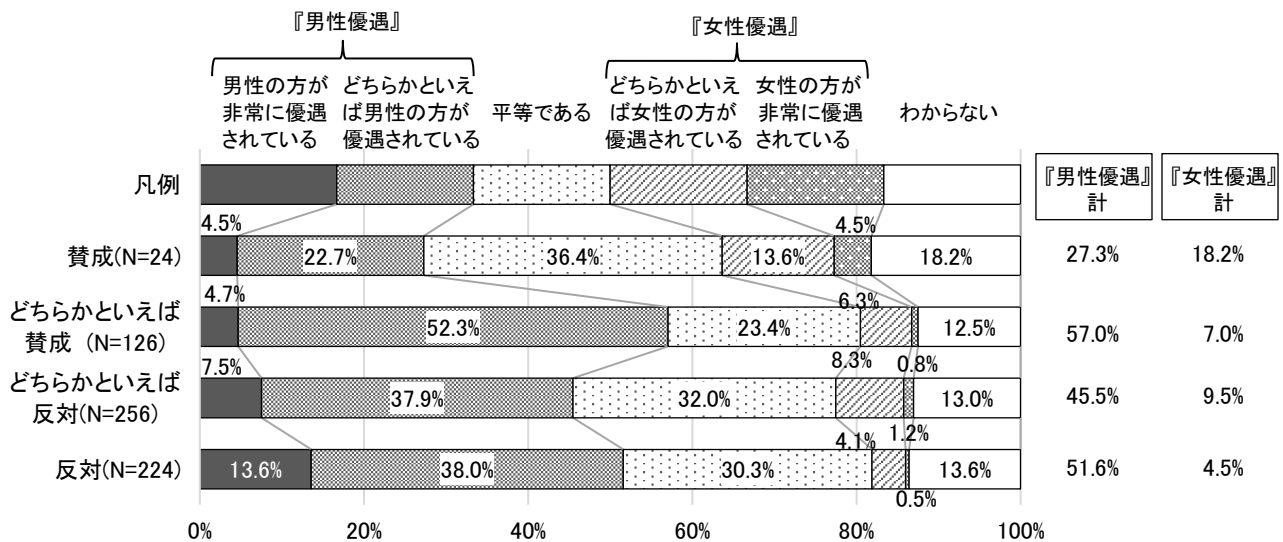
図表問2-13 各分野の男女の地位の平等感 **家庭の中で** 『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方別



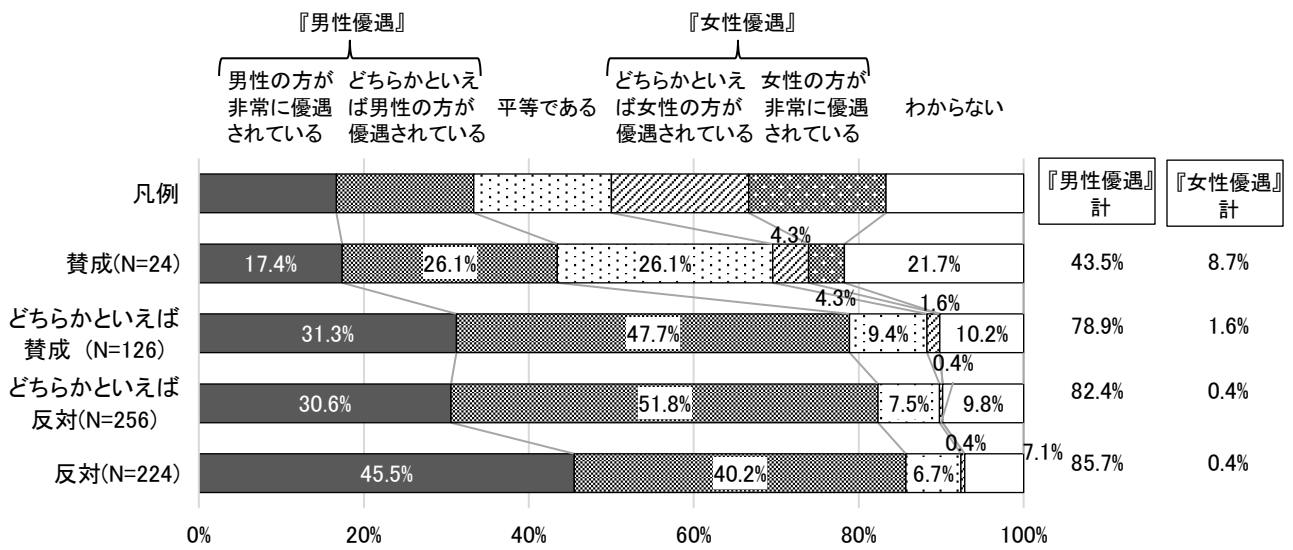
図表問2-14 各分野の男女の地位の平等感 **学校教育の中で** 『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方別



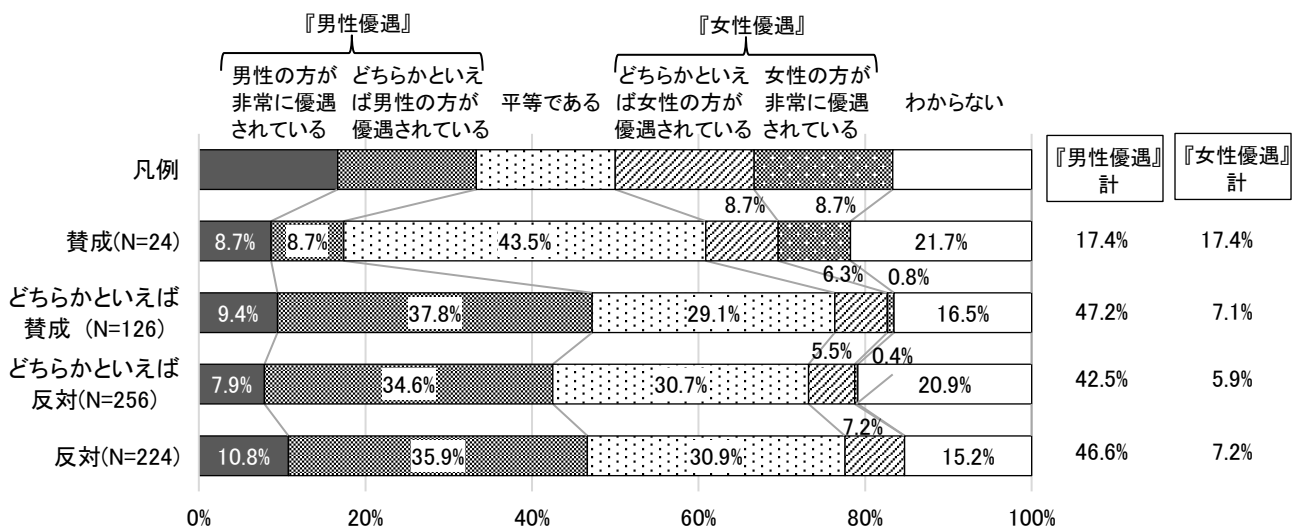
図表問2-15 各分野の男女の地位の平等感 **職場の中で** 『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方別



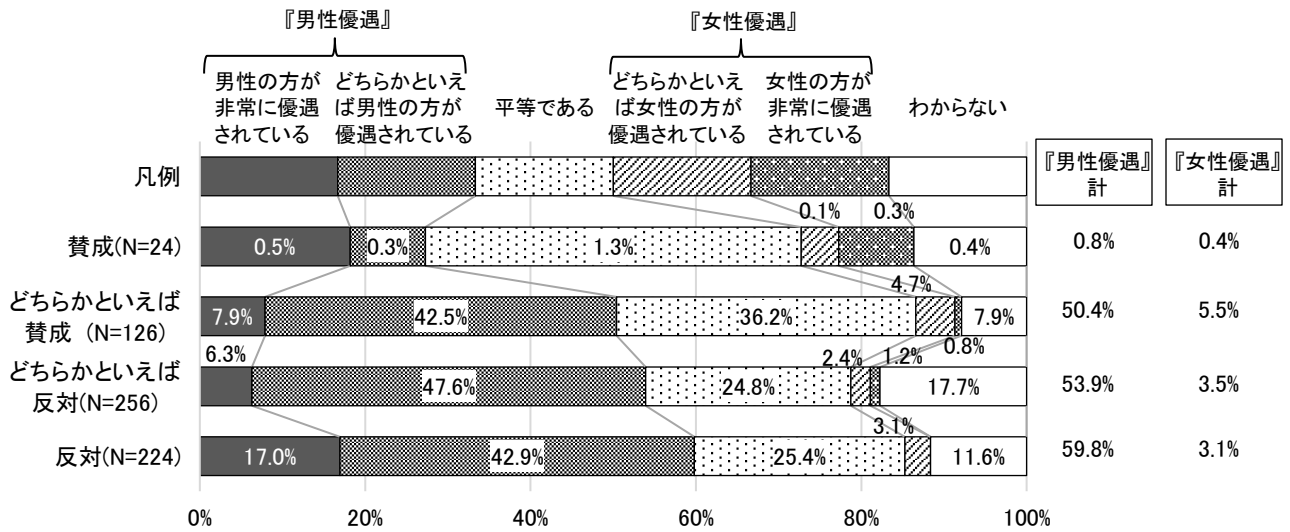
図表問2-16 各分野の男女の地位の平等感 **政治の中で** 『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方別



図表問2-17 各分野の男女の地位の平等感 **法律や制度の中で** 『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方別

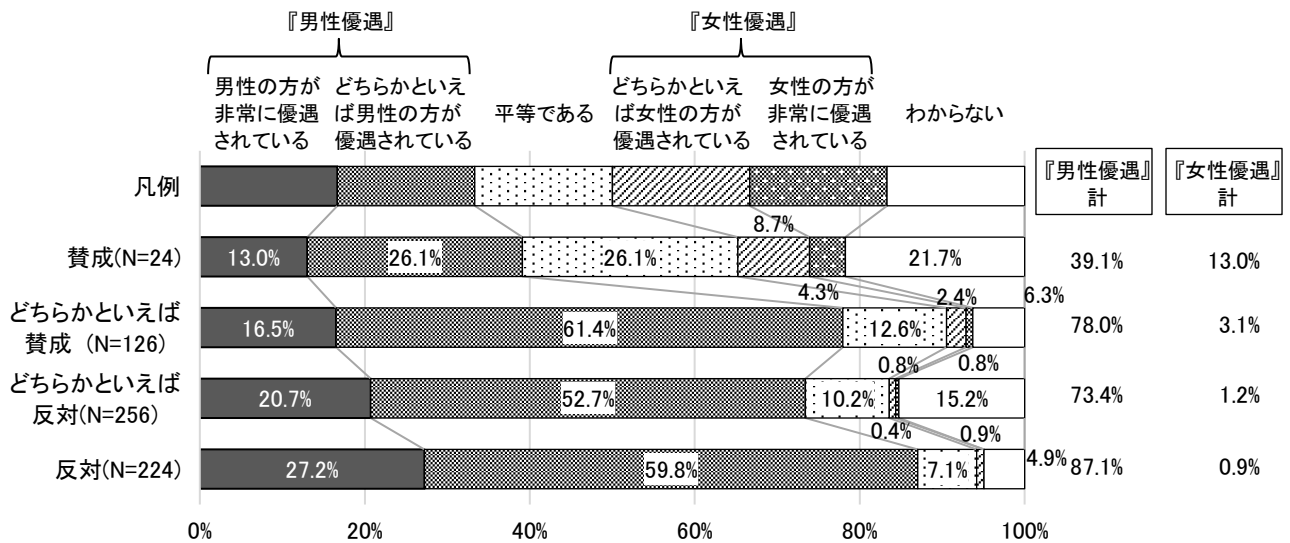


図表問2-18 各分野の男女の地位の平等感 **地域社会の中で** 『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方別

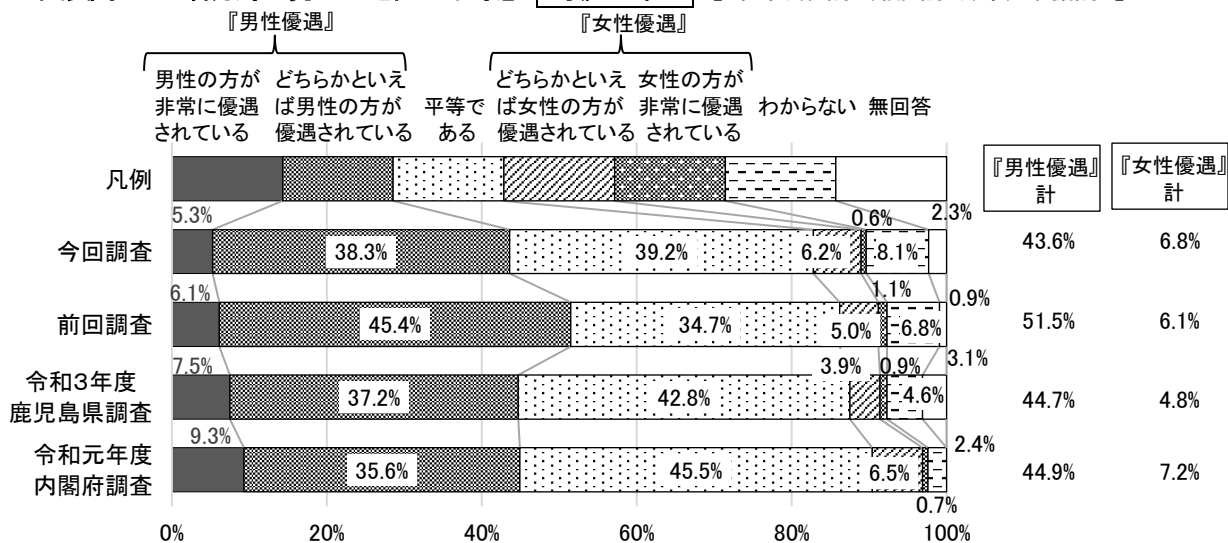


図表問2-19 各分野の男女の地位の平等感 **社会通念や慣習・しきたりなどで**

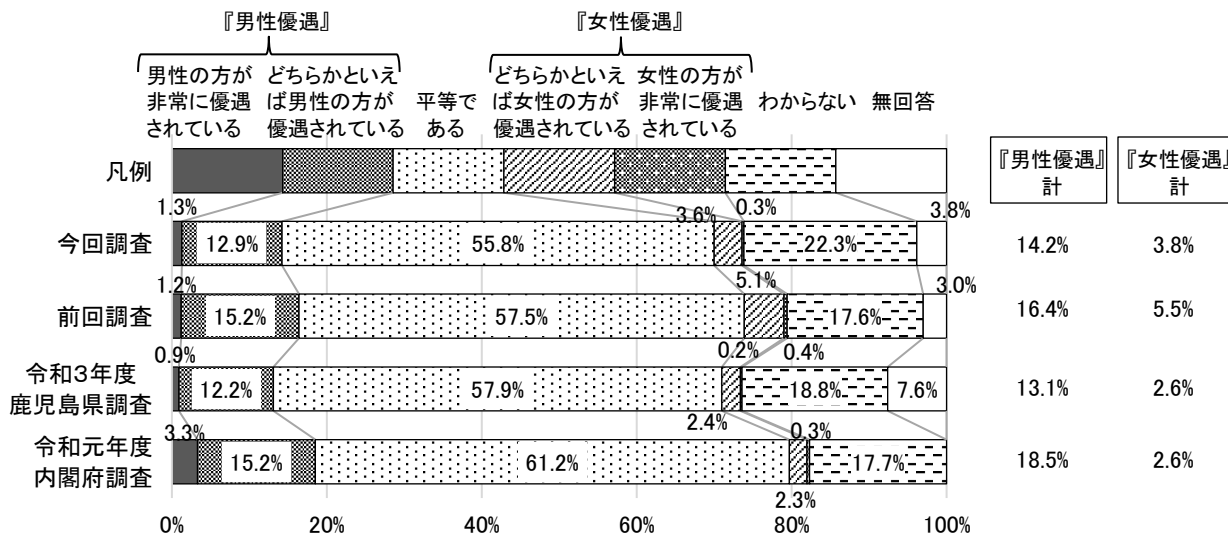
『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方別



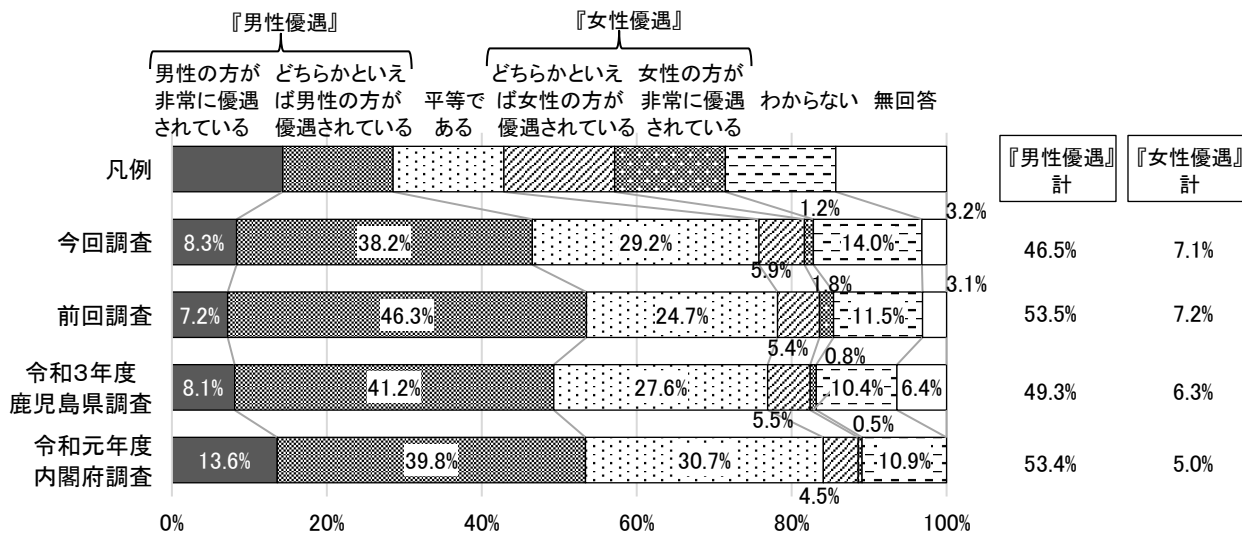
図表問2-20 各分野の男女の地位の平等感 **家庭の中で** 【日置市(今回調査、前回調査)、県、内閣府調査】



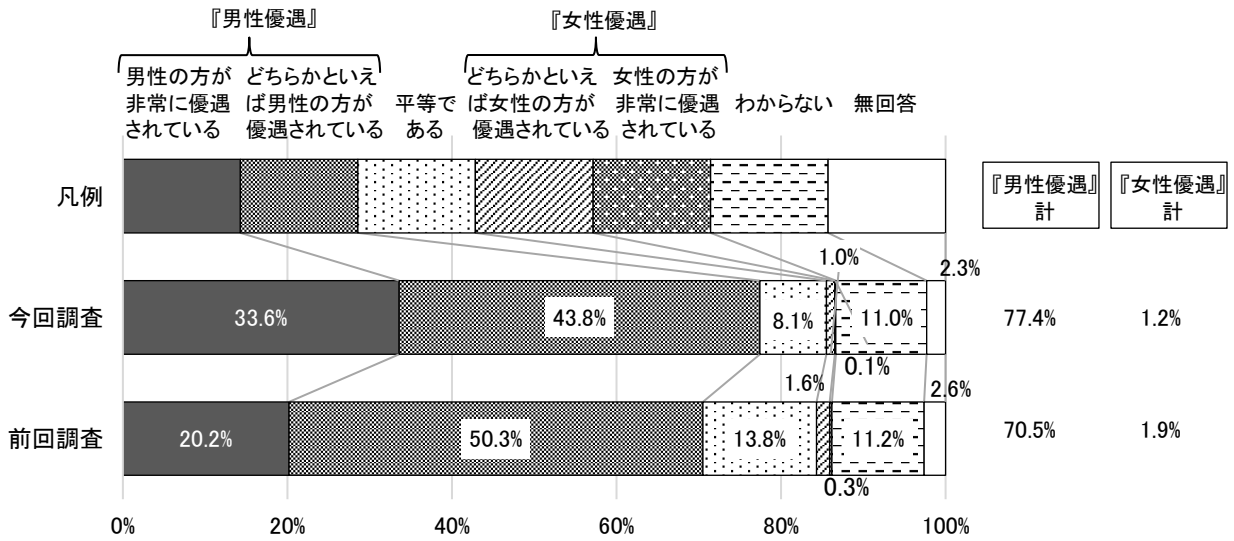
図表問2-21 各分野の男女の地位の平等感 **学校教育の中で** 【日置市(今回調査、前回調査)、県、内閣府調査】



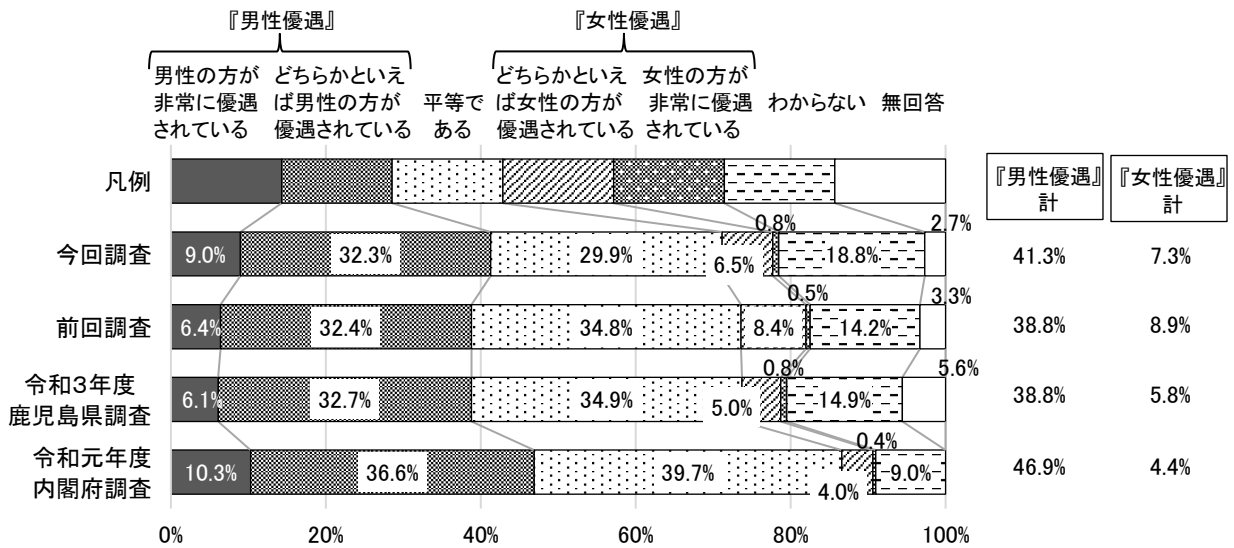
図表問2-22 各分野の男女の地位の平等感 **職場の中で** 【日置市(今回調査、前回調査)、県、内閣府調査】



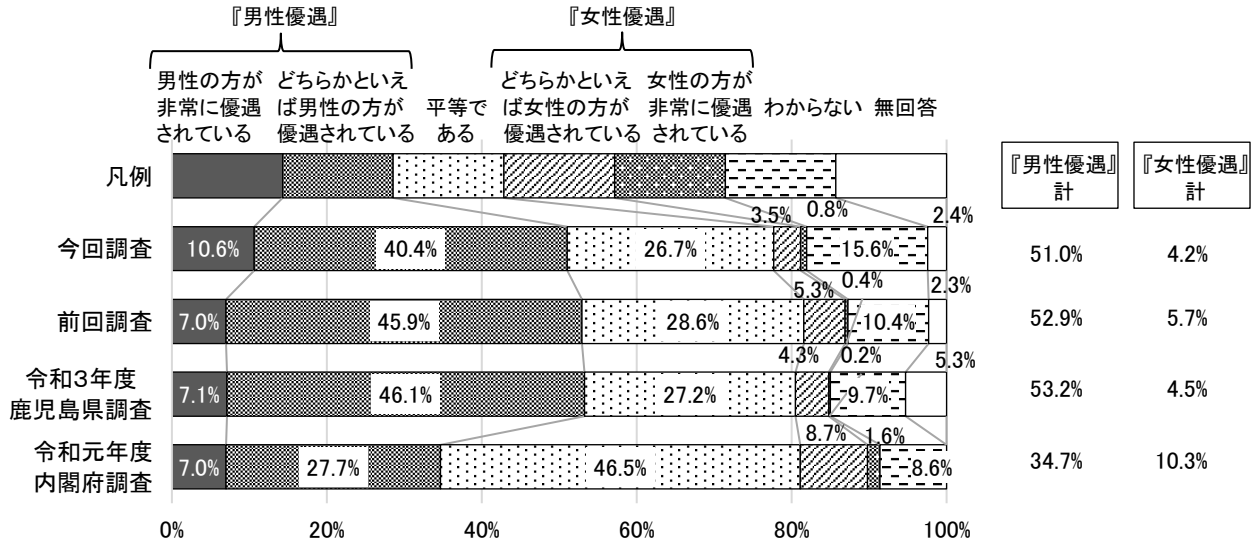
図表問2-23 各分野の男女の地位の平等感 **政治の中で** 【日置市(今回調査、前回調査)】



図表問2-24 各分野の男女の地位の平等感 **法律や制度で** 【日置市(今回調査、前回調査)、県、内閣府調査】

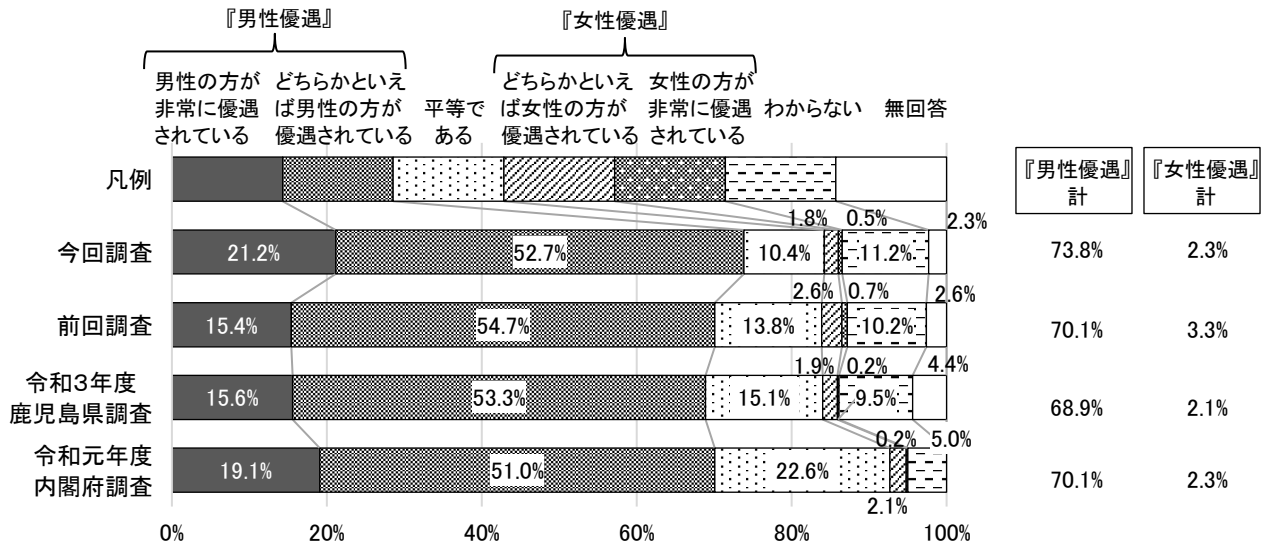


図表問2-25 各分野の男女の地位の平等感 **地域社会の中で** 【日置市(今回調査、前回調査)、県、内閣府調査】



図表問2-26 各分野の男女の地位の平等感 **社会通念や慣習・しきたりなどで**

【日置市(今回調査、前回調査)、県、内閣府調査】



【問3】社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇は1つ)

【全体】

社会全体でみた男女の地位の平等感についてみると、「平等である」と回答した割合は11.3%にとどまり、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が71.5%と『女性優遇』（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」+「女性の方が非常に優遇されている」）の4.6%を大きく上回った。

【性別、性・年代別】

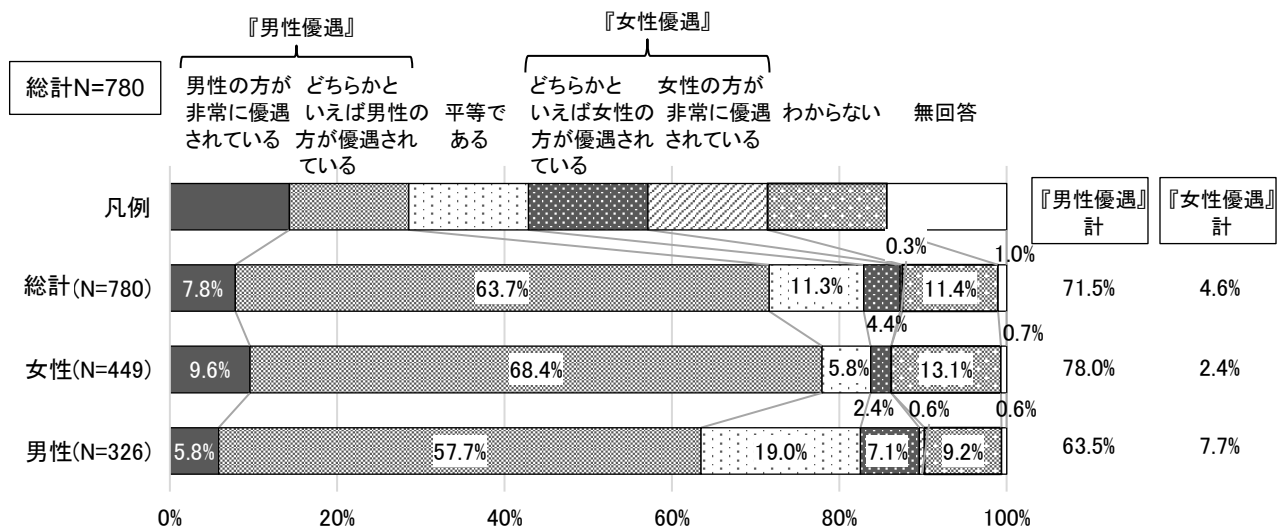
性別でみると、「平等である」と回答した割合は、男性が19.0%で女性の5.8%を13.2ポイント上回っている。また、女性の方が男性より『男性優遇』の割合が高く、78.0%となり、男性を14.5ポイント上回った。

性・年代別でみると、女性は「平等である」と回答した割合が、10歳代・20歳代及び70歳代で8%を上回ったものの、30歳代では1.8%（1人）しかいない。『男性優遇』の割合が高いのは、女性の50歳代及び60歳代で80%を超える水準となっている。

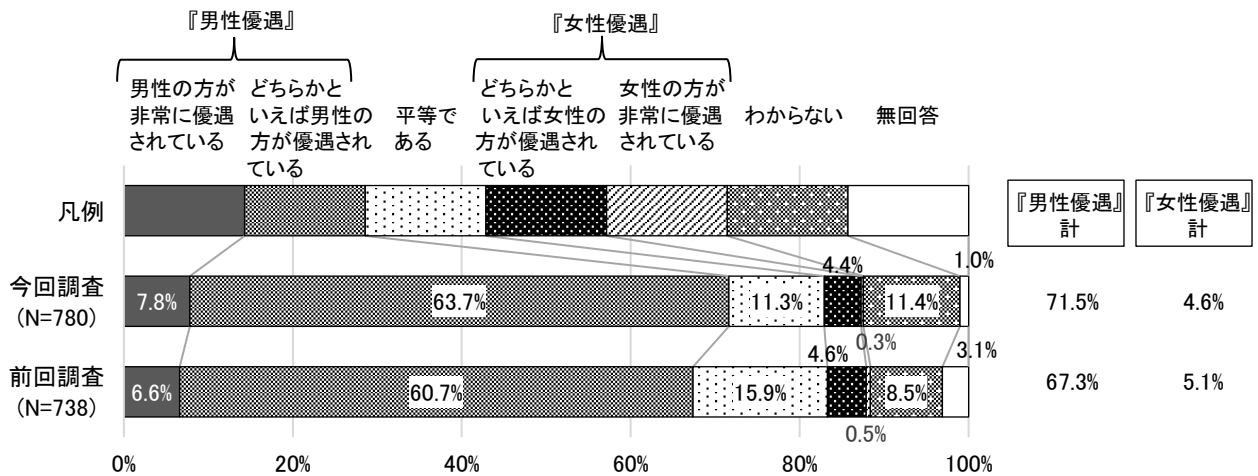
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「平等である」と回答した割合は、11.3%で前回調査を4.6ポイント下回った。逆に、『男性優遇』の割合は、71.5%と前回調査を4.2ポイント上回った。

図表問3-1 社会全体でみた男女の地位の平等感【総計・性別】



図表問3-2 社会全体でみた男女の地位の平等感【日置市(今回調査、前回調査)】



図表問3-3 社会全体でみた男女の地位の平等感【性・年代別】

		問3 社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は1つ)							
		優遇さのれ方がい非常に	男性のり方がと優い遇えさば	どちらのり方がと優い遇えさば	優遇さのれ方がい非常に	平等である	わからない	無回答	
総計 (N=780)		780	62	497	34	2	88	89	8
割合		100.0%	7.9%	63.7%	4.4%	0.3%	11.3%	11.4%	1.0%
性・年代別	女性 (N=449)	449	43	307	11	0	26	59	3
	割合	100.0%	9.6%	68.4%	2.4%	0.0%	5.8%	13.1%	0.7%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72	5	47	4	0	6	10	0
	割合	100.0%	6.9%	65.3%	5.6%	0.0%	8.3%	13.9%	0.0%
	30歳代 (N=55)	55	7	36	2	0	1	9	0
	割合	100.0%	12.7%	65.5%	3.6%	0.0%	1.8%	16.4%	0.0%
	40歳代 (N=68)	68	7	43	3	0	4	11	0
	割合	100.0%	10.3%	63.2%	4.4%	0.0%	5.9%	16.2%	0.0%
	50歳代 (N=80)	80	9	59	0	0	3	9	0
	割合	100.0%	11.3%	73.8%	0.0%	0.0%	3.8%	11.3%	0.0%
	60歳代 (N=78)	78	7	59	1	0	4	6	1
	割合	100.0%	9.0%	75.6%	1.3%	0.0%	5.1%	7.7%	1.3%
	70歳代 (N=95)	95	8	62	1	0	8	14	2
	割合	100.0%	8.4%	65.3%	1.1%	0.0%	8.4%	14.7%	2.1%
男性 (N=326)	326	19	188	23	2	62	30	2	
割合	100.0%	5.8%	57.7%	7.1%	0.6%	19.0%	9.2%	0.6%	
10歳代・20歳代 (N=48)	48	3	22	7	0	7	9	0	
割合	100.0%	6.3%	45.8%	14.6%	0.0%	14.6%	18.8%	0.0%	
30歳代 (N=42)	42	1	22	8	1	9	1	0	
割合	100.0%	2.4%	52.4%	19.0%	2.4%	21.4%	2.4%	0.0%	
40歳代 (N=41)	41	3	21	3	1	8	5	0	
割合	100.0%	7.3%	51.2%	7.3%	2.4%	19.5%	12.2%	0.0%	
50歳代 (N=49)	49	3	30	2	0	11	3	0	
割合	100.0%	6.1%	61.2%	4.1%	0.0%	22.4%	6.1%	0.0%	
60歳代 (N=63)	63	5	41	2	0	8	7	0	
割合	100.0%	7.9%	65.1%	3.2%	0.0%	12.7%	11.1%	0.0%	
70歳代 (N=83)	83	4	52	1	0	19	5	2	
割合	100.0%	4.8%	62.7%	1.2%	0.0%	22.9%	6.0%	2.4%	

【問4】 問3で、「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。その主な原因はどこにあると思いますか。(〇は3つまで)

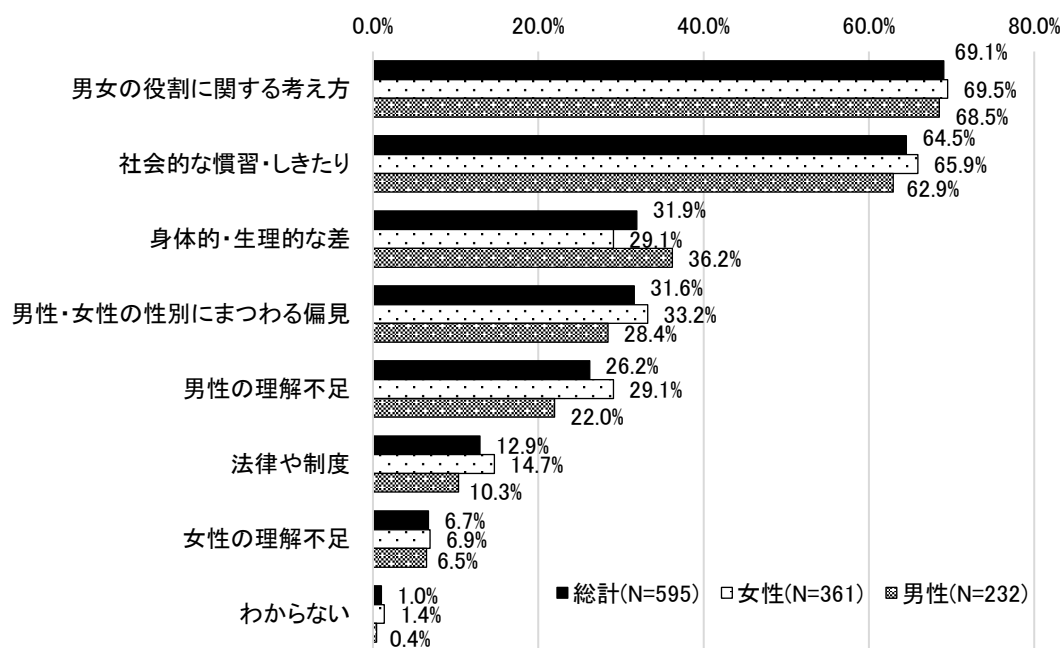
【全体】

『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）、『女性優遇』（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」+「女性の方が非常に優遇されている」）を選択した方々の思う主な原因は、「男女の役割に関する考え方」（69.1%）、「社会的な慣習・しきたり」（64.5%）の順で、半数以上の方が回答した。

【性別、性・年代別】

性別でも全体と同様の傾向だが、性・年代別には、「社会的な慣習・しきたり」と回答した割合が、50歳代の女性（77.9%）、70歳代の男性（70.2%）で最も高い割合となり、他の年代と違いがみられた。

図表問4-1 社会全体でみた『男性優遇』『女性優遇』と回答した主な原因【総計・性別】



図表問4-2 社会全体でみた『男性優遇』『女性優遇』と回答した主な原因【性・年代別】

		回答総数	問4 問3で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。その主な原因はどこにあると思いますか。(〇は3つまで)								
			する女 考の え役 方割 に 関	な身 差体的 ・ 生理的	見別 に性 ま・ つ女 わ性 るの 偏性	し社 会的 た りな 慣習 ・	女 性の 理 解 不 足	男 性の 理 解 不 足	法 律 や 制 度	わ か ら な い	
総計 (N=595)		1,452	411	190	188	384	40	156	77	6	
		割合	-	69.1%	31.9%	31.6%	64.5%	6.7%	26.2%	12.9%	1.0%
性・年代別	女性 (N=361)	902	251	105	120	238	25	105	53	5	
		割合	-	69.5%	29.1%	33.2%	65.9%	6.9%	29.1%	14.7%	1.4%
	10歳代・20歳代 (N=56)	137	38	18	23	30	8	13	5	2	
		割合	-	67.9%	32.1%	41.1%	53.6%	14.3%	23.2%	8.9%	3.6%
	30歳代 (N=45)	117	34	11	19	27	1	14	10	1	
		割合	-	75.6%	24.4%	42.2%	60.0%	2.2%	31.1%	22.2%	2.2%
	40歳代 (N=53)	143	42	16	17	39	3	15	10	1	
		割合	-	79.2%	30.2%	32.1%	73.6%	5.7%	28.3%	18.9%	1.9%
	50歳代 (N=68)	166	40	21	20	53	5	15	12	0	
		割合	-	58.8%	30.9%	29.4%	77.9%	7.4%	22.1%	17.6%	0.0%
	60歳代 (N=67)	166	46	18	23	43	3	23	10	0	
		割合	-	68.7%	26.9%	34.3%	64.2%	4.5%	34.3%	14.9%	0.0%
	70歳代 (N=71)	172	51	21	18	46	5	25	5	1	
		割合	-	71.8%	29.6%	25.4%	64.8%	7.0%	35.2%	7.0%	1.4%
	男性 (N=232)	546	159	84	66	146	15	51	24	1	
		割合	-	68.5%	36.2%	28.4%	62.9%	6.5%	22.0%	10.3%	0.4%
	10歳代・20歳代 (N=32)	75	20	10	12	19	2	8	4	0	
		割合	-	62.5%	31.3%	37.5%	59.4%	6.3%	25.0%	12.5%	0.0%
	30歳代 (N=32)	75	23	11	12	21	3	4	1	0	
		割合	-	71.9%	34.4%	37.5%	65.6%	9.4%	12.5%	3.1%	0.0%
	40歳代 (N=28)	64	18	9	6	14	5	6	6	0	
		割合	-	64.3%	32.1%	21.4%	50.0%	17.9%	21.4%	21.4%	0.0%
	50歳代 (N=35)	82	24	14	10	20	1	8	4	1	
		割合	-	68.6%	40.0%	28.6%	57.1%	2.9%	22.9%	11.4%	2.9%
	60歳代 (N=48)	123	38	20	14	32	1	11	7	0	
		割合	-	79.2%	41.7%	29.2%	66.7%	2.1%	22.9%	14.6%	0.0%
	70歳代 (N=57)	127	36	20	12	40	3	14	2	0	
		割合	-	63.2%	35.1%	21.1%	70.2%	5.3%	24.6%	3.5%	0.0%

【問5】あなたは女性が、議会議員や地域活動の役員になって、政策企画立案や方針決定の場に女性の意見が反映されるようになってほしいと思いますか。(〇は1つ)

【全体】

女性が、議会議員や地域活動の役員になって、政策企画立案や方針決定の場に女性の意見が反映されるようになってほしいと思うか尋ねたところ、全体では、肯定的(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)な回答が86.3%と大半を占め、否定的(「そう思わない」+「どちらかといえば思わない」)な回答(6.3%)を大きく上回った。

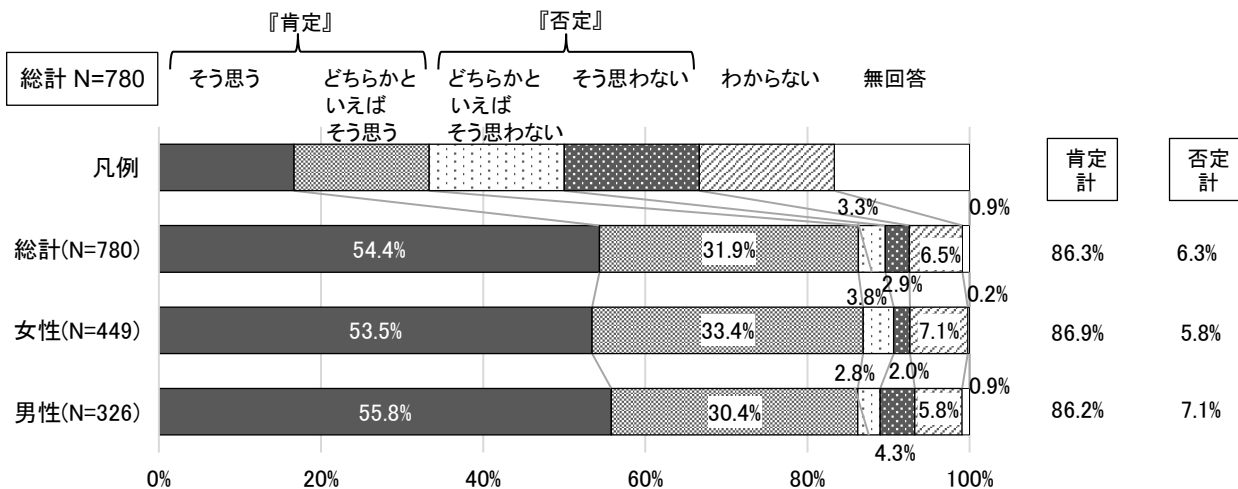
【性別、性・年代別】

性別でも男女同様の結果となった。性・年代別には、30歳代女性で肯定的な回答が92.7%となり、他の年代より高い割合となっている。概ね、肯定的な回答が多い中、相対的に40歳代(女性79.4%、男性80.5%)では、他の年代より低い傾向がみられた。

【前回調査との比較】

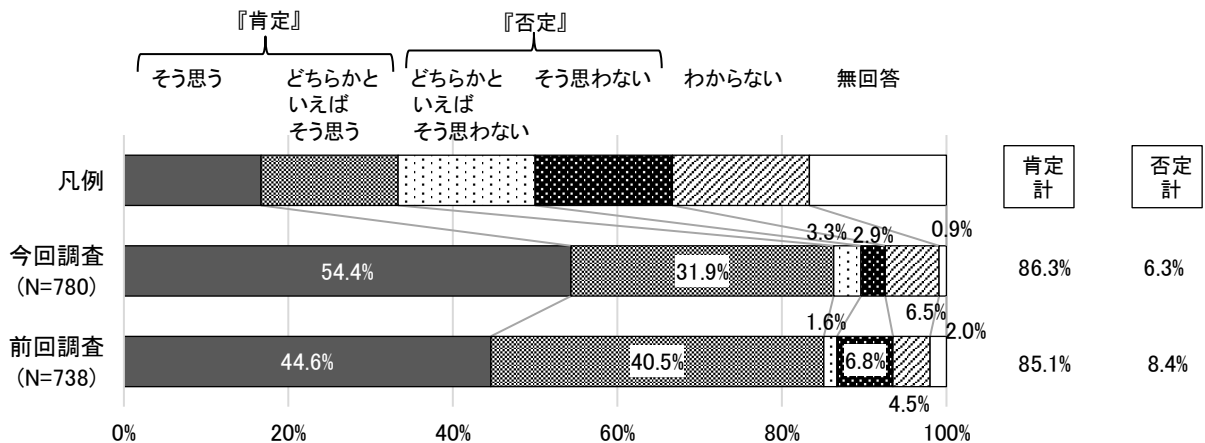
前回調査と比較すると、肯定的な割合が1.2ポイント増加し、否定的な割合が2.1ポイント低下した。

図表問5-1 女性が議員等になって、政策立案等に女性の意見が反映されるようになってほしいと思うか【総計・性別】



図表問5-2 女性が議員等になって、政策立案等に女性の意見が反映されるようになってほしいと思うか

【日置市(今回調査、前回調査)】



図表問5-3 女性が議員等になって、政策立案等に女性の意見が反映されるようになれば
いいと思うか【性・年代別】

			問5 あなたは女性が、議会議員や地域活動の役員になって、政策企画立案や方針決定の場に女性の意見が反映されるようになればいいと思いますか。(○は1つ)					無回答	
			そう思う	そど う 思 ら う か と い え ば	そど う 思 ら わ か た い え ば	そう 思 わ な い	わ か ら な い		
総計 (N=780)		780	424	249	26	23	51	7	
		割合	100.0%	54.4%	31.9%	3.3%	2.9%	6.5%	0.9%
性・年代別	女性 (N=449)	449	240	150	17	9	32	1	
		割合	100.0%	53.5%	33.4%	3.8%	2.0%	7.1%	0.2%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72	41	22	4	0	5	0	
		割合	100.0%	56.9%	30.6%	5.6%	0.0%	6.9%	0.0%
	30歳代 (N=55)	55	27	24	1	0	3	0	
		割合	100.0%	49.1%	43.6%	1.8%	0.0%	5.5%	0.0%
	40歳代 (N=68)	68	33	21	2	2	10	0	
		割合	100.0%	48.5%	30.9%	2.9%	2.9%	14.7%	0.0%
	50歳代 (N=80)	80	47	24	1	1	7	0	
		割合	100.0%	58.8%	30.0%	1.3%	1.3%	8.8%	0.0%
	60歳代 (N=78)	78	45	25	3	2	3	0	
		割合	100.0%	57.7%	32.1%	3.8%	2.6%	3.8%	0.0%
	70歳代 (N=95)	95	46	34	6	4	4	1	
		割合	100.0%	48.4%	35.8%	6.3%	4.2%	4.2%	1.1%
男性 (N=326)	326	182	99	9	14	19	3		
	割合	100.0%	55.8%	30.4%	2.8%	4.3%	5.8%	0.9%	
10歳代・20歳代 (N=48)	48	29	13	1	1	4	0		
	割合	100.0%	60.4%	27.1%	2.1%	2.1%	8.3%	0.0%	
30歳代 (N=42)	42	26	11	0	3	2	0		
	割合	100.0%	61.9%	26.2%	0.0%	7.1%	4.8%	0.0%	
40歳代 (N=41)	41	23	10	4	2	2	0		
	割合	100.0%	56.1%	24.4%	9.8%	4.9%	4.9%	0.0%	
50歳代 (N=49)	49	23	21	1	1	3	0		
	割合	100.0%	46.9%	42.9%	2.0%	2.0%	6.1%	0.0%	
60歳代 (N=63)	63	36	20	1	2	4	0		
	割合	100.0%	57.1%	31.7%	1.6%	3.2%	6.3%	0.0%	
70歳代 (N=83)	83	45	24	2	5	4	3		
	割合	100.0%	54.2%	28.9%	2.4%	6.0%	4.8%	3.6%	

【問6】あなたは、今後社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、何が最も重要だと思いますか。
(〇は1つ)

【全体】

今後社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、何が最も重要だと思うか尋ねたところ、「女性や男性の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(34.4%)と回答した割合が最も高く、次いで「女性が働くことや社会で活躍することを支援する施設やサービスの充実を図ること」(21.3%)の順となった。

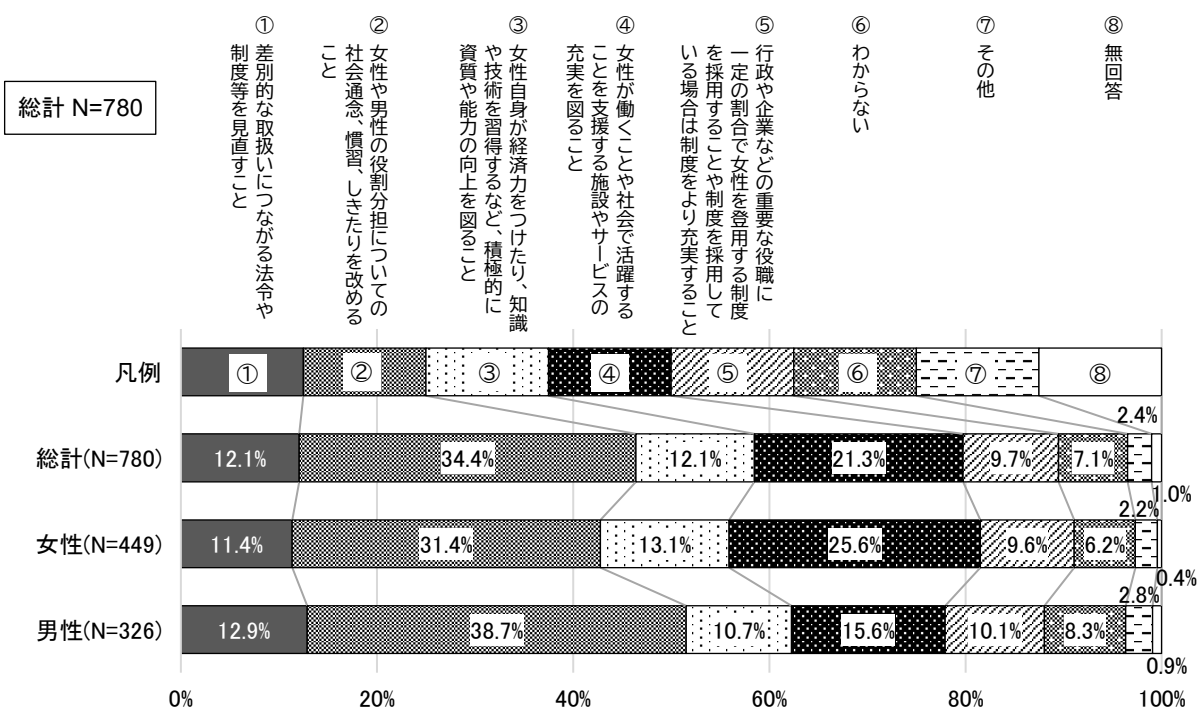
【性別、性・年代別】

性別でも、男女とも「女性や男性の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が最多だが、女性の31.4%に対し、男性が38.7%と男性の方が高い割合となっている。性・年代別には、女性の10歳代・20歳代及び70歳代で「女性が働くことや社会で活躍することを支援する施設やサービスの充実を図ること」が最も高い割合となり、他の年代と違いがみられた(10歳代・20歳代の1位は同率)。

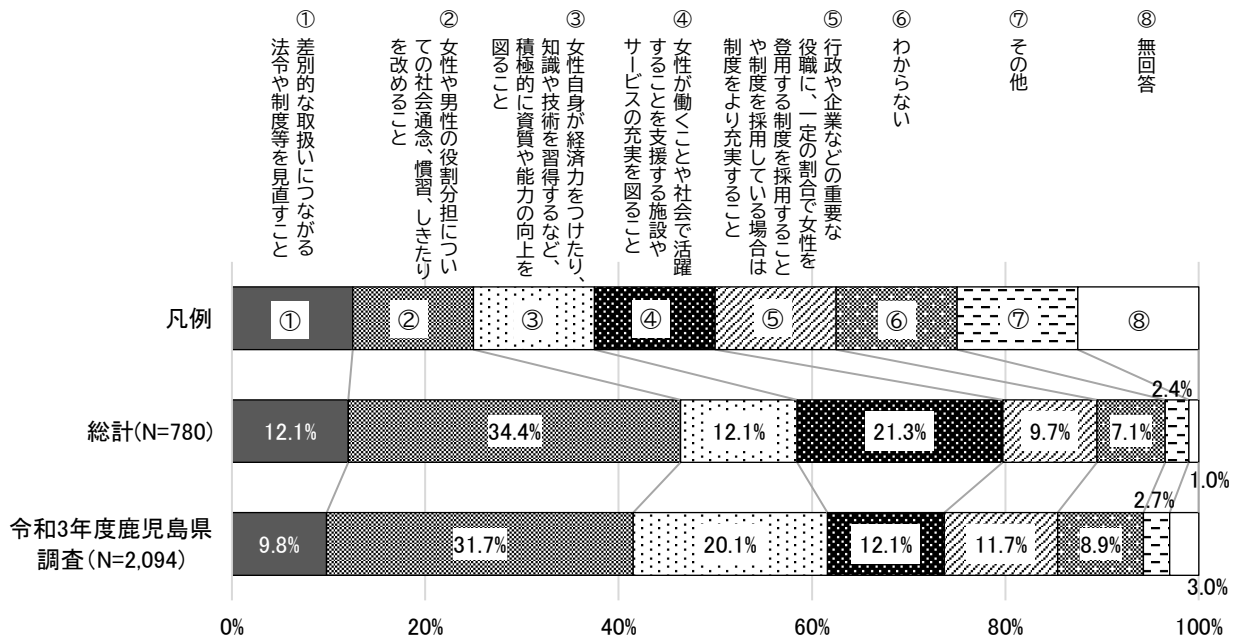
【令和3年度鹿児島県調査との比較】

県調査と比較すると、同様の傾向だが、2位、3位の回答で「女性自身が経済力をつけたり、知識や技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」で県より8.0ポイント低く、「女性が働くことや社会で活躍することを支援する施設やサービスの充実を図ること」で県より9.2ポイント高いなど違いがみられた。

図表問6-1 今後社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思うか【総計・性別】



図表問6-2 今後社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思うか【総計、県調査との比較】



図表問6-3 今後社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思うか【性・年代別】

	問6 あなたは、今後社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、何が最も重要だと思いますか。(〇は1つ)		① 見直さ るべき 法的な 取扱い につ いて	② 慣習 として 男性の 役割を 分担し ていく こと	③ 女性自 身の経 済力を つけれ るよう な支 援を 図ること	④ 女性が 働くこ とや社 会で活 躍する ことを 支援す る施設 やサー ビスの 充実を 図ること	⑤ 女性が 働くこ とや社 会で活 躍する ことを 支援す る施設 やサー ビスの 充実を 図ること	⑥ 柔軟な 働き方 の導入 や、時 間外に 働くこ とを支 援する こと	⑦ 女性や 企業の 役割を 一定の 割合で 分担す ること	⑧ その他	無 回 答
総計(N=780)	780	94	268	94	166	76	55	19	8		
割合	100.0%	12.1%	34.4%	12.1%	21.3%	9.7%	7.1%	2.4%	1.0%		
女性(N=449)	449	51	141	59	115	43	28	10	2		
割合	100.0%	11.4%	31.4%	13.1%	25.6%	9.6%	6.2%	2.2%	0.4%		
10歳代・20歳代(N=72)	72	10	22	4	22	8	4	2	0		
割合	100.0%	13.9%	30.6%	5.6%	30.6%	11.1%	5.6%	2.8%	0.0%		
30歳代(N=55)	55	9	20	6	14	4	1	1	0		
割合	100.0%	16.4%	36.4%	10.9%	25.5%	7.3%	1.8%	1.8%	0.0%		
40歳代(N=68)	68	7	24	9	14	6	6	2	0		
割合	100.0%	10.3%	35.3%	13.2%	20.6%	8.8%	8.8%	2.9%	0.0%		
50歳代(N=80)	80	7	28	11	22	8	3	1	0		
割合	100.0%	8.8%	35.0%	13.8%	27.5%	10.0%	3.8%	1.3%	0.0%		
60歳代(N=78)	78	10	27	12	18	7	2	2	0		
割合	100.0%	12.8%	34.6%	15.4%	23.1%	9.0%	2.6%	2.6%	0.0%		
70歳代(N=95)	95	8	20	17	25	10	12	2	1		
割合	100.0%	8.4%	21.1%	17.9%	26.3%	10.5%	12.6%	2.1%	1.1%		
男性(N=326)	326	42	126	35	51	33	27	9	3		
割合	100.0%	12.9%	38.7%	10.7%	15.6%	10.1%	8.3%	2.8%	0.9%		
10歳代・20歳代(N=48)	48	6	20	7	3	6	4	2	0		
割合	100.0%	12.5%	41.7%	14.6%	6.3%	12.5%	8.3%	4.2%	0.0%		
30歳代(N=42)	42	8	17	4	7	1	2	3	0		
割合	100.0%	19.0%	40.5%	9.5%	16.7%	2.4%	4.8%	7.1%	0.0%		
40歳代(N=41)	41	6	15	2	10	2	3	3	0		
割合	100.0%	14.6%	36.6%	4.9%	24.4%	4.9%	7.3%	7.3%	0.0%		
50歳代(N=49)	49	3	21	4	9	6	6	0	0		
割合	100.0%	6.1%	42.9%	8.2%	18.4%	12.2%	12.2%	0.0%	0.0%		
60歳代(N=63)	63	7	22	9	12	7	5	1	0		
割合	100.0%	11.1%	34.9%	14.3%	19.0%	11.1%	7.9%	1.6%	0.0%		
70歳代(N=83)	83	12	31	9	10	11	7	0	3		
割合	100.0%	14.5%	37.3%	10.8%	12.0%	13.3%	8.4%	0.0%	3.6%		

Ⅱ 家庭生活について

【問7】「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について、どのようにお考えですか。
(〇は1つ)

【全体】

「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について尋ねたところ、肯定的(「賛成」+「どちらかといえば賛成」)な回答は、19.7%にとどまり、否定的(「反対」+「どちらかといえば反対」)な回答が62.4%と過半を占めた。

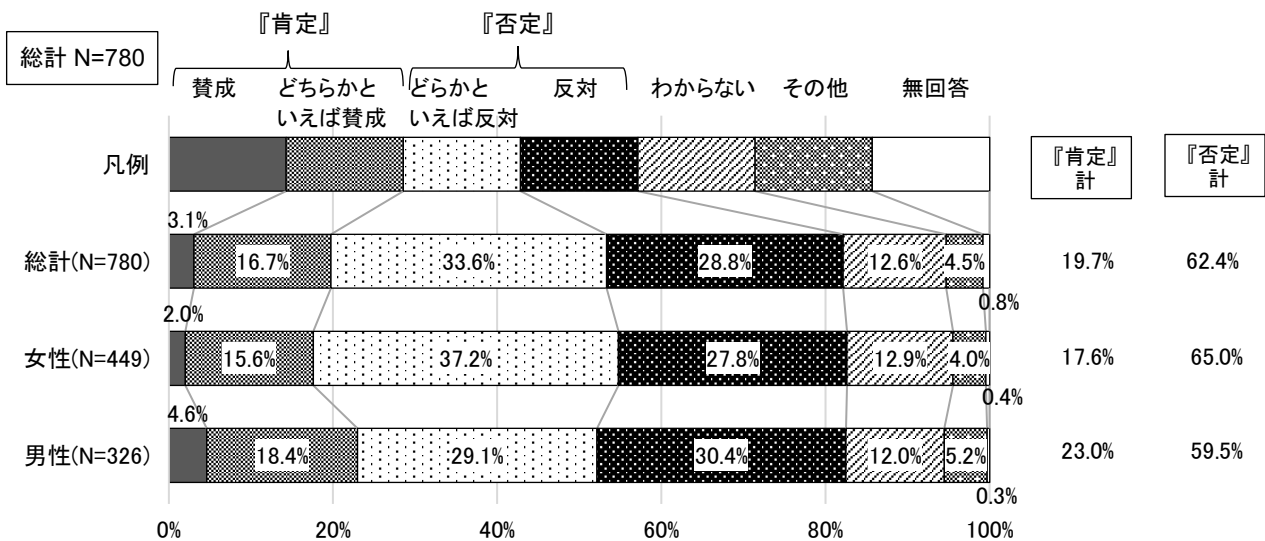
【性別、性・年代別】

性別でみると、女性の「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方に否定的な回答は65.0%となり、男性より5.5ポイント高くなっている。また男女とも『否定』が『肯定』を上回り、女性では47.4ポイント、男性では36.5ポイント高くなっている。性・年代別では、若い年代でその傾向は高く、10歳代・20歳代では、男女とも否定的な割合が70%超を占めている。逆に、肯定的な割合が高いのは、男女とも70歳代で、男性が40.9%、女性で27.4%となり、他の年代と差異がみられた。

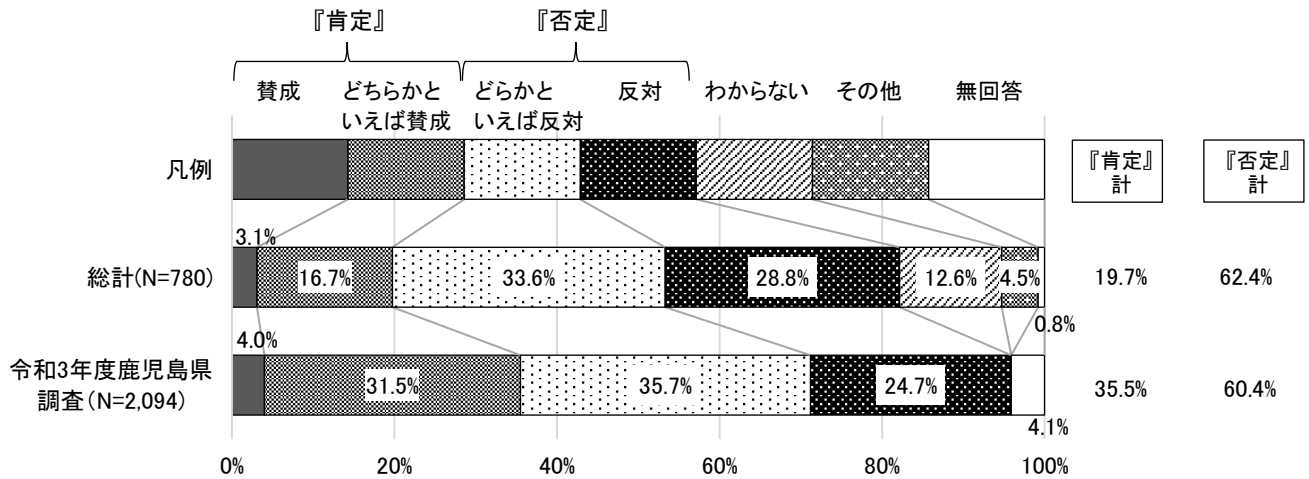
【令和3年度鹿児島県調査との比較】

県調査と調査の選択肢に違いがあるため正確な比較ではないが、「否定」する人の割合は、県調査より2ポイント上回っており、「肯定」する人の割合は15.8ポイント下回っている。

図表問7-1 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について【総計・性別】



図表問7-2 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について【県調査との比較】



注：令和3年度鹿児島県調査では、「わからない」「その他」の選択肢がないため、傾向として比較した

図表問7-3 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について【性・年代別】

		問7 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について、どのようにお考えですか。(○は1つ)							
		賛成	賛成 どちらか といえ ば	反 ど ち ら か と い え ば	反 対	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	
総計 (N=780)		780	24	130	262	225	98	35	6
割合		100.0%	3.1%	16.7%	33.6%	28.8%	12.6%	4.5%	0.8%
性・年代別	女性 (N=449)	449	9	70	167	125	58	18	2
	割合	100.0%	2.0%	15.6%	37.2%	27.8%	12.9%	4.0%	0.4%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72	1	7	22	31	8	3	0
	割合	100.0%	1.4%	9.7%	30.6%	43.1%	11.1%	4.2%	0.0%
	30歳代 (N=55)	55	1	8	15	22	7	2	0
	割合	100.0%	1.8%	14.5%	27.3%	40.0%	12.7%	3.6%	0.0%
	40歳代 (N=68)	68	1	10	20	17	13	7	0
	割合	100.0%	1.5%	14.7%	29.4%	25.0%	19.1%	10.3%	0.0%
	50歳代 (N=80)	80	0	11	29	26	11	2	1
	割合	100.0%	0.0%	13.8%	36.3%	32.5%	13.8%	2.5%	1.3%
	60歳代 (N=78)	78	1	13	37	19	4	4	0
	割合	100.0%	1.3%	16.7%	47.4%	24.4%	5.1%	5.1%	0.0%
	70歳代 (N=95)	95	5	21	44	10	14	0	1
	割合	100.0%	5.3%	22.1%	46.3%	10.5%	14.7%	0.0%	1.1%
男性 (N=326)	326	15	60	95	99	39	17	1	
割合	100.0%	4.6%	18.4%	29.1%	30.4%	12.0%	5.2%	0.3%	
10歳代・20歳代 (N=48)	48	1	1	18	18	9	1	0	
割合	100.0%	2.1%	2.1%	37.5%	37.5%	18.8%	2.1%	0.0%	
30歳代 (N=42)	42	1	6	7	19	5	4	0	
割合	100.0%	2.4%	14.3%	16.7%	45.2%	11.9%	9.5%	0.0%	
40歳代 (N=41)	41	3	5	12	14	3	4	0	
割合	100.0%	7.3%	12.2%	29.3%	34.1%	7.3%	9.8%	0.0%	
50歳代 (N=49)	49	1	12	11	13	10	2	0	
割合	100.0%	2.0%	24.5%	22.4%	26.5%	20.4%	4.1%	0.0%	
60歳代 (N=63)	63	4	7	24	15	7	6	0	
割合	100.0%	6.3%	11.1%	38.1%	23.8%	11.1%	9.5%	0.0%	
70歳代 (N=83)	83	5	29	23	20	5	0	1	
割合	100.0%	6.0%	34.9%	27.7%	24.1%	6.0%	0.0%	1.2%	

【問8】問7で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。
 (〇はいくつでも)

【全体】

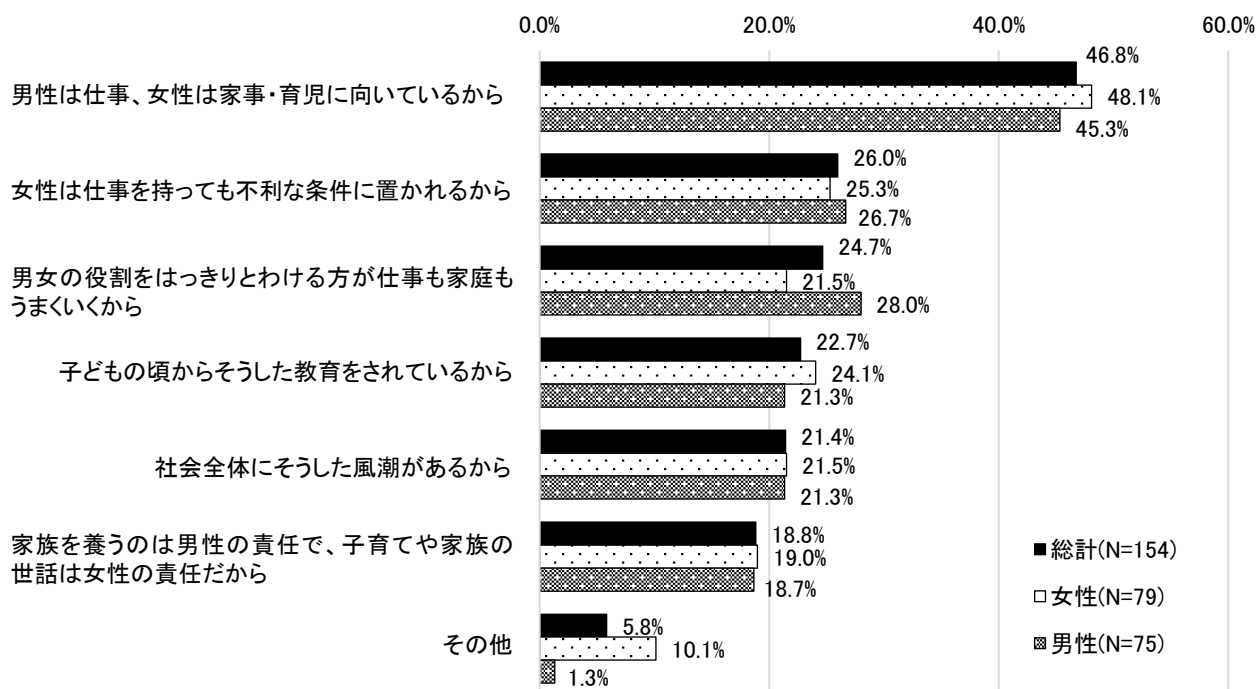
「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について肯定的な理由は、「男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから」(46.8%)が最も高い割合で、「女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから」(26.0%)、「男女の役割をはっきりとわける方が仕事も家庭もうまくいくから」(24.7%)と続いた。

【性別、性・年代別】

性別でも、男女とも「男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから」の割合が最多となったが、男性では「男女の役割をはっきりとわける方が仕事も家庭もうまくいくから」(28.0%)、女性では「女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから」(25.3%)が2番目に高い割合となっている。

性・年代別には、サンプル数が少ないが、50歳代女性で「女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから」(54.5%)、10歳代・20歳代及び30歳代男性で「女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから」「女の役割をはっきりとわける方が仕事も家庭もうまくいくから」、40歳代男性で「女の役割をはっきりとわける方が仕事も家庭もうまくいくから」、60歳代男性で「社会全体にそうした風潮があるから」が最多となっている。

図表問8-1 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について肯定的な理由【性別】



図表問8-2 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について肯定的な理由【性・年代別】

		回答総数	問8 問7で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。(〇はいくつでも)						
			育男 児性 には 向仕 い事 て、 い女 性か はら 家事	女で 性の子 の責 任だ から 家族 の性 世の 話責 任は	家 族を 養て うの は男 性の 責 任	子 をさ もれ の頃 い から そ う し た 教	な女 条件 は仕 置事 か れ持 るつ か ても 不 利	くけ る女 の方 が役 割を はつ た 庭 も り と ま わ	あ る か ら に そ う し た 風 潮 が
総計 (N=154)		256	72	29	35	40	38	33	9
割合		-	46.8%	18.8%	22.7%	26.0%	24.7%	21.4%	5.8%
性・年代別	女性 (N=79)	134	38	15	19	20	17	17	8
	割合	-	48.1%	19.0%	24.1%	25.3%	21.5%	21.5%	10.1%
	10歳代・20歳代 (N=8)	16	4	3	1	2	3	1	2
	割合	-	50.0%	37.5%	12.5%	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%
	30歳代 (N=9)	16	5	0	0	3	3	4	1
	割合	-	55.6%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	44.4%	11.1%
	40歳代 (N=11)	16	4	2	1	3	2	2	2
	割合	-	36.4%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%
	50歳代 (N=11)	16	3	1	1	6	1	3	1
	割合	-	27.3%	9.1%	9.1%	54.5%	9.1%	27.3%	9.1%
	60歳代 (N=14)	22	7	5	2	3	2	2	1
	割合	-	50.0%	35.7%	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%
	70歳代 (N=26)	48	15	4	14	3	6	5	1
	割合	-	57.7%	15.4%	53.8%	11.5%	23.1%	19.2%	3.8%
	男性 (N=75)	122	34	14	16	20	21	16	1
	割合	-	45.3%	18.7%	21.3%	26.7%	28.0%	21.3%	1.3%
10歳代・20歳代 (N=2)	6	1	0	0	2	2	1	0	
割合	-	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
30歳代 (N=7)	10	3	0	0	3	3	1	0	
割合	-	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	
40歳代 (N=8)	10	1	1	1	2	4	1	0	
割合	-	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	
50歳代 (N=13)	22	6	4	3	3	4	2	0	
割合	-	46.2%	30.8%	23.1%	23.1%	30.8%	15.4%	0.0%	
60歳代 (N=11)	15	3	2	3	2	1	4	0	
割合	-	27.3%	18.2%	27.3%	18.2%	9.1%	36.4%	0.0%	
70歳代 (N=34)	59	20	7	9	8	7	7	1	
割合	-	58.8%	20.6%	26.5%	23.5%	20.6%	20.6%	2.9%	

【問9】 現在結婚している方、結婚はしていないがパートナーと暮らしている方にお尋ねします。日常生活における役割分担について、①～⑦は、実際にあなたの家庭では主にだれが担っていますか。

【全体】

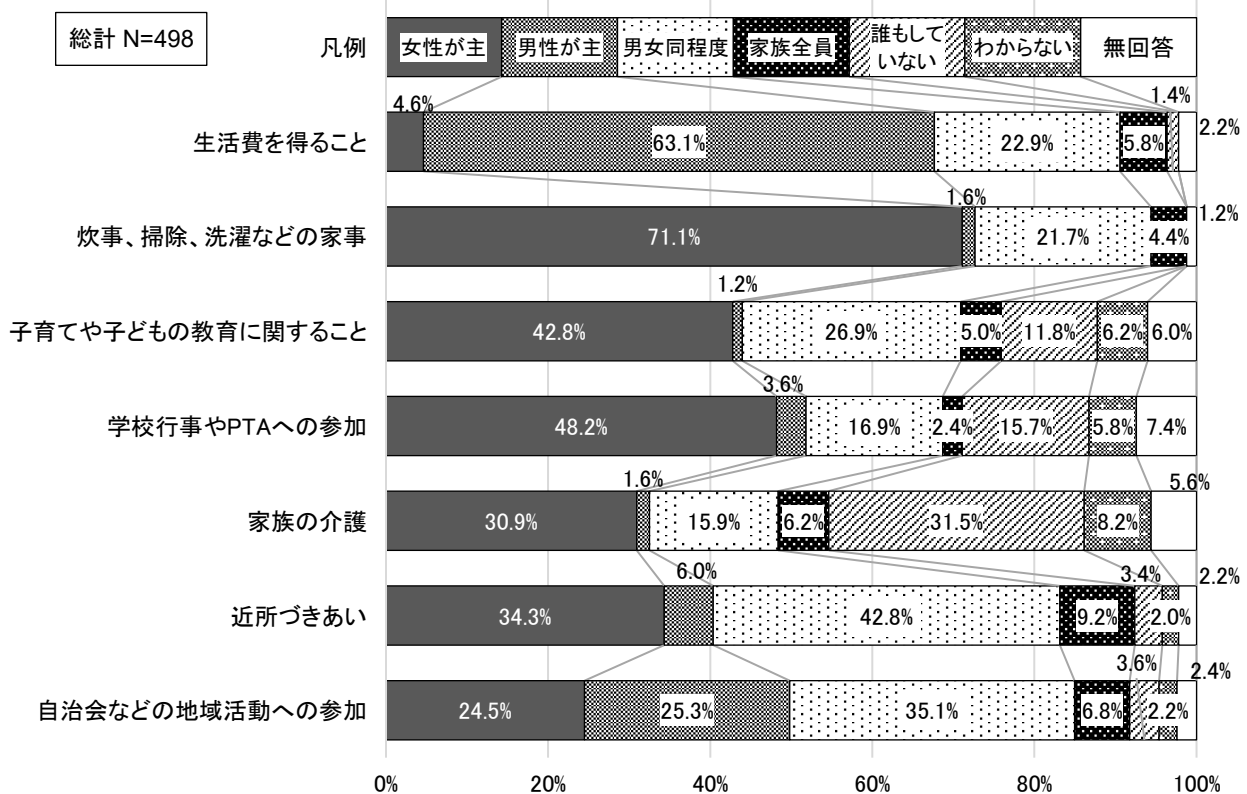
日常生活における役割分担についてみると「女性が主」と回答した割合は「炊事、掃除、洗濯などの家事」(71.7%)、「子育てや子どもの教育に関すること」(42.8%)、「学校行事やPTAへの参加」(48.2%)、「家族の介護（誰もしていないを除く）」(30.9%) でそれぞれ最も高くなっている。一方「男性が主」と回答した割合は「生活費を得ること」(63.1%)と「自治会などの地域活動への参加」(25.3%)を除くと、いずれも6%以下となっている。

また、「男女同程度」と回答した割合は「近所づきあい」(42.8%)で最も高く、次いで「自治会などの地域活動への参加」(35.1%)となっている。

【性別、性・年代別】

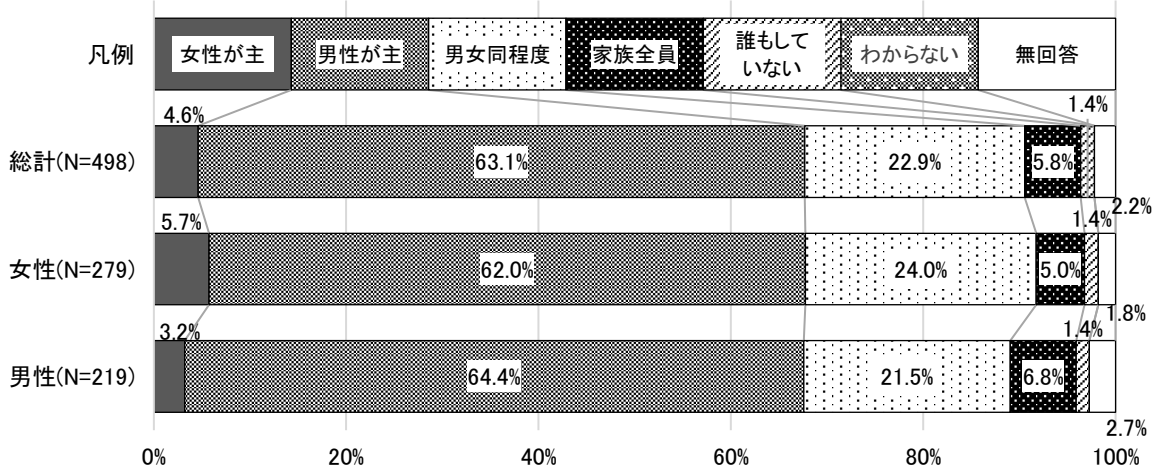
性別で見ると、女性は「生活費を得ること」以外のすべての役割分担で「女性が主」と回答した割合が男性より高く、男性は「男性が主」と回答した割合が女性より高くなっており、男女間での意識の差がみられる。また男性は「男女同程度」と回答した割合は、すべての役割分担で女性よりも高くなっている。

図表問9-1 日常生活における役割分担について【現在結婚している人、分野別】

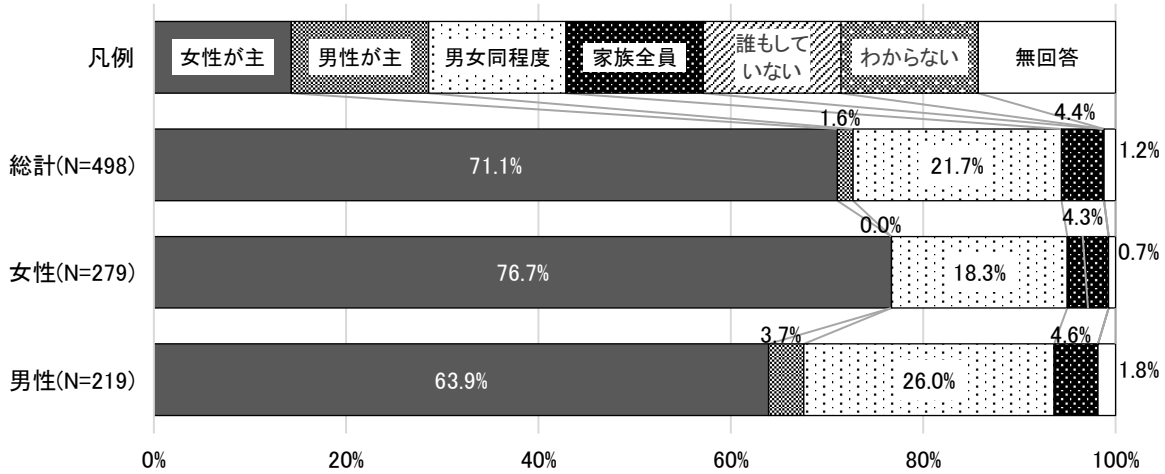


図表問9-2 日常生活における役割分担について【性別、分野別】

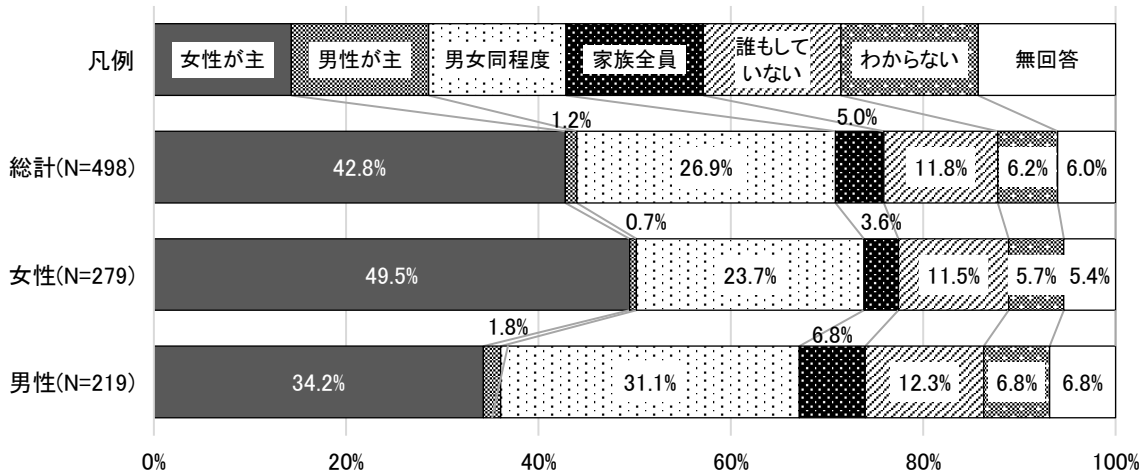
① 生活費を得ること【性別】



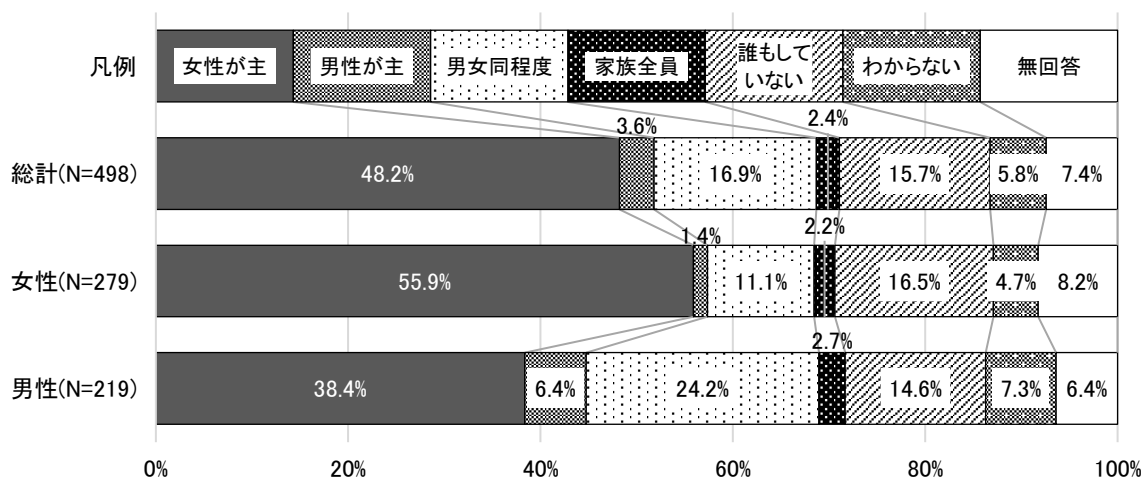
② 炊事、掃除、洗濯などの家事【性別】



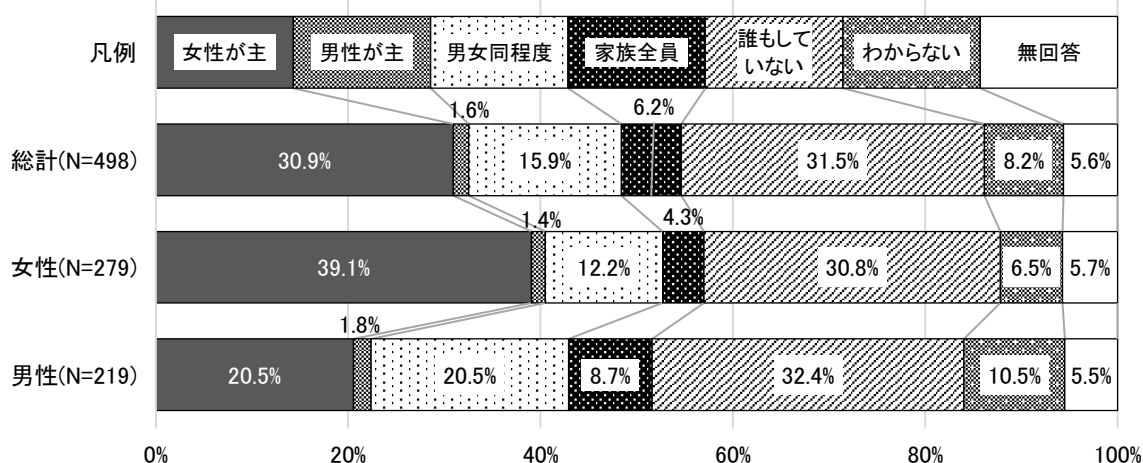
③ 子育てや子どもの教育に関すること【性別】



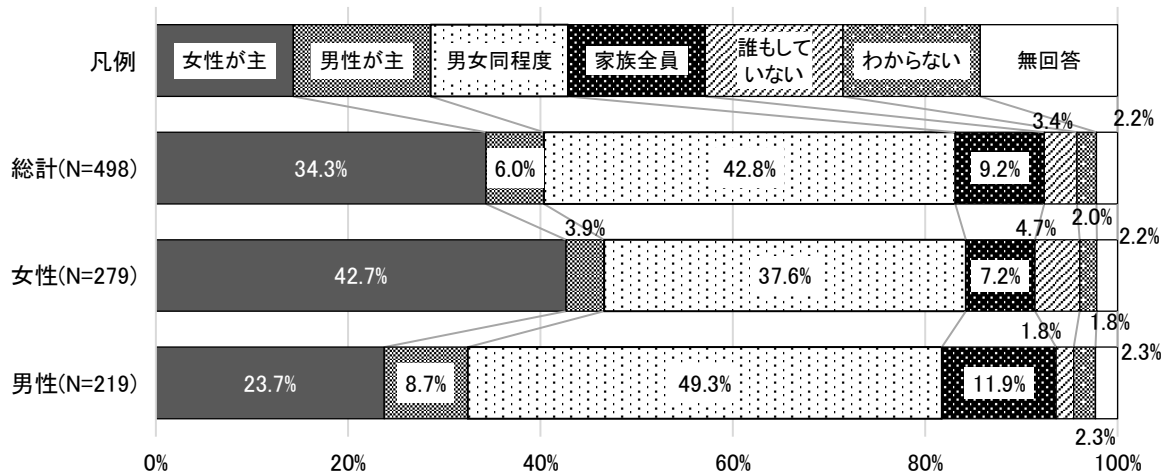
④ 学校行事やPTAへの参加【性別】



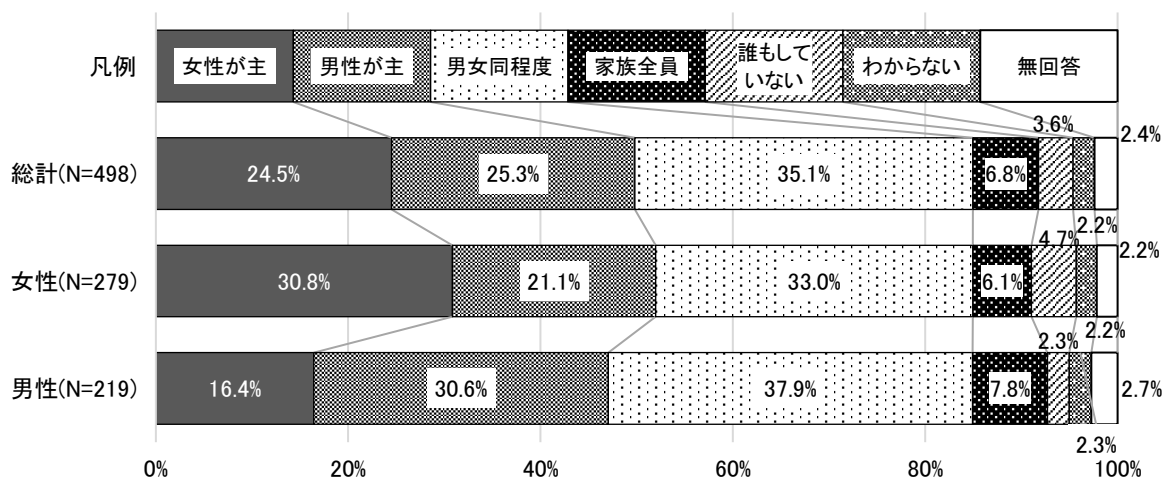
⑤ 家族の介護【性別】



⑥ 近所づきあい【性別】



⑦ 自治会などの地域活動への参加【性別】



図表問9-3 日常生活における役割分担について【性・年代別】(1/4)

	サンプル数	問9 現在結婚している方、結婚はしていないがパートナーと暮らしている方にお尋ねします。日常生活における役割分担について、①～⑦は、実際にあなたの家庭では主にだれが担っていますか。														
		① 生活費を得ること							② 炊事、掃除、洗濯などの家事							
		女性が主	男性が主	男女同程度	家族全員	誰もしていない	わからない	無回答	女性が主	男性が主	男女同程度	家族全員	誰もしていない	わからない	無回答	
総計 (N=498)	498	23	314	114	29	7	0	11	354	8	108	22	0	0	6	
割合	100.0%	4.6%	63.1%	22.9%	5.8%	1.4%	0.0%	2.2%	71.1%	1.6%	21.7%	4.4%	0.0%	0.0%	1.2%	
女性 (N=279)	279	16	173	67	14	4	0	5	214	0	51	12	0	0	2	
割合	100.0%	5.7%	62.0%	24.0%	5.0%	1.4%	0.0%	1.8%	76.7%	0.0%	18.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.7%	
10歳代・20歳代 (N=19)	19	1	9	9	0	0	0	0	10	0	9	0	0	0	0	
割合	100.0%	5.3%	47.4%	47.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.6%	0.0%	47.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代 (N=37)	37	0	26	8	3	0	0	0	27	0	6	4	0	0	0	
割合	100.0%	0.0%	70.3%	21.6%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%	73.0%	0.0%	16.2%	10.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代 (N=47)	47	1	35	11	0	0	0	0	39	0	6	2	0	0	0	
割合	100.0%	2.1%	74.5%	23.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.0%	0.0%	12.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代 (N=57)	57	5	37	13	2	0	0	0	44	0	12	1	0	0	0	
割合	100.0%	8.8%	64.9%	22.8%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	77.2%	0.0%	21.1%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代 (N=59)	59	4	32	16	5	0	0	2	45	0	8	5	0	0	1	
割合	100.0%	6.8%	54.2%	27.1%	8.5%	0.0%	0.0%	3.4%	76.3%	0.0%	13.6%	8.5%	0.0%	0.0%	1.7%	
70歳代 (N=60)	60	5	34	10	4	4	0	3	49	0	10	0	0	0	1	
割合	100.0%	8.3%	56.7%	16.7%	6.7%	6.7%	0.0%	5.0%	81.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	
男性 (N=219)	219	7	141	47	15	3	0	6	140	8	57	10	0	0	4	
割合	100.0%	3.2%	64.4%	21.5%	6.8%	1.4%	0.0%	2.7%	63.9%	3.7%	26.0%	4.6%	0.0%	0.0%	1.8%	
10歳代・20歳代 (N=7)	7	0	5	2	0	0	0	0	4	0	2	1	0	0	0	
割合	100.0%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代 (N=31)	31	0	20	8	1	0	0	2	16	2	10	1	0	0	2	
割合	100.0%	0.0%	64.5%	25.8%	3.2%	0.0%	0.0%	6.5%	51.6%	6.5%	32.3%	3.2%	0.0%	0.0%	6.5%	
40歳代 (N=32)	32	1	26	5	0	0	0	0	21	1	10	0	0	0	0	
割合	100.0%	3.1%	81.3%	15.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	65.6%	3.1%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代 (N=31)	31	2	19	10	0	0	0	0	20	2	9	0	0	0	0	
割合	100.0%	6.5%	61.3%	32.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.5%	6.5%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代 (N=49)	49	2	31	11	5	0	0	0	32	0	13	4	0	0	0	
割合	100.0%	4.1%	63.3%	22.4%	10.2%	0.0%	0.0%	0.0%	65.3%	0.0%	26.5%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代 (N=69)	69	2	40	11	9	3	0	4	47	3	13	4	0	0	2	
割合	100.0%	2.9%	58.0%	15.9%	13.0%	4.3%	0.0%	5.8%	68.1%	4.3%	18.8%	5.8%	0.0%	0.0%	2.9%	

図表問9-4 日常生活における役割分担について【性・年代別】(2/4)

		サンプル数	問9 現在結婚している方、結婚はしていないがパートナーと暮らしている方にお尋ねします。日常生活における役割分担について、①～⑦は、実際にあなたの家庭では主にだれが担っていますか。													
			③ 子育てや子どもの教育に関すること							④ 学校行事やPTAへの参加						
			女性 が主	男性 が主	男女 同程度	家族 全員	誰も して いない	わ か ら な い	無 回 答	女性 が主	男性 が主	男女 同程度	家族 全員	誰も して いない	わ か ら な い	無 回 答
総計(N=498)		498	213	6	134	25	59	31	30	240	18	84	12	78	29	37
割合		100.0%	42.8%	1.2%	26.9%	5.0%	11.8%	6.2%	6.0%	48.2%	3.6%	16.9%	2.4%	15.7%	5.8%	7.4%
性・年代別	女性(N=279)	279	138	2	66	10	32	16	15	156	4	31	6	46	13	23
	割合	100.0%	49.5%	0.7%	23.7%	3.6%	11.5%	5.7%	5.4%	55.9%	1.4%	11.1%	2.2%	16.5%	4.7%	8.2%
	10歳代・20歳代(N=19)	19	9	0	5	0	4	1	0	9	0	1	0	8	0	1
	割合	100.0%	47.4%	0.0%	26.3%	0.0%	21.1%	5.3%	0.0%	47.4%	0.0%	5.3%	0.0%	42.1%	0.0%	5.3%
	30歳代(N=37)	37	22	0	9	1	4	1	0	27	0	4	1	4	1	0
	割合	100.0%	59.5%	0.0%	24.3%	2.7%	10.8%	2.7%	0.0%	73.0%	0.0%	10.8%	2.7%	10.8%	2.7%	0.0%
	40歳代(N=47)	47	25	0	13	3	5	0	1	33	0	7	0	6	0	1
	割合	100.0%	53.2%	0.0%	27.7%	6.4%	10.6%	0.0%	2.1%	70.2%	0.0%	14.9%	0.0%	12.8%	0.0%	2.1%
	50歳代(N=57)	57	35	0	13	2	2	3	2	37	3	6	1	4	3	3
	割合	100.0%	61.4%	0.0%	22.8%	3.5%	3.5%	5.3%	3.5%	64.9%	5.3%	10.5%	1.8%	7.0%	5.3%	5.3%
	60歳代(N=59)	59	22	1	13	3	10	4	6	27	0	5	3	11	6	7
	割合	100.0%	37.3%	1.7%	22.0%	5.1%	16.9%	6.8%	10.2%	45.8%	0.0%	8.5%	5.1%	18.6%	10.2%	11.9%
	70歳代(N=60)	60	25	1	13	1	7	7	6	23	1	8	1	13	3	11
	割合	100.0%	41.7%	1.7%	21.7%	1.7%	11.7%	11.7%	10.0%	38.3%	1.7%	13.3%	1.7%	21.7%	5.0%	18.3%
	男性(N=219)	219	75	4	68	15	27	15	15	84	14	53	6	32	16	14
	割合	100.0%	34.2%	1.8%	31.1%	6.8%	12.3%	6.8%	6.8%	38.4%	6.4%	24.2%	2.7%	14.6%	7.3%	6.4%
	10歳代・20歳代(N=7)	7	3	0	1	0	1	2	0	3	0	1	0	1	2	0
	割合	100.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
	30歳代(N=31)	31	10	0	14	1	2	1	3	13	0	10	1	3	2	2
割合	100.0%	32.3%	0.0%	45.2%	3.2%	6.5%	3.2%	9.7%	41.9%	0.0%	32.3%	3.2%	9.7%	6.5%	6.5%	
40歳代(N=32)	32	14	0	14	1	3	0	0	18	1	7	1	4	1	0	
割合	100.0%	43.8%	0.0%	43.8%	3.1%	9.4%	0.0%	0.0%	56.3%	3.1%	21.9%	3.1%	12.5%	3.1%	0.0%	
50歳代(N=31)	31	13	0	11	2	3	2	0	15	3	8	0	3	2	0	
割合	100.0%	41.9%	0.0%	35.5%	6.5%	9.7%	6.5%	0.0%	48.4%	9.7%	25.8%	0.0%	9.7%	6.5%	0.0%	
60歳代(N=49)	49	18	1	15	4	6	4	1	17	3	15	1	7	4	2	
割合	100.0%	36.7%	2.0%	30.6%	8.2%	12.2%	8.2%	2.0%	34.7%	6.1%	30.6%	2.0%	14.3%	8.2%	4.1%	
70歳代(N=69)	69	17	3	13	7	12	6	11	18	7	12	3	14	5	10	
割合	100.0%	24.6%	4.3%	18.8%	10.1%	17.4%	8.7%	15.9%	26.1%	10.1%	17.4%	4.3%	20.3%	7.2%	14.5%	

図表問9-5 日常生活における役割分担について【性・年代別】(3/4)

		サンプル数	問9 現在結婚している方、結婚はしていないがパートナーと暮らしている方にお尋ねします。日常生活における役割分担について、①～⑦は、実際にあなたの家庭では主にだれが担っていますか。													
			⑤ 家族の介護							⑥ 近所づきあい						
			女性 が主	男性 が主	男女 同程度	家族 全員	誰も して いない	わ か ら な い	無 回 答	女性 が主	男性 が主	男女 同程度	家族 全員	誰も して いない	わ か ら な い	無 回 答
総計(N=498)		498	154	8	79	31	157	41	28	171	30	213	46	17	10	11
割合		100.0%	30.9%	1.6%	15.9%	6.2%	31.5%	8.2%	5.6%	34.3%	6.0%	42.8%	9.2%	3.4%	2.0%	2.2%
性・年代別	女性(N=279)	279	109	4	34	12	86	18	16	119	11	105	20	13	5	6
	割合	100.0%	39.1%	1.4%	12.2%	4.3%	30.8%	6.5%	5.7%	42.7%	3.9%	37.6%	7.2%	4.7%	1.8%	2.2%
	10歳代・20歳代(N=19)	19	4	0	2	0	11	1	1	6	0	6	2	4	1	0
	割合	100.0%	21.1%	0.0%	10.5%	0.0%	57.9%	5.3%	5.3%	31.6%	0.0%	31.6%	10.5%	21.1%	5.3%	0.0%
	30歳代(N=37)	37	7	0	5	0	21	4	0	13	1	16	3	3	1	0
	割合	100.0%	18.9%	0.0%	13.5%	0.0%	56.8%	10.8%	0.0%	35.1%	2.7%	43.2%	8.1%	8.1%	2.7%	0.0%
	40歳代(N=47)	47	18	1	2	1	21	3	1	20	4	19	3	0	1	0
	割合	100.0%	38.3%	2.1%	4.3%	2.1%	44.7%	6.4%	2.1%	42.6%	8.5%	40.4%	6.4%	0.0%	2.1%	0.0%
	50歳代(N=57)	57	30	1	11	3	9	3	0	26	5	15	6	4	0	1
	割合	100.0%	52.6%	1.8%	19.3%	5.3%	15.8%	5.3%	0.0%	45.6%	8.8%	26.3%	10.5%	7.0%	0.0%	1.8%
	60歳代(N=59)	59	26	1	9	2	11	3	7	22	1	29	2	1	1	3
	割合	100.0%	44.1%	1.7%	15.3%	3.4%	18.6%	5.1%	11.9%	37.3%	1.7%	49.2%	3.4%	1.7%	1.7%	5.1%
	70歳代(N=60)	60	24	1	5	6	13	4	7	32	0	20	4	1	1	2
	割合	100.0%	40.0%	1.7%	8.3%	10.0%	21.7%	6.7%	11.7%	53.3%	0.0%	33.3%	6.7%	1.7%	1.7%	3.3%
	男性(N=219)	219	45	4	45	19	71	23	12	52	19	108	26	4	5	5
	割合	100.0%	20.5%	1.8%	20.5%	8.7%	32.4%	10.5%	5.5%	23.7%	8.7%	49.3%	11.9%	1.8%	2.3%	2.3%
	10歳代・20歳代(N=7)	7	0	0	0	1	4	2	0	1	0	4	1	0	1	0
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
	30歳代(N=31)	31	1	0	6	1	15	6	2	4	2	18	2	2	1	2
割合	100.0%	3.2%	0.0%	19.4%	3.2%	48.4%	19.4%	6.5%	12.9%	6.5%	58.1%	6.5%	6.5%	3.2%	6.5%	
40歳代(N=32)	32	5	0	5	4	13	5	0	5	3	17	5	1	1	0	
割合	100.0%	15.6%	0.0%	15.6%	12.5%	40.6%	15.6%	0.0%	15.6%	9.4%	53.1%	15.6%	3.1%	3.1%	0.0%	
50歳代(N=31)	31	3	1	14	2	8	3	0	9	4	16	0	1	1	0	
割合	100.0%	9.7%	3.2%	45.2%	6.5%	25.8%	9.7%	0.0%	29.0%	12.9%	51.6%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	
60歳代(N=49)	49	23	1	11	4	9	1	0	16	3	25	4	0	1	0	
割合	100.0%	46.9%	2.0%	22.4%	8.2%	18.4%	2.0%	0.0%	32.7%	6.1%	51.0%	8.2%	0.0%	2.0%	0.0%	
70歳代(N=69)	69	13	2	9	7	22	6	10	17	7	28	14	0	0	3	
割合	100.0%	18.8%	2.9%	13.0%	10.1%	31.9%	8.7%	14.5%	24.6%	10.1%	40.6%	20.3%	0.0%	0.0%	4.3%	

図表問9-6 日常生活における役割分担について【性・年代別】(4/4)

		サンプル数	問9 現在結婚している方、結婚はしていないがパートナーと暮らしている方にお尋ねします。日常生活における役割分担について、①～⑦は、実際にあなたの家庭では主にだれが担っていますか。						
			⑦ 自治会などの地域活動への参加						
			女性が主	男性が主	男女同程度	家族全員	誰もしていない	わからない	無回答
総計 (N=498)		498	122	126	175	34	18	11	12
割合		100.0%	24.5%	25.3%	35.1%	6.8%	3.6%	2.2%	2.4%
性・年代別	女性 (N=279)	279	86	59	92	17	13	6	6
	割合	100.0%	30.8%	21.1%	33.0%	6.1%	4.7%	2.2%	2.2%
	10歳代・20歳代 (N=19)	19	5	2	5	0	4	2	1
	割合	100.0%	26.3%	10.5%	26.3%	0.0%	21.1%	10.5%	5.3%
	30歳代 (N=37)	37	9	8	10	3	6	1	0
	割合	100.0%	24.3%	21.6%	27.0%	8.1%	16.2%	2.7%	0.0%
	40歳代 (N=47)	47	18	11	16	2	0	0	0
	割合	100.0%	38.3%	23.4%	34.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代 (N=57)	57	22	11	16	3	2	1	2
	割合	100.0%	38.6%	19.3%	28.1%	5.3%	3.5%	1.8%	3.5%
	60歳代 (N=59)	59	16	11	26	3	0	1	2
	割合	100.0%	27.1%	18.6%	44.1%	5.1%	0.0%	1.7%	3.4%
	70歳代 (N=60)	60	16	16	19	6	1	1	1
	割合	100.0%	26.7%	26.7%	31.7%	10.0%	1.7%	1.7%	1.7%
男性 (N=219)	219	36	67	83	17	5	5	6	
割合	100.0%	16.4%	30.6%	37.9%	7.8%	2.3%	2.3%	2.7%	
10歳代・20歳代 (N=7)	7	1	1	3	1	0	1	0	
割合	100.0%	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	
30歳代 (N=31)	31	5	10	11	1	1	0	3	
割合	100.0%	16.1%	32.3%	35.5%	3.2%	3.2%	0.0%	9.7%	
40歳代 (N=32)	32	6	6	16	1	2	1	0	
割合	100.0%	18.8%	18.8%	50.0%	3.1%	6.3%	3.1%	0.0%	
50歳代 (N=31)	31	6	10	13	0	1	1	0	
割合	100.0%	19.4%	32.3%	41.9%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	
60歳代 (N=49)	49	8	16	18	5	0	2	0	
割合	100.0%	16.3%	32.7%	36.7%	10.2%	0.0%	4.1%	0.0%	
70歳代 (N=69)	69	10	24	22	9	1	0	3	
割合	100.0%	14.5%	34.8%	31.9%	13.0%	1.4%	0.0%	4.3%	

【問 10】男性が家事、育児などをするかどうかについてどう思いますか。(○は1つ)

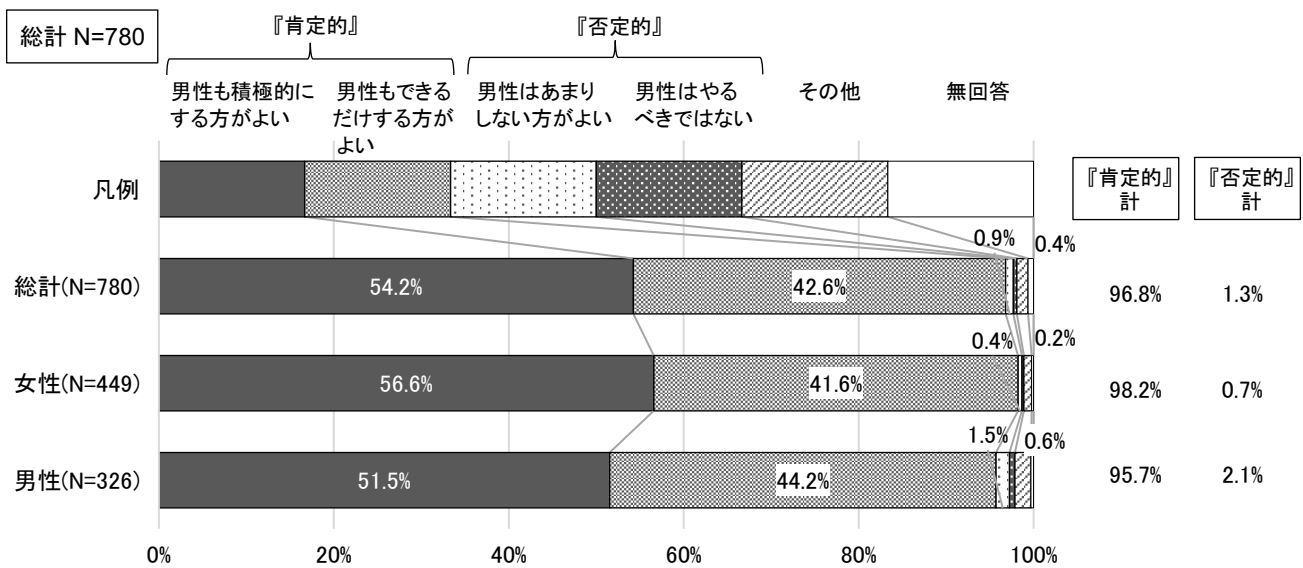
【全体】

全体では、肯定的（「男性も積極的にする方がよい」＋「男性もできるだけする方がよい」）な回答が96.8%を占め、否定的（「男性はあまりしない方がよい」＋「男性はやるべきではない」）な回答は、わずかにとどまった。肯定的の中では、「男性も積極的にする方がよい」が54.2%と過半を占めた。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性でその傾向がより顕著となり、肯定的な回答が98.2%を占めた。性・年代別では、30歳代女性で肯定的な回答が100%とすべての人が回答した。また、肯定的な回答の内訳では、70歳代の女性、50歳代以上の男性で「男性もできるだけする方がよい」が最多であった。

図表問10-1 男性が家事、育児などをするかどうかについて【総計、性別】



図表問10-2 男性が家事、育児などをする事について【性・年代別】

		問10 男性が家事、育児などをする事について どう思いますか。(○は1つ)						
		す男 る性 方も が積 よ極 いの に	け男 す性 るも 方 で が き よ る い だ	な男 い性 方 が あ よ ま り し	で男 は性 な は い や る べ き	そ の 他	無 回 答	
総計 (N=780)		780 割合 100.0%	423 54.2%	332 42.6%	7 0.9%	3 0.4%	10 1.3%	5 0.6%
性・ 年代別	女性 (N=449)	449 割合 100.0%	254 56.6%	187 41.6%	2 0.4%	1 0.2%	4 0.9%	1 0.2%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72 割合 100.0%	59 81.9%	12 16.7%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代 (N=55)	55 割合 100.0%	41 74.5%	14 25.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代 (N=68)	68 割合 100.0%	43 63.2%	24 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%
	50歳代 (N=80)	80 割合 100.0%	45 56.3%	33 41.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.5%	0 0.0%
	60歳代 (N=78)	78 割合 100.0%	39 50.0%	38 48.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%
	70歳代 (N=95)	95 割合 100.0%	26 27.4%	66 69.5%	2 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%
	男性 (N=326)	326 割合 100.0%	168 51.5%	144 44.2%	5 1.5%	2 0.6%	6 1.8%	1 0.3%
	10歳代・20歳代 (N=48)	48 割合 100.0%	34 70.8%	13 27.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%
	30歳代 (N=42)	42 割合 100.0%	31 73.8%	8 19.0%	1 2.4%	0 0.0%	2 4.8%	0 0.0%
	40歳代 (N=41)	41 割合 100.0%	28 68.3%	9 22.0%	2 4.9%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%
	50歳代 (N=49)	49 割合 100.0%	23 46.9%	25 51.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%
	60歳代 (N=63)	63 割合 100.0%	25 39.7%	37 58.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%
	70歳代 (N=83)	83 割合 100.0%	27 32.5%	52 62.7%	2 2.4%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%

【問11】生活の中で、「仕事」と「生活(家庭や地域活動や学習・趣味・付き合い等の個人の活動)」の優先度についてお尋ねします。

- (1) あなたの希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)
 (2) それでは、あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

【全体】

(1) 希望

生活の中で、「仕事」と「生活(家庭や地域活動や学習・趣味・付き合い等の個人の活動)」の優先度について尋ねると、全体では、「仕事」と「生活」をともに優先したい」が56.0%と最も高い割合となり、「生活」を優先したい(30.9%)、「仕事」を優先したい(6.8%)と続いている。

(2) 現実(現状)

現実(現状)については、「仕事」と「生活」をともに優先している」が最多だが、34.1%にとどまり、2番目に「仕事」を優先している(28.1%)となり、現実(現状)と希望を比較すると、「仕事」と「生活」をともに優先している」と回答した割合は、現実(現状)より21.9ポイント高く、「仕事」を優先している」と回答した割合は、現実(現状)より21.3ポイント低くなっておりギャップが見られる。

【性別、性・年代別】

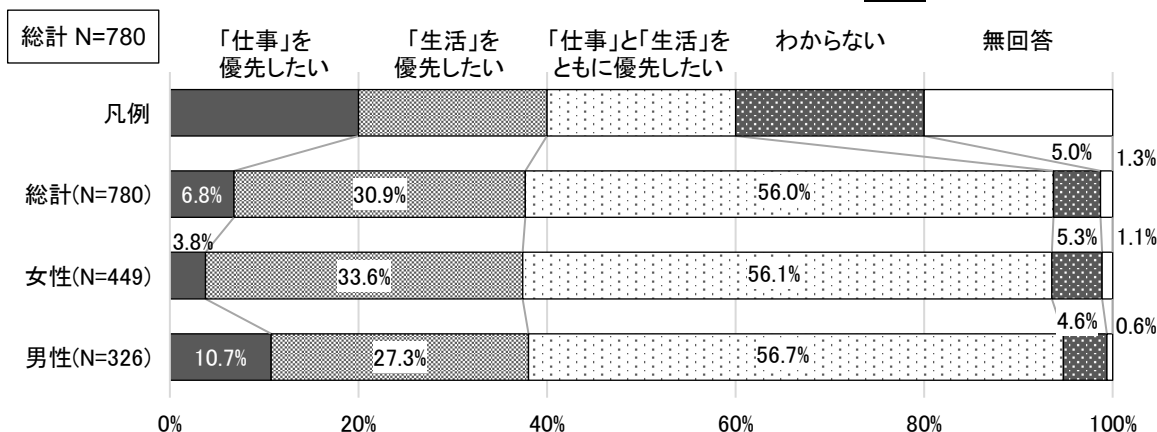
(1) 希望

性別でも、同様の傾向だが、「仕事」と「生活」をともに優先したい」で男性がやや高く(女性より0.6ポイント高い)、「生活」を優先したい」で女性が男性より6.3ポイント高い。性・年代別でもすべての性・年代で「仕事」と「生活」をともに優先したい」が最も高い割合となった。

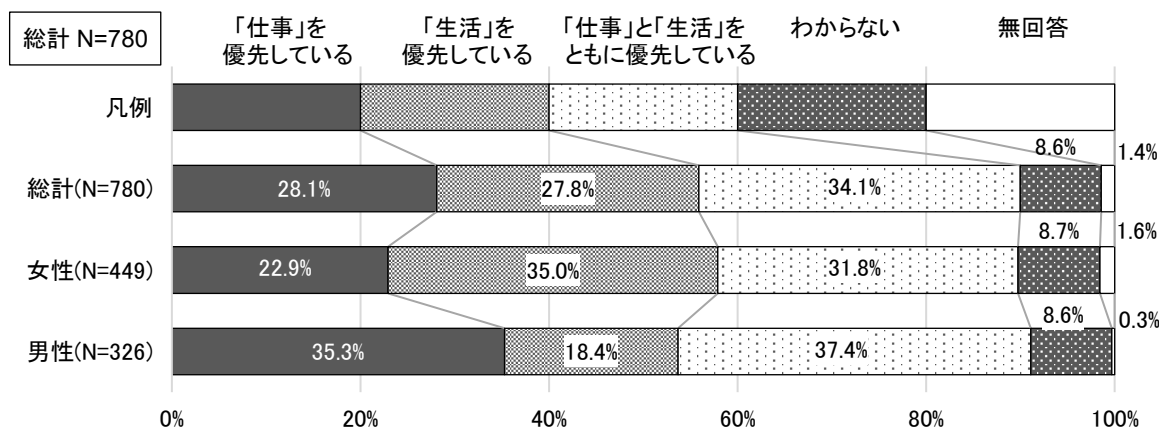
(2) 現実(現状)

性別では、女性で「生活」を優先している(35.0%)が最多であった。性・年代別で、女性の30歳代以下、50歳代、70歳代で「生活」を優先している」が最も高い割合となった。男性は、10歳代・20歳代、40~60歳代で「仕事」を優先している」が最多となり、「希望」とは大きく異なる結果となった。

図表問 11-1 「仕事」と「生活」の優先度について **希望** 【性別】



図表問11-2 「仕事」と「生活」の優先度について **現実(現状)** 【性別】



図表問11-3 「仕事」と「生活」の優先度について 【性、年代別】

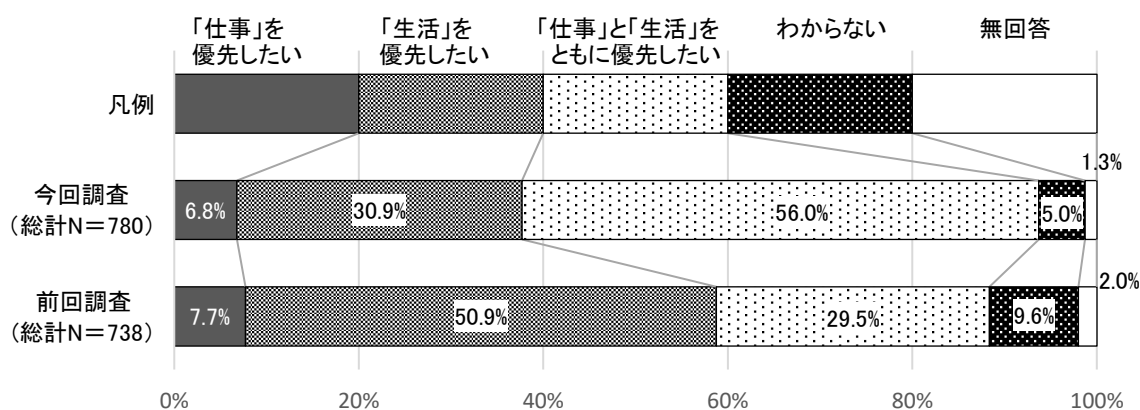
		サンプル数	問11 生活の中で、「仕事」と「生活(家庭や地域活動や学習・趣味・付き合い等の個人の活動)」の優先度についてお尋ねします。										
			(1)あなたの希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)					(2)それでは、あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(○は1つ)					
			した「仕事」を優先	した「生活」を優先	先「生活」と「仕事」をともに優先	わからない	無回答	して「仕事」を優先	して「生活」を優先	先「生活」と「仕事」をともに優先	わからない	無回答	
総計(N=780)		780	53	241	437	39	10	219	217	266	67	11	
		割合	100.0%	6.8%	30.9%	56.0%	5.0%	1.3%	28.1%	27.8%	34.1%	8.6%	1.4%
性・年代別	女性(N=449)	449	17	151	252	24	5	103	157	143	39	7	
		割合	100.0%	3.8%	33.6%	56.1%	5.3%	1.1%	22.9%	35.0%	31.8%	8.7%	1.6%
	10歳代・20歳代(N=72)	72	2	26	40	4	0	13	24	18	17	0	
		割合	100.0%	2.8%	36.1%	55.6%	5.6%	0.0%	18.1%	33.3%	25.0%	23.6%	0.0%
	30歳代(N=55)	55	1	20	32	2	0	13	21	18	3	0	
		割合	100.0%	1.8%	36.4%	58.2%	3.6%	0.0%	23.6%	38.2%	32.7%	5.5%	0.0%
	40歳代(N=68)	68	1	26	40	1	0	19	22	27	0	0	
		割合	100.0%	1.5%	38.2%	58.8%	1.5%	0.0%	27.9%	32.4%	39.7%	0.0%	0.0%
	50歳代(N=80)	80	3	17	54	6	0	31	23	19	7	0	
		割合	100.0%	3.8%	21.3%	67.5%	7.5%	0.0%	38.8%	28.8%	23.8%	8.8%	0.0%
60歳代(N=78)	78	4	25	45	3	1	16	25	30	5	2		
	割合	100.0%	5.1%	32.1%	57.7%	3.8%	1.3%	20.5%	32.1%	38.5%	6.4%	2.6%	
70歳代(N=95)	95	6	36	41	8	4	10	42	31	7	5		
	割合	100.0%	6.3%	37.9%	43.2%	8.4%	4.2%	10.5%	44.2%	32.6%	7.4%	5.3%	
男性(N=326)	326	35	89	185	15	2	115	60	122	28	1		
	割合	100.0%	10.7%	27.3%	56.7%	4.6%	0.6%	35.3%	18.4%	37.4%	8.6%	0.3%	
10歳代・20歳代(N=48)	48	5	14	26	3	0	15	11	9	13	0		
	割合	100.0%	10.4%	29.2%	54.2%	6.3%	0.0%	31.3%	22.9%	18.8%	27.1%	0.0%	
30歳代(N=42)	42	4	13	24	0	1	16	6	19	1	0		
	割合	100.0%	9.5%	31.0%	57.1%	0.0%	2.4%	38.1%	14.3%	45.2%	2.4%	0.0%	
40歳代(N=41)	41	4	14	22	1	0	21	3	15	2	0		
	割合	100.0%	9.8%	34.1%	53.7%	2.4%	0.0%	51.2%	7.3%	36.6%	4.9%	0.0%	
50歳代(N=49)	49	8	10	30	1	0	26	7	16	0	0		
	割合	100.0%	16.3%	20.4%	61.2%	2.0%	0.0%	53.1%	14.3%	32.7%	0.0%	0.0%	
60歳代(N=63)	63	5	18	38	2	0	22	17	22	2	0		
	割合	100.0%	7.9%	28.6%	60.3%	3.2%	0.0%	34.9%	27.0%	34.9%	3.2%	0.0%	
70歳代(N=83)	83	9	20	45	8	1	15	16	41	10	1		
	割合	100.0%	10.8%	24.1%	54.2%	9.6%	1.2%	18.1%	19.3%	49.4%	12.0%	1.2%	

【前回調査との比較】

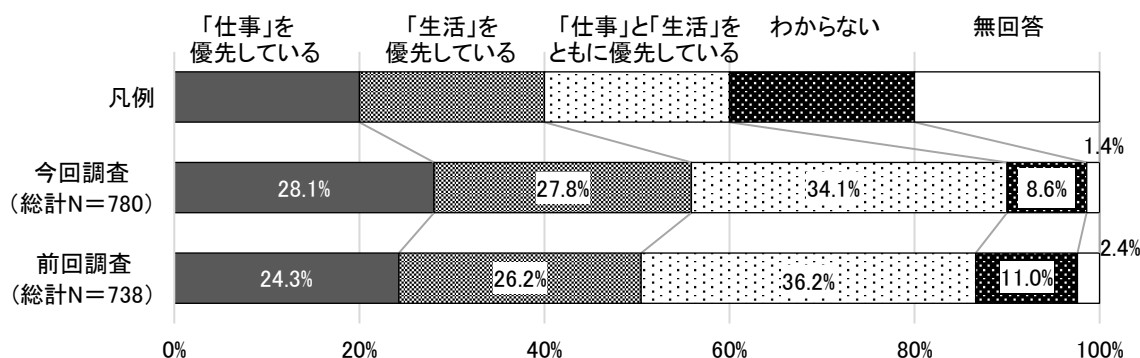
前回調査と比較すると、希望としては、「仕事」と「生活」をともに優先したい」が 56.0%と前回調査を 26.5 ポイント上回った一方で、「生活」を優先したい」が 30.9%で前回調査を 20.0 ポイント下回った。

現実（現状）では、「仕事」を優先している」が 28.1%（前回調査 24.3%）と 3.8 ポイント上昇し、「仕事」と「生活」をともに優先している」が 34.1%（同 36.2%）で 2.1 ポイント低下した。

図表問11-4 「仕事」と「生活」の優先度について **希望** 【前回調査との比較】



図表問11-5 「仕事」と「生活」の優先度について **現実(現状)** 【前回調査との比較】



【問12】 あなたの生活の中での、「家庭」と「地域活動」と「個人(学習・趣味・付き合い等)」の優先度についてお尋ねします。

- (1) あなたの希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)
- (2) それでは、あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

【全体】

(1) 希望

生活の中で、「家庭」と「地域活動」と「個人(学習・趣味・付き合い等)」の優先度について尋ねると、全体では、「家庭」と「個人」をともに優先したい(33.1%)、「家庭」を優先したい(23.2%)、「家庭」と「地域活動」と「個人」をともに優先したい(16.4%)の順となった。

(2) 現実(現状)

全体では、「家庭」を優先している(31.2%)、「家庭」と「個人」をともに優先している(22.6%)、「個人」を優先している(15.6%)の順で、「希望」の回答とはやや傾向が異なった。

【性別、性・年代別】

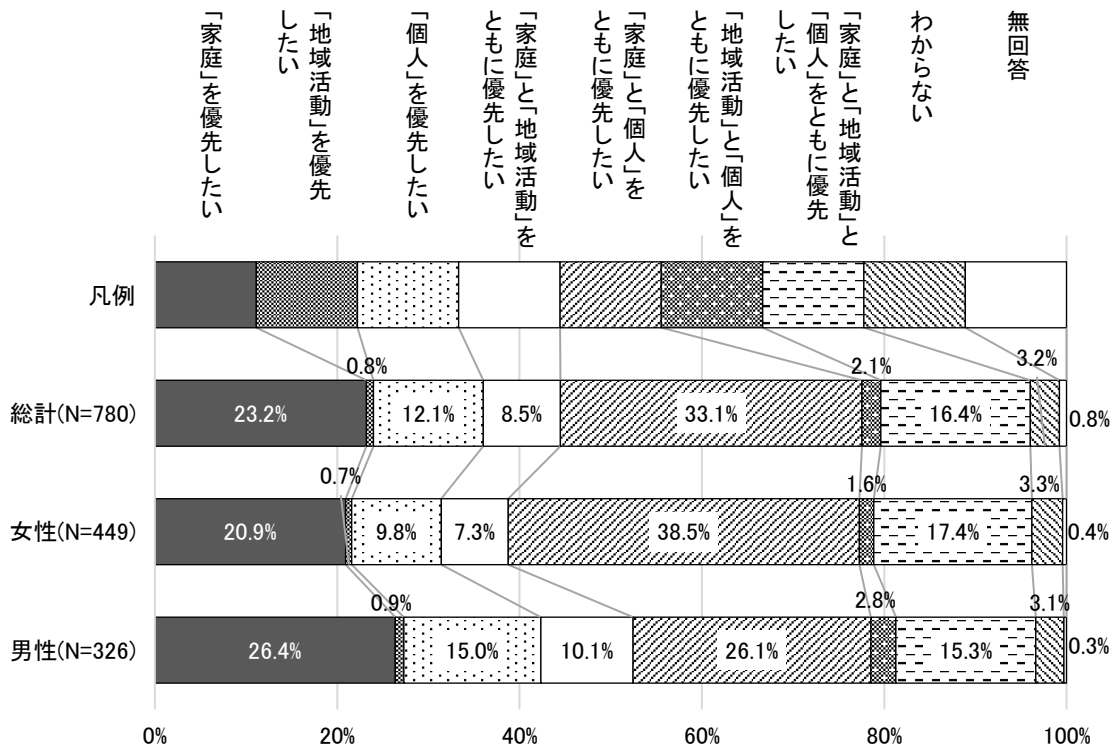
(1) 希望

性別では、男性が「家庭」を優先したい(26.4%)が最も高い割合で女性と違いがみられた。性・年代別には、70歳代女性で「家庭」と「地域活動」と「個人」をともに優先したい(25.3%)、10歳代・20歳代男性以外の30歳以上で「家庭」を優先したいが最多であった。

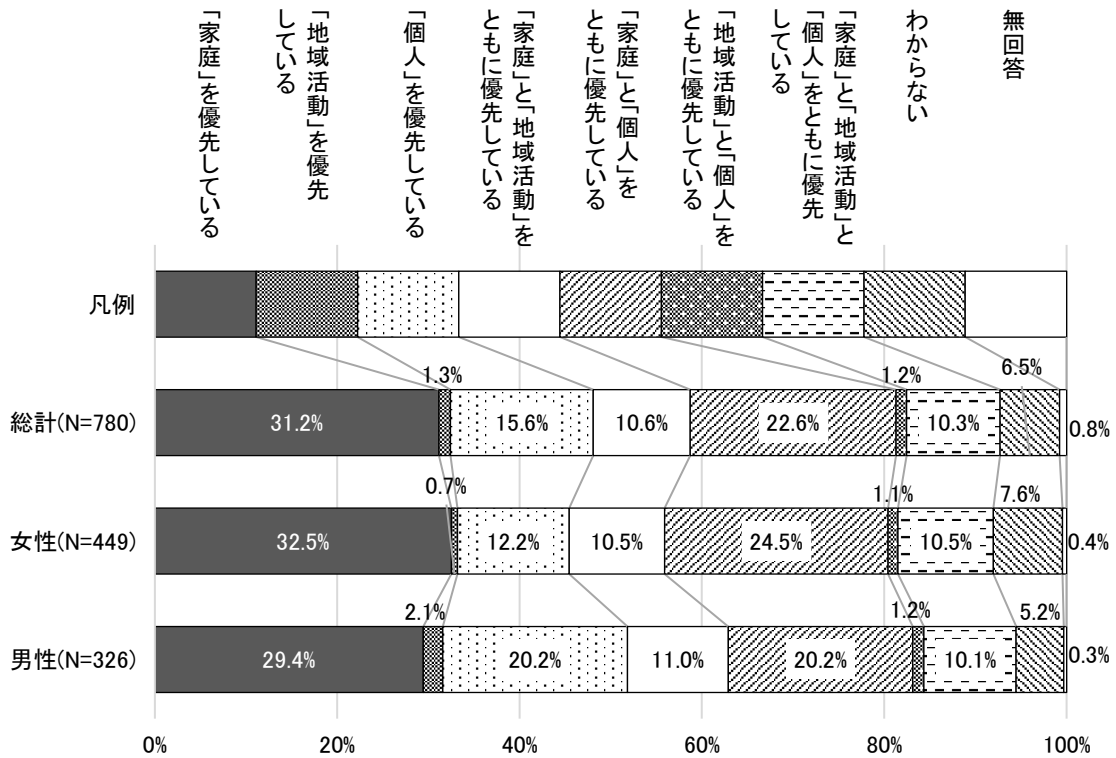
(2) 現実(現状)

女性、男性とも「家庭」を優先しているが最多で、「家庭」と「個人」をともに優先しているが続いた(男性は「個人」を優先しているも同率)。10歳代・20歳代の若い年代では、男女とも全体の傾向とは異なる結果となった。

図表問12-1 「家庭」と「地域活動」と「個人」の優先度について **希望**【性別】



図表問12-2 「家庭」と「地域活動」と「個人」の優先度について **現実(現状)**【性別】



図表問12-3 「家庭」と「地域活動」と「個人」の優先度について **希望**【性・年代別】

		問12 あなたの生活の中で、「家庭」と「地域活動」と「個人(学習・趣味・付き合い等)」の優先度についてお尋ねします。											
		(1) あなたの 希望 に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)											
		い「家庭」を優先した	した「地域活動」を優先	い「個人」を優先した	た動「家庭」と「地域活動」を優先した	を「家庭」と「個人」を優先した	た人「地域活動」と「個人」を優先した	も動「家庭」と「地域活動」を優先した	わ「家庭」と「個人」を優先した	わから	無回答		
総計 (N=780)		780	181	6	94	66	258	16	128	25	6		
		割合	100.0%	23.2%	0.8%	12.1%	8.5%	33.1%	2.1%	16.4%	3.2%	0.8%	
性・年代別	女性 (N=449)	449	94	3	44	33	173	7	78	15	2		
			割合	100.0%	20.9%	0.7%	9.8%	7.3%	38.5%	1.6%	17.4%	3.3%	0.4%
	10歳代・20歳代 (N=72)		72	10	0	8	1	40	2	7	4	0	
			割合	100.0%	13.9%	0.0%	11.1%	1.4%	55.6%	2.8%	9.7%	5.6%	0.0%
	30歳代 (N=55)		55	14	0	7	1	28	0	5	0	0	
			割合	100.0%	25.5%	0.0%	12.7%	1.8%	50.9%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	40歳代 (N=68)		68	18	1	8	1	31	0	8	1	0	
			割合	100.0%	26.5%	1.5%	11.8%	1.5%	45.6%	0.0%	11.8%	1.5%	0.0%
	50歳代 (N=80)		80	21	0	5	2	33	2	12	5	0	
			割合	100.0%	26.3%	0.0%	6.3%	2.5%	41.3%	2.5%	15.0%	6.3%	0.0%
	60歳代 (N=78)		78	13	0	6	10	25	1	22	0	1	
			割合	100.0%	16.7%	0.0%	7.7%	12.8%	32.1%	1.3%	28.2%	0.0%	1.3%
	70歳代 (N=95)		95	18	2	9	18	16	2	24	5	1	
			割合	100.0%	18.9%	2.1%	9.5%	18.9%	16.8%	2.1%	25.3%	5.3%	1.1%
	男性 (N=326)		326	86	3	49	33	85	9	50	10	1	
			割合	100.0%	26.4%	0.9%	15.0%	10.1%	26.1%	2.8%	15.3%	3.1%	0.3%
	10歳代・20歳代 (N=48)		48	5	0	13	1	19	2	5	3	0	
		割合	100.0%	10.4%	0.0%	27.1%	2.1%	39.6%	4.2%	10.4%	6.3%	0.0%	
30歳代 (N=42)		42	15	0	6	2	14	0	5	0	0		
		割合	100.0%	35.7%	0.0%	14.3%	4.8%	33.3%	0.0%	11.9%	0.0%	0.0%	
40歳代 (N=41)		41	16	0	4	1	14	1	3	2	0		
		割合	100.0%	39.0%	0.0%	9.8%	2.4%	34.1%	2.4%	7.3%	4.9%	0.0%	
50歳代 (N=49)		49	14	0	10	5	11	2	6	1	0		
		割合	100.0%	28.6%	0.0%	20.4%	10.2%	22.4%	4.1%	12.2%	2.0%	0.0%	
60歳代 (N=63)		63	15	1	7	8	14	2	14	2	0		
		割合	100.0%	23.8%	1.6%	11.1%	12.7%	22.2%	3.2%	22.2%	3.2%	0.0%	
70歳代 (N=83)		83	21	2	9	16	13	2	17	2	1		
		割合	100.0%	25.3%	2.4%	10.8%	19.3%	15.7%	2.4%	20.5%	2.4%	1.2%	

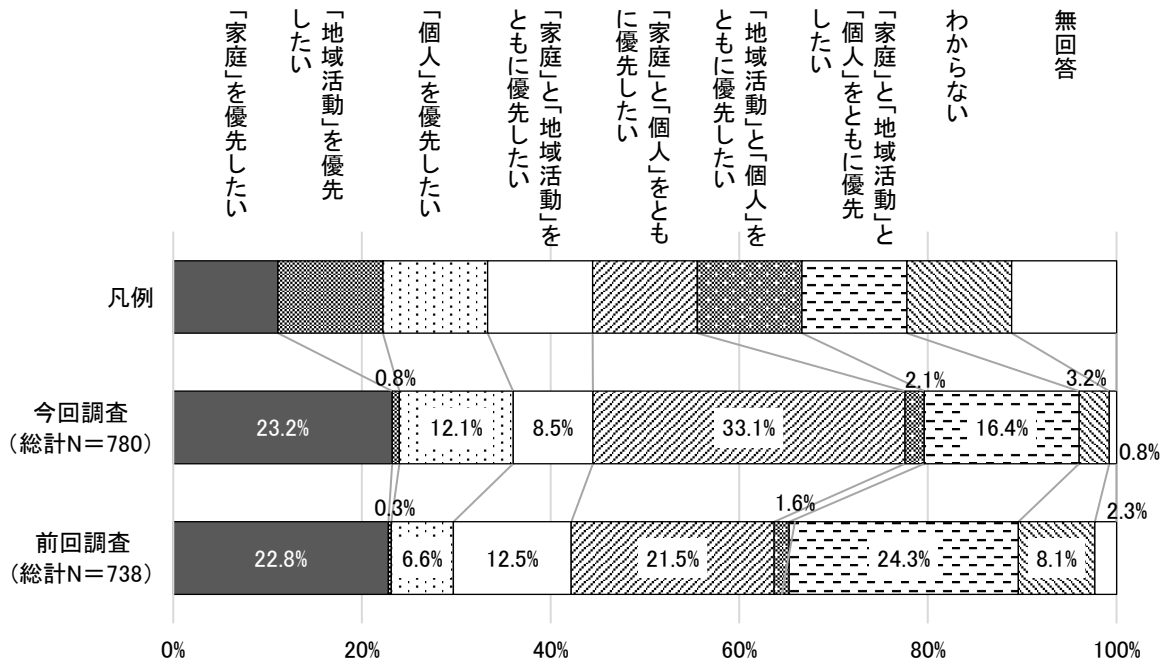
図表問12-4 「家庭」と「地域活動」と「個人」の優先度について **現実(現状)**【性・年代別】

		問12 あなたの生活の中で、「家庭」と「地域活動」と「個人(学習・趣味・付き合い等)」の優先度についてお尋ねします。											
		(2) あなたの 現実(現状) に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)											
		して「家庭」を優先	優「地域活動」を優先	して「個人」を優先	に域「家庭」と「地域活動」を優先するも「地	先人「家庭」と「個人」を優先するも「個	に「地域活動」と「個人」を優先するも「地	先人域「家庭」と「個人」を優先するも「個	域「家庭」と「個人」を優先するも「個	わから	無回答		
総計 (N=780)		780	243	10	122	83	176	9	80	51	6		
		割合	100.0%	31.2%	1.3%	15.6%	10.6%	22.6%	1.2%	10.3%	6.5%	0.8%	
性・年代別	女性 (N=449)	449	146	3	55	47	110	5	47	34	2		
			割合	100.0%	32.5%	0.7%	12.2%	10.5%	24.5%	1.1%	10.5%	7.6%	0.4%
	10歳代・20歳代 (N=72)		72	14	1	20	1	23	1	0	12	0	
			割合	100.0%	19.4%	1.4%	27.8%	1.4%	31.9%	1.4%	0.0%	16.7%	0.0%
	30歳代 (N=55)		55	26	0	5	3	13	0	2	6	0	
			割合	100.0%	47.3%	0.0%	9.1%	5.5%	23.6%	0.0%	3.6%	10.9%	0.0%
	40歳代 (N=68)		68	27	0	6	6	21	0	5	3	0	
			割合	100.0%	39.7%	0.0%	8.8%	8.8%	30.9%	0.0%	7.4%	4.4%	0.0%
	50歳代 (N=80)		80	31	1	7	6	20	0	6	9	0	
			割合	100.0%	38.8%	1.3%	8.8%	7.5%	25.0%	0.0%	7.5%	11.3%	0.0%
	60歳代 (N=78)		78	21	0	7	14	21	1	11	2	1	
			割合	100.0%	26.9%	0.0%	9.0%	17.9%	26.9%	1.3%	14.1%	2.6%	1.3%
	70歳代 (N=95)		95	27	1	10	17	12	3	23	1	1	
			割合	100.0%	28.4%	1.1%	10.5%	17.9%	12.6%	3.2%	24.2%	1.1%	1.1%
	男性 (N=326)		326	96	7	66	36	66	4	33	17	1	
			割合	100.0%	29.4%	2.1%	20.2%	11.0%	20.2%	1.2%	10.1%	5.2%	0.3%
	10歳代・20歳代 (N=48)		48	6	1	20	1	10	1	0	9	0	
		割合	100.0%	12.5%	2.1%	41.7%	2.1%	20.8%	2.1%	0.0%	18.8%	0.0%	
30歳代 (N=42)		42	18	1	9	1	9	0	3	1	0		
		割合	100.0%	42.9%	2.4%	21.4%	2.4%	21.4%	0.0%	7.1%	2.4%	0.0%	
40歳代 (N=41)		41	17	1	8	2	7	1	3	1	1		
		割合	100.0%	41.5%	2.4%	19.5%	4.9%	17.1%	2.4%	7.3%	2.4%	2.4%	
50歳代 (N=49)		49	15	2	14	2	10	1	4	1	0		
		割合	100.0%	30.6%	4.1%	28.6%	4.1%	20.4%	2.0%	8.2%	2.0%	0.0%	
60歳代 (N=63)		63	23	1	8	7	11	1	9	3	0		
		割合	100.0%	36.5%	1.6%	12.7%	11.1%	17.5%	1.6%	14.3%	4.8%	0.0%	
70歳代 (N=83)		83	17	1	7	23	19	0	14	2	0		
		割合	100.0%	20.5%	1.2%	8.4%	27.7%	22.9%	0.0%	16.9%	2.4%	0.0%	

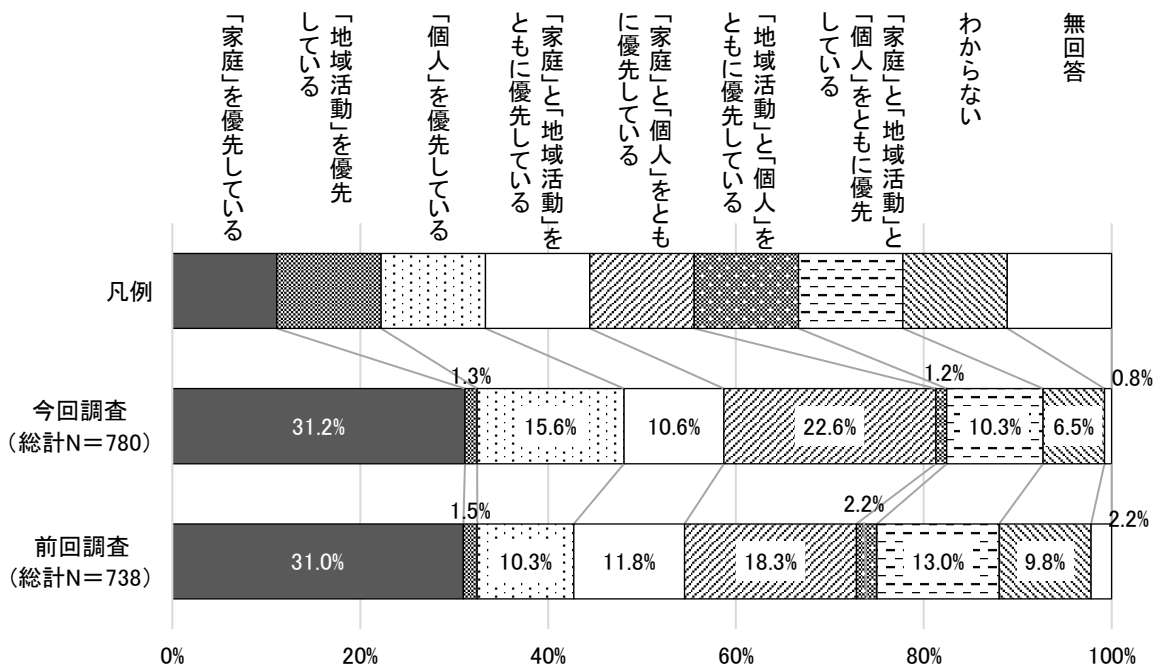
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、希望では「家庭」と「個人」をともに優先したい（33.1%）が最多で、前回調査より 11.6 ポイント上回り、次いで「家庭」を優先したい（23.2%）も 0.4 ポイント上回った。現実（現状）では前回調査と同様「家庭」を優先している（31.2%）が最多で微増、次いで「家庭」と「個人」をともに優先している（22.6%）が 4.3 ポイント、「個人」を優先している（15.6%）が 5.3 ポイント上回った。

図表問12-5 「家庭」と「地域活動」と「個人」の優先度について **希望** 【性別】



図表問12-6 「家庭」と「地域活動」と「個人」の優先度について **現実(現状)** 【性別】



【問13】 女性も男性も、家事や子育て、介護、地域活動、仕事等の取り組みに、自分の意志で積極的にかかわり、いきいきと暮らすことができるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

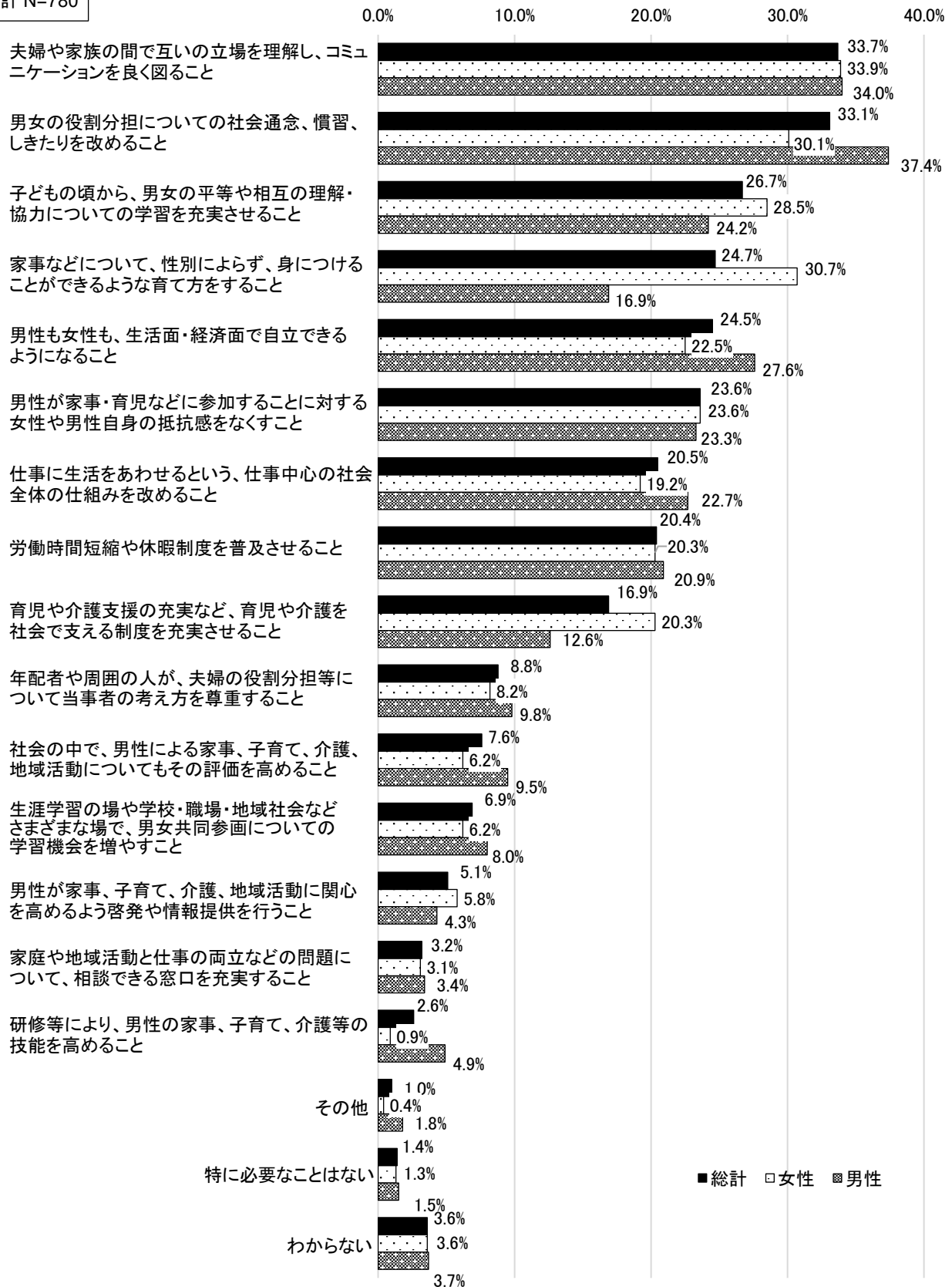
「夫婦や家族の間で互いの立場を理解し、コミュニケーションを良く図ること」(33.7%)と回答した割合が最も高く、次いで「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(33.1%)、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させること」(26.7%)の順となった。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性は「夫婦や家族の間で互いの立場を理解し、コミュニケーションを良く図ること」(33.9%)、男性では「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(37.4%)が最も高い割合となった。性・年代別にみると、女性の30歳代以下及び男性の10歳代・20歳代で「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」(30歳代女性では「仕事に生活をあわせるという、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること」と同率)、40歳代、60歳代女性で「家事などについて、性別によらず、身につけることができるような育て方をすること」、30歳代、40歳代男性で「仕事に生活をあわせるという、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること」(30歳代男性は「夫婦や家族の間で互いの立場を理解し、コミュニケーションを良く図ること」も同率)、60歳代以上男性で「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が最も高い割合となり、性・年代別にはバラツキがみられた。

図表問13-1 性別にかかわらず、家事、子育て、介護、地域活動等に参加するために必要なこと【総計】

総計 N=780



Ⅲ 社会活動、地域活動への参加・参画について

【問14】あなたは、現在、次のような活動に参加していますか。(○はいくつでも)

【全体】

社会活動、地域活動への参加では、「自治会や公民館などの地区を単位とした団体活動」(42.8%)、が最多で、「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」(15.8%)、「PTA、子ども会などの子どもの活動に関わる団体活動」(13.8%)が続いている。ただ、参加している人の中には、複数の活動に参加している人がいる一方で、「特に何もしていない」が42.4%と約4割の人が回答している。

【性別、性・年代別】

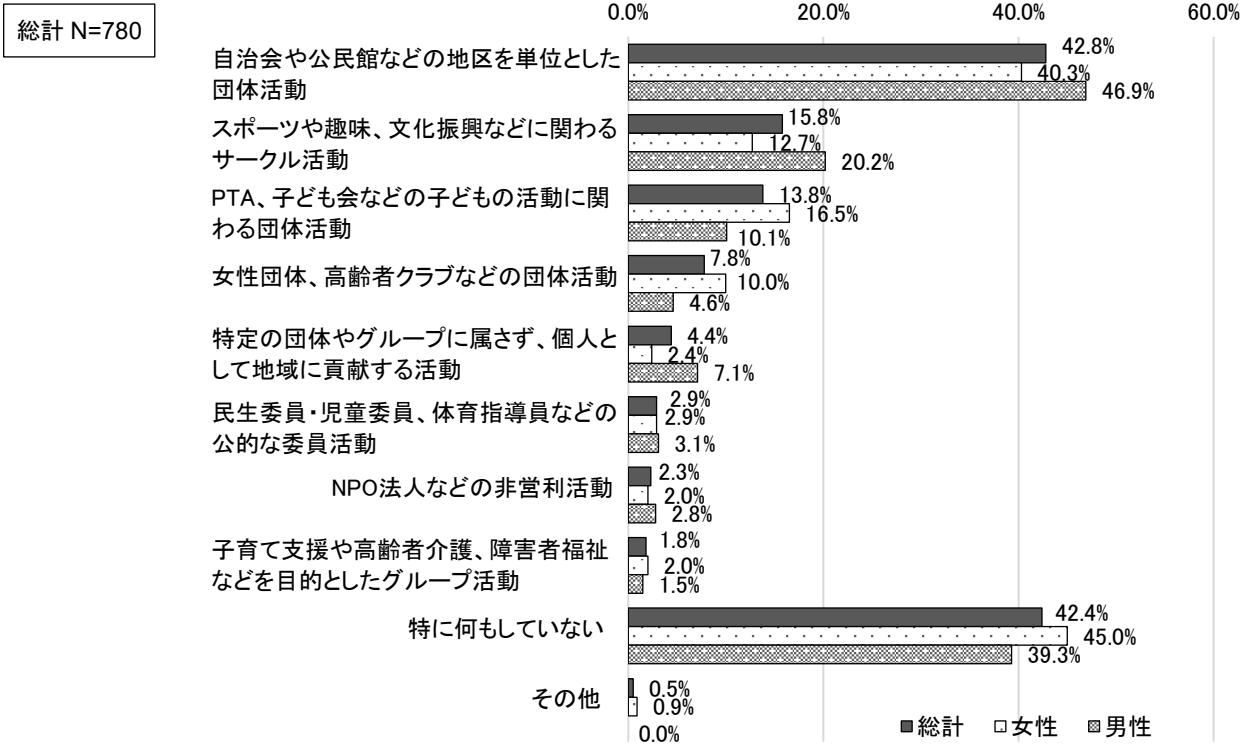
性別でみると、女性は「PTA、子ども会などの子どもの活動に関わる団体活動」「女性団体、高齢者クラブなどの団体活動」「子育て支援や高齢者介護、障がい者福祉などを目的としたグループ活動」と回答した割合が男性より高く、男性は「自治会や公民館などの地区を単位とした団体活動」「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」「特定の団体やグループに属さず、個人として地域に貢献する活動」「NPO法人などの非営利活動」と回答した割合が女性より高くなっている。

性・年代別でみると、50歳以上の女性と30～40歳代、60歳以上の男性で「自治会や公民館などの地区を単位とした団体活動」と回答した割合が高く、40歳代女性では「PTA、子ども会などの子どもの活動に関わる団体活動」が最多となっている。一方、すべての世代で「特に何もしていない」の割合が高く、30歳代以下及び60歳代の女性、10歳代・20歳代及び50歳代の男性で最多であった。

【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】

前回調査及び県調査と比較すると、いずれも「自治会や公民館などの地区を単位とした団体活動」が最多で、7番目まで県の調査と同様の順位だが、前回調査とは、3番目以降の順位に差異がみられた。「特に何もしていない」割合は、前回調査、県調査を上回った。

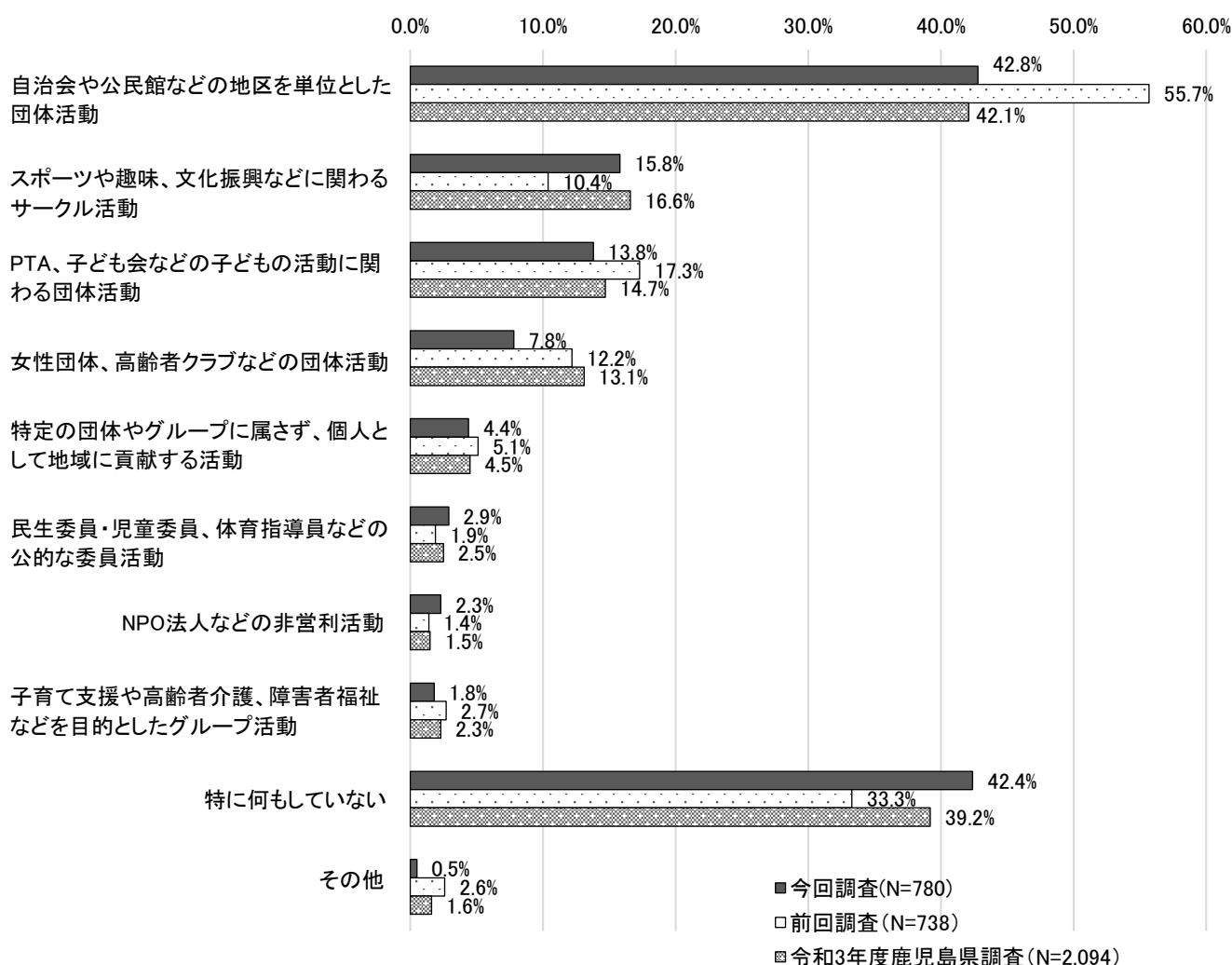
図表問14-1 社会活動、地域活動への参加状況【総計】



図表問14-2 社会活動、地域活動への参加状況【性・年代別】

	回答総数	問14 あなたは、現在、次のどのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)									
		自治会や公民館などの地区を単位とした活動	PTA、子ども会などの子どもの活動	女性団体、高齢者クラブなどの団体活動	特定の団体やグループに属さず、個人として地域に貢献する活動	民生委員・児童委員、体育指導員などの公的な委員活動	NPO法人などの非営利活動	子育て支援や高齢者介護、障害者福祉などを目的としたグループ活動	特に何もしていない	その他	その他
総計 (N=780)	1,050	334	108	61	23	14	18	34	123	331	4
割合	-	42.8%	13.8%	7.8%	2.9%	1.8%	2.3%	4.4%	15.8%	42.4%	0.5%
女性 (N=449)	605	181	74	45	13	9	9	11	57	202	4
割合	-	40.3%	16.5%	10.0%	2.9%	2.0%	2.0%	2.4%	12.7%	45.0%	0.9%
10歳代・20歳代 (N=72)	75	7	3	1	0	1	1	0	8	53	1
割合	-	9.7%	4.2%	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	11.1%	73.6%	1.4%
30歳代 (N=55)	71	19	21	0	0	1	0	1	4	25	0
割合	-	34.5%	38.2%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	7.3%	45.5%	0.0%
40歳代 (N=68)	106	36	39	2	1	0	3	0	5	20	0
割合	-	52.9%	57.4%	2.9%	1.5%	0.0%	4.4%	0.0%	7.4%	29.4%	0.0%
50歳代 (N=80)	105	37	11	7	5	2	3	2	5	33	0
割合	-	46.3%	13.8%	8.8%	6.3%	2.5%	3.8%	2.5%	6.3%	41.3%	0.0%
60歳代 (N=78)	103	36	0	10	3	1	1	1	14	36	1
割合	-	46.2%	0.0%	12.8%	3.8%	1.3%	1.3%	1.3%	17.9%	46.2%	1.3%
70歳代 (N=95)	145	46	0	25	4	4	1	7	21	35	2
割合	-	48.4%	0.0%	26.3%	4.2%	4.2%	1.1%	7.4%	22.1%	36.8%	2.1%
男性 (N=326)	442	153	33	15	10	5	9	23	66	128	0
割合	-	46.9%	10.1%	4.6%	3.1%	1.5%	2.8%	7.1%	20.2%	39.3%	0.0%
10歳代・20歳代 (N=48)	55	10	3	0	1	0	0	0	15	26	0
割合	-	20.8%	6.3%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%	54.2%	0.0%
30歳代 (N=42)	66	20	11	2	2	2	3	3	9	14	0
割合	-	47.6%	26.2%	4.8%	4.8%	4.8%	7.1%	7.1%	21.4%	33.3%	0.0%
40歳代 (N=41)	59	21	11	1	1	0	2	1	4	18	0
割合	-	51.2%	26.8%	2.4%	2.4%	0.0%	4.9%	2.4%	9.8%	43.9%	0.0%
50歳代 (N=49)	52	19	3	0	0	0	0	3	5	22	0
割合	-	38.8%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	10.2%	44.9%	0.0%
60歳代 (N=63)	79	37	3	1	0	0	1	4	11	22	0
割合	-	58.7%	4.8%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%	6.3%	17.5%	34.9%	0.0%
70歳代 (N=83)	131	46	2	11	6	3	3	12	22	26	0
割合	-	55.4%	2.4%	13.3%	7.2%	3.6%	3.6%	14.5%	26.5%	31.3%	0.0%

図表問14-3 社会活動、地域活動への参加状況【前回調査、令和3年度鹿児島県調査との比較】



【問15】 問14で、「1」～「8」を選んだ方にお尋ねします。あなたの気持ちに一番近いものはどれですか。
 (○は1つ)

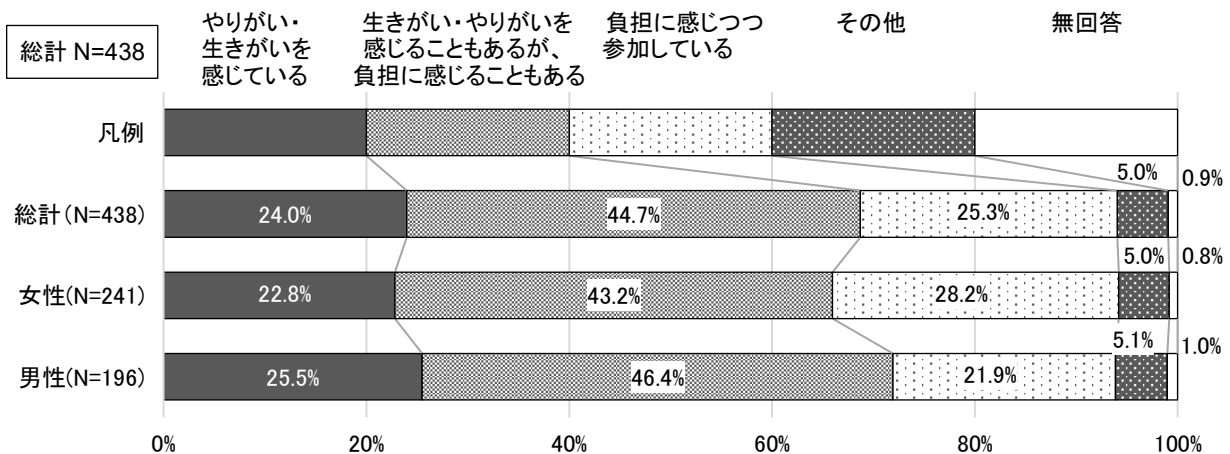
【全体】

何らかの社会活動、地域活動へ参加していると回答した人の気持ちを探ねたところ、全体では、「生きがい・やりがいを感じることもあるが、負担に感じることもある」(44.7%)、「負担に感じつつ参加している」(25.3%)、「生きがい・やりがいを感じている」(24.0%)の順となった。少しは負担も感じつつ参加している状況がうかがえる結果となった。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、男女ともに同様の結果となったが、性・年代別には、30歳代の女性では、「負担に感じつつ参加している」(50.0%)、10歳代・20歳代女性と30歳以下の男性では「生きがい・やりがいを感じる」が最も高い割合となっている。「負担に感じつつ参加している」割合は、30歳代女性(50.0%)のほか、40歳代(35.4%)と50歳代(40.4%)の女性が高い傾向があり、また、男性では50歳代(37.0%)が他の年代よりやや高い割合となっている。

図表問15-1 地域における活動へ参加している人たちの気持ちについて【総計・性別】



図表問15-2 地域における活動へ参加している人たちの気持ちについて【性・年代別】

			問15 問14で、「1」～「8」を選んだ方にお尋ねします。あなたの気持ちに一番近いものはどれですか。(○は1つ)					
			いきがいてやるが	じあるもあに感	あいる・じい・こやとりも	加しに感じつつ参	その他	無回答
総計 (N=438)		438	105	196	111	22	4	
		割合	100.0%	24.0%	44.7%	25.3%	5.0%	0.9%
性・年代別	女性 (N=241)	241	55	104	68	12	2	
		割合	100.0%	22.8%	43.2%	28.2%	5.0%	0.8%
	10歳代・20歳代 (N=18)	18	6	5	4	3	0	
		割合	100.0%	33.3%	27.8%	22.2%	16.7%	0.0%
	30歳代 (N=30)	30	5	9	15	1	0	
		割合	100.0%	16.7%	30.0%	50.0%	3.3%	0.0%
	40歳代 (N=48)	48	4	25	17	2	0	
		割合	100.0%	8.3%	52.1%	35.4%	4.2%	0.0%
	50歳代 (N=47)	47	3	21	19	3	1	
		割合	100.0%	6.4%	44.7%	40.4%	6.4%	2.1%
	60歳代 (N=41)	41	14	19	5	2	1	
		割合	100.0%	34.1%	46.3%	12.2%	4.9%	2.4%
	70歳代 (N=57)	57	23	25	8	1	0	
		割合	100.0%	40.4%	43.9%	14.0%	1.8%	0.0%
	男性 (N=196)	196	50	91	43	10	2	
		割合	100.0%	25.5%	46.4%	21.9%	5.1%	1.0%
	10歳代・20歳代 (N=22)	22	11	6	4	1	0	
		割合	100.0%	50.0%	27.3%	18.2%	4.5%	0.0%
	30歳代 (N=28)	28	10	9	8	1	0	
		割合	100.0%	35.7%	32.1%	28.6%	3.6%	0.0%
	40歳代 (N=22)	22	3	10	6	2	1	
		割合	100.0%	13.6%	45.5%	27.3%	9.1%	4.5%
	50歳代 (N=27)	27	4	11	10	2	0	
		割合	100.0%	14.8%	40.7%	37.0%	7.4%	0.0%
	60歳代 (N=41)	41	7	25	8	1	0	
		割合	100.0%	17.1%	61.0%	19.5%	2.4%	0.0%
	70歳代 (N=56)	56	15	30	7	3	1	
		割合	100.0%	26.8%	53.6%	12.5%	5.4%	1.8%

【問16】地域の活動で、次のような雰囲気や慣習がありますか。(○はいくつでも)

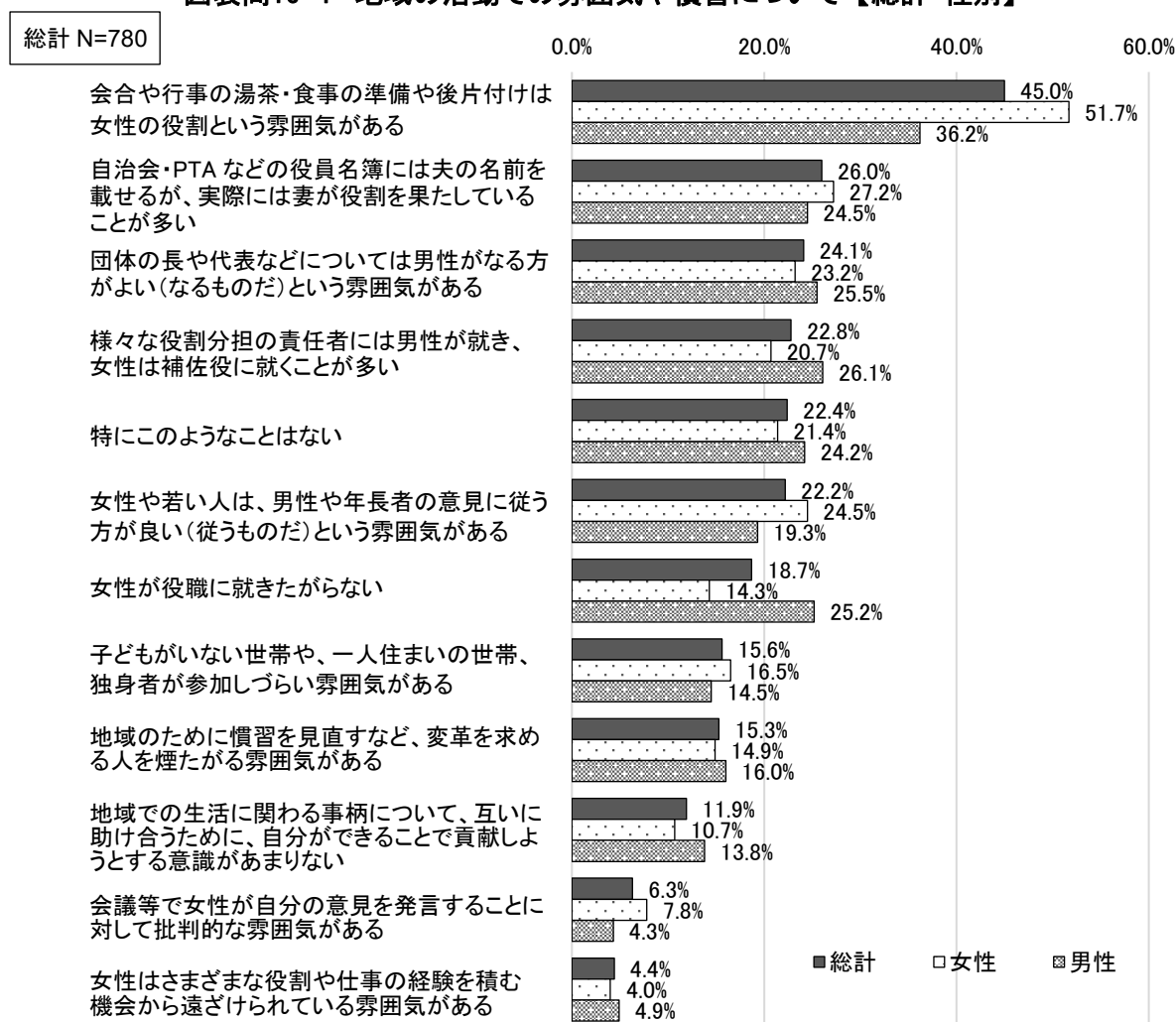
【全体】

地域の活動での雰囲気や慣習について尋ねたところ。「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」(45.0%)と半数近くを占め、「自治会・PTAなどの役員名簿には夫の名前を載せるが、実際には妻が役割を果たしていることが多い」(26.0%)、「団体の長や代表などについては男性になる方がよい(なるものだ)という雰囲気がある」(24.1%)と続いている。「特にこのようなことはない」と回答したのは24.4%で、概ね4人に1人という状況がある。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性では半数以上の人々が「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」(51.7%)と回答し、男性の36.2%を大きく上回った。性・年代別では、女性がすべての年代で「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」が最多なのに対し、男性の10歳代・20歳代及び50歳代で「特にこのようなことはない」が最も高い割合となっている。

図表問16-1 地域の活動での雰囲気や慣習について【総計・性別】



図表問16-2 地域の活動での雰囲気や慣習について【性・年代別】

		問16 地域の活動で、次のような雰囲気や慣習がありますか。(〇はいくつでも)																													
		回答総数	参加し	子ども	気が	長	女性	気	て	団	判	会	る	ざ	事	女	役	様	た	が	名	自	い	割	会	た	地	あ	で	に	特
			する	づら	あ	者	や	あ	は	は	体	を	議	事	の	性	に	々	し	名	治	女	性	準	合	な	域	ま	に	こ	
総計 (N=780)		1,831	122	173	188	49	34	178	203	146	351	119	93	175	割合	-	15.6%	22.2%	24.1%	6.3%	4.4%	22.8%	26.0%	18.7%	45.0%	15.3%	11.9%	22.4%			
性・年代別	女性 (N=449)	1,063	74	110	104	35	18	93	122	64	232	67	48	96	割合	-	16.5%	24.5%	23.2%	7.8%	4.0%	20.7%	27.2%	14.3%	51.7%	14.9%	10.7%	21.4%			
	10歳代・20歳代 (N=72)	140	13	22	9	2	2	8	9	8	27	10	4	26	割合	-	18.1%	30.6%	12.5%	2.8%	2.8%	11.1%	12.5%	11.1%	37.5%	13.9%	5.6%	36.1%			
	30歳代 (N=55)	134	9	16	12	4	3	10	22	2	26	8	8	14	割合	-	16.4%	29.1%	21.8%	7.3%	5.5%	18.2%	40.0%	3.6%	47.3%	14.5%	14.5%	25.5%			
	40歳代 (N=68)	164	15	23	15	6	2	13	22	8	35	12	2	11	割合	-	22.1%	33.8%	22.1%	8.8%	2.9%	19.1%	32.4%	11.8%	51.5%	17.6%	2.9%	16.2%			
	50歳代 (N=80)	212	17	26	17	8	3	16	22	12	50	21	11	9	割合	-	21.3%	32.5%	21.3%	10.0%	3.8%	20.0%	27.5%	15.0%	62.5%	26.3%	13.8%	11.3%			
	60歳代 (N=78)	201	15	17	24	5	5	19	27	18	40	12	8	11	割合	-	19.2%	21.8%	30.8%	6.4%	6.4%	24.4%	34.6%	23.1%	51.3%	15.4%	10.3%	14.1%			
	70歳代 (N=95)	212	5	6	27	10	3	27	20	16	54	4	15	25	割合	-	5.3%	6.3%	28.4%	10.5%	3.2%	28.4%	21.1%	16.8%	56.8%	4.2%	15.8%	26.3%			
	男性 (N=326)	764	47	63	83	14	16	85	80	82	118	52	45	79	割合	-	14.4%	19.3%	25.5%	4.3%	4.9%	26.1%	24.5%	25.2%	36.2%	16.0%	13.8%	24.2%			
	10歳代・20歳代 (N=48)	92	6	12	6	0	2	7	10	8	12	7	3	19	割合	-	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	4.2%	14.6%	20.8%	16.7%	25.0%	14.6%	6.3%	39.6%			
	30歳代 (N=42)	108	5	13	13	4	1	12	10	9	18	11	4	8	割合	-	11.9%	31.0%	31.0%	9.5%	2.4%	28.6%	23.8%	21.4%	42.9%	26.2%	9.5%	19.0%			
	40歳代 (N=41)	85	7	5	9	3	0	8	10	8	12	8	5	10	割合	-	17.1%	12.2%	22.0%	7.3%	0.0%	19.5%	24.4%	19.5%	29.3%	19.5%	12.2%	24.4%			
	50歳代 (N=49)	127	13	10	12	3	3	14	13	15	14	6	6	18	割合	-	26.5%	20.4%	24.5%	6.1%	6.1%	28.6%	26.5%	30.6%	28.6%	12.2%	12.2%	36.7%			
	60歳代 (N=63)	167	9	13	23	2	8	18	17	14	29	10	13	11	割合	-	14.3%	20.6%	36.5%	3.2%	12.7%	28.6%	27.0%	22.2%	46.0%	15.9%	20.6%	17.5%			
	70歳代 (N=83)	185	7	10	20	2	2	26	20	28	33	10	14	13	割合	-	8.4%	12.0%	24.1%	2.4%	2.4%	31.3%	24.1%	33.7%	39.8%	12.0%	16.9%	15.7%			

【問17】 あなたが地域における活動に参加する中で感じているやりがい、または苦勞していることなどがありましたら教えてください。

地域における活動に参加する中で感じているやりがい、または苦勞していることについて尋ねたところ、回答件数は128件で、その内訳は「活動のやりがい」が18件、「やりがいはあるが苦勞もある」が1件、「苦勞していること」が94件、「その他」が15件であり、主な意見等を掲載している。

また、その内容は、「活動のやりがい」については、「人とのつながり・ふれあい、仲間づくり」(9件)、「地域貢献・社会貢献」(4件)、「活動の楽しみ」(3件)等があげられた。「やりがいはあるが苦勞もある」については1件、「苦勞していること」では、「参加者の減少・固定化」(11件)、「高齢化の影響」(16件)、「慣習の押し付け」(12件)、「地域活動に対する意識・見解」(33件)、「仕事との両立が困難」(7件)、「役員のなり手不足」(7件)、「時間の確保が困難」(6件)、「地域のコミュニケーションの希薄化」「活動自体や人間関係が困難・面倒」(ともに1件)といったことがあげられた。

【活動のやりがい(18件)】

■人とのつながり・ふれあい、仲間づくり(9件)

【主な意見】

- 幅広い年齢層の人とのかかわりがもて、良い気分転換の場となっている。(女性、20歳代)
- 年2回行われる自治会の清掃活動は、草払い等大変ですが、早朝から多くの住民と協力しながら綺麗にすることはとても清々しい気持ちになります。普段、近くに住んでいても会う機会があまりない方と朝の活動を通して顔を合わせて他愛もない事を話したり、お互いの近況を報告できるので温かい気持ちになります。(女性40歳代)
- 一人暮らしなので地域活動が楽しみで、いきいきサロン、筋ちゃん広場に参加して楽しんでおります。デイサービスのボランティアにも参加させていただき、少しでも高齢の方々から生き方、やさしさ、生き抜く努力を学ばせていただき楽しんでおります。(女性、70歳代)
- 地域、近所とのつながりがなければ自分たちも生活がスムーズにいかない点が多いと思う。そのためにも、地域の活動など積極的に参加し、つながりを保つことが、防犯、住民の把握にも大きくつながると思う。(男性、20歳代)
- 毎回参加は出来ていないが、地域の清掃活動に参加することで、地域の人たちと会話を交えられること。(男性、20歳代)
- 地域の触れ合いの場が多くあり、子どもたちも親の姿をみて生活していると思う。(男性、60歳代)

■地域貢献・社会貢献(4件)

【主な意見】

- 私個人ではなく家人が行っている活動に協力している。今、自分たちにできる事をということで、1人暮らしの方の見守りや庭の手入れなど喜んでいただくとうれしいし、やりがいもある。後に続く人がいない(代表となる人)協力者はいっぱいいます。悩みです。(女性、70歳代)
- 自治会を8年しています。男女にかかわらず皆で助け、助けられる地域づくりを目指し、いろいろな活動をしています。勿論、昔の気風は一部残っていると思いますが、男女にかかわらず皆が輝く地域づくりが目標です。男性と女性、意識することは全くありません。(男性、70歳代)

- 現在、自治会長をしています。同地域に長年住んでいるのですが、今回この役を頂いて、やっと地域のことが徐々にわかってきたような気がします。住民の方々と話す機会が増え、何かしらお役に立てればと、日々精進しています。助成金のために行動している様な面もあり、疑問に感じることもあります。(男性、70歳代)

■活動自体の楽しみ(3件)

【主な意見】

- 自治会の役員をしているため、住民から依頼されたことを果たして、感謝の言葉をいただいたり、頼りにされたりすることで、やりがいを感じることもある。反面、高齢化社会となり、地域活動に参加する方が減ったり、地域が衰退したりすることに寂しさを感じている。(男性、60歳代)

■その他(2件)

【主な意見】

- 特にありません。地域の方々がみなさん男女平等で行事などに参加しています。(男性、40歳代)

【やりがいはあるが苦労もある(1件)】

- コロナ禍でだいぶ行事が中止になったり、縮小したりしていましたが、できればこれを機に取捨選択してほしいものです。過去の話になりますが、ホント子育て世代の女性の役員は負担でした。地域活動で人と出会い、話をするのは、それはそれで良い時間だと思います。最近、身近な人がなくなり、疎遠だった人たちと話をするのが、とても懐かしく、これから、この付き合いを大事にしていきたいと思い、改めて住んでいる地域のつながりも大切にすべきだと思いました。(女性、50歳代)

【苦労していること(94件)】

■地域活動に対する意識・見解(33件)

【主な意見】

- 平等にこだわりすぎて、逆に不平等に感じることもある。互いの違いを認め合うことが大切だと思う。(女性、20歳代)
- 奉仕作業などに参加しなかった場合、罰金などの制度がある地域が理解できない。子育て世代は、一瞬たりとも子供から目が離せないのに、そのようなものに参加出来ない。業者をお願いすればいいと思う。(女性、20歳代)
- 高齢の方は「女性だから～」「男というものは～」とよく話されることがあります。また活動中でも女性は当たり前前に男性に気を遣って接してることが多く感じて、それが自然に行われていることに疑問を持つことがあります。自身より高齢の方には意見を言えない雰囲気があり、結局は何も言うことができません。(女性、30歳代)
- 自治会の清掃等、決まった人しか参加せず、人手が足りない。不参金を払えば参加しなくて良いという雰囲気があるように感じる。(女性、30歳代)
- 子育て世代は、学校行事、PTA活動、仕事フルタイム、家事等がある上、地域活動に参加させられる。昔と違って少子化で少人数で学校行事をささえているのに、地域行事などが多く、ゆっくり休む暇もない。行事に参加しないと年配者に批判される。(女性、40歳代)

- 夫婦二人世帯なので地域内で横の連携が全くない。地域行事にはあまり参加したくない。(美化活動も) (女性、40 歳代)
- 地域活動に参加したくない (性格上の問題です)。(女性、50 歳代)
- 自治体の作業などで、年齢が高くなれば参加しにくくなるけど、若い人たちの参加が少ないから無理して活動に出る場合がある。年齢制限などつけて作業法など考えてほしいです。(女性、60 歳代)
- ここ数年はコロナにより会合等がかなり少なくなっているが、これまでは、必要を感じない会合等が多いように感じる。仕事をしていると負担に感じる事や仕事を休んで参加することがあった。見直しが必要。地域の運動会も今年中止だったが、果たして来年以降、地域の運動会をどれくらいの人たちが希望しているのかアンケートをとって欲しいです。例えば 10%ぐらいだった場合、残りの方は義務で参加しているとなった場合の意味、意義は？親子、祖父母で楽しめるイベントなどに変更してみるのも・・・。本当に参加したい、楽しみたいというものにしてほしい (日置市には魅力のあるものがたくさんあると思います)。(女性、60 歳代)
- 若者世代に対する地域活動の参加を強制する場面がある。収入等も少ない中、共働きで余裕がない状況で、このようなことがあると、この地域 (日置市) に住みづらいと感じることがある。この為なかなか地域活動自体に関りを持ちたくないと思う若者世代が増えそうな気がする。(男性、20 歳代)
- 地域運動会など行事が多く負担、鹿児島市はなかった。(男性、30 歳代)
- 自治会活動で高齢の方でも、奉仕作業等参加するのにも関わらず、若い人が全然参加していない。ましてや、家の前をしてもらっているのに出てこないことがあり残念。誰かが綺麗に整備等してくれることを当たり前だと思わないでほしい。(男性、30 歳代)
- 人の意見を聞かない、自分勝手な発言をする、意見を言うのではなく悲観しかしないなどの傾向が年長者に多い。その一方で、「若い者がやらない」という風潮がある。それらが原因で自治会を抜ける若者世帯も少なくない。生産年齢層は、仕事、家庭、育児と忙しい中、地域活動に参加しているが、そのような状況で、高齢者に批判的な事を言われ、ストレスでしかない。(男性、40 歳代)
- 1 人でいるため地域活動に入りづらいです。(男性、50 歳代)
- 地域行事にあまり積極的でない。個人の予定を優先する意識が大。(男性、60 歳代)
- 地域において特定の人しか意見を言わない。(男性、70 歳代)

■高齡化の影響(16 件)

【主な意見】

- 自治会の清掃活動で、高齡化のため清掃活動できる人が少なく、清掃活動に参加している 1 人ひとりの負担が大きいことに苦勞している。(女性、20 歳代)
- 地域清掃など、参加者は大体同じ人になる事。高齡者も多く参加者の負担が増している様に感じる。(女性、40 歳代)
- 自治会において高齡化が進んで毎年の自治会長などの役員決めが苦勞しています。(女性、70 歳代)
- 地域の奉仕作業として行われる草刈りの回数が多い。高齡化が進んでいる自治会では、人数確保も難しく、一人一人の負担が大きい。(男性、20 歳代)
- 高齡化している社会形成が地域活動を鈍化させていると感じる。(男性、40 歳代)
- 高齡化に伴い活動の担い手が少なくなり、好むと好まざるとに関わらず参加せざるを得ない状況になっている。(男性、40 歳代)

- 高齢化により、参加（地域活動）者が少ない。若い人が少なく、役員の引き受け手がいない。（男性、60 歳代）
- 高齢化して自治会の役職に就く人が少なく、このままでは自治会の合併か消滅を考えなければならない。（男性、70 歳代）

■参加者の減少・固定化(11 件)]

【主な意見】

- 不参加が続く人を責めてしまう風潮がある。あなた方が責めるから、その雰囲気は伝わるから、なお参加したくなくなるんでしょう・・・と思う。（女性、50 歳代）
- 奉仕作業の時の人数の減少（女性、60 歳代）
- 参加者が年々減ってきている。（男性、20 歳代）
- 若い世代の会員が入ってこない。（男性、40 歳代）
- ボランティアなどに参加する人が同じメンバーになり、広がりにくい。役を一旦引き受けるとなかなかやめられない。（男性、70 歳代）

■慣習の押し付け(12 件)

【主な意見】

- 自治体に女性部という集まり（？）がある。公民館の清掃や運動会、敬老会のお茶やお弁当の手配などが活動としてあるが、なぜ女性がしないといけないのか理解に苦しむ。（女性、30 歳代）
- 子どもの少ない地域での子ども活動は役員になる回数も多く、出席あまりしたくないような行事も参加せざるおえない状況です。昔からの伝統、分かりますが。やりたい方がいろんな地域の方とされるとか、やりたい方だけ参加できるようなものもあってよいのでは？と思います。親も子もつらい行事もあります。（女性、40 歳代）
- 何故、地域の行事（六月灯、夏祭り、敬老会など）の余興を女性がしなければならないのでしょうか？昔も今もずっとです。あるいは、男性、女性、共に仕事をしている現代で、「いきいきサロン」の活動などで食事提供を手伝ったりするのは女性だけなのでしょうか？（女性、40 歳代）
- 女性も働く環境の中で女性部があり、花見などの宴会などの準備と仕切りを任せられ、男性はお酒を酌み交わし、かたづけまで女性部が行うことに毎年嫌な思いをしていた。様々な公民館行事も参加者はほとんど高齢者なのに、仕切りは女性部で、忙しい中、時間を作るのが大変なので敬老会で仕切ってほしい。町内会費は若い方も全員支払うのに、ほとんどの行事に若い方は参加が少なく、町内会費の使い道も、皆が支払って良くなったと思える環境づくりのために使った方が良いと思う。（行事の景品や旅行などは参加者のみになるので）（女性、50 歳代）
- 今まで通りでよいという考えが多いような気がする。（女性、60 歳代）
- 年長者は「これからは若い人の時代だから、あなたたちが頑張りなさい」と言われるが、実際は『私たちがやってきたことをこれまでもやり続けるように。』というのが隠されている。ゆえに慣習と違うことをしようとする「んにゃ、そいじゃなか」と否定され結局何もできず、負担が増す一方である。口を出すばかりで実際には何もしない、ふんぞりかえっている人が多い。特に年長者や昔からそこに住んでいる人。何が問題かはわかっているはずなのに、興味がないのか…。（男性、30 歳代）

■仕事との両立が困難(7件)

【主な意見】

- 仕事との両立が難しい。地域での活動より家族との時間に休日などは使いたい。(女性、30歳代)
- 現在はコロナで活動が減っており、助かっているが、また以前のように活動が再開したら、仕事を休んで地域の活動に参加しなければならない負担がある。地域活動への参加は女性に多いと思うが、仕事を休まなければならない活動に苦勞を感じる。(女性、30歳代)
- 勤務との調整。(女性、60歳代)
- 仕事の都合で出席できない時、冷たい目で見られる。(男性、60歳代)

■役員のなり手不足(7件)

【主な意見】

- 集落の人数が少ないのに、地域の活動、役員などをしないといけないのがとてもつらいです。(男性、50歳代)
- 役職を敬遠する人が多い(男性、70歳代)

■時間の確保が困難(6件)

【主な意見】

- 子供が乳児・幼児期に地域の活動の役員として参加するのは大変だと感じる。配偶者も仕事で忙しく、子供を預けられず、夜に会合等あると子供連れだと苦勞する。(女性、30歳代)
- 会合や活動が平日にあり、仕事を休んで参加する必要がある。特に、会長になると、平日の会合が多く、働き世代には参加するのが難しい。でも、役を引き受けてくれる人がいない時は、くじ引き等で決められるので、それが嫌で、自治会や育成会に入らない方が増えてきている。辞める人が増えてくると、在籍している人に皺寄せが来る。地区によっては、婦人部が存在し、みんなが使う公民館の掃除を婦人部が担うところもある。(女性、50歳代)
- 地域活動に参加する時間的、労働的ゆとりがない。(男性、30歳代)

■地域のコミュニケーションの希薄化(1件)

- 人としての基本のおもいやり、やさしさ、助け合いの精神が失われてきている。(女性、70歳代)

■活動自体や人間関係が困難・面倒(1件)

- グループが出来て、進んで入りづらい。(女性、60歳代)

[その他(15件)]

【主な意見】

- 未婚である私に対して、「まだまだ大丈夫」「きっといい人が見つかるわよ」と声をかけてくださる方(つまり、結婚はして当然と考える方)が、多くいらっしゃる。ご心配いただくのはありがたいことではあるが、同時に、結婚をしないことは悪と置いていらっしゃる方が多いのだと感じる。(女性、40歳代)
- コロナの影響があり、地域の方々と交流すらない(イベントの中止)。(男性、50歳代)

IV 就業について

【問18】女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

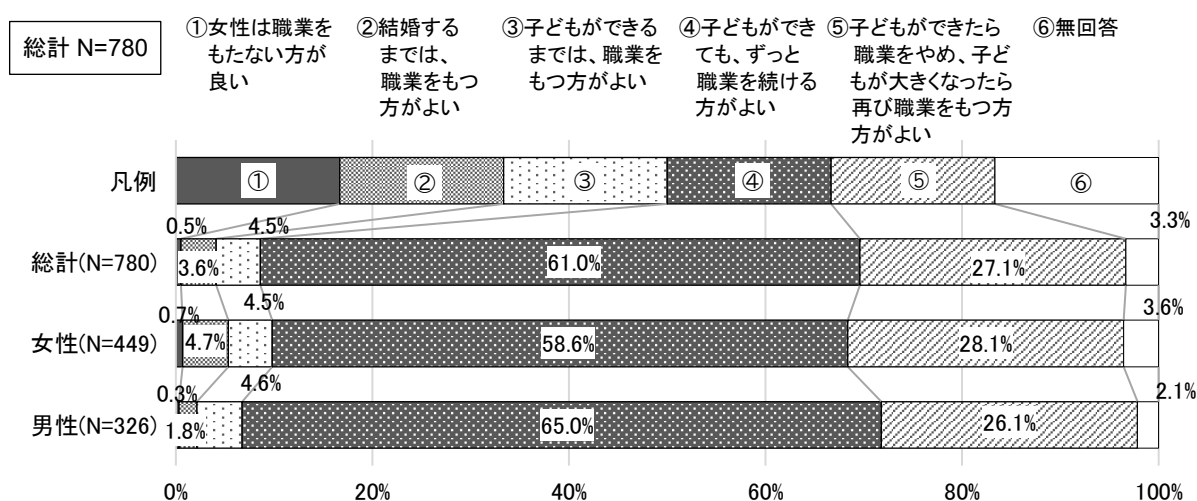
【全体】

女性が職業をもつことについての考えを尋ねたところ、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」(61.0%)と半数以上を占め、「子どもができれば、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(27.1%)と続いている。これ以外の選択肢では、5%に満たない結果となった。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、男女ともに「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が最多で、特に男性では、65.0%と女性より6.4ポイント上回った。性・年代別で見ると「子どもができれば、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合が、女性では10歳代・20歳代と60歳代以上、男性では70歳代以上が3割を超えている。また、30歳代と50歳代の女性と50～60歳代の男性では7割が「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答している。

図表問18-1 女性が職業をもつことについて【総計・性別】



図表問18-2 女性が職業をもつことについて【性・年代別】

		問18 女性が仕事をもつことについて、あなたはどのよう にお考えですか。(○は1つ)						
		い 女 方 性 が 良 い 職 業 を も た な	業 結 婚 も す る 方 が よ い 、 職	よ は い 、 ど も 職 業 を も つ る 方 が よ い	子 ど も が い い 職 業 を も つ る 方 が よ い	方 が よ い 職 業 を も つ る 方 が よ い	子 ど も が い い 職 業 を も つ る 方 が よ い	職 業 を も つ る 方 が よ い
総計 (N=780)		780 割合 100.0%	4 0.5%	28 3.6%	35 4.5%	476 61.0%	211 27.1%	26 3.3%
性・年代別	女性 (N=449)	449 割合 100.0%	3 0.7%	21 4.7%	20 4.5%	263 58.6%	126 28.1%	16 3.6%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72 割合 100.0%	0 0.0%	4 5.6%	2 2.8%	38 52.8%	26 36.1%	2 2.8%
	30歳代 (N=55)	55 割合 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	42 76.4%	9 16.4%	2 3.6%
	40歳代 (N=68)	68 割合 100.0%	1 1.5%	2 2.9%	4 5.9%	38 55.9%	20 29.4%	3 4.4%
	50歳代 (N=80)	80 割合 100.0%	2 2.5%	2 2.5%	2 2.5%	56 70.0%	16 20.0%	2 2.5%
	60歳代 (N=78)	78 割合 100.0%	0 0.0%	3 3.8%	3 3.8%	46 59.0%	24 30.8%	2 2.6%
	70歳代 (N=95)	95 割合 100.0%	0 0.0%	10 10.5%	7 7.4%	43 45.3%	31 32.6%	4 4.2%
	男性 (N=326)	326 割合 100.0%	1 0.3%	6 1.8%	15 4.6%	212 65.0%	85 26.1%	7 2.1%
	10歳代・20歳代 (N=48)	48 割合 100.0%	0 0.0%	1 2.1%	5 10.4%	31 64.6%	10 20.8%	1 2.1%
	30歳代 (N=42)	42 割合 100.0%	0 0.0%	2 4.8%	2 4.8%	28 66.7%	10 23.8%	0 0.0%
	40歳代 (N=41)	41 割合 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.9%	27 65.9%	9 22.0%	3 7.3%
	50歳代 (N=49)	49 割合 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	35 71.4%	13 26.5%	0 0.0%
	60歳代 (N=63)	63 割合 100.0%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	45 71.4%	15 23.8%	0 0.0%
	70歳代 (N=83)	83 割合 100.0%	0 0.0%	2 2.4%	4 4.8%	46 55.4%	28 33.7%	3 3.6%

【問19】あなたは、男性が育児や介護を行うために、休暇を取得することについてどう思いますか。
 (〇はいくつでも)

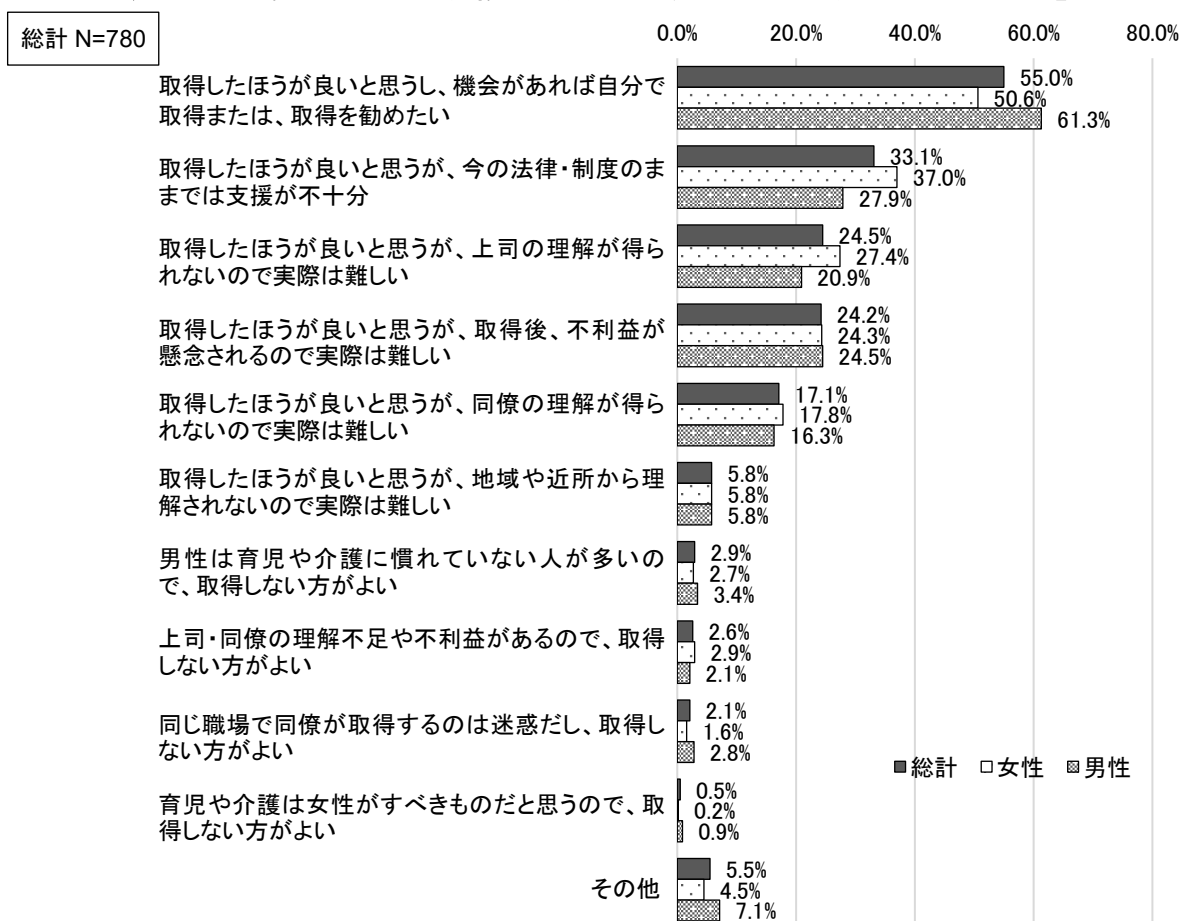
【全体】

男性が育児や介護を行うために、休暇を取得することについて尋ねると、「取得したほうが良いと思うし、機会があれば自分で取得または、取得を勧めたい」が55.0%と半数以上を占め、「取得したほうが良いと思うが、今の法律・制度のままでは支援が不十分」(33.1%)、「取得したほうが良いと思うが、上司の理解が得られないので実際は難しい」(24.5%)の順となった。

【性別、性・年代別】

性別でみると、上位2つは男女とも同様の順だが、「取得したほうが良いと思うし、機会があれば自分で取得または、取得を勧めたい」では男性が61.3%と女性を10.7ポイント上回っている。逆に2番目の「取得したほうが良いと思うが、今の法律・制度のままでは支援が不十分」では、女性が男性を9.1ポイント上回った。性・年代別でもほぼ同様の傾向だが、「取得したほうが良いと思うし、機会があれば自分で取得または、取得を勧めたい」と回答した割合は、70歳代女性が38.9%で最も少なく10歳代・20歳代男性が81.3%で最も多い結果となった。

図表問19-1 男性が育児や介護を行うために、休暇を取得することについて【総計・性別】



図表問19-2 男性が育児や介護を行うために、休暇を取得することについて【性・年代別】

		回答総数	問19 あなたは、男性が育児や介護を行うために、休暇を取得することについてどう思いますか。 (〇はいくつでも)																
			め た 取 得 し 得 ない ま ま 機 会 は あ が 取 れ ば い を 自 ら と 分 思	れ う 取 得 し 得 ない の 上 で 実 際 は あ が 取 れ ば い を 自 ら と 分 思	れ う 取 得 し 得 ない の 上 で 実 際 は あ が 取 れ ば い を 自 ら と 分 思	れ う 取 得 し 得 ない の 上 で 実 際 は あ が 取 れ ば い を 自 ら と 分 思	し 懸 念 が あ る と 思 い ま す	取 得 し 得 ない と 思 い ま す	し 解 釈 が あ る と 思 い ま す	取 得 し 得 ない と 思 い ま す	ま ま あ る と 思 い ま す	取 得 し 得 ない と 思 い ま す	取 得 し 得 ない と 思 い ま す	得 き 育 児 や 介 護 に あ る と 思 い ま す	な る の は 迷 場 で あ る と 思 い ま す	同 じ 職 場 で あ る と 思 い ま す	不 利 益 が あ る と 思 い ま す	上 司 ・ 同 僚 の 理 解 が あ る と 思 い ま す	そ の 他
総計 (N=780)		1,351	429	191	133	189	45	258	23	4	16	20	43						
割合		-	55.0%	24.5%	17.1%	24.2%	5.8%	33.1%	2.9%	0.5%	2.1%	2.6%	5.5%						
性・年代別	女性 (N=449)	784	227	123	80	109	26	166	12	1	7	13	20						
	割合	-	50.6%	27.4%	17.8%	24.3%	5.8%	37.0%	2.7%	0.2%	1.6%	2.9%	4.5%						
	10歳代・20歳代 (N=72)	121	48	18	11	8	1	28	2	0	1	3	1						
	割合	-	66.7%	25.0%	15.3%	11.1%	1.4%	38.9%	2.8%	0.0%	1.4%	4.2%	1.4%						
	30歳代 (N=55)	114	31	21	13	25	2	19	0	0	1	1	1						
	割合	-	56.4%	38.2%	23.6%	45.5%	3.6%	34.5%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	1.8%						
	40歳代 (N=68)	130	33	24	17	21	6	19	2	0	1	3	4						
	割合	-	48.5%	35.3%	25.0%	30.9%	8.8%	27.9%	2.9%	0.0%	1.5%	4.4%	5.9%						
	50歳代 (N=80)	138	35	25	11	21	3	34	1	0	4	2	2						
	割合	-	43.8%	31.3%	13.8%	26.3%	3.8%	42.5%	1.3%	0.0%	5.0%	2.5%	2.5%						
	60歳代 (N=78)	145	43	19	16	21	6	33	3	0	0	1	3						
	割合	-	55.1%	24.4%	20.5%	26.9%	7.7%	42.3%	3.8%	0.0%	0.0%	1.3%	3.8%						
	70歳代 (N=95)	136	37	16	12	13	8	33	4	1	0	3	9						
	割合	-	38.9%	16.8%	12.6%	13.7%	8.4%	34.7%	4.2%	1.1%	0.0%	3.2%	9.5%						
男性 (N=326)	564	200	68	53	80	19	91	11	3	9	7	23							
割合	-	61.3%	20.9%	16.3%	24.5%	5.8%	27.9%	3.4%	0.9%	2.8%	2.1%	7.1%							
10歳代・20歳代 (N=48)	77	39	9	5	10	1	9	1	0	0	0	3							
割合	-	81.3%	18.8%	10.4%	20.8%	2.1%	18.8%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%							
30歳代 (N=42)	87	32	12	9	11	3	13	0	0	1	2	4							
割合	-	76.2%	28.6%	21.4%	26.2%	7.1%	31.0%	0.0%	0.0%	2.4%	4.8%	9.5%							
40歳代 (N=41)	69	21	7	9	8	1	10	2	1	4	1	5							
割合	-	51.2%	17.1%	22.0%	19.5%	2.4%	24.4%	4.9%	2.4%	9.8%	2.4%	12.2%							
50歳代 (N=49)	84	32	12	11	13	4	9	0	0	0	0	3							
割合	-	65.3%	24.5%	22.4%	26.5%	8.2%	18.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%							
60歳代 (N=63)	100	38	13	8	18	1	20	0	0	0	0	2							
割合	-	60.3%	20.6%	12.7%	28.6%	1.6%	31.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%							
70歳代 (N=83)	147	38	15	11	20	9	30	8	2	4	4	6							
割合	-	45.8%	18.1%	13.3%	24.1%	10.8%	36.1%	9.6%	2.4%	4.8%	4.8%	7.2%							

【問20】働いている方(パート、派遣、アルバイトをしている学生も含む)にお尋ねします。あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。該当するものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

【全体】

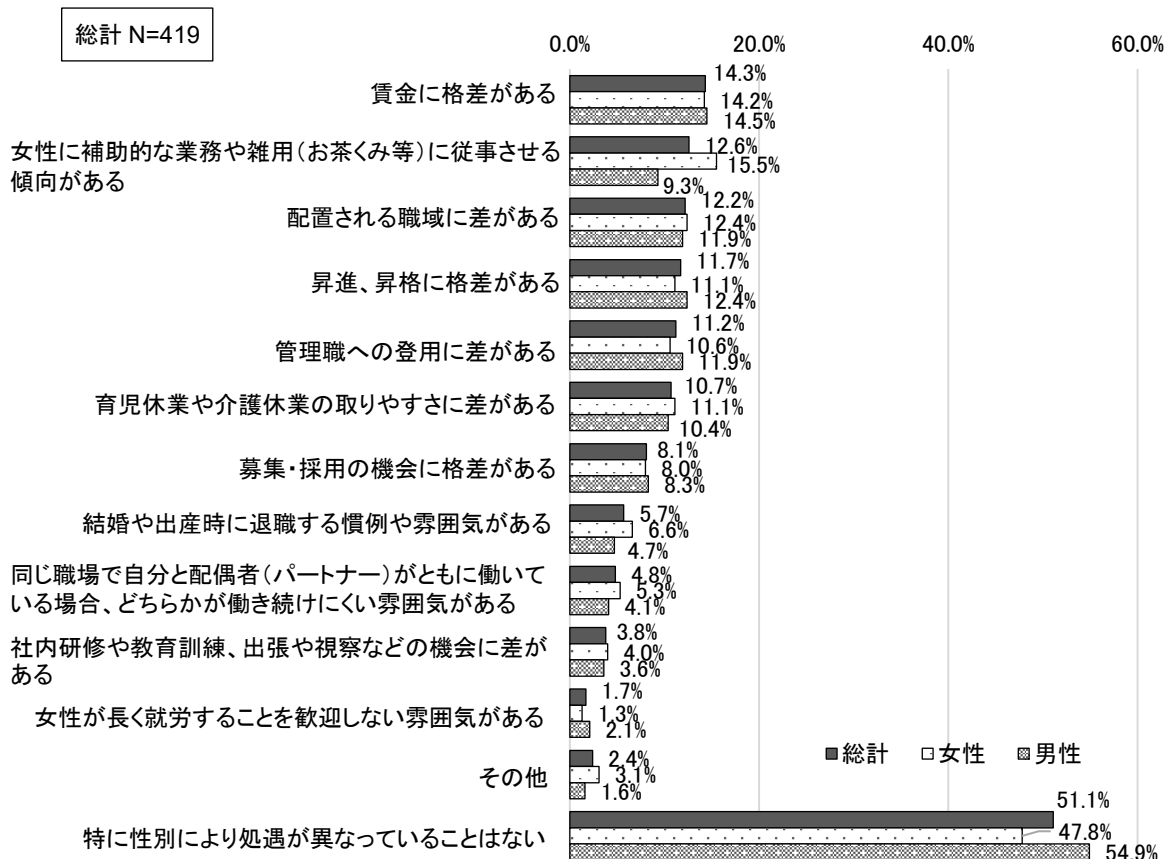
働いている人を対象に職場では、性別によって処遇が異なるかどうかを尋ねたところ、「特に性別により処遇が異なっていることはない」が51.1%とほぼ半数を占めた。他の選択肢では2割未満となった。その中では、「賃金に格差がある」(14.3%)、「女性に補助的な業務や雑用(お茶くみ等)に従事させる傾向がある」(12.6%)、「配置される職域に差がある」(12.2%)の順となっている。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、男女とも同様の傾向となった。「特に性別により処遇が異なっていることはない」では男性が54.9%で女性より7.1ポイント上回っている。その他に「昇進・昇格に格差がある」「管理職への登用に差がある」「女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある」も男性の割合が女性をわずかに上回った一方で、「女性に補助的な業務や雑用(お茶くみ等)に従事させる傾向がある」「結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある」「同じ職場で自分と配偶者(パートナー)がともに働いている場合、どちらかが働き続けにくい雰囲気がある」「育児休業や介護休業の取りやすさに差がある」「配置される職域に差がある」「社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会に差がある」などと回答した割合は、女性が男性を上回っている。

性・年代別にもほぼ同様だが、唯一30歳代男性で「女性に補助的な業務や雑用(お茶くみ等)に従事させる傾向がある」が24.3%で最も高い割合となっている。

図表問20-1 職場における性別による処遇の違い【総計・性別】



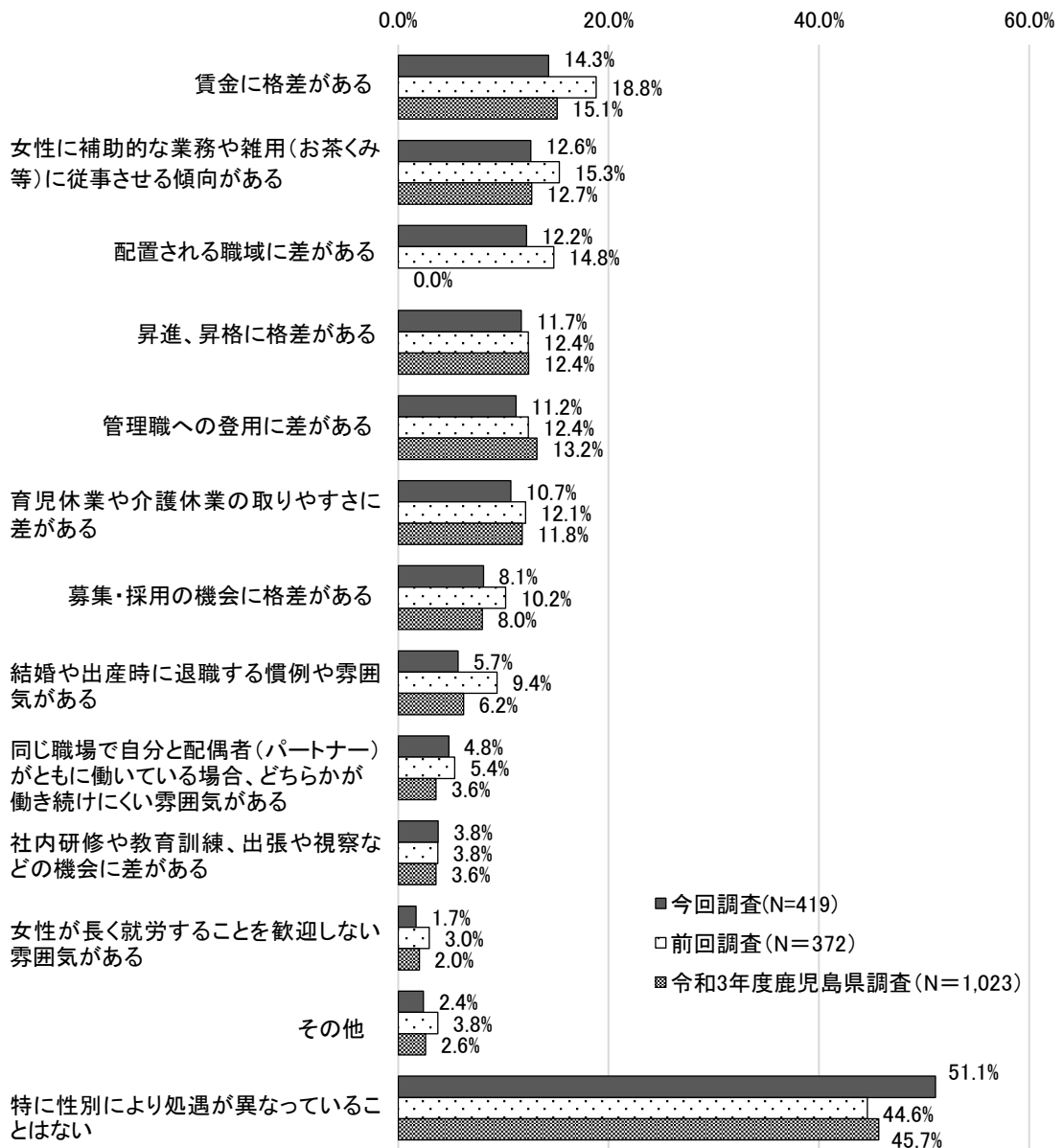
図表問20-2 職場における性別による処遇の違い【性・年代別】

		問20 働いている方(パート、派遣、アルバイトをしている学生も含む)にお尋ねします。あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)													
		回答総数	募集・採用の機会に	賃金に格差がある	配置される職域に差	同等や女性に補助的な業務	昇進、昇格に格差がある	管理職への登用に差	結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある	女性に補助的な業務や雑用に従事させる傾向	女性に補助的な業務や雑用に従事させる傾向	社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会に差がある	同じ職場で自分と配偶者(パートナー)がともに働いている場合、どちらかが働き続けにくい雰囲気がある	女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある	その他
総計(N=419)		630	34	60	51	53	49	47	24	7	16	45	20	214	10
割合		-	8.1%	14.3%	12.2%	12.6%	11.7%	11.2%	5.7%	1.7%	3.8%	10.7%	4.8%	51.1%	2.4%
性・年代別	女性(N=226)	341	18	32	28	35	25	24	15	3	9	25	12	108	7
	割合	-	8.0%	14.2%	12.4%	15.5%	11.1%	10.6%	6.6%	1.3%	4.0%	11.1%	5.3%	47.8%	3.1%
	10歳代・20歳代(N=37)	65	2	2	7	8	5	4	6	1	1	8	3	17	1
	割合	-	5.4%	5.4%	18.9%	21.6%	13.5%	10.8%	16.2%	2.7%	2.7%	21.6%	8.1%	45.9%	2.7%
	30歳代(N=41)	71	3	8	5	7	6	5	3	1	4	8	3	17	1
	割合	-	7.3%	19.5%	12.2%	17.1%	14.6%	12.2%	7.3%	2.4%	9.8%	19.5%	7.3%	41.5%	2.4%
	40歳代(N=50)	85	6	7	8	13	6	8	5	1	1	6	3	20	1
	割合	-	12.0%	14.0%	16.0%	26.0%	12.0%	16.0%	10.0%	2.0%	2.0%	12.0%	6.0%	40.0%	2.0%
	50歳代(N=53)	66	4	8	5	4	5	5	1	0	2	1	2	28	2
	割合	-	7.5%	15.1%	9.4%	7.5%	9.4%	9.4%	1.9%	0.0%	3.8%	1.9%	1.9%	52.8%	3.8%
	60歳代(N=35)	48	3	7	3	3	3	2	0	0	1	2	2	21	1
	割合	-	8.6%	20.0%	8.6%	8.6%	8.6%	5.7%	0.0%	0.0%	2.9%	5.7%	5.7%	60.0%	2.9%
	70歳代(N=9)	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1
	割合	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	11.1%
男性(N=193)	289	16	28	23	18	24	23	9	4	7	20	8	106	3	
割合	-	8.3%	14.5%	11.9%	9.3%	12.4%	11.9%	4.7%	2.1%	3.6%	10.4%	4.1%	54.9%	1.6%	
10歳代・20歳代(N=19)	27	4	3	2	1	3	2	1	0	0	0	0	10	1	
割合	-	21.1%	15.8%	10.5%	5.3%	15.8%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.6%	5.3%	
30歳代(N=37)	68	4	8	8	9	5	7	3	2	1	8	4	8	1	
割合	-	10.8%	21.6%	21.6%	24.3%	13.5%	18.9%	8.1%	5.4%	2.7%	21.6%	10.8%	21.6%	2.7%	
40歳代(N=36)	55	4	4	3	1	4	5	2	2	1	6	1	21	1	
割合	-	11.1%	11.1%	8.3%	2.8%	11.1%	13.9%	5.6%	5.6%	2.8%	16.7%	2.8%	58.3%	2.8%	
50歳代(N=40)	44	1	3	3	0	3	3	1	0	0	2	1	27	0	
割合	-	2.5%	7.5%	7.5%	0.0%	7.5%	7.5%	2.5%	0.0%	0.0%	5.0%	2.5%	67.5%	0.0%	
60歳代(N=40)	66	2	7	5	5	7	6	1	0	5	3	1	24	0	
割合	-	5.0%	17.5%	12.5%	12.5%	17.5%	15.0%	2.5%	0.0%	12.5%	7.5%	2.5%	60.0%	0.0%	
70歳代(N=21)	29	1	3	2	2	2	0	1	0	0	1	1	16	0	
割合	-	4.8%	14.3%	9.5%	9.5%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	76.2%	0.0%	

【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】

前回調査・令和3年度鹿児島県調査と比較すると、傾向に大きな違いはみられないが、「特に性別により処遇が異なっていることはない」では、今回調査が前回調査に対して 6.5 ポイント、県調査に対して 5.4 ポイント上回っている。異なる点については、「賃金に格差がある」はいずれの調査でも最多であった。

図表問20-3 職場における性別による処遇の違い【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】



注: 県調査では、「配置される職域に差がある」選択肢はない

【問21】 あなたの職場では、働く時間、給料、休業日や休暇、仕事の分担などについての取り決め（会社の就業規則、農業の家族経営協定などに類するもの）がありますか。（○は1つ）

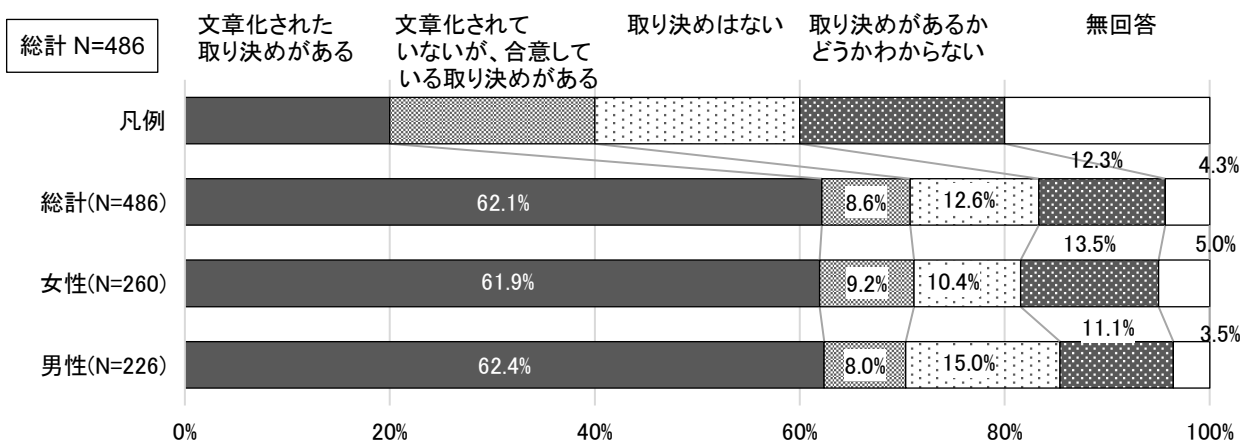
【全体】

職場で、働く時間、給料、休業日や休暇、仕事の分担などについての取り決め（会社の就業規則、農業の家族経営協定などに類するもの）についての状況を尋ねたところ、「文章化された取り決めがある」（62.1%）、「取り決めはない」（12.6%）、「取り決めがあるかどうかわからない」（12.3%）という結果となった。取り決めが形はともかく「ある」と回答した人は約7割にとどまった。

【性別、性・年代別】

性別でみてもほぼ同様の傾向となった。女性では「取り決めがあるかどうかわからない」が13.5%で男性より2.4ポイント高く、男性では「取り決めはない」が15.0%と女性より4.6ポイント高くなっている。

図表問21-1 職場での取り決め(就業規則等)の状況について【働いている方のみ・性別】



図表問21-2 職場での取り決め(就業規則等)の状況について【性・年代別】

		問21 あなたの職場では、働く時間、給料、休業日や休暇、仕事の分担などについての取り決め(会社の就業規則、農業の家族経営協定などに関するもの)がありますか。(○は1つ)					
		が文 あ章 る化 され た取 り決 め	暗決 黙の が合 了あ 解る も(一 含む 束、 り	文 章 化 され てい ない	取 り 決 め は な い	か 取 り 決 め が あ る か ど う	無 回 答
総計 (N=486)		486 割合 100.0%	302 62.1%	42 8.6%	61 12.6%	60 12.3%	21 4.3%
性・年代別	女性 (N=260)	260 割合 100.0%	161 61.9%	24 9.2%	27 10.4%	35 13.5%	13 5.0%
	10歳代・20歳代 (N=37)	37 割合 100.0%	24 64.9%	2 5.4%	3 8.1%	8 21.6%	0 0.0%
	30歳代 (N=47)	47 割合 100.0%	31 66.0%	7 14.9%	5 10.6%	4 8.5%	0 0.0%
	40歳代 (N=55)	55 割合 100.0%	40 72.7%	5 9.1%	3 5.5%	5 9.1%	2 3.6%
	50歳代 (N=61)	61 割合 100.0%	33 54.1%	8 13.1%	6 9.8%	13 21.3%	1 1.6%
	60歳代 (N=38)	38 割合 100.0%	27 71.1%	1 2.6%	5 13.2%	3 7.9%	2 5.3%
	70歳代 (N=21)	21 割合 100.0%	6 28.6%	1 4.8%	5 23.8%	2 9.5%	7 33.3%
	男性 (N=226)	226 割合 100.0%	141 62.4%	18 8.0%	34 15.0%	25 11.1%	8 3.5%
	10歳代・20歳代 (N=20)	20 割合 100.0%	9 45.0%	4 20.0%	1 5.0%	6 30.0%	0 0.0%
	30歳代 (N=41)	41 割合 100.0%	28 68.3%	4 9.8%	5 12.2%	3 7.3%	1 2.4%
	40歳代 (N=39)	39 割合 100.0%	25 64.1%	3 7.7%	8 20.5%	3 7.7%	0 0.0%
	50歳代 (N=45)	45 割合 100.0%	35 77.8%	3 6.7%	4 8.9%	3 6.7%	0 0.0%
	60歳代 (N=49)	49 割合 100.0%	25 51.0%	3 6.1%	11 22.4%	7 14.3%	3 6.1%
	70歳代 (N=32)	32 割合 100.0%	19 59.4%	1 3.1%	5 15.6%	3 9.4%	4 12.5%

【問22】 問21で「1」または「2」を選んだ方にお尋ねします。その取り決めは守られていますか。

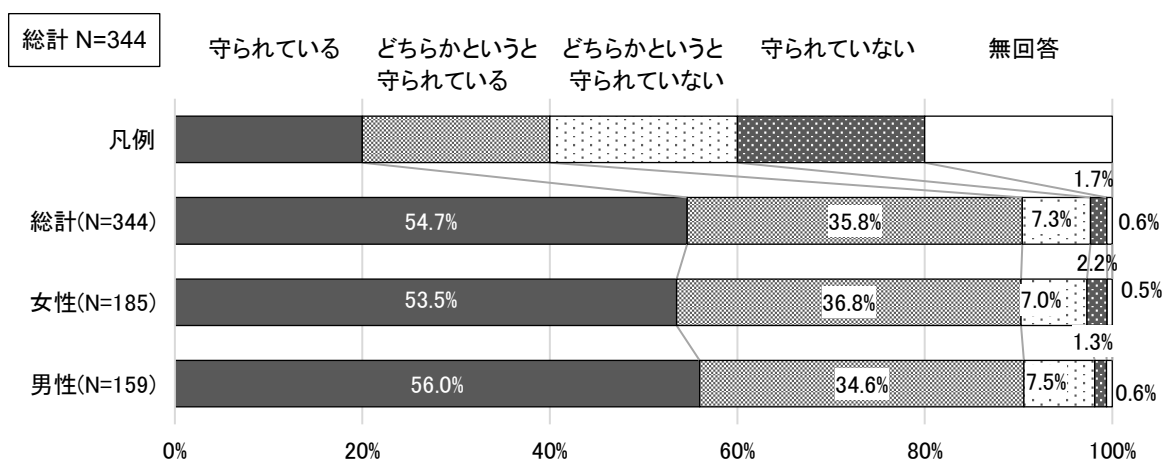
【全体】

「文章化された取り決めがある」、「文章化されていないが、合意している取り決めがある（口約束、暗黙の了解も含む）」と回答した人に、その取り決めが守られているかどうか尋ねたところ、「守られている」「どちらかといえば守られている」との回答が合わせて 90.5%と大半を占めた。逆に、「守られていない」「どちらかといえば守られていない」合わせて9.0%と1割近くを占めている。

【性別、性・年代別】

性別でみても同様の結果となった。性・年代別には、50歳代女性、70歳代女性、40歳代男性で「どちらかといえば守られている」が最多となった（70歳代女性、40歳代男性では「守られている」と同率）。

図表問 22-1 取り決めの順守状況について【総計・性別】



図表問22-2 取り決めの順守状況について【性・年代別】

		問22 問21で「1」または「2」を選んだ方にお尋ねします。その取り決めは守られていますか。					
		守られている	守どられかという	守どられかという	守られていない	無回答	
総計 (N=344)		344	188	123	25	6	2
割合		100.0%	54.7%	35.8%	7.3%	1.7%	0.6%
性・年代別	女性 (N=185)	185	99	68	13	4	1
	割合	100.0%	53.5%	36.8%	7.0%	2.2%	0.5%
	10歳代・20歳代 (N=26)	26	15	9	1	1	0
	割合	100.0%	57.7%	34.6%	3.8%	3.8%	0.0%
	30歳代 (N=38)	38	24	10	3	1	0
	割合	100.0%	63.2%	26.3%	7.9%	2.6%	0.0%
	40歳代 (N=45)	45	23	19	3	0	0
	割合	100.0%	51.1%	42.2%	6.7%	0.0%	0.0%
	50歳代 (N=41)	41	16	18	5	1	1
	割合	100.0%	39.0%	43.9%	12.2%	2.4%	2.4%
	60歳代 (N=28)	28	18	9	0	1	0
	割合	100.0%	64.3%	32.1%	0.0%	3.6%	0.0%
	70歳代 (N=7)	7	3	3	1	0	0
	割合	100.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
	男性 (N=159)	159	89	55	12	2	1
割合	100.0%	56.0%	34.6%	7.5%	1.3%	0.6%	
10歳代・20歳代 (N=13)	13	6	6	1	0	0	
割合	100.0%	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%	0.0%	
30歳代 (N=32)	32	13	11	7	0	1	
割合	100.0%	40.6%	34.4%	21.9%	0.0%	3.1%	
40歳代 (N=28)	28	12	12	2	2	0	
割合	100.0%	42.9%	42.9%	7.1%	7.1%	0.0%	
50歳代 (N=38)	38	23	15	0	0	0	
割合	100.0%	60.5%	39.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代 (N=28)	28	21	5	2	0	0	
割合	100.0%	75.0%	17.9%	7.1%	0.0%	0.0%	
70歳代 (N=20)	20	14	6	0	0	0	
割合	100.0%	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【問23】 社会全体として女性が働きやすい状況にあると思いますか。(〇は1つ)

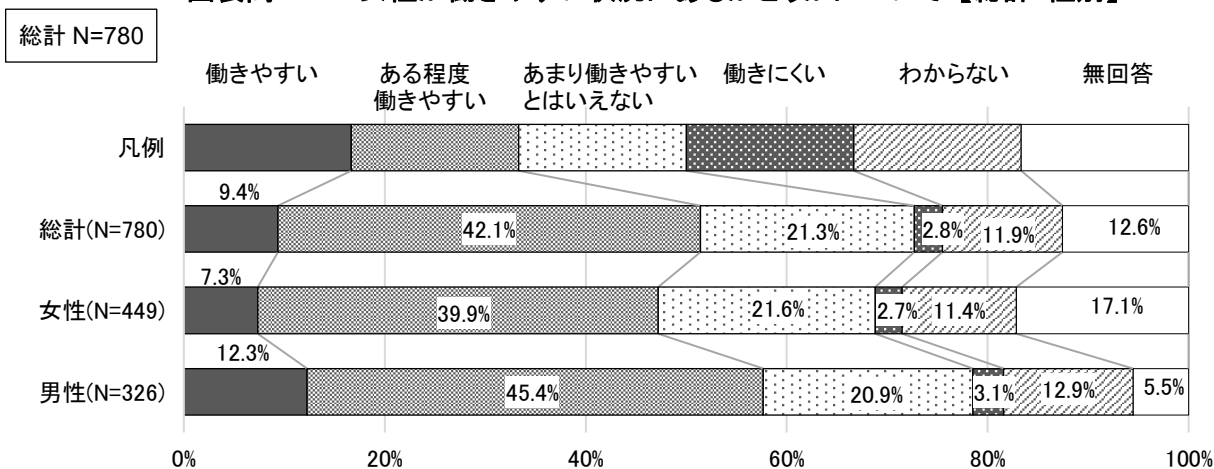
【全体】

社会全体として女性が働きやすい状況にあるかどうかについて尋ねたところ、「働きやすい」+「ある程度働きやすい」合わせて 51.5%と半数以上の方が回答した。逆に、「働きにくい」+「あまり働きやすいとはいえない」合わせて 24.1%と約4人に1人が回答した。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、男性が「働きやすい」+「ある程度働きやすい」合わせて 57.7%を占め、女性を 10.5ポイント上回った。「働きにくい」+「あまり働きやすいとはいえない」については 24%前後でほぼ同水準であった。性・年代別には、30歳代女性のみ「あまり働きやすいとはいえない」(38.2%)が最も高く、他の年代と異なる結果となっている。逆に、「働きやすい」+「ある程度働きやすい」-「働きにくい」+「あまり働きやすいとはいえない」を計算すると、50歳代男性が 51.0%で女性が働きやすい状況にあると考える割合が最も高くなっている。

図表問23-1 女性が働きやすい状況にあるかどうかについて【総計・性別】



図表23-2 女性が働きやすい状況にあるかどうかについて【性・年代別】

		問23 社会全体として女性が働きやすい状況にあると思いますか。(○は1つ)						無回答
		働きやすい	す あ い る 程 度 働 き や	い あ と ま は り 働 え な い す	働 き に く い	わ か ら な い		
総計 (N=780)		780	73	328	166	22	93	98
割合		100.0%	9.4%	42.1%	21.3%	2.8%	11.9%	12.6%
性・年代別	女性 (N=449)	449	33	179	97	12	51	77
	割合	100.0%	7.3%	39.9%	21.6%	2.7%	11.4%	17.1%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72	7	32	16	2	11	4
	割合	100.0%	9.7%	44.4%	22.2%	2.8%	15.3%	5.6%
	30歳代 (N=55)	55	6	20	21	3	4	1
	割合	100.0%	10.9%	36.4%	38.2%	5.5%	7.3%	1.8%
	40歳代 (N=68)	68	7	32	15	2	9	3
	割合	100.0%	10.3%	47.1%	22.1%	2.9%	13.2%	4.4%
	50歳代 (N=80)	80	4	39	18	4	9	6
	割合	100.0%	5.0%	48.8%	22.5%	5.0%	11.3%	7.5%
	60歳代 (N=78)	78	2	31	19	1	5	20
	割合	100.0%	2.6%	39.7%	24.4%	1.3%	6.4%	25.6%
	70歳代 (N=95)	95	7	25	8	0	13	42
	割合	100.0%	7.4%	26.3%	8.4%	0.0%	13.7%	44.2%
男性 (N=326)	326	40	148	68	10	42	18	
割合	100.0%	12.3%	45.4%	20.9%	3.1%	12.9%	5.5%	
10歳代・20歳代 (N=48)	48	4	18	12	0	13	1	
割合	100.0%	8.3%	37.5%	25.0%	0.0%	27.1%	2.1%	
30歳代 (N=42)	42	5	20	10	5	2	0	
割合	100.0%	11.9%	47.6%	23.8%	11.9%	4.8%	0.0%	
40歳代 (N=41)	41	7	16	13	1	3	1	
割合	100.0%	17.1%	39.0%	31.7%	2.4%	7.3%	2.4%	
50歳代 (N=49)	49	6	28	9	0	6	0	
割合	100.0%	12.2%	57.1%	18.4%	0.0%	12.2%	0.0%	
60歳代 (N=63)	63	6	32	15	2	7	1	
割合	100.0%	9.5%	50.8%	23.8%	3.2%	11.1%	1.6%	
70歳代 (N=83)	83	12	34	9	2	11	15	
割合	100.0%	14.5%	41.0%	10.8%	2.4%	13.3%	18.1%	

【問24】 問23で「3」または「4」を選んだ方にお尋ねします。そのように思うのは何ですか。(〇は3つまで)

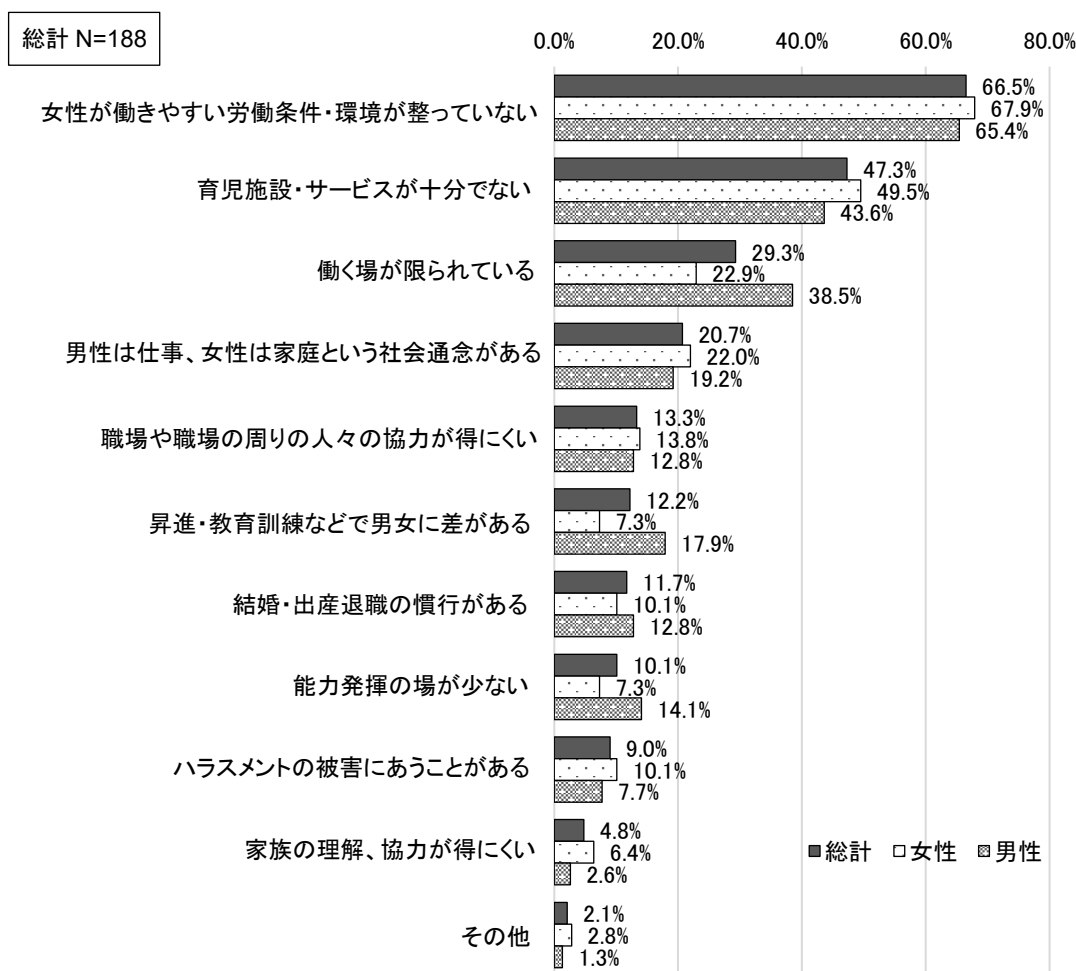
【全体】

「働きにくい」、「あまり働きやすいとはいえない」と回答した人に、そのように思う理由を尋ねたところ、「女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない」(66.5%)が最も高い割合で、次いで「育児施設・サービスが十分でない」(47.3%)、「働く場が限られている」(29.3%)の順となった。

【性別、性・年代別】

性別でみても、上位3つの順位は同様であった。性別で乖離の大きい項目は、「働く場が限られている」「昇進・教育訓練などで男女に差がある」の2つで、それぞれ男性が女性を15.6ポイント、10.6ポイント上回っている。性・年代別には、最多の「女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない」に並び、10歳代・20歳代女性で「育児施設・サービスが十分でない」、30歳代男性で「働く場が限られている」も最も高い割合となっている。また、男女ともに「男性は仕事、女性は家庭という社会通念がある」と回答した割合が30歳代以下で高くなっている。

図表問24-1 女性が働きにくい状況と思う理由【総計・性別】



図表問24-2 女性が働きにくい状況と思う理由【性・年代別】

		回答総数	問24 問23で「3」または「4」を選んだ方にお尋ねします。そのように思う理由は何か。 (〇は3つまで)										
			整った働きやすい環境が	女性が多い	能力発揮の場が少	働く場が限られて	子育て施設が少ない	昇進で男女教育訓練が	結婚・出産・退職の	通念家庭がある	男性は仕事、社会性	が家族に理解、協力	に職場の力が
総計 (N=188)		427	125	19	55	89	23	22	39	9	25	17	4
割合		-	66.5%	10.1%	29.3%	47.3%	12.2%	11.7%	20.7%	4.8%	13.3%	9.0%	2.1%
性・年代別	女性 (N=109)	240	74	8	25	54	8	11	24	7	15	11	3
	割合	-	67.9%	7.3%	22.9%	49.5%	7.3%	10.1%	22.0%	6.4%	13.8%	10.1%	2.8%
	10歳代・20歳代 (N=18)	36	8	0	2	8	1	5	5	1	2	3	1
	割合	-	44.4%	0.0%	11.1%	44.4%	5.6%	27.8%	27.8%	5.6%	11.1%	16.7%	5.6%
	30歳代 (N=24)	56	18	1	7	12	1	1	7	0	6	2	1
	割合	-	75.0%	4.2%	29.2%	50.0%	4.2%	4.2%	29.2%	0.0%	25.0%	8.3%	4.2%
	40歳代 (N=17)	40	12	3	2	10	4	0	3	1	2	2	1
	割合	-	70.6%	17.6%	11.8%	58.8%	23.5%	0.0%	17.6%	5.9%	11.8%	11.8%	5.9%
	50歳代 (N=22)	46	15	2	3	10	2	2	6	2	2	2	0
	割合	-	68.2%	9.1%	13.6%	45.5%	9.1%	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%
	60歳代 (N=20)	46	15	2	8	11	0	2	2	1	3	2	0
	割合	-	75.0%	10.0%	40.0%	55.0%	0.0%	10.0%	10.0%	5.0%	15.0%	10.0%	0.0%
	70歳代 (N=8)	16	6	0	3	3	0	1	1	2	0	0	0
	割合	-	75.0%	0.0%	37.5%	37.5%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性 (N=78)	184	51	11	30	34	14	10	15	2	10	6	1	
割合	-	65.4%	14.1%	38.5%	43.6%	17.9%	12.8%	19.2%	2.6%	12.8%	7.7%	1.3%	
10歳代・20歳代 (N=12)	27	6	2	4	3	3	2	4	1	1	1	0	
割合	-	50.0%	16.7%	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	33.3%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	
30歳代 (N=15)	39	10	1	10	6	2	2	3	0	2	3	0	
割合	-	66.7%	6.7%	66.7%	40.0%	13.3%	13.3%	20.0%	0.0%	13.3%	20.0%	0.0%	
40歳代 (N=14)	32	11	1	4	6	0	2	4	0	3	1	0	
割合	-	78.6%	7.1%	28.6%	42.9%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	21.4%	7.1%	0.0%	
50歳代 (N=9)	18	6	1	2	5	2	2	0	0	0	0	0	
割合	-	66.7%	11.1%	22.2%	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代 (N=17)	42	11	4	6	8	3	1	3	1	3	1	1	
割合	-	64.7%	23.5%	35.3%	47.1%	17.6%	5.9%	17.6%	5.9%	17.6%	5.9%	5.9%	
70歳代 (N=11)	26	7	2	4	6	4	1	1	0	1	0	0	
割合	-	63.6%	18.2%	36.4%	54.5%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	

【問25】あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに妨げとなるものは何だ
 と思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】

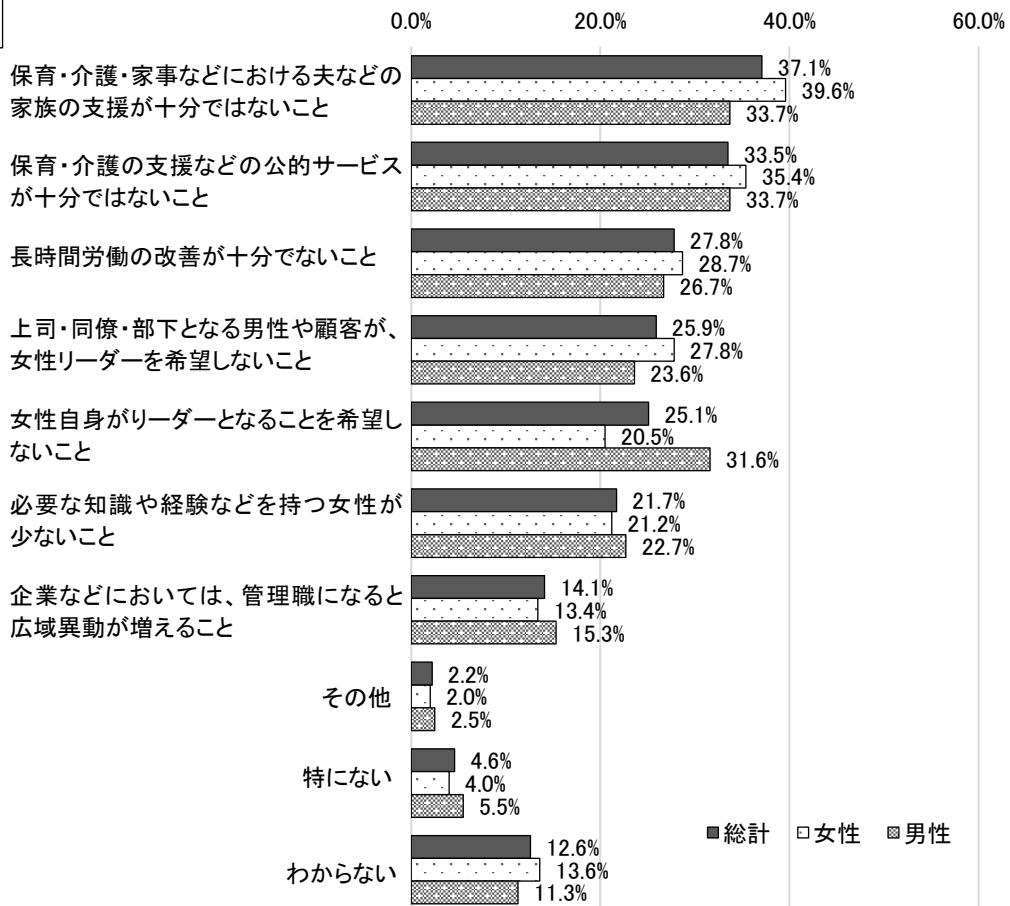
政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに妨げとなるものは何だと思うか尋ねたところ、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」(37.1%)、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」(33.5%)、「長時間労働の改善が十分でないこと」(27.8%)の順になっている。

【性別、性・年代別】

性別でみると、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が、女性リーダーを希望しないこと」と回答した割合は、女性が男性より4ポイント以上高くなっている。その一方で「女性自身がリーダーとなることを希望しないこと」では、男性が女性より11.1ポイント上回った。性・年代別には、10歳代・20歳代女性、60歳代女性及び40歳代男性で「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」、30歳代男性で「上司・同僚・部下となる男性や顧客が、女性リーダーを希望しないこと」「長時間労働の改善が十分でないこと」、70歳代男性で「女性自身がリーダーとなることを希望しないこと」が最多で、他の年代との違いがみられた。

図表問25-1 各分野で女性のリーダーを増やす上での課題【総計・性別】

総計 N=780



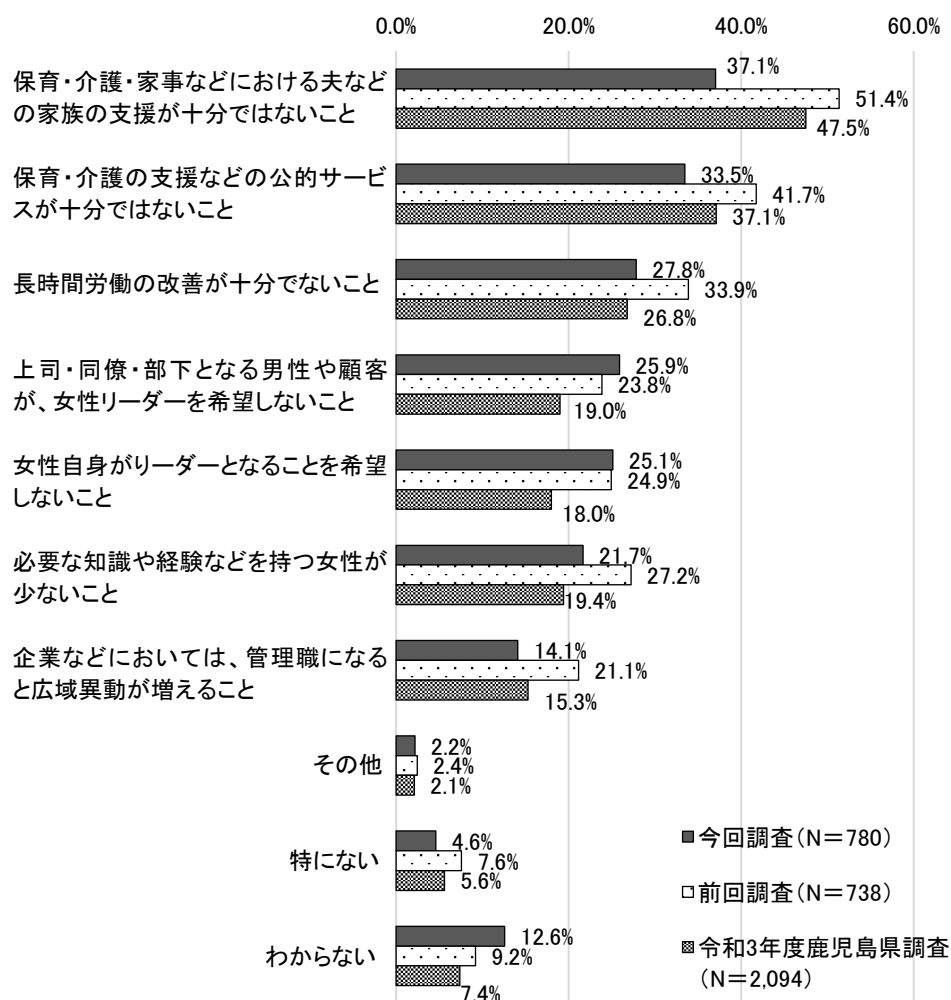
図表問25-2 各分野で女性のリーダーを増やす上での課題【性・年代別】

		回答総数	問25 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに妨げとなるものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)											
			少ないこと 女性経験が	必要をな 知識や	希望しな いことと	女性自身 がいない	女性希望 しない	男性希望 しない	上司・僚 や顧客 との関係	長時間 労働の 改善	給与・ 福利 厚生	企業・業 界の環境 改善	社会・家 族の支 援	保育・ 介護の 充実
総計 (N=780)		1,595	169	196	202	217	217	278	110	289	261	36	98	17
割合		-	21.7%	25.1%	25.9%	27.8%	14.1%	37.1%	33.5%	4.6%	12.6%	2.2%		
性・年代別	女性 (N=449)	926	95	92	125	129	60	178	159	18	61	9		
	割合	-	21.2%	20.5%	27.8%	28.7%	13.4%	39.6%	35.4%	4.0%	13.6%	2.0%		
	10歳代・20歳代 (N=72)	140	7	15	26	19	5	27	27	0	13	1		
	割合	-	9.7%	20.8%	36.1%	26.4%	6.9%	37.5%	37.5%	0.0%	18.1%	1.4%		
	30歳代 (N=55)	127	7	7	16	28	4	32	26	0	7	0		
	割合	-	12.7%	12.7%	29.1%	50.9%	7.3%	58.2%	47.3%	0.0%	12.7%	0.0%		
	40歳代 (N=68)	167	13	20	25	24	13	30	27	3	7	5		
	割合	-	19.1%	29.4%	36.8%	35.3%	19.1%	44.1%	39.7%	4.4%	10.3%	7.4%		
	50歳代 (N=80)	179	28	18	24	21	15	34	29	2	6	2		
	割合	-	35.0%	22.5%	30.0%	26.3%	18.8%	42.5%	36.3%	2.5%	7.5%	2.5%		
	60歳代 (N=78)	171	17	18	22	24	14	30	33	4	9	0		
	割合	-	21.8%	23.1%	28.2%	30.8%	17.9%	38.5%	42.3%	5.1%	11.5%	0.0%		
	70歳代 (N=95)	142	23	14	12	13	9	25	17	9	19	1		
	割合	-	24.2%	14.7%	12.6%	13.7%	9.5%	26.3%	17.9%	9.5%	20.0%	1.1%		
男性 (N=326)	666	74	103	77	87	50	110	102	18	37	8			
割合	-	22.7%	31.6%	23.6%	26.7%	15.3%	33.7%	31.3%	5.5%	11.3%	2.5%			
10歳代・20歳代 (N=48)	96	10	12	16	10	3	17	14	2	10	2			
割合	-	20.8%	25.0%	33.3%	20.8%	6.3%	35.4%	29.2%	4.2%	20.8%	4.2%			
30歳代 (N=42)	94	4	14	16	16	7	15	15	3	3	1			
割合	-	9.5%	33.3%	38.1%	38.1%	16.7%	35.7%	35.7%	7.1%	7.1%	2.4%			
40歳代 (N=41)	73	7	10	8	12	3	9	16	2	2	4			
割合	-	17.1%	24.4%	19.5%	29.3%	7.3%	22.0%	39.0%	4.9%	4.9%	9.8%			
50歳代 (N=49)	92	10	15	6	12	9	22	11	2	4	1			
割合	-	20.4%	30.6%	12.2%	24.5%	18.4%	44.9%	22.4%	4.1%	8.2%	2.0%			
60歳代 (N=63)	152	20	24	20	18	13	28	20	3	6	0			
割合	-	31.7%	38.1%	31.7%	28.6%	20.6%	44.4%	31.7%	4.8%	9.5%	0.0%			
70歳代 (N=83)	159	23	28	11	19	15	19	26	6	12	0			
割合	-	27.7%	33.7%	13.3%	22.9%	18.1%	22.9%	31.3%	7.2%	14.5%	0.0%			

【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】

前回調査及び令和3年度鹿児島県調査と比較すると、上位の順位は同様の傾向となったが、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」では、前回調査とは14.3ポイント、令和3年度鹿児島県調査とは10.4ポイント下回っており、また「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」では、前回調査とは8.2ポイント、令和3年度鹿児島県調査とは3.6ポイント下回っている。

図表問25-3 各分野で女性のリーダーを増やす上での課題【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】



【問26】あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。

(〇はいくつでも)

【全体】

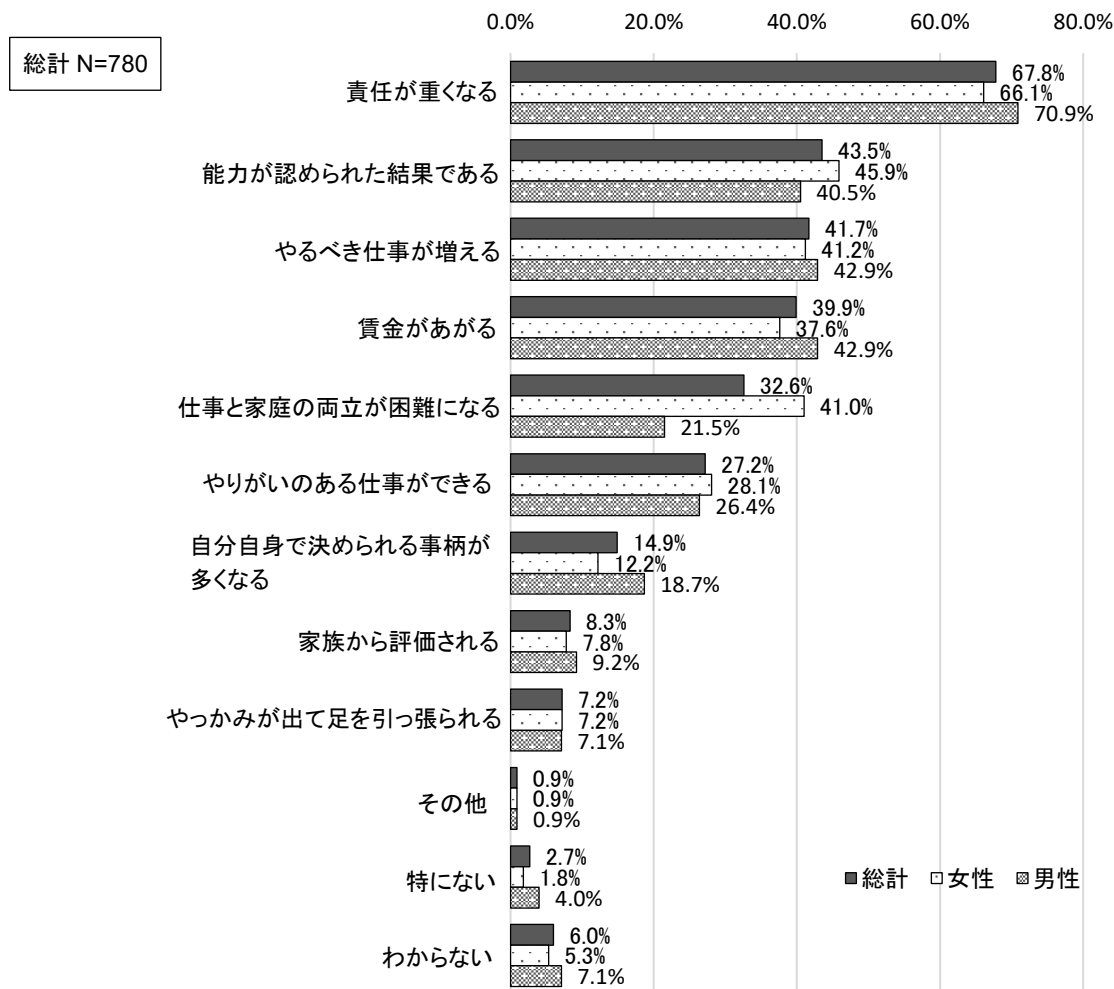
「責任が重くなる」(67.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「能力が認められた結果である」(43.5%)、「やるべき仕事が増える」(41.7%)、「賃金があがる」(39.9%)、「仕事と家庭の両立が困難になる」(32.6%)の順となっている。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、男女ともすべての年代で「責任が重くなる」と回答した割合が最も高くなっている。「仕事と家庭の両立が困難になる」と回答した割合は女性が男性より19.5ポイント高く、「賃金があがる」「自分自身で決められる事柄が多くなる」と回答した割合は、男性が女性より5ポイント以上高くなっている。

性・年代別には、「責任が重くなる」が、30歳代で男女それぞれ8割を超え、他の年代より高い割合となっている。また、女性は30～50歳代で5割以上が「仕事と家庭の両立が困難になる」と回答している。男性は10歳代・20歳代、40～50歳代の半数以上が「やるべき仕事が増える」と回答している。

図表問26-1 管理職以上に昇進することについてのイメージ【総計・性別】



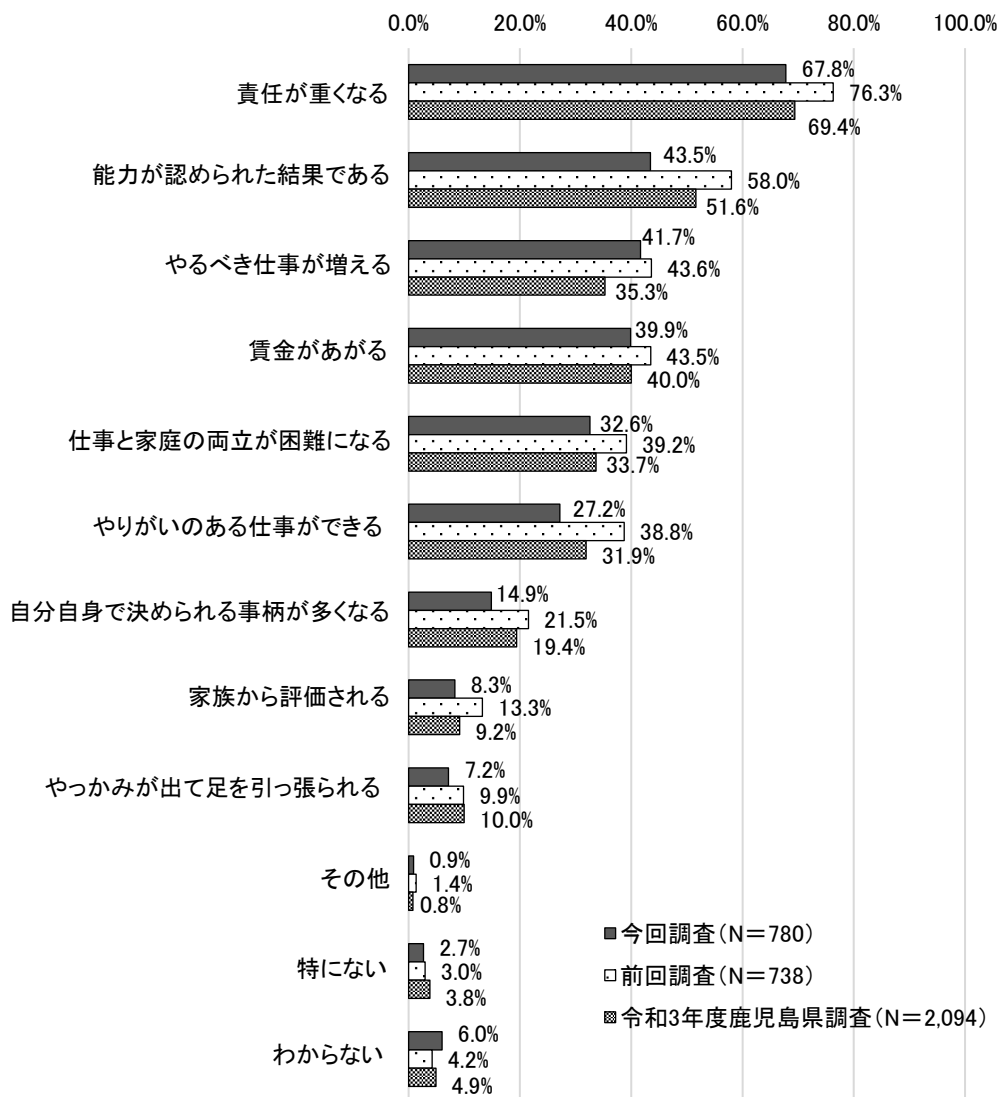
図表問26-2 管理職以上に昇進することについてのイメージ【性・年代別】

		回答総数	問26 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)											
			事 や り が で き い の あ る 仕 事	賃 金 が あ が る	結 果 力 が あ る め ら れ た	家 族 か ら 評 価 さ れ る	自 分 の 身 柄 が 多 く 決 め ら れ る	や る べ き 仕 事 が 増 える	責 任 が 重 く な る	や っ か 張 み が 出 て 足 り	が 仕 事 と 家 庭 の 両 立 が 難 い	特 に な い	わ か ら な い	そ の 他
総計 (N=780)		2,282	212	311	339	65	116	325	529	56	254	21	47	7
割合		-	27.2%	39.9%	43.5%	8.3%	14.9%	41.7%	67.8%	7.2%	32.6%	2.7%	6.0%	0.9%
性・年代別	女性 (N=449)	1,326	126	169	206	35	55	185	297	33	184	8	24	4
	割合	-	28.1%	37.6%	45.9%	7.8%	12.2%	41.2%	66.1%	7.3%	41.0%	1.8%	5.3%	0.9%
	10歳代・20歳代 (N=72)	226	18	32	36	6	14	36	51	7	23	1	2	0
	割合	-	25.0%	44.4%	50.0%	8.3%	19.4%	50.0%	70.8%	9.7%	31.9%	1.4%	2.8%	0.0%
	30歳代 (N=55)	194	16	29	30	2	7	29	44	5	30	1	0	1
	割合	-	29.1%	52.7%	54.5%	3.6%	12.7%	52.7%	80.0%	9.1%	54.5%	1.8%	0.0%	1.8%
	40歳代 (N=68)	220	21	32	29	7	10	31	47	5	35	0	3	0
	割合	-	30.9%	47.1%	42.6%	10.3%	14.7%	45.6%	69.1%	7.4%	51.5%	0.0%	4.4%	0.0%
	50歳代 (N=80)	286	24	40	42	6	11	42	62	10	45	0	2	2
	割合	-	30.0%	50.0%	52.5%	7.5%	13.8%	52.5%	77.5%	12.5%	56.3%	0.0%	2.5%	2.5%
	60歳代 (N=78)	218	25	21	38	8	10	30	46	2	30	2	5	1
	割合	-	32.1%	26.9%	48.7%	10.3%	12.8%	38.5%	59.0%	2.6%	38.5%	2.6%	6.4%	1.3%
	70歳代 (N=95)	182	22	15	31	6	3	17	47	4	21	4	12	0
	割合	-	23.2%	15.8%	32.6%	6.3%	3.2%	17.9%	49.5%	4.2%	22.1%	4.2%	12.6%	0.0%
男性 (N=326)	952	86	140	132	30	61	140	231	23	70	13	23	3	
割合	-	26.4%	42.9%	40.5%	9.2%	18.7%	42.9%	70.9%	7.1%	21.5%	4.0%	7.1%	0.9%	
10歳代・20歳代 (N=48)	142	7	23	20	3	8	25	34	6	9	0	7	0	
割合	-	14.6%	47.9%	41.7%	6.3%	16.7%	52.1%	70.8%	12.5%	18.8%	0.0%	14.6%	0.0%	
30歳代 (N=42)	126	8	21	15	1	11	18	34	2	12	2	2	0	
割合	-	19.0%	50.0%	35.7%	2.4%	26.2%	42.9%	81.0%	4.8%	28.6%	4.8%	4.8%	0.0%	
40歳代 (N=41)	125	9	18	12	3	5	22	32	6	17	0	1	0	
割合	-	22.0%	43.9%	29.3%	7.3%	12.2%	53.7%	78.0%	14.6%	41.5%	0.0%	2.4%	0.0%	
50歳代 (N=49)	135	9	21	17	4	6	25	38	1	10	2	1	1	
割合	-	18.4%	42.9%	34.7%	8.2%	12.2%	51.0%	77.6%	2.0%	20.4%	4.1%	2.0%	2.0%	
60歳代 (N=63)	211	25	30	33	8	16	28	46	3	14	4	4	0	
割合	-	39.7%	47.6%	52.4%	12.7%	25.4%	44.4%	73.0%	4.8%	22.2%	6.3%	6.3%	0.0%	
70歳代 (N=83)	213	28	27	35	11	15	22	47	5	8	5	8	2	
割合	-	33.7%	32.5%	42.2%	13.3%	18.1%	26.5%	56.6%	6.0%	9.6%	6.0%	9.6%	2.4%	

【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】

前回調査・令和3年度鹿児島県調査と比較すると、上位2つは同様の結果となっている。ただ、その割合は、「責任が重くなる」では、前回調査とは8.5ポイント、令和3年度鹿児島県調査とは1.6ポイント下回っている。「能力が認められた結果である」では、前回調査とは14.5ポイント、令和3年度鹿児島県調査とは8.1ポイント下回った。

図表問26-3 管理職以上に昇進することについてのイメージ【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】



【問27】あなたは、働き続けることを希望する女性が、出産後も離職せずに、同じ職場働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

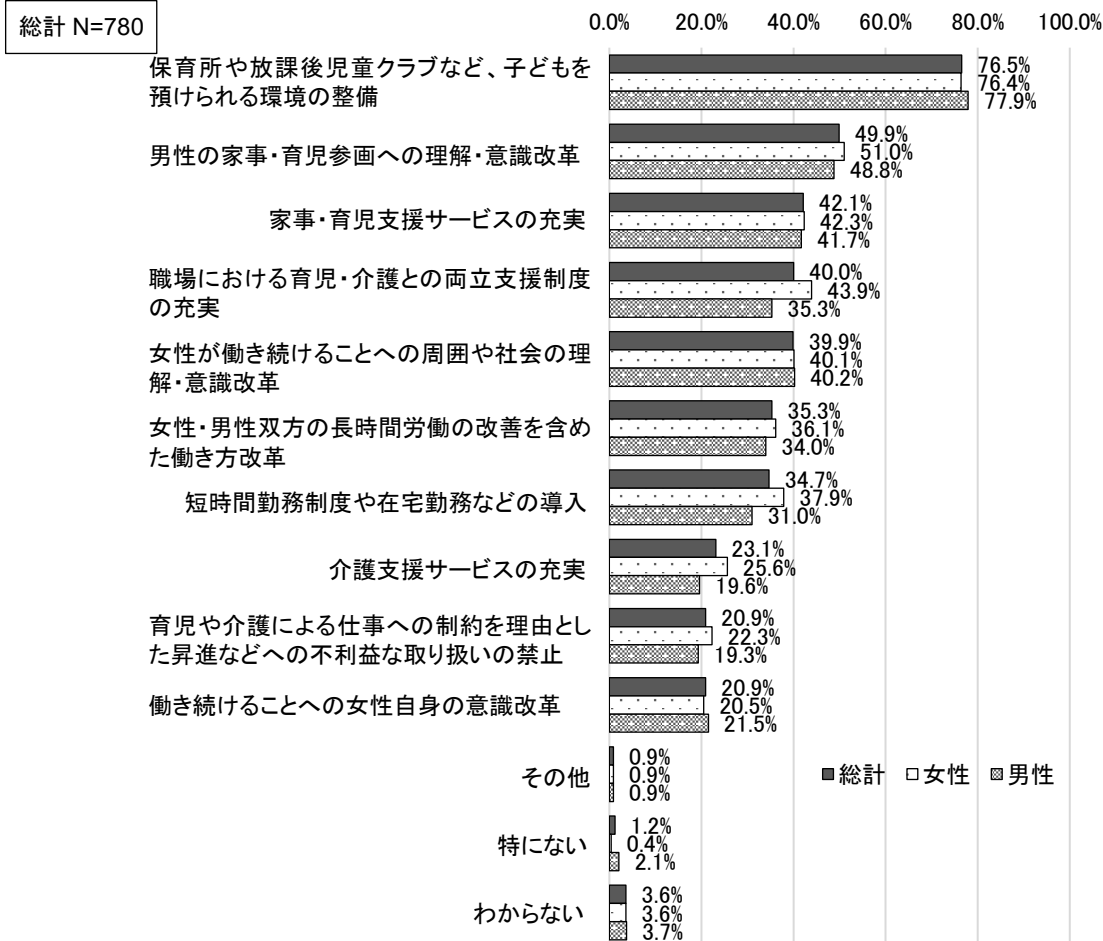
【全体】

「保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」(76.5%)と回答した割合が最も高く、次いで「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」(49.9%)、「家事・育児支援サービスの充実」(42.1%)の順となった。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性は「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」と回答した割合が男性より2.2ポイント高く、男性は「女性が働き続けることへの周囲や社会の理解・意識改革」、「育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取り扱いの禁止」と回答した割合が女性より高くなっている。性・年代別では、男女ともすべての年代で「保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」と回答した割合が最も高く、30歳代~60歳代の女性、60歳代男性が8割超となっており、「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」と回答した割合は、40~50歳代の女性は6割を超えている。また、「家事・育児支援サービスの充実」と回答した割合は年代が下がるほど高くなっている。

図表問27-1 女性が働き続けられるために、家庭、社会、職場において必要なこと【総計・性別】



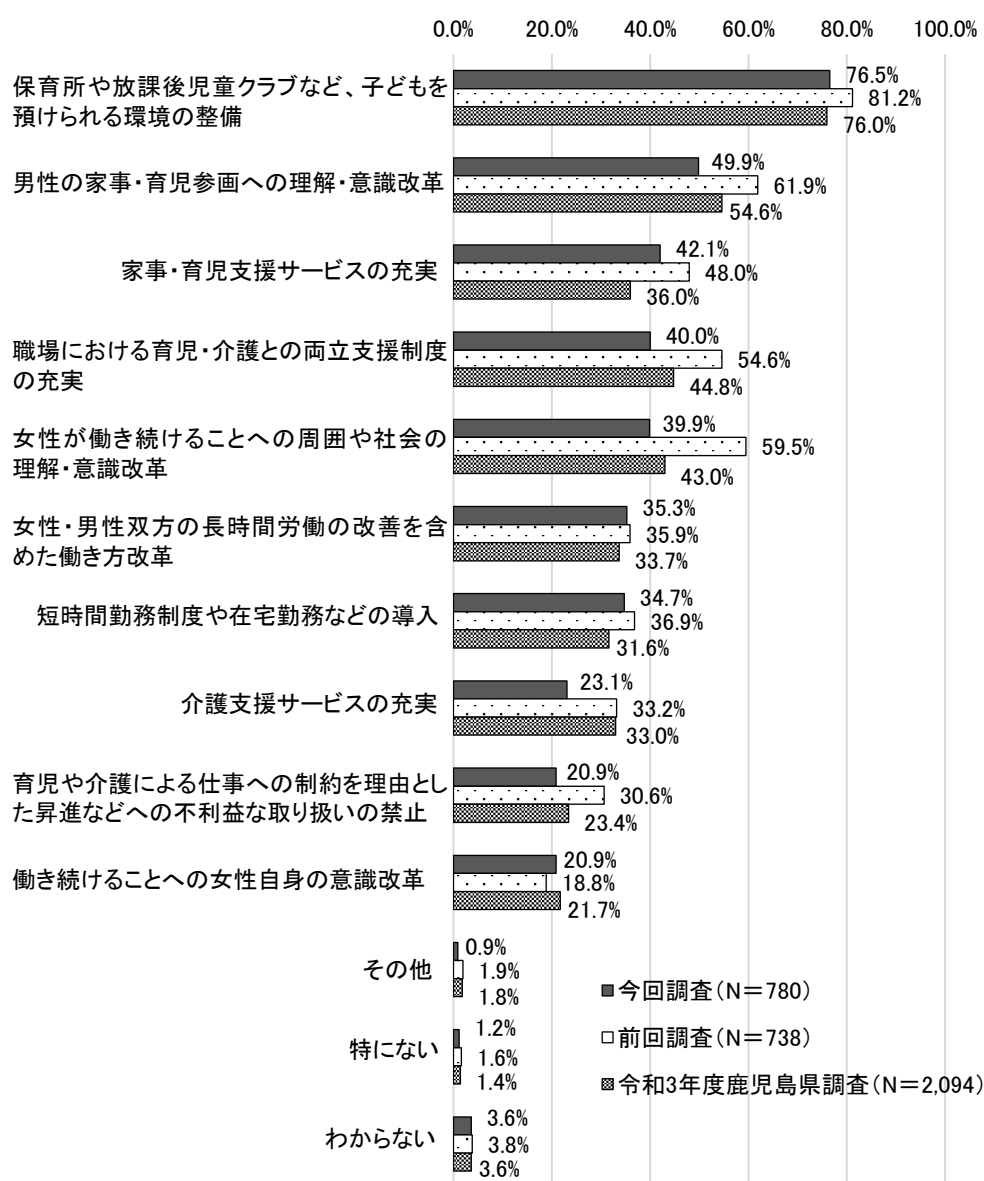
図表問27-2 女性が働き続けられるために、家庭、社会、職場において必要なこと【性・年代別】

		回答総数	問27 あなたは、働き続けることを希望する女性が、出産後も離職せずに、同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)												
			けら保 られ育 る所 など や放 環境 の 整 備	ス家 の事 充・ 実 育 児 支 援 サ ー ビ	へ男 性の 理の 解家 事・ 意 識 育 児 改 革 参 画	解へ ・の 意周 識困 改や 革社 会 の 理 と	性働 自 身 続 け る こ と へ の 女	働間 き方 改 革 善 を 含 め 長 た 時	充護 実と の 両 立 け る 支 援 育 児 の 介	実介 護支 援サ ー ビ ス の 充	勤短 務時 間 な 勤 務 制 度 や 在 宅	取昇 り進 な い の 禁 止	育 児 の 制 約 を 理 由 と し た 事	特 に な い	わ か ら な い
総計 (N=780)		3,033	597	328	389	311	163	275	312	180	271	163	9	28	7
割合		-	76.5%	42.1%	49.9%	39.9%	20.9%	35.3%	40.0%	23.1%	34.7%	20.9%	1.2%	3.6%	0.9%
性・年代別	女性 (N=449)	1,800	343	190	229	180	100	162	197	115	170	92	2	16	4
	割合	-	76.4%	42.3%	51.0%	40.1%	22.3%	36.1%	43.9%	25.6%	37.9%	20.5%	0.4%	3.6%	0.9%
	10歳代・20歳代 (N=72)	327	51	42	43	36	13	34	34	15	38	20	0	0	1
	割合	-	70.8%	58.3%	59.7%	50.0%	18.1%	47.2%	47.2%	20.8%	52.8%	27.8%	0.0%	0.0%	1.4%
	30歳代 (N=55)	248	45	32	24	22	6	26	27	14	29	20	0	2	1
	割合	-	81.8%	58.2%	43.6%	40.0%	10.9%	47.3%	49.1%	25.5%	52.7%	36.4%	0.0%	3.6%	1.8%
	40歳代 (N=68)	317	57	38	42	36	14	29	36	20	29	14	0	1	1
	割合	-	83.8%	55.9%	61.8%	52.9%	20.6%	42.6%	52.9%	29.4%	42.6%	20.6%	0.0%	1.5%	1.5%
	50歳代 (N=80)	324	66	31	49	31	22	23	35	27	23	13	0	3	1
	割合	-	82.5%	38.8%	61.3%	38.8%	27.5%	28.8%	43.8%	33.8%	28.8%	16.3%	0.0%	3.8%	1.3%
	60歳代 (N=78)	312	64	27	44	30	23	26	30	20	29	17	0	2	0
	割合	-	82.1%	34.6%	56.4%	38.5%	29.5%	33.3%	38.5%	25.6%	37.2%	21.8%	0.0%	2.6%	0.0%
	70歳代 (N=95)	272	60	20	27	25	22	24	35	19	22	8	2	8	0
	割合	-	63.2%	21.1%	28.4%	26.3%	23.2%	25.3%	36.8%	20.0%	23.2%	8.4%	2.1%	8.4%	0.0%
男性 (N=326)	1,226	254	136	159	131	63	111	115	64	101	70	7	12	3	
割合	-	77.9%	41.7%	48.8%	40.2%	19.3%	34.0%	35.3%	19.6%	31.0%	21.5%	2.1%	3.7%	0.9%	
10歳代・20歳代 (N=48)	209	38	25	28	23	8	20	18	11	20	14	1	3	0	
割合	-	79.2%	52.1%	58.3%	47.9%	16.7%	41.7%	37.5%	22.9%	41.7%	29.2%	2.1%	6.3%	0.0%	
30歳代 (N=42)	190	33	25	24	23	6	20	20	5	20	11	0	2	1	
割合	-	78.6%	59.5%	57.1%	54.8%	14.3%	47.6%	47.6%	11.9%	47.6%	26.2%	0.0%	4.8%	2.4%	
40歳代 (N=41)	150	30	20	17	12	9	15	14	5	16	8	1	1	2	
割合	-	73.2%	48.8%	41.5%	29.3%	22.0%	36.6%	34.1%	12.2%	39.0%	19.5%	2.4%	2.4%	4.9%	
50歳代 (N=49)	159	38	18	21	19	7	11	16	9	11	7	0	2	0	
割合	-	77.6%	36.7%	42.9%	38.8%	14.3%	22.4%	32.7%	18.4%	22.4%	14.3%	0.0%	4.1%	0.0%	
60歳代 (N=63)	245	53	25	30	29	15	22	20	17	16	17	0	1	0	
割合	-	84.1%	39.7%	47.6%	46.0%	23.8%	34.9%	31.7%	27.0%	25.4%	27.0%	0.0%	1.6%	0.0%	
70歳代 (N=83)	273	62	23	39	25	18	23	27	17	18	13	5	3	0	
割合	-	74.7%	27.7%	47.0%	30.1%	21.7%	27.7%	32.5%	20.5%	21.7%	15.7%	6.0%	3.6%	0.0%	

【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】

前回調査・令和3年度鹿児島県調査と比較すると、上位2つは同様の結果となった。「保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が最重要視された。「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」では、今回調査は前回調査よりも12.0ポイント低く、令和3年度鹿児島県調査よりも4.7ポイント低い。3番目に高い割合の項目は、本市が「家事・育児支援サービスの充実」(42.1%)に対し、前回調査では「女性が働き続けることへの周囲や社会の理解・意識改革」(59.5%)、県調査では「職場における育児・介護との両立支援制度」(44.8%)となっている。

図表問27-3 女性が働き続けられるために、家庭、社会、職場において必要なこと
【前回調査・令和3年度鹿児島県調査との比較】



V 人権・暴力について

【問28】あなたはこれまでに、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。

【全体】

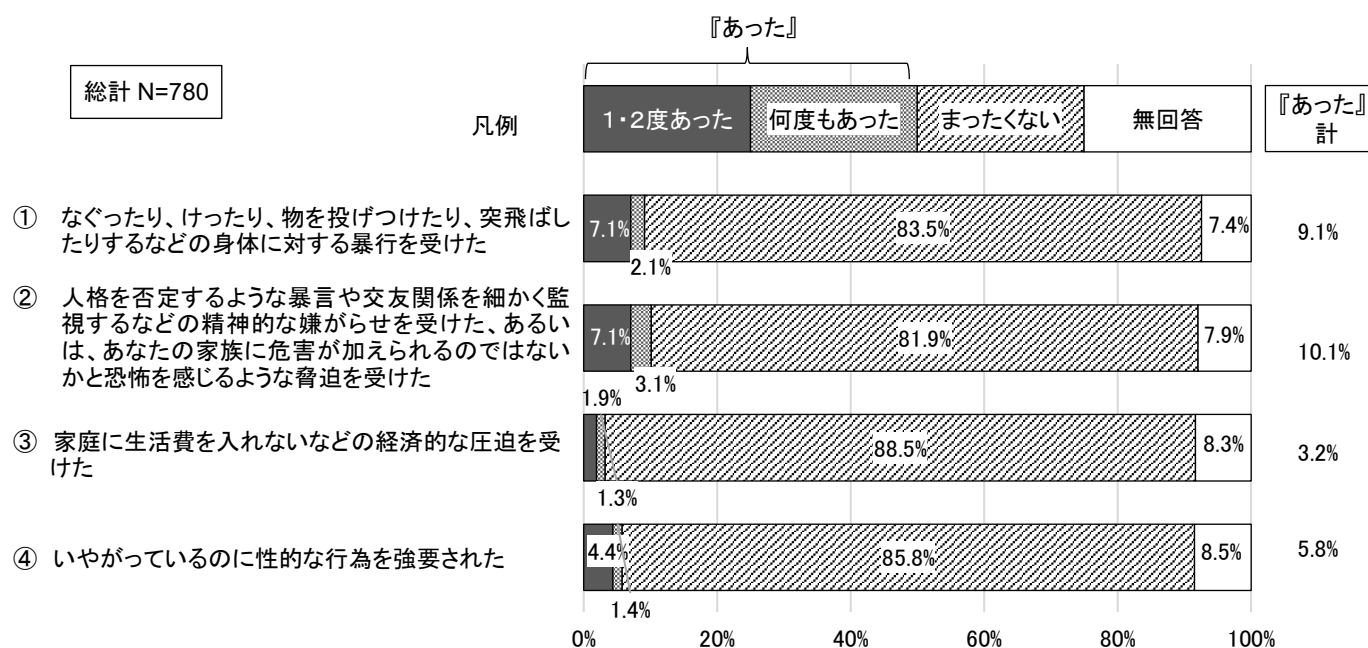
恋人や元恋人などの交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験について尋ねたところ、「あった」（「1・2度あった」+「何度もあった」）と回答した人の割合は、「②精神的な嫌がらせ・脅迫」で10.1%、「①身体に対する暴行」で9.1%、「④性的な行為の強要」で5.8%、「③経済的な圧迫」で3.2%の順となっている。

【性別、性・年代別】

性別でみると、いずれかの暴力を受けた経験が「あった」（「1・2度あった」+「何度もあった」）と回答した割合は、女性の方が高く、暴力の種類では「①身体に対する暴行」（女性：12.0%、男性：5.2%）、「②精神的な嫌がらせ・脅迫」（女性：11.8%、男性：8.0%）、「③経済的な圧迫」（女性：4.5%、男性：1.5%）、「④性的な行為の強要」（女性：8.2%、男性：2.5%）といずれの暴力でも約5%以上の女性が『あった』と回答しており、男性より高くなっている。

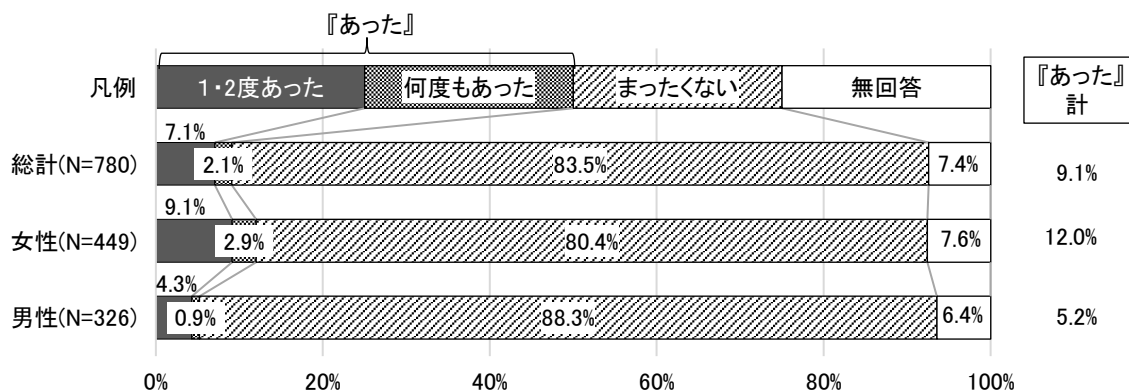
性・年代別でみると、いずれの暴力でも30～50歳代の女性は『あった』と回答した割合が高くなっている。

図表問28-1 交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験について【総計・暴行の種類別】

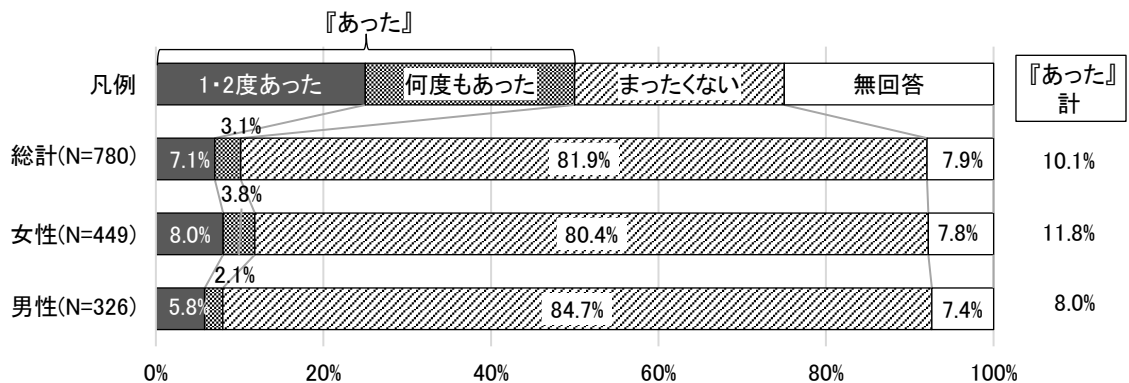


図表問 28-2 交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験について【性別・暴行の種類別】

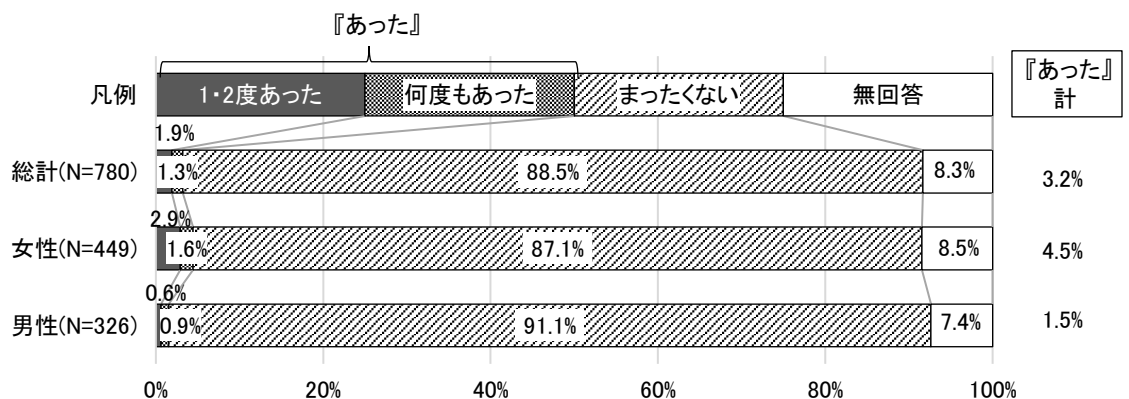
①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた



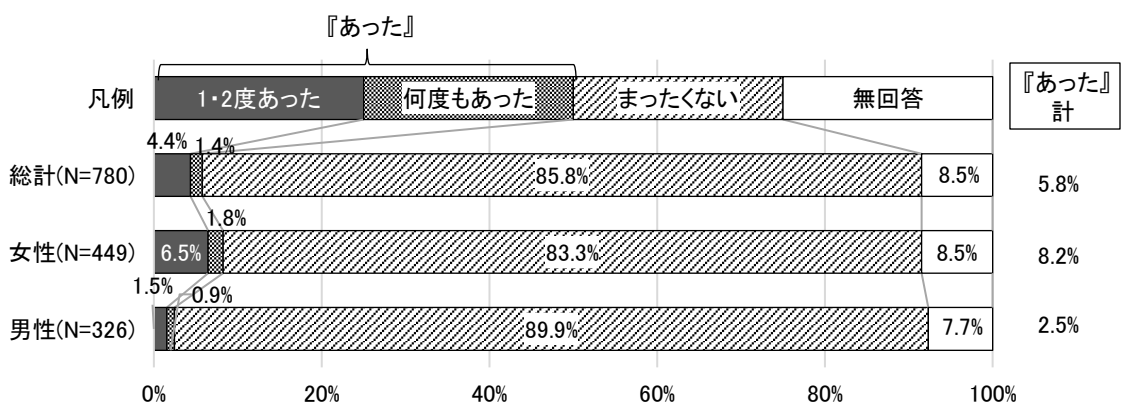
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた



③家庭に生活費を入れないなどの経済的な圧迫を受けた



④いやがっているのに性的な行為を強要された



図表問28-3 交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験について【性・年代別】(1/2)

		サンプル数	問28 あなたはこれまでに、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。							
			① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた				② 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた			
			1・2度あった	何度もあった	まったくない	無回答	1・2度あった	何度もあった	まったくない	無回答
総計 (N=780)		780	55	16	651	58	55	24	639	62
割合		100.0%	7.1%	2.1%	83.5%	7.4%	7.1%	3.1%	81.9%	7.9%
性・年代別	女性 (N=449)	449	41	13	361	34	36	17	361	35
	割合	100.0%	9.1%	2.9%	80.4%	7.6%	8.0%	3.8%	80.4%	7.8%
	10歳代・20歳代 (N=72)	72	2	1	68	1	3	1	67	1
	割合	100.0%	2.8%	1.4%	94.4%	1.4%	4.2%	1.4%	93.1%	1.4%
	30歳代 (N=55)	55	9	2	44	0	8	3	44	0
	割合	100.0%	16.4%	3.6%	80.0%	0.0%	14.5%	5.5%	80.0%	0.0%
	40歳代 (N=68)	68	7	3	58	0	9	5	54	0
	割合	100.0%	10.3%	4.4%	85.3%	0.0%	13.2%	7.4%	79.4%	0.0%
	50歳代 (N=80)	80	9	3	66	2	9	4	66	1
	割合	100.0%	11.3%	3.8%	82.5%	2.5%	11.3%	5.0%	82.5%	1.3%
	60歳代 (N=78)	78	5	4	59	10	2	2	64	10
	割合	100.0%	6.4%	5.1%	75.6%	12.8%	2.6%	2.6%	82.1%	12.8%
	70歳代 (N=95)	95	9	0	65	21	5	2	65	23
	割合	100.0%	9.5%	0.0%	68.4%	22.1%	5.3%	2.1%	68.4%	24.2%
男性 (N=326)	326	14	3	288	21	19	7	276	24	
割合	100.0%	4.3%	0.9%	88.3%	6.4%	5.8%	2.1%	84.7%	7.4%	
10歳代・20歳代 (N=48)	48	0	0	47	1	1	0	46	1	
割合	100.0%	0.0%	0.0%	97.9%	2.1%	2.1%	0.0%	95.8%	2.1%	
30歳代 (N=42)	42	3	2	36	1	5	2	34	1	
割合	100.0%	7.1%	4.8%	85.7%	2.4%	11.9%	4.8%	81.0%	2.4%	
40歳代 (N=41)	41	1	1	37	2	1	2	36	2	
割合	100.0%	2.4%	2.4%	90.2%	4.9%	2.4%	4.9%	87.8%	4.9%	
50歳代 (N=49)	49	3	0	45	1	3	3	42	1	
割合	100.0%	6.1%	0.0%	91.8%	2.0%	6.1%	6.1%	85.7%	2.0%	
60歳代 (N=63)	63	1	0	57	5	4	0	54	5	
割合	100.0%	1.6%	0.0%	90.5%	7.9%	6.3%	0.0%	85.7%	7.9%	
70歳代 (N=83)	83	6	0	66	11	5	0	64	14	
割合	100.0%	7.2%	0.0%	79.5%	13.3%	6.0%	0.0%	77.1%	16.9%	

図表問28-3 交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験について【性・年代別】(2/2)

		サンプル数	問28 あなたはこれまでに、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。									
			③ 家庭に生活費を入れないなどの経済的な圧迫を受けた					④ いやがっているのに性的な行為を強要された				
			1・2度あった	何度もあった	まったくない	無回答	1・2度あった	何度もあった	まったくない	無回答		
総計 (N=780)		780	15	10	690	65	34	11	669	66		
		割合	100.0%	1.9%	1.3%	88.5%	8.3%	4.4%	1.4%	85.8%	8.5%	
性・年代別	女性 (N=449)	449	13	7	391	38	29	8	374	38		
		割合	100.0%	2.9%	1.6%	87.1%	8.5%	6.5%	1.8%	83.3%	8.5%	
	10歳代・20歳代 (N=72)	72	0	1	70	1	2	0	69	1		
		割合	100.0%	0.0%	1.4%	97.2%	1.4%	2.8%	0.0%	95.8%	1.4%	
	30歳代 (N=55)	55	4	0	51	0	6	2	47	0		
		割合	100.0%	7.3%	0.0%	92.7%	0.0%	10.9%	3.6%	85.5%	0.0%	
	40歳代 (N=68)	68	1	1	66	0	4	4	60	0		
		割合	100.0%	1.5%	1.5%	97.1%	0.0%	5.9%	5.9%	88.2%	0.0%	
	50歳代 (N=80)	80	3	4	71	2	9	0	69	2		
		割合	100.0%	3.8%	5.0%	88.8%	2.5%	11.3%	0.0%	86.3%	2.5%	
	60歳代 (N=78)	78	0	1	66	11	5	1	62	10		
		割合	100.0%	0.0%	1.3%	84.6%	14.1%	6.4%	1.3%	79.5%	12.8%	
	70歳代 (N=95)	95	5	0	66	24	3	1	66	25		
		割合	100.0%	5.3%	0.0%	69.5%	25.3%	3.2%	1.1%	69.5%	26.3%	
男性 (N=326)	326	2	3	297	24	5	3	293	25			
	割合	100.0%	0.6%	0.9%	91.1%	7.4%	1.5%	0.9%	89.9%	7.7%		
10歳代・20歳代 (N=48)	48	0	0	47	1	1	0	46	1			
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	97.9%	2.1%	2.1%	0.0%	95.8%	2.1%		
30歳代 (N=42)	42	0	1	40	1	0	1	40	1			
	割合	100.0%	0.0%	2.4%	95.2%	2.4%	0.0%	2.4%	95.2%	2.4%		
40歳代 (N=41)	41	0	1	38	2	1	1	37	2			
	割合	100.0%	0.0%	2.4%	92.7%	4.9%	2.4%	2.4%	90.2%	4.9%		
50歳代 (N=49)	49	1	0	46	2	1	1	45	2			
	割合	100.0%	2.0%	0.0%	93.9%	4.1%	2.0%	2.0%	91.8%	4.1%		
60歳代 (N=63)	63	0	1	56	6	0	0	57	6			
	割合	100.0%	0.0%	1.6%	88.9%	9.5%	0.0%	0.0%	90.5%	9.5%		
70歳代 (N=83)	83	1	0	70	12	2	0	68	13			
	割合	100.0%	1.2%	0.0%	84.3%	14.5%	2.4%	0.0%	81.9%	15.7%		

【問29】 F6で、「1 結婚している(結婚していないが、パートナーと暮らしている場合も含む)」、「2 結婚していたが、離別した」、「3 結婚していたが、死別した」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。あなたはこれまでに、あなたの配偶者(結婚していないがパートナーと暮らしている場合や別居中の夫婦、元配偶者も含む)から、次のようなことをされたことがありますか。

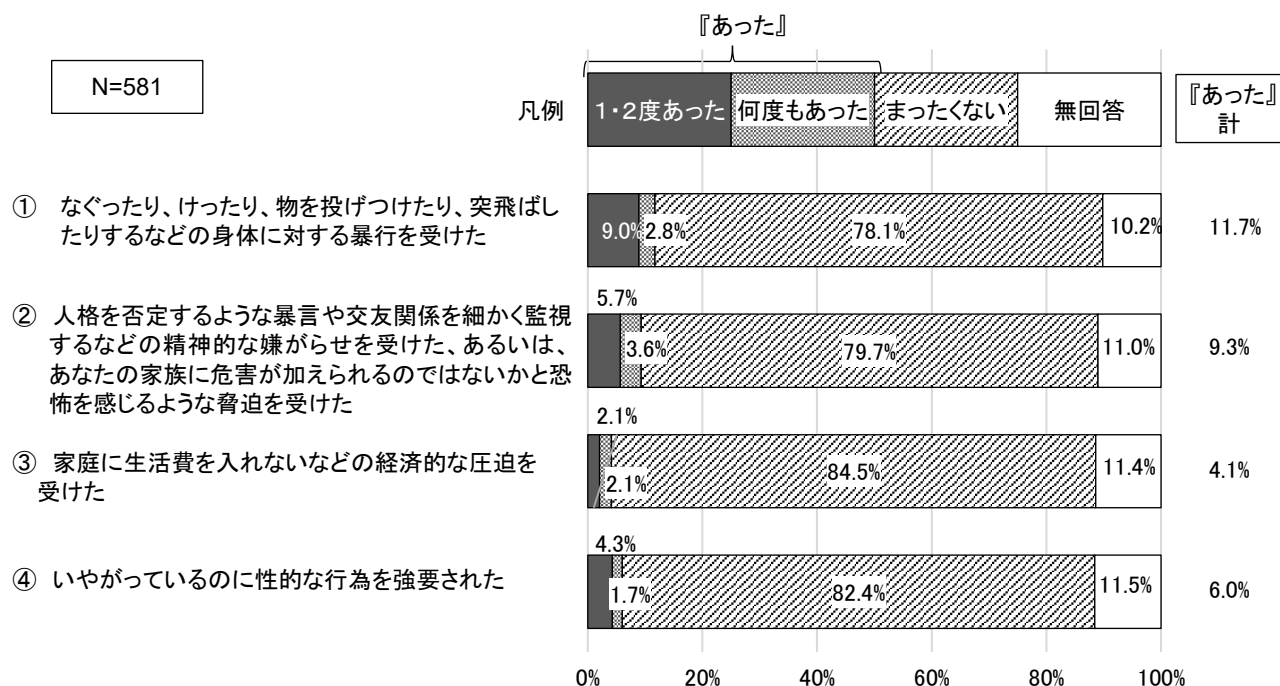
【全体】

配偶者から暴力や嫌がらせを受けた経験について尋ねたところ、「あった」(「1・2度あった」+「何度もあった」)と回答した人の割合は、「①身体に対する暴行」で11.7%、「②精神的な嫌がらせ・脅迫」で9.3%、「④性的な行為の強要」で6.0%、「③経済的な圧迫」で4.1%の順となっている。

【性別、性・年代別】

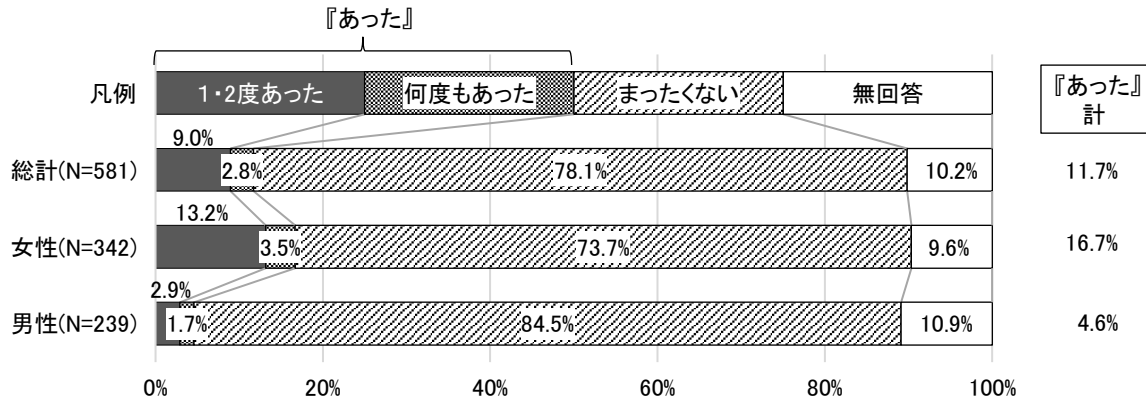
性別で見ると、いずれのケースでも「あった」(「1・2度あった」+「何度もあった」)と回答した人の割合は女性の方が高く、「①身体に対する暴行」で16.7%(男性に比べて12.1ポイント高い)、「②精神的な嫌がらせ・脅迫」で10.8%(男性に比べて3.7ポイント高い)、「④性的な行為の強要」で8.8%(男性に比べて6.7ポイント高い)、「③経済的な圧迫」で5.3%(男性に比べて2.8ポイント高い)となっている。性・年代別では、「あった」と回答した割合は30歳代女性で、①で21.1%、②で15.8%、③で7.9%、④に関して40歳代女性で10.9%となり、最も高い割合となっている。また、男性では30歳代が①、②、④で、40歳代が③で最も高い割合となった。

図表問29-1 配偶者・パートナーから暴力や嫌がらせを受けた経験【総計・暴行の種類別】

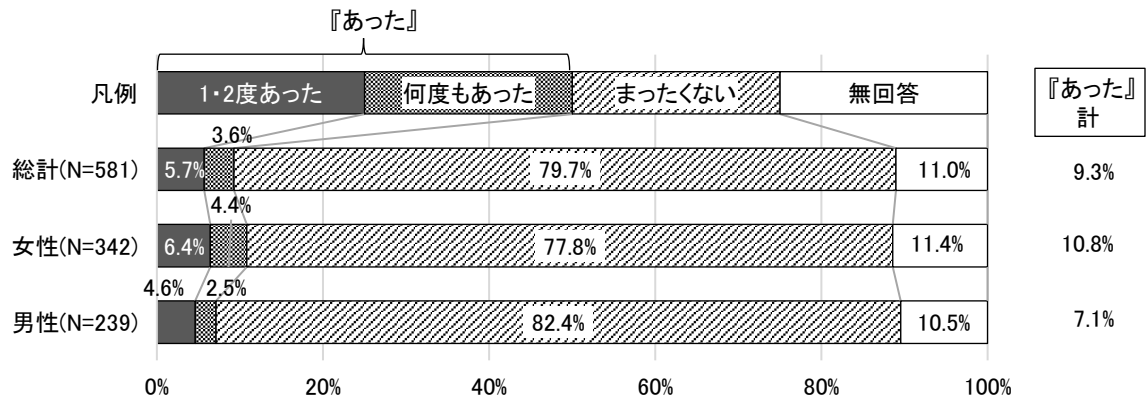


図表問 29-2 配偶者・パートナーから暴力や嫌がらせを受けた経験【性別・暴行の種類別】

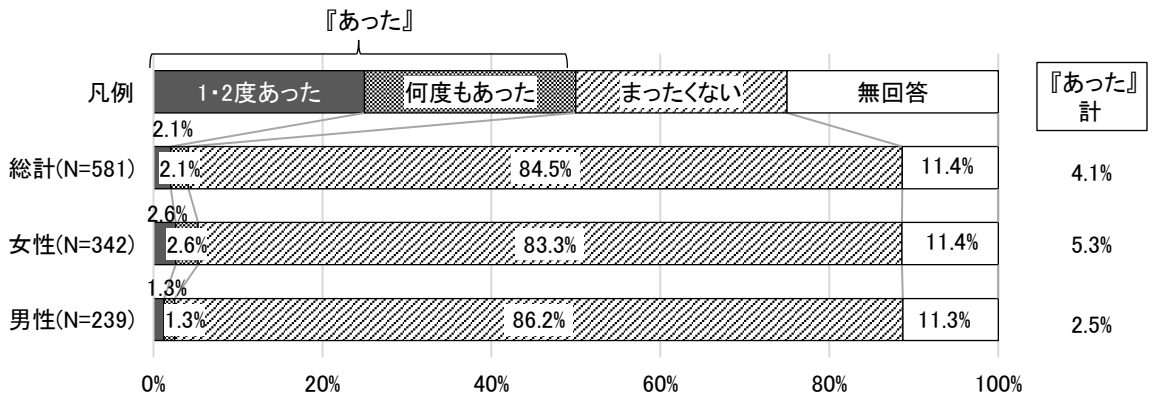
①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた



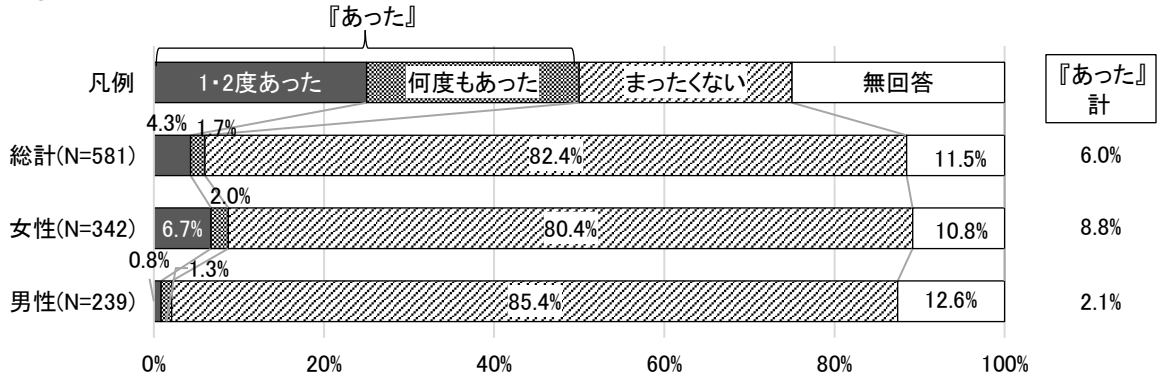
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた



③家庭に生活費を入れないなどの経済的な圧迫を受けた



④いやがっているのに性的な行為を強要された



図表問29-3 配偶者・パートナーから暴力や嫌がらせを受けた経験【性・年代別】(1/2)

		サンプル数	① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた				② 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた					
			1・2度あった	何度もあった	まったくない	無回答	1・2度あった	何度もあった	まったくない	無回答		
			割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合		
問29 F6で、「1 結婚している」、「2 結婚していたが、離別した」、「2 結婚していたが、死別した」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。あなたはこれまでに、あなたの配偶者から、次のようなことをされたことがありますか。												
総計 (N=581)		581	52	16	454	59	33	21	463	64		
		割合	100.0%	9.0%	2.8%	78.1%	10.2%	5.7%	3.6%	79.7%	11.0%	
性・年代別	女性 (N=342)		342	45	12	252	33	22	15	266	39	
			割合	100.0%	13.2%	3.5%	73.7%	9.6%	6.4%	4.4%	77.8%	11.4%
	10歳代・20歳代 (N=19)		19	1	1	17	0	0	1	18	0	
			割合	100.0%	5.3%	5.3%	89.5%	0.0%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%
	30歳代 (N=38)		38	6	2	30	0	2	4	32	0	
			割合	100.0%	15.8%	5.3%	78.9%	0.0%	5.3%	10.5%	84.2%	0.0%
	40歳代 (N=55)		55	6	2	46	1	6	2	46	1	
			割合	100.0%	10.9%	3.6%	83.6%	1.8%	10.9%	3.6%	83.6%	1.8%
	50歳代 (N=66)		66	11	1	46	8	6	2	50	8	
			割合	100.0%	16.7%	1.5%	69.7%	12.1%	9.1%	3.0%	75.8%	12.1%
	60歳代 (N=73)		73	10	3	55	5	2	3	61	7	
			割合	100.0%	13.7%	4.1%	75.3%	6.8%	2.7%	4.1%	83.6%	9.6%
	70歳代 (N=91)		91	11	3	58	19	6	3	59	23	
			割合	100.0%	12.1%	3.3%	63.7%	20.9%	6.6%	3.3%	64.8%	25.3%
男性 (N=239)		239	7	4	202	26	11	6	197	25		
		割合	100.0%	2.9%	1.7%	84.5%	10.9%	4.6%	2.5%	82.4%	10.5%	
10歳代・20歳代 (N=7)		7	0	0	7	0	0	0	7	0		
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30歳代 (N=32)		32	3	1	27	1	3	2	26	1		
		割合	100.0%	9.4%	3.1%	84.4%	3.1%	9.4%	6.3%	81.3%	3.1%	
40歳代 (N=33)		33	0	2	31	0	0	2	31	0		
		割合	100.0%	0.0%	6.1%	93.9%	0.0%	0.0%	6.1%	93.9%	0.0%	
50歳代 (N=38)		38	1	0	34	3	3	1	31	3		
		割合	100.0%	2.6%	0.0%	89.5%	7.9%	7.9%	2.6%	81.6%	7.9%	
60歳代 (N=54)		54	0	0	48	6	2	0	46	6		
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	88.9%	11.1%	3.7%	0.0%	85.2%	11.1%	
70歳代 (N=75)		75	3	1	55	16	3	1	56	15		
		割合	100.0%	4.0%	1.3%	73.3%	21.3%	4.0%	1.3%	74.7%	20.0%	

図表問29-3 配偶者・パートナーから暴力や嫌がらせを受けた経験【性・年代別】(2/2)

		サンプル数	問29 F6で、「1 結婚している」、「2 結婚していたが、離別した」、「2 結婚していたが、死別した」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。あなたはこれまでに、あなたの配偶者から、次のようなことをされたことがありますか。								
			③ 家庭に生活費を入れないなどの経済的な圧迫を受けた				④ いやがっているのに性的な行為を強要された				
			1・2度あった	何度もあった	まったくない	無回答	1・2度あった	何度もあった	まったくない	無回答	
総計 (N=581)		581	12	12	491	66	25	10	479	67	
		割合	100.0%	2.1%	2.1%	84.5%	11.4%	4.3%	1.7%	82.4%	11.5%
性・年代別	女性 (N=342)	342	9	9	285	39	23	7	275	37	
		割合	100.0%	2.6%	2.6%	83.3%	11.4%	6.7%	2.0%	80.4%	10.8%
	10歳代・20歳代 (N=19)	19	0	0	19	0	0	0	19	0	
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代 (N=38)	38	2	1	35	0	3	1	34	0	
		割合	100.0%	5.3%	2.6%	92.1%	0.0%	7.9%	2.6%	89.5%	0.0%
	40歳代 (N=55)	55	2	0	52	1	3	3	48	1	
		割合	100.0%	3.6%	0.0%	94.5%	1.8%	5.5%	5.5%	87.3%	1.8%
	50歳代 (N=66)	66	1	3	54	8	7	0	51	8	
		割合	100.0%	1.5%	4.5%	81.8%	12.1%	10.6%	0.0%	77.3%	12.1%
	60歳代 (N=73)	73	0	4	62	7	6	1	60	6	
		割合	100.0%	0.0%	5.5%	84.9%	9.6%	8.2%	1.4%	82.2%	8.2%
	70歳代 (N=91)	91	4	1	63	23	4	2	63	22	
		割合	100.0%	4.4%	1.1%	69.2%	25.3%	4.4%	2.2%	69.2%	24.2%
男性 (N=239)	239	3	3	206	27	2	3	204	30		
	割合	100.0%	1.3%	1.3%	86.2%	11.3%	0.8%	1.3%	85.4%	12.6%	
10歳代・20歳代 (N=7)	7	0	0	7	0	0	0	7	0		
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30歳代 (N=32)	32	0	1	30	1	0	1	30	1		
	割合	100.0%	0.0%	3.1%	93.8%	3.1%	0.0%	3.1%	93.8%	3.1%	
40歳代 (N=33)	33	0	2	31	0	0	1	32	0		
	割合	100.0%	0.0%	6.1%	93.9%	0.0%	0.0%	3.0%	97.0%	0.0%	
50歳代 (N=38)	38	2	0	33	3	1	0	34	3		
	割合	100.0%	5.3%	0.0%	86.8%	7.9%	2.6%	0.0%	89.5%	7.9%	
60歳代 (N=54)	54	0	0	48	6	0	0	47	7		
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	87.0%	13.0%	
70歳代 (N=75)	75	1	0	57	17	1	1	54	19		
	割合	100.0%	1.3%	0.0%	76.0%	22.7%	1.3%	1.3%	72.0%	25.3%	

【問30】 問28または問29で1つでも行為を受けたことがあった方にお尋ねします。あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
(○はいくつでも)

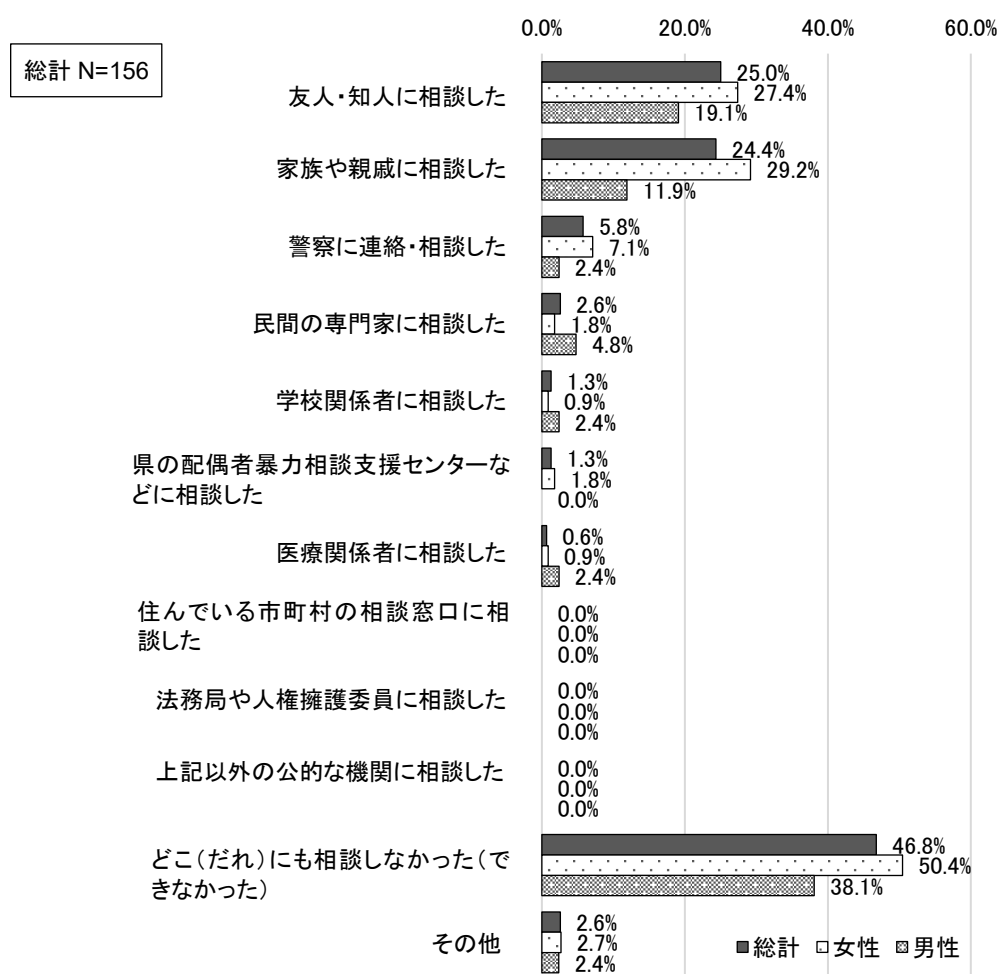
【全体】

配偶者や交際相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしたかを尋ねたところ、「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」(46.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「友人・知人に相談した」(25.0%)、「家族や親戚に相談した」(24.4%)、「警察に連絡・相談した」(5.8%)、「民間の専門家に相談した」(2.6%)の順となっている。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性で「家族や親戚に相談した」(29.2%)、「友人・知人に相談した」(27.4%)が3割ほどとなっており、男性の各選択肢より高い割合となっている。「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」では、女性が男性より12.3ポイント上回った。性・年代別にはサンプル数が少ないが、10歳代・20歳代の人々が、他の年代よりどこ（だれ）かに相談している状況がうかがえた。

図表問30-1 暴力や嫌がらせ等についての相談先【総計・性別】



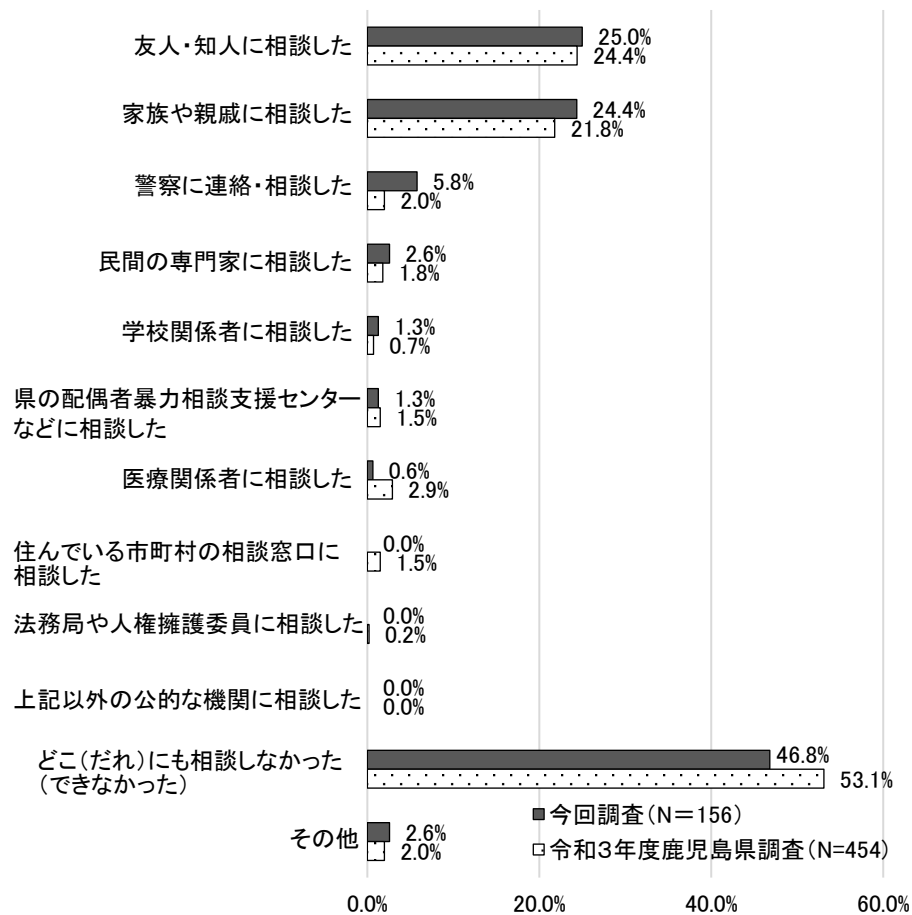
図表問30-2 暴力や嫌がらせ等についての相談先【性・年代別】

		問30 問28または問29で1つでも行為を受けたことがあった方にお尋ねします。あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)													
		回答総数	家族や親戚に相談した	友人・知人に相談した	学校関係者に相談した	医療関係者に相談した	民間の専門家に相談した	警察に連絡・相談した	住んでいる市町村の相談窓口にある市町村の相談員	法務局や人権擁護委員	県のセンターに暴力相談した	上の記名(6)に相談した以外の	かした(た)った(れ)でも相談	その他	
総計 (N=156)		172	38	39	2	1	4	9	0	0	2	0	73	4	
		割合	24.4%	25.0%	1.3%	0.6%	2.6%	5.8%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	46.8%	2.6%	
性・年代別	女性 (N=113)	138	33	31	1	1	2	8	0	0	2	0	57	3	
		割合	29.2%	27.4%	0.9%	0.9%	1.8%	7.1%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	50.4%	2.7%	
	10歳代・20歳代 (N=9)	12	5	4	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	
		割合	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	
	30歳代 (N=19)	25	6	6	0	0	1	2	0	0	0	0	8	2	
		割合	31.6%	31.6%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.1%	10.5%	
	40歳代 (N=18)	24	7	6	0	0	0	3	0	0	1	0	7	0	
		割合	38.9%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	38.9%	0.0%	
	50歳代 (N=25)	30	5	11	1	1	0	0	0	0	0	0	12	0	
		割合	20.0%	44.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.0%	0.0%	
	60歳代 (N=22)	26	4	3	0	0	1	1	0	0	0	0	17	0	
		割合	18.2%	13.6%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.3%	0.0%	
	70歳代 (N=20)	21	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	11	1	
		割合	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.0%	5.0%	
男性 (N=42)	34	5	8	1	0	2	1	0	0	0	0	16	1		
	割合	11.9%	19.0%	2.4%	0.0%	4.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.1%	2.4%		
10歳代・20歳代 (N=1)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
30歳代 (N=8)	10	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0		
	割合	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
40歳代 (N=4)	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%		
50歳代 (N=10)	8	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0		
	割合	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
60歳代 (N=7)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%		
70歳代 (N=12)	10	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0		
	割合	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.7%	0.0%		

【令和3年度鹿児島県調査との比較】

県調査も本市と同様「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかつた）」が最多で半数程度を占めており、本市より6.3ポイント高くなっている。相談先では「友人・知人に相談した」、「家族や親戚に相談した」がともに上位となっている。

図表問30-3 配偶者や交際相手から暴力や嫌がらせを受けたことについての相談先
【令和3年度鹿児島県調査との比較】



【問31】 問30で、「11.どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」を選ばれた方にお尋ねします。あなたが、どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。(〇はいくつでも)

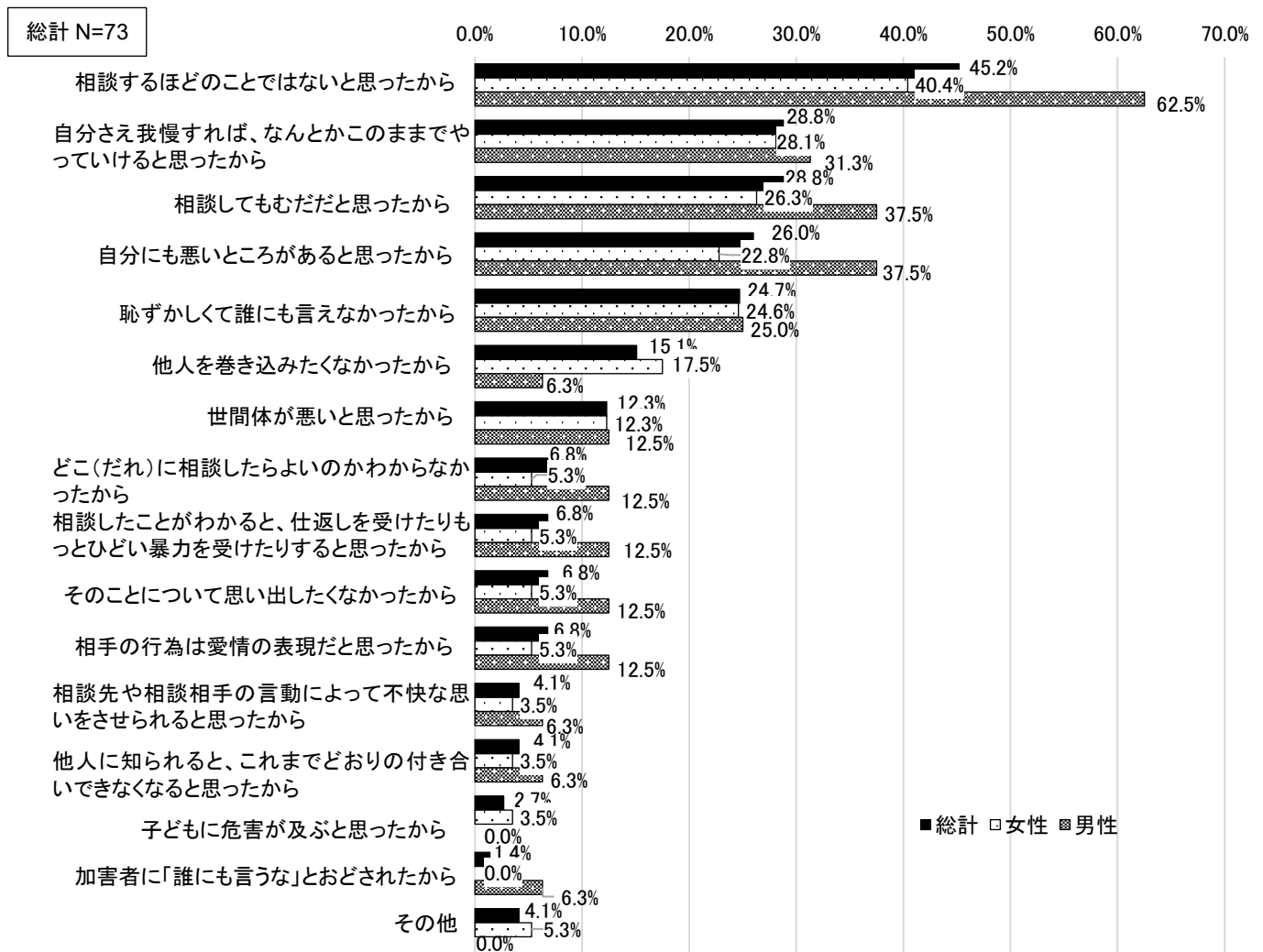
【全体】

問30でどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)理由を尋ねると、「相談するほどのことではないと思ったから」(45.2%)が半数近くを占め、次いで「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままでやっていけると思ったから」「相談してもむだだと思ったから」(ともに28.8%)の順となった。

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性、男性ともに「相談するほどのことではないと思ったから」と回答した割合が最も高く、男性が62.5%となり、女性のそれを22.1ポイント上回っている。性・年代別には、サンプル数が少ないが、30歳代の女性及び40歳代と60歳代の男性は「相談してもむだだと思ったから」と回答した割合が高く、男女とも70歳代以上では「相談するほどのことではないと思ったから」が最も高くなっている。

図表問31-1 相談しなかった(できなかった)理由について【総計・性別】



図表問31-2 相談しなかった(できなかった)理由について【性・年代別】

	回答総数	問31 問30で、「11.どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」を選べた方にお尋ねします。あなたが、どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。(〇はいくつでも)															
		どなたか(だれ)から相談	言えなかつたから	相談したから	暴力を受けた	たたり、仕事	から(な)とおどされた	加害者	思動に先	相談した	思動に先	思動に先	思動に先	思動に先	思動に先	思動に先	思動に先
総計 (N=73)	164	5	18	21	5	1	3	21	2	11	4.1%	6.8%	26.0%	6.8%	45.2%	12.3%	4.1%
女性 (N=57)	119	3	14	15	3	0	2	16	2	10	5.3%	24.6%	22.8%	5.3%	40.4%	12.3%	5.3%
10歳代・20歳代 (N=2)	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代 (N=8)	20	0	3	3	0	0	0	3	1	2	0.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
40歳代 (N=7)	13	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	14.3%
50歳代 (N=12)	23	1	1	4	0	0	0	2	0	5	8.3%	8.3%	33.3%	0.0%	0.0%	21.7%	8.3%
60歳代 (N=17)	34	1	5	3	1	0	0	6	0	1	5.9%	29.4%	17.6%	5.9%	0.0%	47.1%	17.6%
70歳代 (N=11)	26	1	3	4	1	0	0	4	1	2	9.1%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%	63.6%	9.1%
男性 (N=16)	45	2	4	6	2	1	1	5	0	1	12.5%	25.0%	37.5%	12.5%	6.3%	62.5%	12.5%
10歳代・20歳代 (N=0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
30歳代 (N=4)	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	75.0%
40歳代 (N=1)	9	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
50歳代 (N=5)	10	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%
60歳代 (N=1)	6	1	1	1	0	0	1	1	0	0	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
70歳代 (N=5)	13	1	2	3	0	0	0	1	0	0	20.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%

【問32】あなたは、男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】

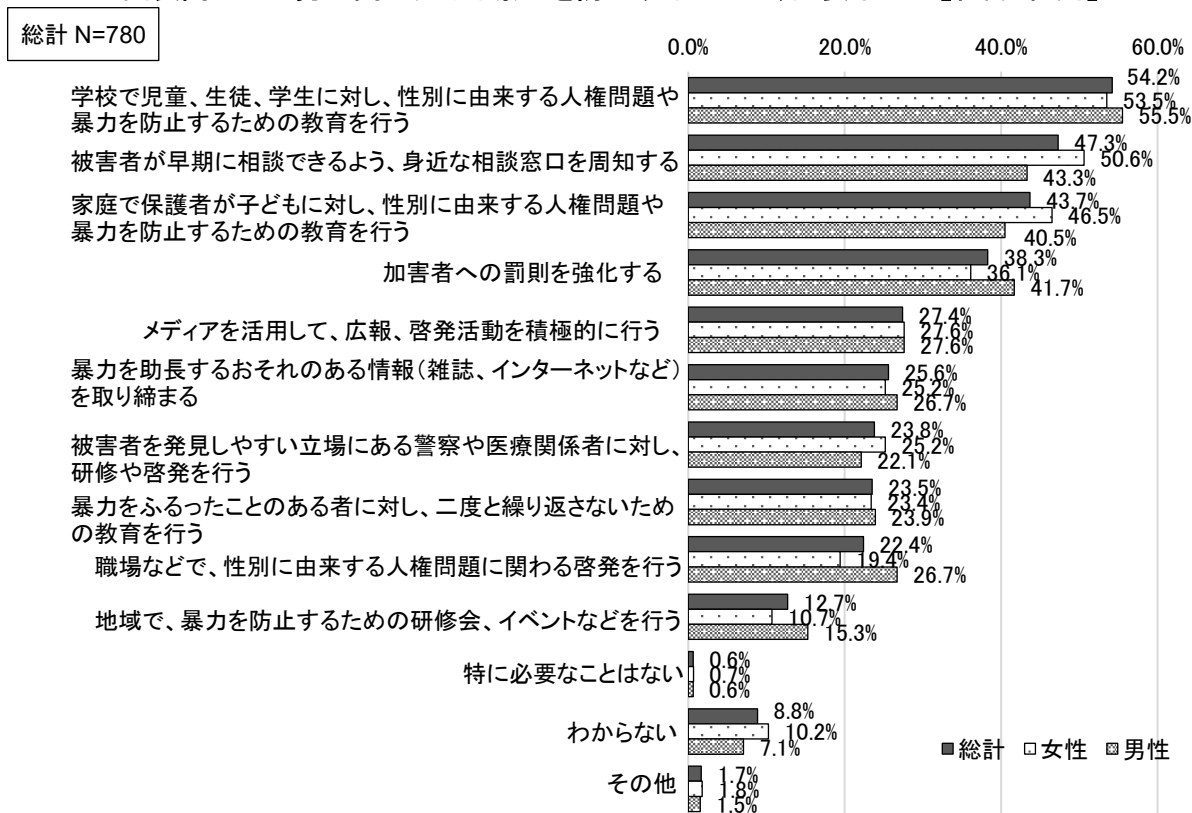
男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だと思うか尋ねたところ、「学校で児童、生徒、学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(54.2%)、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を周知する」(47.3%)、「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(43.7%)の順となっており、学校や家庭における人権問題や暴行を防止するための若年層への教育が求められていると思われる。

【性別、性・年代別】

性別でみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を周知する」「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」と回答した割合は女性より高く、「職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う」「加害者への罰則を強化する」と回答した割合は男性が女性より高くなっている。

性・年代別には、50歳代女性で「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」が60.0%で最も高い割合となっている。40歳代及び60歳以上の女性では、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を周知する」も同率で最多であった。また、10歳代・20歳代男性で「加害者への罰則を強化する」(58.3%)が最も高い割合となった。

図表問32-1 男女間における暴力を防止するために、必要なこと【総計・性別】



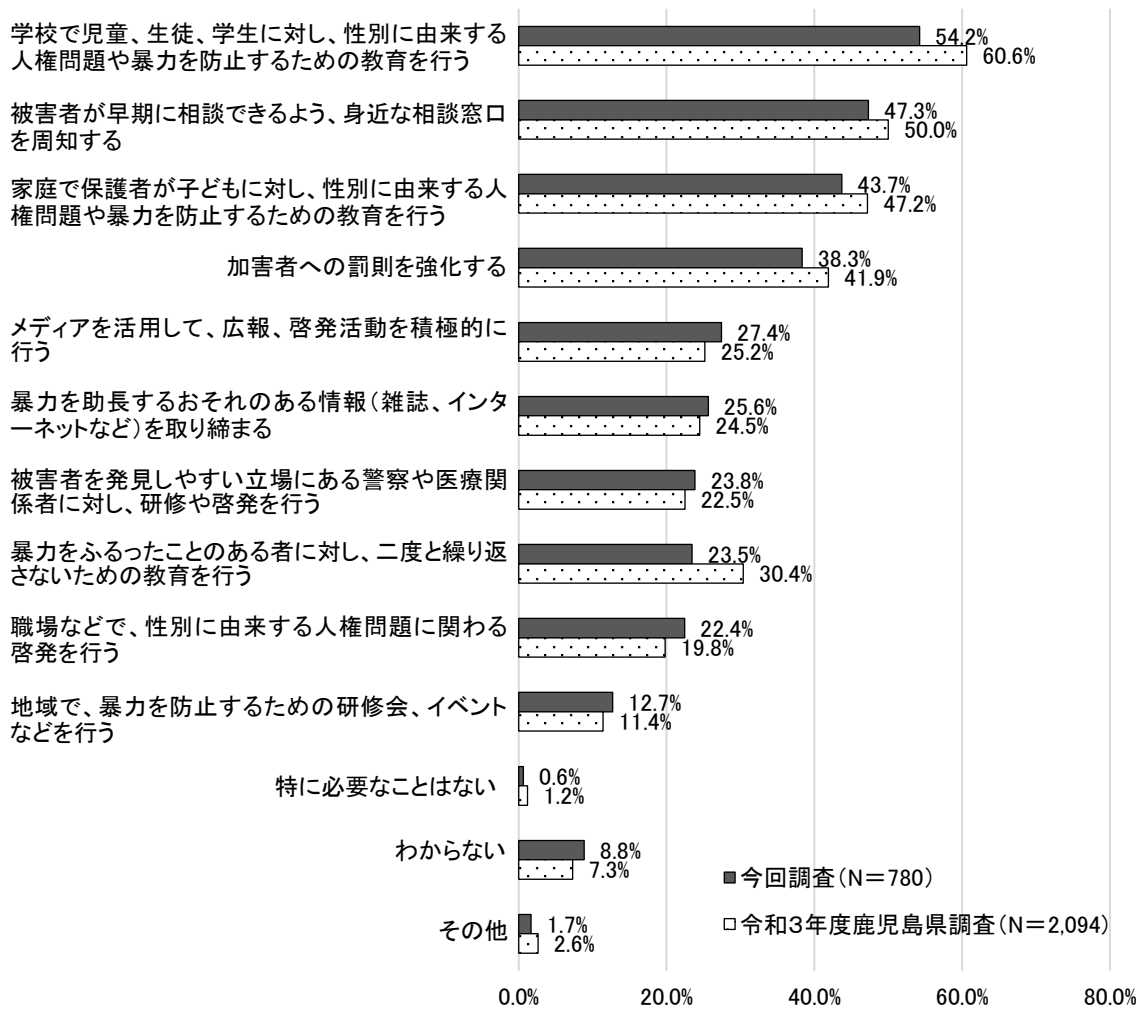
図表問32-2 男女間における暴力を防止するために、必要なこと【性・年代別】

性・年代別	回答総数	問32 あなたは、男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)																			
		止別	家庭	防性	学校	問題	職業	修地	活メ	育し	暴力	加害	取(暴力	身近	被害	啓警	被害	特に	わから	その他
		すに	で来	止す	で別	場	会、	動を	行を	を	を	害者	り	を	近	者	を発	者	に	ない	
総計(N=780)	2,576 割合 -	341 43.7%	423 54.2%	175 22.4%	99 12.7%	214 27.4%	183 23.5%	299 38.3%	200 25.6%	369 47.3%	186 23.8%	5 0.6%	69 8.8%	13 1.7%							
女性(N=449)	1,485 割合 -	209 46.5%	240 53.5%	87 19.4%	48 10.7%	124 27.6%	105 23.4%	162 36.1%	113 25.2%	227 50.6%	113 25.2%	3 0.7%	46 10.2%	8 1.8%							
	10歳代・20歳代(N=72)	256 割合 -	30 41.7%	43 59.7%	13 18.1%	9 12.5%	23 31.9%	15 20.8%	38 52.8%	11 15.3%	41 56.9%	24 33.3%	0 0.0%	7 9.7%	2 2.8%						
	30歳代(N=55)	188 割合 -	31 56.4%	33 60.0%	15 27.3%	4 7.3%	14 25.5%	14 25.5%	26 47.3%	10 18.2%	26 47.3%	13 23.6%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%						
	40歳代(N=68)	265 割合 -	34 50.0%	39 57.4%	15 22.1%	8 11.8%	21 30.9%	25 36.8%	33 48.5%	24 35.3%	39 57.4%	19 27.9%	0 0.0%	5 7.4%	3 4.4%						
	50歳代(N=80)	275 割合 -	48 60.0%	46 57.5%	15 18.8%	11 13.8%	22 27.5%	15 18.8%	26 32.5%	19 23.8%	42 52.5%	19 23.8%	0 0.0%	11 13.8%	1 1.3%						
	60歳代(N=78)	258 割合 -	31 39.7%	41 52.6%	16 20.5%	7 9.0%	25 32.1%	20 25.6%	21 26.9%	27 34.6%	41 52.6%	21 26.9%	0 0.0%	7 9.0%	1 1.3%						
	70歳代(N=95)	243 割合 -	35 36.8%	38 40.0%	13 13.7%	9 9.5%	19 20.0%	16 16.8%	18 18.9%	22 23.2%	38 40.0%	17 17.9%	2 2.1%	15 15.8%	1 1.1%						
	男性(N=326)	1,084 割合 -	132 40.5%	181 55.5%	87 26.7%	50 15.3%	90 27.6%	78 23.9%	136 41.7%	87 26.7%	141 43.3%	72 22.1%	2 0.6%	23 7.1%	5 1.5%						
	10歳代・20歳代(N=48)	188 割合 -	21 43.8%	27 56.3%	17 35.4%	11 22.9%	14 29.2%	13 27.1%	28 58.3%	13 27.1%	23 47.9%	17 35.4%	1 2.1%	1 2.1%	2 4.2%						
	30歳代(N=42)	159 割合 -	22 52.4%	25 59.5%	11 26.2%	5 11.9%	13 31.0%	13 31.0%	23 54.8%	12 28.6%	18 42.9%	13 31.0%	0 0.0%	3 7.1%	1 2.4%						
	40歳代(N=41)	137 割合 -	14 34.1%	25 61.0%	8 19.5%	4 9.8%	10 24.4%	13 31.7%	21 51.2%	9 22.0%	20 48.8%	10 24.4%	0 0.0%	1 2.4%	2 4.9%						
	50歳代(N=49)	145 割合 -	18 36.7%	23 46.9%	11 22.4%	4 8.2%	15 30.6%	9 18.4%	20 40.8%	13 26.5%	22 44.9%	6 12.2%	1 2.0%	3 6.1%	0 0.0%						
	60歳代(N=63)	223 割合 -	27 42.9%	40 63.5%	20 31.7%	16 25.4%	19 30.2%	16 25.4%	19 30.2%	22 34.9%	26 41.3%	14 22.2%	0 0.0%	4 6.3%	0 0.0%						
	70歳代(N=83)	232 割合 -	30 36.1%	41 49.4%	20 24.1%	10 12.0%	19 22.9%	14 16.9%	25 30.1%	18 21.7%	32 38.6%	12 14.5%	0 0.0%	11 13.3%	0 0.0%						

【令和3年度鹿児島県調査との比較】

県調査と比較すると、必要と思うものについては同様の傾向がみられた。学校や家庭における人権問題や暴行を防止するための若年層への教育、また相談窓口の周知が必要と思う割合が多い結果となった。

図表問32-3 男女間における暴力を防止するために、必要なこと【令和3年度鹿児島県調査との比較】



【問33】 あなたはこの1年間の生活の中で、次のような不安や悩みがありましたか。(○はい/×でも)

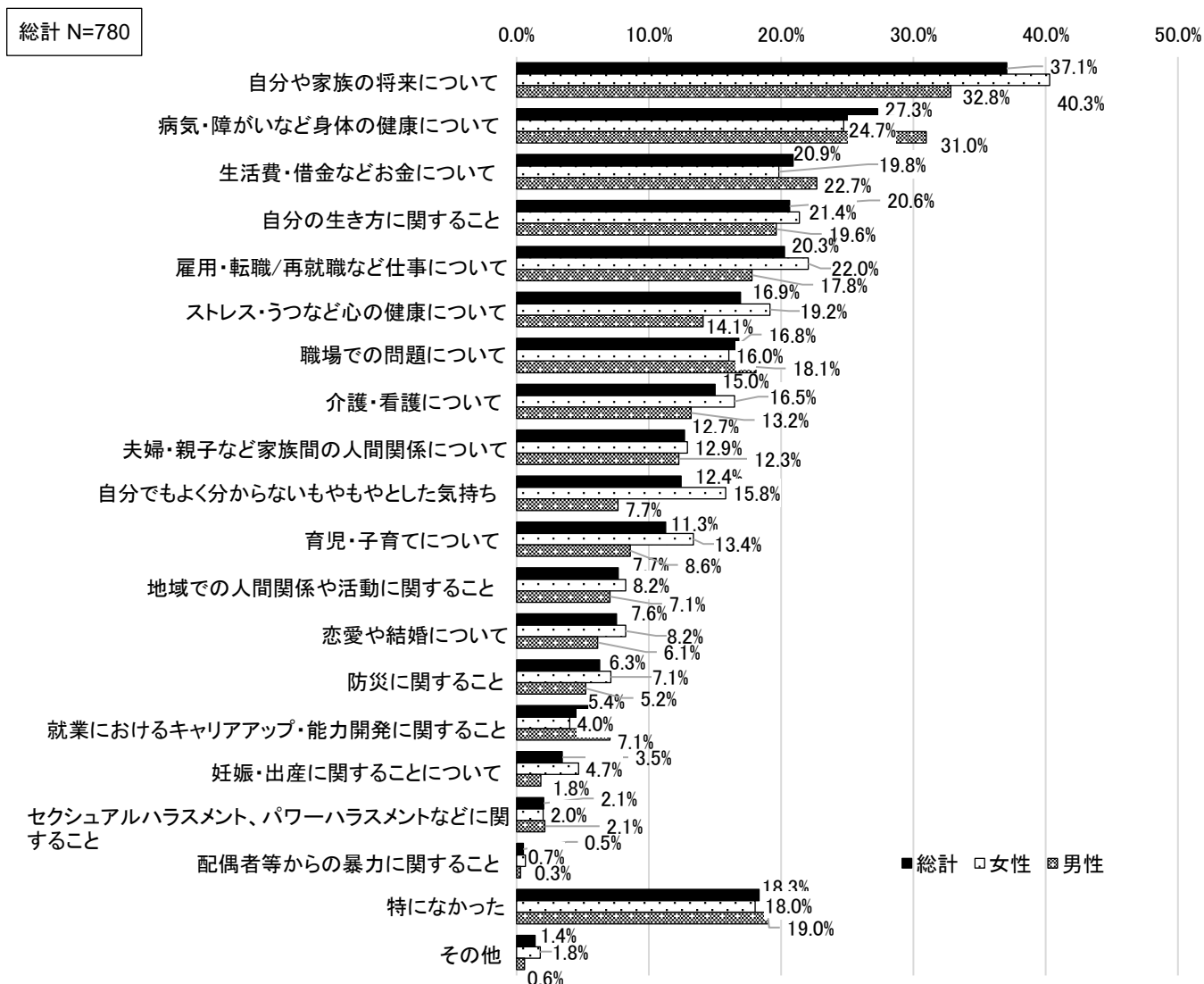
【全体】

この1年間の生活の中での不安や悩みについて尋ねたところ、「自分や家族の将来について」(37.1%)と回答した割合が最も高く、次いで「病気・障がいなど身体の健康について」(27.3%)、「生活費・借金などお金について」(20.9%)の順となった。

【性別、性・年代別】

性別でみると、男女別の割合の差をみると「自分でもよく分からないもやもやとした気持ち」で、女性が男性より8.1ポイント上回った。性・年代別では、70歳代女性、60歳以上の男性で「病気・障がいなど身体の健康について」、30歳代男性で「職場の問題について」が最も高い割合となっている。

図表問33-1 1年間の生活の中での不安や悩み【総計・性別】



【問34】 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

男女共同参画社会の実現に向けての意見、要望は 92 件あり、主な意見・要望を掲載している。

またその内容は、「男女共同参画に対する意識について」(26 件)、「男女共同参画社会の形成について」(14 件)、「子育てについて」(13 件)、「就業について」(6 件)、「男女共同参画に関する教育について」(6 件)、「男女共同参画に向けた啓発活動について」(2 件)、「男女共同参画に向けた行政の取り組みについて」(14 件)、「その他」(11 件)となっている。

【男女共同参画に対する意識について(26 件)】

【主な意見】

- アンケートを通して、今現在の男女共同参画社会の現状、動きを知るきっかけとなりました。よりよい社会を目指し、誰もが生きやすい環境となるよう、少しでも力になれば嬉しいです。調査結果を楽しみにしています。(女性、20 歳代)
- 年齢が上がるにつれて、男性が女性より社会的地位が高く、優遇されていて、おごる部分もあるのかなと感じています。男尊女卑はまだあると思います。性別で差別をつけるのではなく、1 人の人間として各々が理解し協力できる社会を作っていけることを願っています。(女性、30 歳代)
- 男性優位になりがちな社会通念、慣習は改める必要があると思いますが、だからといって女性の地位を高める、女性リーダーの割合を増やすということではないと思います。役職やリーダーには性別に関わらず向いている人が就けばよいですし、「女性だから女性の気持ちがわかる」「男性だから昇進欲がある」等の偏見もなくなってほしいと思います。同じ性別でも理解できないことはあるし、同性がゆえに強い言い方をされることもあります。「女のくせに」「男のくせに」という言葉を聞くと悲しくなります。心の弱さや体格・体力の差は性別差ではなく個人差だと思います。LGBTQ をはじめ、発達障害や精神疾患のある方、身体障害のある方々も健常者と何ら変わらない同じ人間同士であるという認識が社会全体にもっと広まればよいと思います。年齢・性別・国籍にとらわれない日置市になるよう願っています。(女性、30 歳代)
- 性別に関わりなく平等とか無理。事実違いがあるのだからその違いをそれぞれ受け入れて互いに尊重し合わないとは齟齬が生まれるのは当然。だって男と女は体の作りからして違う。(女性、30 歳代)
- 現状女性が立場が弱いからだとは思いますが、「男女」と最初につく時点で、こりゃダメだ…と思っています。(女性、40 歳代)
- ケースバイケースで男性が優位と覚えることもあれば、その逆もある。平等は理想として掲げて取り組んでいくことは大切だとは思いますが、あまり、視野が狭くならないようにしたいと思っている。相手を思う気持ち(思いやり)か、想像力を広げて、穏やかで優しい気持ちで、周りの人たちと生活できたらと考えている。(女性、40 歳代)
- 女性が権利を主張しすぎたり、逆の意味での差別も男女差別につながると思います。(女性、40 歳代)
- 1～2 年前、私の勤める会社に日置市議の方が訪問された際に、在社していた男性社員には一人ずつ挨拶されましたが、唯一の女性であった私の前は素通りされました。これこそが、鹿児島島の現実だなと感じました。社会環境が整っても住民の意識改革、慣習の改めがなされない限り、大きな変化は望

めないです。ましてや、県外で生活されたことのない方だと、おかしいということさえ気づいていらっしやらないかも知れません。若い世代では、だいぶ意識も変化してきていますが、彼らより上の立場の方が昔のままなので、なかなか大きな変化へは結びついていないよう感じています。逆に、女性の社会進出を盾に、ご自身のお子様の躰すらまともにしない方、すべてを行政サービス任せの方が稀にいらっしやいますが、それは大きな間違いだと思います。両立できないのであれば、どちらかはあきらめるべきではないでしょうか。そして、諦めたことで生まれた問題（生活費が足りない・働くことでの生きがいを失う・子供の行事に参加できない・介護している親の病院の予約が取りづらい等）をカバーできる細かな制度やサービスが必要かと思います。現在、女性議員数や役員数、重要ポストへの女性の登用数を増やす流れとなりつつあります。望ましいことではありますが、果たして数だけが重要であろうかとも感じます。女性だからこそ男性の気づかないところまで気づくという理論は第一段階でしかなく、性別がどちらであろうとも同じように気づくべきだと思います。もちろん、出産等どうしても女性にしか理解できない問題もありますが、鹿児島で男女平等を目指すのはとても時間がかかるとは思いますが、少しずつでも改善されていくことを望みます。(女性、40歳代)

- 「男女共同参画社会」と言うと、何もかもが男女が同じ（仕事、家事、子育て等）ようにする!! できる!! と思いがちですが、男女には体格差、能力差などが（ひとつひとつあげたらきりがありません）あるので、男性は、男性の能力（力仕事、高いところに上る事、機会に対して）を発揮し、女性も女性の能力（細やかな事、優しいこと）を発揮しつつ、両方を思いやった仕事や家庭、地域での暮らしができたなら良いのでは? と思います。やはり、体力的な事は、男性にはかなわないので。(女性、60歳代)
- 頭の中ではわかっているつもりでも、なかなか難しいです。自分自身も平等にと思いつつも女性だからと思うこともいっぱいあります。まわりの意識も大切ですが、まずは自分の考え、心を変えていく事が今の私にとって一番かなと思います。協力は惜しみません。(女性、70歳代)
- 人間一人ひとりが育った環境、考え方が違い、性格も違うから、そのことについて話し合う場が必要だと思います。難しい問題です。私は昔人間の方が良いかもしれません。若い人はもっと大変かもと思います。(女性、70歳代)
- 今から50年前は寿退社が当たり前の時代でした。頑張る女性を応援したいです。(女性、70歳代)
- 男性が、女性が、という分け方自体がよくわからない。性別に関係なく一人の人間として、自分に合った方法でそれぞれにできることをすれば良いと思う。(男性、10歳代)
- 先日、美山であった星空映画祭に参加しました。とても考えさせられる映画であり、ヒロインの家族愛に感動しました。みんなが、目の前の人に対する思いやりを持ち、自分事として考え相手の立場になって考えられるような人が増えていくことを切に願います。(男性、30歳代)
- 男性も女性も意見をよく聞くことが大事です。(男性、50歳代)
- 意識としては、男女平等、男女が対等であるという考えがあるが、女性に対する差別は現存していると思う。例えば、法律をつくる政治家の意識にも昔ながらの男性優先の考え方があると思う。男女共同参画社会の実現に向けて、様々な法整備は大切であるが、それが具現化されるために、何が課題であるのか、どう解決すればよいのか、私自身ができる事、すべきことは何か、考えていきたいと思う。(男性、60歳代)
- これまでの歴史の中で、女性差別があった。これからの時代は差別されていた女性が立ち上がる時代にしなければならない。長い抑圧のため、今も女性は男の影に隠れているのを良しとする風が残って

いる。「私は女だから」と責任ある役から逃げ出す人の多いこと。東市来では、43の自治会があるが、この10年でわずか3人しか女性の自治会長は生まれていない。男中心の過去も悪いが、立ち上がらない女性も悪いと思う。(男性、70歳代)

- 男女共同参画が言われていることは、よくわかっています。しかし、私の身近な地域社会では、女性がむしろ男性よりも多分野で活躍してくれています。どちらかという、もっと男性の方に頑張ってもらいたいと思います。男女にかかわらず、それぞれが全力投球、私の目標です。(男性、70歳代)
- 深く考える必要がある事柄とは思わない。男性と女性の協力関係は既に出来上がっているので過干渉は禁でしょう。どちらも同じ人間だから。このことに興味が無い人間です。70年以上生きてきてこのままの世の中で良いと思っています。(男性、70歳代)

【男女共同参画社会の形成について(14件)】

【主な意見】

- 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度は、今よりも平等な社会にするために必要な事だとは思いますが、そのような制度がなくても当たり前前に女性が重要な役職に登用されることがより平等な社会ではないかと思えます。(女性、10歳代)
- 男性・女性という枠組みを超えたお互いが尊重されるような社会になってほしいと思います。そのためには自ら変える意識を国民がそれぞれ持たなければ変わらないと考えています。私は教育の分野から変えていきたいと思い、就職をしました。少しでもそう意識する人が増えていく世の中になってほしいです。たくさん書いてしまってすみません。日置市は好きです。頑張ってもらいたいです。日本を変えたいと願うその他大勢の中の一人です。(女性、20歳代)
- 男性中心で作られた社会の枠組みを転換しない限り女性が男性と同じ土俵に上がるには、制約が多すぎます。女性にとって生きやすい社会は男性にとっても生きやすい社会になるはず！と思いました。とりあえず子どもたちが子どもらしく過ごせる地域であってほしいです。マスクを外そう！と声をかけてくれる大人たちがいたら。マスクは任意です。つけるもつけないも本人が決める事。人権が当たり前前に尊重される社会でありますように。(女性、20歳代)
- 子どもとの時間を一番に。大切に。と思っている主婦もたくさんいると思うので、女性が働きやすい世の中にといいことに、そこまで、心が追い付かない人もたくさんいると思います。個々が大切にしたいことを大切にできる社会が、心にゆとりも生まれていい世の中につながると思っています。(女性、40歳代)
- 私の職場では、女性リーダー、マネージャーがここ数年ぐんと増えました。女性がフルで働きながら家庭との両立をすることは理想でもあります。子どものため、将来のためにみんなが働きやすい環境であればいいと思います。(女性、50歳代)
- 海外と比べると、遅れている所もあると思いますが、だんだん良くなってきていると感じます。コロナ禍で、心の余裕が無くなる事もありますが、より良い社会の実現に協力していけたらと思います。(男性、30歳代)
- 働きたい女性に向けての支援は必要だが、企業のアピールのために、就きたくもない管理職に就いているという話を聞いたことがある。何を尊重するかをまず考えるべきだと思う。(男性、30歳代)
- 形式だけでなく、実行を伴う活動をすべきと考える。(男性、40歳代)
- 男女共同参画社会の実現は簡単で、すぐ実現するとは思わないが、時間がかかるけど実現してほしい

です。(男性、50 歳代)

- 「男尊女卑」の考えの人は、近年少なくなっていると思われるが、未だ男だ女だという考えの人がいます。まず、男性側が考えを改め、女性をしっかりと認めることが大事だと思う。政治家や会社においても、役職など男女の数が半々になることを希望します。(男性、60 歳代)
- 日置市役所によく足を運びますが、各課の課長はほとんど男性とおみうけします。課長クラスのバランスを男女同数にしてほしい。行政においてはまずここからでしょうね。ゆくゆくは女性市長や女性国会議員を多数出す地方県であって欲しいです。(男性、60 歳代)

【子育てについて(13 件)】

【主な意見】

- 産前・産後休暇について、産前6週からというのが遅すぎると思います。妊娠9か月まで仕事をするのは、かなり負担になります。妊娠後期に入ったタイミング等、もう少し産前休業が早くなれば良いなと思います。(女性、20 歳代)
- 子育てがしやすい社会が実現していくといいなと思います。女性が働きやすい。男性が育休を取得しやすい制度・支援が実現できると、家庭を持ちたい、子育てしやすいと意識も変わるのかなと思います。しかし実現させるために多くの問題もあります。それをどのように改善していくかを考えていくことが大切であると考えます。生きやすく、生活しやすい社会になっていくといいなと思います。(女性、20 歳代)
- 未就学児でも遊べる(あそびやすい)環境(公園や施設)の充実を考えられてみてください。子が遊べる場所があれば、閉鎖的な育児も、父の育児参加も解決策の一つになるのではと思います。(女性、30 歳代)
- 最近、夫の知人から職場で育児休暇を取りたいと希望したら、休暇を取得する前から休暇明けに部署異動を命じられ、離職をした人がいました。今年から制度が変わったとはいえ、社会の一部及び採用側の意識が簡単には変わるとは思えません。また、私が過去に働いていたころ、女性の上司から不当な扱いを受ける妊婦の職員をみたことがあります。同じ女性でも偏った考えの上司がリーダーになってしまうと、男女の平等を訴えるどころではありません。こういった事を簡単に意見できる窓口があればいいのにと思いました。(女性、30 歳代)
- 働くことも大切だが、子育てに力を入れる事も大切だと思います。仕事を理由に子供の面倒をみることに手を抜く夫婦もいる。そのような家庭の子供が学校をやめたりしているので、不幸なことだと感じます。そうならないよう職場でも子供がいる人には夜勤の回数を減らす等していくようにできればと思います。その際、賃金を大幅に減らさないようにすることも大切だと思います。お金と休暇に対して、もっとバランスのとれる社会になってほしいです。母親だけに子育てをまかせず、父親も子供にもっと関心を持ち、成長を楽しんでいける世の中になればいいです。(女性、40 歳代)
- 男性が家事や育児に必ず参加しないといけない、とは思わない。個々それぞれに得意分野があり、自分ができることをやればと思う。しかし、私も若いころ共働きであり、夫は朝早く、夜遅い自営業。その中でよくケンカもしましたが、お互いによく話し合うことが大切です。時代も変わり、自分の息子でさえ、育メンと呼ばれるようになり、それはそれなりに良いことでもあると思うようになりました。しかし、社会全体をみると、やはり男性が育児休暇等をとるのは個人差があり、難しい。対企業によるところも大きくあります。企業自体がそれが出来るように、制度が必要だと思う。実際、休ま

れたら困る企業が現実的に多いです!!(女性、60歳代)

- バリバリの子育て、仕事をしている時は、色々思うこともありましたが、何もかも過ぎてしまえば・・・今は、年金生活で夫婦ともに好きな事をしているから、さほど男女共同参画社会には、あまり興味を持たなくなりました。でも、今、子育て、仕事をやっている方には大きな問題だと思います。昔からこのような活動があつたら、まだ働きやすく、子育ても良かったと思います。今、真っ最中の人たちが、住みやすく、働きやすく、子育てしやすいような日置市をつくってください。(女性、60歳代)
- 出産、保育の無償化。介護の充実。(男性、60歳代)

【就業について(6件)】

【主な意見】

- 男女が協力して働きやすい町になれば、今よりも過ごしやすいと思います。法律や制度で決めたり、サービスを提供したり、あらゆる対策はこれまでもしてきていると思うが、我々市民には何も変化が感じられないのが現状です。私は今年から働き始めましたが、性別の違いによって受ける扱いが違うのはおかしいと思います。(女性、20歳代)
- 職場の子育て世代のワークライフバランスの実現のために独身者を犠牲にするな!(女性、20歳代)
- もっと産休の取りやすい職場が増えて欲しいです。(女性、20歳代)
- 地域の活動が急なPTAなどで仕事を休まなければならないことがあるので、少しずつでも減っていけば女性も仕事しやすくなるのではないかと思います。(女性、30歳代)
- 日本でもワーキングシェアを導入していく。そうすることで、家庭での家事、子育て、介護の時間を作ることができ、雇用も増やすことができる。大企業で特に取り入れ、中小企業は、国の補助を受けられるシステムにする。(女性、50歳代)

【男女共同参画に関する教育について(6件)】

【主な意見】

- 男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できるような政策や教育を増やしてほしいです。(女性、20歳代)
- 働く女性として、娘を持つ母親として、夫の「女だから」「女なのに」というような言葉にはしなくても、女を下に見ているような、自然と出てしまう言動に腹が立つこともあります。(めったに表出ませんが、心の中ではそんなふうにしてんのかよ、ということがある)。でも、自分も「男なんだから」「男のくせに」と思っていることがあります。なんだか私も男女差別を自然としているんだな〜と時々我にかえります。生きてきて30年ほど、ずっと、ほんのり or ガツツリ、男女差別を味わってきたので、その意識を変えるのはなかなかムズかしいなと思っています。子どもたちには男女差別についての教育をしっかりしていきたいし、学校でもそうであって欲しいと思います。(女性、30歳代)
- 現時点での社会的に活躍している世代は、当然親世代、先輩等を見て育っているので、無意識に差別的な考えはあると思う。そう教えられていたり、見聞きする環境があれば、仕方ないと思う。この先、今の子どもたちがその子供たち以降に平等、個人を尊重する考えの教育を沢山受けられるようになってほしい。大人が急に考えを変えるのは難しいかもしれないので、次世代へつなげる教育に力を入れてほしい。(女性、40歳代)

- 1人ひとりの大切さ、生命の尊さ、つながりの重要性を小さい時よりくりかえし教育し、相手を思いやれる人間形成を男女を問わず、構築していくことを願ってやみません。(女性、70歳代)
- 小学校低学年より、学校教育の中に取り入れていった方が良いと思われまます。(男性、60歳代)

[男女共同参画に向けた啓発活動について(2件)]

【主な意見】

- 男女それぞれの特性があることは理解しつつ、それを理由に役割分担を押し付けるのはよくないと思います。可能性を縛らないためには、まず学校などで若い人たちに啓発活動を行って、将来に向けての選択肢を数多く提示できるようにしてほしいと思います。(男性、40歳代)

[男女共同参画に向けた行政の取り組みについて(14件)]

【主な意見】

- 小さい子どもがいるので日置市女性センターをよく利用しています。職員さんたちはとても親切で育児の相談も聞いてくれて、女性センターがあって気軽に利用できて良かったと感じます。男女共同参画社会についてのポスターとかも貼ってあり、普段だったら気に止めないのですがそういった施設を活用することで気にしたりするようになりました。もっとそういった施設が増えて気軽に利用できるようになればいいなと思います。(女性、20歳代)
- 男女共同参画の課題や問題にも繋がると思うが、年間の自治体、あるいはさらに細かい地域活動への予算組み、その予算執行のために長年見直されないまま続けられている行事や慣習など、時代時代の現状に応じて、変化させたり、あるいは取りやめにするなど、少しでも検討できるようにする地域社会になればと思う。暴力ということ、あるいは社会構造について、そして困った時に誰に、どこに、どう相談したらいいのか、などを学ぶ機会が小さい頃からあればいいと思う。またそれはすべての世代が学べたり、関心が向けられるべきである。(女性、40歳代)
- 男女に関係なく、できる事をできる人がとは思いますが、そうするとすべき事があってもそれを担う人は不足するように思います。子ども会の役員は女性が多いから女性が参加し、PTAも同じく、たまに男性がいると、重要な役職や挨拶、司会はその男性にしてもらうなど、まだまだ男性も女性も、悪く言えばそういう風潮に甘えています。我が家の親世代は、女性を低く馬鹿にする傾向があり、同性の母親もそれに同調するのですから、彼らがどうしてそうなったかを検証することで、逆の道筋のヒントが得られるのではないかと思います。色々なサービスなどがスムーズに実現できるよう、手続きや書類記入の簡素化、窓口まで出向かなくても済むような高齢化社会にも対応したサービスの実現を望みます。(女性、50歳代)
- 私は来月で70歳になりますけど、内容の中身から先の若い世代に実現のアンケートでしたね。高齢者もこれから多くなります。住みよいまちづくり～安心して老後を迎えられるまちづくり→よろしくをお願いします。(女性、60歳代)
- 男女共同参画社会が大切なことはわかっています。妻も働きたいという気持ちはあるようですが、子どもが小さいと病気もするし、働いても子どもが病気になる度仕事を休むのは難しい(バイトやパート先で嫌な顔をされる)。そういった勤務先の考え方・働き方の見直しも必要だと思う。物価が上がり、自分ひとりの給料では不安。非課税世帯等などへの支援だけでなく、家族構成(多子世帯)(年収)など、もう少し視野を広げた支援をお願いしたい。(男性、30歳代)

- おそらく女性の社会進出を推し進めていくための方策を考えていくために、行政としての取り組みをこのアンケートでお訊ねのことと思いますが、やや形式として取り組まれているような印象を抱きました。男女には性差、得手不得手やそれぞれの得意分野も違います。活躍する場所を無理に同じにしようとする行為こそが危険であると思います。(男性、40歳代)
- 現状のままでよい(男性、40歳代)
- 私は外資で20年働いていましたが、日本の会社とは完全に違います。仕事ができる人が評価されます。そして昇進し、給料も上がる仕組みです。年齢も、学歴も、勤務年数も、性別も関係ありません。あくまで能力を評価します。能力がなければ降格されます。中途採用は当たり前です。年下の女性が上司であるなどごく普通のことでした。女性で、高校卒で部長になった人もいました。課長など管理職に女性が4割超はいたと思います。働く意欲は高く、会社の目標に向かって必死に働きます。物事に非常に流動的に対応できるのです。このようなアンケートを行っている日置市の役所自身、なぜ男女共同参画ができないのですか。女性の管理職は何割いますか。女性議員は何割いますか。アンケートをするまでもなく、何が問題か、自分たち自身分かっていることではないですか。確かに女性は、結婚、育児、体力など働くうえでハンデを負っているかと思います。また働く仕組みも男性中心の仕組みが出来上がっています。何故そうなったか。封建的なものがそのまま残っている日本の文化が原因ではありませんか。私は特に言葉の問題を考えてしまいます。日本語には言葉の平等性がないのです。年齢、性別、勤務年数、社会的な立場によって話し言葉を変えなければなりません。テレビ番組の中である外国人女性が「なぜ、わたしが敬語を話さなければならないの。わたしは話したくありません。日本語を勉強するのをやめます」と言っていました。歳が一つ違うと「先輩」になります。1年早く就職した人が「先輩面」になります。男性は女性よりただそれだけで評価されます。男性は女性よりただそれだけで評価されます。男性は女性に、より強い立場で話すことができます。課長や部長は、ただそれだけで「偉い人」になります。仕事を離れても「課長、部長」となります。尊敬語や謙譲語などへりくだった話し方、方や命令口調の話し方、そうしたものがお互いの心を束縛しているのではありませんか。家来と殿様とう封建的な考え方をいまだに払しょくできていないのが日本社会だと思います。それを念頭に置いた改革をしない限り、問題は解決しないと思います。(男性、70歳代)
- このような調査を行政がなされることが残念です。行き過ぎたポリティカルコレクトネスの是正こそが優先だと思いますので、回答を控えるという選択に至りました。悪しからず。

[その他(11件)]

【主な意見】

- この調査とは全く関係ないですが、市へお願いがあります。先日の台風の後、日置市在住の外国人の方とお話する機会があったのですが、緊急エリアメールも日本語、市の防災放送も日本語でどうしたらよいか分からなかったそうです。鹿児島県のHPで外国語の情報を見つけたので、それだけを頼りにしていたのですが、もし、ネットが繋がらない環境であった場合を考えると怖いと話されていました。外国人の方も多くお住まいです。どうか、対策をお願い致します。すでにあるのであれば、それを広くお伝えしたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。(女性、40歳代)
- 何事においても、生活にまずゆとりや余裕が無いと次のステップに進むことに無理がある。(女性、70歳代)